

令和元年度

横浜市民意識調査

ま え が き

「横浜市民意識調査」は、市民の日常生活について意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和 47（1972）年度から毎年実施しています。

本年度の調査では、市政への満足度、市政への要望、心配ごとや困っていることのほか、特集として、暮らしやすさや日々の食事、隣近所・地域とのつき合いについて尋ねました。

また、定住意識や生活満足度についても質問しています。

市民意識調査の結果は、政策立案にあたって市民ニーズを的確に捉えるための基礎的かつ客観的なデータとして活用していきます。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

令和 2 年 3 月

横浜市政策局

目 次

I. 調査の概要	1	3. 暮らしやすさ	48
1. 目的	1	(1) 周辺環境の総合評価	48
2. 構成	1	(2) 暮らしやすいと 感じている点	51
3. 仕様	1	(3) 周辺環境で特に重視する点	56
4. 項目	1	(4) 住まいに関する価値観	60
5. 回収結果	2	4. 生活意識	74
6. 集計方法	2	(1) 生活満足度	74
7. 報告書の見方	2	(2) 項目別生活満足度	77
8. 回収分析標本構成	3	(3) 心配ごとや困っていること	85
9. 調査票と単純集計結果	9	5. 日々の食事	93
II. 調査の結果	19	(1) 食事の内容	93
1. 市政	19	(2) 食事を共にする人	101
(1) 市政への満足度	19	(3) 日々の食事のまとめ	109
(2) 市政への要望	26	6. 隣近所・地域とのつき合い	111
(3) 市政全体への満足度	33	(1) 隣近所とのつき合い方	111
(4) 満足度と要望のまとめ	37	(2) 隣近所とのつき合いの 感じ方	115
2. 定住意識	40	(3) 参加している地域活動	118
(1) 現住地居住年数	40	(4) 地域との関わり	121
(2) 前住地	42		
(3) 現住地定住意向	43		
(4) 希望する転居先	47		

I. 調査の概要

1. 目的

市民の日常生活について意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題に対して、市民から回答を得る必要性が生じて各年度毎に設定する項目から構成する。

3. 仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,200 標本 (1 地点 11~18 標本、210 地点)
- (4) 抽出方法 住民基本台帳をフレームとし、日本人は層化二段無作為抽出法、外国籍市民は単純無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送留置、訪問回収
(調査票を郵送し、後日、調査員による個別訪問を行い、調査票を回収する)
- (6) 調査時期 令和元年 5 月 24 日～6 月 10 日
- (7) 実査、集計、分析 一般社団法人輿論科学協会

4. 項目

- (1) 【市政】 市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度、満足度と要望のまとめ
- (2) 【定住意識】 現住地居住年数、前住地、現住地定住意向、希望する転居先
- (3) 【暮らしやすさ】 周辺環境の総合評価、暮らしやすいと感じている点、周辺環境で特に重視する点、住まいに関する価値観
- (4) 【生活意識】 生活満足度、項目別生活満足度、心配ごとや困っていること
- (5) 【日々の食事】 食事の内容、食事を共にする人、日々の食事のまとめ
- (6) 【隣近所・地域とのつき合い】 隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方、参加している地域活動、地域との関わり

5. 回収結果

(1) 回収分析標本数 2,052 標本 (回収率 64.1%)

(2) 未回収標本内訳

合計	転居	長期不在	一時不在	住所不明	調査拒否	その他
1,148	51	46	425	39	558	29
100.0% (35.9%)	4.4% (1.6%)	4.0% (1.4%)	37.0% (13.3%)	3.4% (1.2%)	48.6% (17.4%)	2.5% (0.9%)

()は、設計 3,200 標本に対する比率

6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別 (18 区別)、ブロック別 (4 ブロック)、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別 クロス集計

7. 報告書の見方

(1) n は質問に対する回答者数で、100% が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

(2) 層化二段無作為抽出法を用いた場合の標本誤差 (サンプル誤差) は、信頼度を 95% としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数 (n)、および回答比率 (P) によって異なる。

$$b = 2 \times \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

< 標本誤差早見表 >

回答比率 (P) 基数 (n)	10% または 90% 前後	20% または 80% 前後	30% または 70% 前後	40% または 60% 前後	50% 前後
2,052 人	± 1.87	± 2.50	± 2.86	± 3.06	± 3.12
2,000 人	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
1,000 人	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
500 人	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100 人	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

< 標本誤差早見表の見方 >

例えば、「ある設問の回答者数が 2,052 であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60% であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 3.06% 以内 (56.94~63.06) である」とみることができる。

ただし信頼度が 95% であるので、そのように判断することは 95% の確率で正しいことになる。

(3) 質問には、全員が 1 つの回答を選ぶもののほか、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問と 1 回答者が 2 つ以上の回答をすることができる質問がある。2 つ以上を回答する質問では、回答者の合計を回答者数 (n) で割った比率であり、通常その値は、100% を超える。

(4) 結果数値は、表章単位未満 (小数第二位) を四捨五入してあるので、内訳の合計が計 (100.0%) に一致しないこともある。

8. 回収分析標本構成

(1) 区別

	実数	割合 (%)
全体	2,052	100.0
鶴見区	167	8.1
神奈川区	137	6.7
西区	45	2.2
中区	69	3.4
南区	100	4.9
港南区	127	6.2
保土ヶ谷区	102	5.0
旭区	129	6.3
磯子区	92	4.5
金沢区	130	6.3
港北区	175	8.5
緑区	87	4.2
青葉区	159	7.7
都筑区	117	5.7
戸塚区	178	8.7
栄区	72	3.5
泉区	90	4.4
瀬谷区	76	3.7

(2) ブロック別

	実数	割合 (%)
全体	2,052	100.0
東部	518	25.2
西部	575	28.0
南部	421	20.5
北部	538	26.2

※ブロック別の構成は、以下のとおりである。

東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区

西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区

南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

(3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（平成31年3月31日現在）	
	実数	割合 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
全体	2,052	100.0	3,185,604	100.0
18～29歳	230	11.2	475,777	14.9
(18～19歳)	29	1.4	71,826	2.3
30代	228	11.1	458,844	14.4
40代	387	18.9	611,981	19.2
50代	349	17.0	528,764	16.6
60代	327	15.9	424,203	13.3
70歳以上	531	25.9	686,035	21.5
(80歳以上)	186	9.1	272,684	8.6
男性計	923	45.0	1,572,572	49.4
18～29歳	106	5.2	243,407	7.6
(18～19歳)	12	0.6	36,658	1.2
30代	105	5.1	235,149	7.4
40代	174	8.5	311,531	9.8
50代	169	8.2	274,912	8.6
60代	146	7.1	212,200	6.7
70歳以上	223	10.9	295,373	9.3
(80歳以上)	70	3.4	104,079	3.3
女性計	1,129	55.0	1,613,032	50.6
18～29歳	124	6.0	232,370	7.3
(18～19歳)	17	0.8	35,168	1.1
30代	123	6.0	223,695	7.0
40代	213	10.4	300,450	9.4
50代	180	8.8	253,852	8.0
60代	181	8.8	212,003	6.7
70歳以上	308	15.0	390,662	12.3
(80歳以上)	116	5.7	168,605	5.3

(注) 市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

(4)ライフステージ

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合 (%)	内容	具体例
全 体		2,052	100.0		
子どもなし (計)		571	27.8		
1 単身 (1)		225	11.0	40歳未満・独身	未婚者(40歳未満) 配偶者離死別(40歳未満)
2 単身 (2)		137	6.7	40～64歳・独身	未婚者(40～64歳) 配偶者離死別(40～64歳)
3 夫婦だけ (1)		42	2.0	40歳未満・子のない夫婦	有配偶者・子どもなし(40歳未満)
4 夫婦だけ (2)		98	4.8	40～64歳・子のない夫婦	有配偶者・子どもなし(40～64歳)
5 高齢子どもなし		69	3.4	65歳以上・子どもなし	未婚者(65歳以上) 配偶者離死別・子どもなし(65歳以上) 有配偶者・子どもなし(65歳以上)
子どもあり (計)		1,364	66.5		
6 家族形成期		122	5.9	小学校入学前の乳幼児を持つ親	第一子が小学校入学前
7 家族成長前期		131	6.4	小学生の子を持つ親	第一子が小学生
8 家族成長中期		133	6.5	中学生・高校生の子を持つ親	第一子が中・高校生
9 家族成長後期		95	4.6	各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親	第一子が大学生等
10 家族成熟前期		71	3.5	学校教育を終えた子を持つ親	第一子が学校教育終了、末子が教育期
11 家族成熟中期		238	11.6	子どもが全員独立している65歳未満の親	子が全員独立した親・65歳未満
12 家族成熟後期		574	28.0	子どもが全員独立している65歳以上の親	子が全員独立した親・65歳以上
その他		117	5.7	1～12以外、分類不能	1～12以外

複数の子どもがいる場合は、第一子の状況をもとに「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」又は「10 家族成熟前期」の分類をする。ただし、「10 家族成熟前期」については、第一子が学校教育を終了し、かつ末子が教育期のものとする。

<ライフステージとその構成条件>

ライフ ステージ		質問、項目名 選択肢名													
		1 単 身 (1)	2 単 身 (2)	3 夫 婦 だ け (1)	4 夫 婦 だ け (2)	5 高 齢 子 ど も な し	6 家 族 形 成 期	7 家 族 成 長 前 期	8 家 族 成 長 中 期	9 家 族 成 長 後 期	10 家 族 成 熟 前 期	11 家 族 成 熟 中 期	12 家 族 成 熟 後 期	そ の 他	
F5 子 ど も	な あ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
F2 年 齢	40 歳 未 満	○		○								○			
	40 歳 ~ 64 歳		○		○							○			
	65 歳 以 上					○							○		
F4 未 ・ 既 婚	未 婚	○	○			○									
	既 婚 ・ 有 配 偶 者			○	○	○									
	既 婚 ・ 配 偶 者 離 死 別	○	○			○									
F5 子 ど も の 成 長 段 階	小 学 校 入 学 前						○				◎				
	小 学 校 在 学 中							○			◎				
	中 学 校 在 学 中								○		◎				
	高 校 在 学 中								○		◎				
	各 種 ・ 専 修 ・ 専 門 学 校 在 学 中									○	◎				
	短 大 ・ 大 学 ・ 大 学 院 在 学 中									○	◎				
	学 校 教 育 終 了	未婚・同居 未婚・別居 既婚・同居 既婚・別居										○	○	○	
												○	○	○	
											○	○	○		
											○	○	○		

- (注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、
「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合は、第一子の状況とする。
- (注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを
条件とする。
- (注3) その他は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～12以外のもの及び分類不
能なものである。

(5)世帯類型

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合 (%)	内容	具体例
全 体		2,052	100.0		
1 ひとり暮らし (1)		47	2.3	40歳未満・ひとり暮らし	未婚者(40歳未満) 配偶者離死別(40歳未満)
2 ひとり暮らし (2)		85	4.1	40～64歳・ひとり暮らし	未婚者(40～64歳) 配偶者離死別(40～64歳)
3 ひとり暮らし (3)		146	7.1	65歳以上・ひとり暮らし	未婚者(65歳以上) 配偶者離死別(65歳以上)
4 夫婦のみ (1)		145	7.1	夫婦二人暮らし・子なし	有配偶者・子どもなし
5 夫婦のみ (2)		342	16.7	夫婦二人暮らし・子が全員独立している	有配偶者・子が全員独立
6 子と同居 (1)		474	23.1	教育期の子と同居している親	有配偶者・学校教育期の子と同居
7 子と同居 (2)		289	14.1	学校教育を終えた子と同居している親	有配偶者・学校教育終了後の子と同居
8 親と同居 (1)		152	7.4	40歳未満・子なしで親と同居	未婚者(40歳未満)で親と同居 有配偶者(40歳未満)・子なしで親と同居
9 親と同居 (2)		71	3.5	40歳以上・子なしで親と同居	未婚者(40歳以上)で親と同居 有配偶者(40歳以上)・子なしで親と同居
10 祖父母と親と子		117	5.7	本人の親と子どもなど、3世代で同居	有配偶者・子と同居・親と同居(3世代)
その他		184	9.0	1～10以外、分類不能	1～10以外

「6 子と同居 (1)」については、学校教育を終えた子どもの有無は問わず、教育期の子どもがいればこれに該当する。「7 子と同居 (2)」は、学校教育を終えた子どものみとする。

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型 質問、項目名 選択肢名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		ひとり暮らし (1)	ひとり暮らし (2)	ひとり暮らし (3)	夫婦のみ (1)	夫婦のみ (2)	子と同居 (1)	子と同居 (2)	親と同居 (1)	親と同居 (2)	祖父母と親と子 子	その他
F6家族形態	ひとり暮らし 夫婦だけ 親と子(2世代)	○	○	○	○	○						
	祖父母と親と子 (3世代)										○	
F5子どもの成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門 学校在学中					○	○					
学校教育終了	未婚・同居							○				
	未婚・別居					○						
	既婚・同居							○				
	既婚・別居					○						
F2年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終えた子どもの有無は問わない。「7 子と同居(2)」は学校教育を終えた子どものみとする。

(注2) その他は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～10以外のもの及び分類不能なものである。

(6) 出生地

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
横浜生まれ		659	32.1
横浜以外		1,360	66.3
無回答		33	1.6

(7) 未・既婚

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
既婚 (計)		1,609	78.4
有配偶		1,321	64.4
離死別		288	14.0
未婚		433	21.1
無回答		10	0.5

(8) 共働き状況 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,321	100.0
共働きしている		596	45.1
共働きしていない		712	53.9
無回答		13	1.0

(9) 職業

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
有職者 (計)		1,210	59.0
自営業		148	7.2
管理職		106	5.2
専門技術職		164	8.0
事務職		362	17.6
現業職		430	21.0
無職者 (計)		824	40.2
主婦・主夫		341	16.6
学生		71	3.5
無職		412	20.1
無回答		18	0.9

(10) 就業形態 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,062	100.0
会社役員		52	4.9
正社員・正規職員		573	54.0
アルバイト・パート		278	26.2
派遣社員		40	3.8
契約社員・嘱託社員		99	9.3
その他		4	0.4
無回答		16	1.5

(11) 勤務地 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		1,062	100.0
居住区内		252	23.7
市内他区		332	31.3
川崎市		70	6.6
川崎市を除く県内の 他市町村		84	7.9
東京都区部		276	26.0
東京都区部を除く東 京都		12	1.1
千葉県		3	0.3
埼玉県		3	0.3
その他		9	0.8
無回答		21	2.0

(12) 住居形態

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
持家 (一戸建て)		899	43.8
持家 (マンション・共同住宅)		662	32.3
借家 (一戸建て)		42	2.0
借家 (県営・市営の 共同住宅)		47	2.3
借家 (都市再生機構 (旧公 団)・公社の共同住宅)		45	2.2
借家 (社宅・公務員住宅)		43	2.1
借家 (民間アパート、民間 賃貸マンション)		280	13.6
その他		14	0.7
無回答		20	1.0

(13) 鉄道路線

属性	数値	実数	割合 (%)
全 体		2,052	100.0
横浜線		175	8.5
東横線		113	5.5
田園都市線		151	7.4
根岸線		172	8.4
相鉄線		294	14.3
東海道線北部		171	8.3
東海道線南部		210	10.2
京浜急行線		282	13.7
市営地下鉄線北部		210	10.2
市営地下鉄線南部		197	9.6
その他・不明		77	3.8

(注)・東横線:「東横線」「みなとみらい線」

- ・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区、「南武線」、「鶴見線」
- ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外
- ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」
- ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
- ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,052]

【定住意識】 まず、お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

1.9	65年以上前〔昭和29年(1954年)以前〕	
3.3	55～64年前〔昭和30～39年(1955～1964年)〕	
7.1	45～54年前〔昭和40～49年(1965～1974年)〕	
9.5	35～44年前〔昭和50～59年(1975～1984年)〕	
13.1	25～34年前〔昭和60～平成6年(1985～1994年)〕	
21.1	15～24年前〔平成7～16年(1995～2004年)〕	
11.4	10～14年前〔平成17～21年(2005～2009年)〕	
13.9	5～9年前〔平成22～26年(2010～2014年)〕	
18.3	5年未満〔平成27年(2015年)以降〕	0.5 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

5.6	生まれてからずっと現住所に住んでいる	5.8	川崎市を除く県内の他市町村
29.6	今住んでいるのと同じ区内	8.8	東京都区部
30.8	横浜市内の別の区	2.6	東京都区部を除く東京都内
5.7	川崎市	10.3	そのほかの道府県・国外
			0.8 (無回答)

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

33.2	住み続ける	12.2	たぶん転居する	16.5	わからない
31.6	たぶん住み続ける	5.1	転居する		1.5 (無回答)
	↓		↓		↓
	3ページ 問4へ		3ページ 問4へ		

(問3で「3」または「4」と答えた方に)

---> 問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(○は1つ) (n=355)

12.4	同じ区内	28.5	横浜市内	24.5	横浜市以外	33.5	具体的にはわからない
							1.1 (無回答)

【暮らしやすさ】次に、お住まいの周辺の環境などについてお尋ねします。

問4 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(○は1つ)

41.6	暮らしやすい	13.0	どちらともいえない	2.0	暮らしにくい
38.3	どちらかという暮らしやすい	4.1	どちらかという暮らしにくい	1.0	(無回答)

問5 今のお住まいの周辺の環境で、暮らしやすいと感じているのはどのような点ですか。

(○はいくつでも)

51.8	周辺の静かさ	
33.7	緑や自然やオープンスペースの豊かさ	
16.5	街並みなどの景観の良さ	
10.6	保育所や公園などの子育ての環境の良さ	
10.3	学校、図書館など教育・学習環境の良さ	
16.2	近所づき合いのしやすさ	
51.2	交通・通勤などの便利さ	
29.8	病院・医院の近さ	
46.0	ふだん買い物をする場所の近さ	
20.1	飲食やショッピングの便利さ	
8.6	遊びや余暇活動の便利さ	
14.9	防災・防犯などの安心さ	
1.4	その他 (具体的に)	
5.7	特にない	1.1 (無回答)

問6 仮に、今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺の環境で、特に重視するのはどのような点ですか。(○は3つまで)

26.9	周辺の静かさ	
15.8	緑や自然やオープンスペースの豊かさ	
8.7	街並みなどの景観の良さ	
5.6	保育所や公園などの子育ての環境の良さ	
6.1	学校、図書館など教育・学習環境の良さ	
7.4	近所づき合いのしやすさ	
54.9	交通・通勤などの便利さ	
28.8	病院・医院の近さ	
41.9	ふだん買い物をする場所の近さ	
12.9	飲食やショッピングの便利さ	
3.6	遊びや余暇活動の便利さ	
17.1	防災・防犯などの安心さ	
1.7	その他 (具体的に)	
2.4	特にない	12.2 (無回答)

問7 住まいに関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。（○はそれぞれ1つ）

	そ う 思 う	そ ど ち う ら か と 思 い え う ば	い ど ち え ら な と い も	そ ど ち う ら 思 か わ い な え い ば	そ う 思 わ な い	無 回 答
(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい	9.2	20.4	26.9	18.6	23.0	2.0
(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい	4.9	6.7	30.0	19.0	37.5	2.0
(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい	25.1	16.3	32.0	10.0	14.6	1.9
(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい	6.9	15.8	37.8	19.0	18.7	1.8
(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ	54.3	33.4	8.1	1.5	1.3	1.4

【生活意識】次に、生活の満足度や心配ごとなどについてお尋ねします。

問8 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○は1つ)

22.2	満足しているほう	8.4	やや不満があるほう
47.0	まあ満足しているほう	3.6	不満があるほう
14.2	どちらともいえない		4.6 (無回答)

問9 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

	満足している	いまある満足	いどちえらなど	あやるや不満	ほ不満	無回答
(ア) 住まい	26.2	50.1	12.6	6.6	3.5	1.0
(イ) 自由に過ごせる時間	27.0	42.0	15.5	9.9	4.2	1.4
(ウ) 仕事・学業	12.7	31.9	31.5	8.7	4.5	10.7
(エ) 収入	7.5	27.9	33.3	18.8	9.6	2.9
(オ) 健康	15.3	41.8	24.4	12.3	4.6	1.7
(カ) 家族との関係	36.4	41.2	14.3	4.0	1.7	2.3
(キ) 友人や近隣とのつき合い	16.4	44.0	32.4	4.1	1.4	1.7

問10 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

50.2	自分の病気や健康、老後のこと	4.1	近隣からの悪臭・騒音
36.7	家族の病気や健康、生活上の問題	3.5	環境問題
7.4	失業・倒産や収入が減ること	10.9	事故や災害のこと
12.5	仕事や職場のこと	8.7	犯罪や防犯のこと
23.0	景気や生活費のこと	8.7	住宅のこと
11.8	子どもの保育や教育のこと	2.7	その他(具体的に)
6.8	子どもの結婚や就職のこと	14.5	心配ごとや困っていることはない
			3.9 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問 11 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

(○はいくつでも)

- 49.0 バス・地下鉄などの便
- 14.3 幹線道路や高速道路の整備
- 16.9 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 2.9 違法駐車防止や交通安全対策
- 3.4 駐車場の整備
- 20.4 最寄り駅周辺の整備
- 5.5 都心部の整備や魅力づくり
- 12.2 街並みや景観の形成や保全
- 4.4 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 6.0 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 0.9 中小企業振興や雇用の創出
- 2.8 商店街の振興
- 2.0 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 15.6 公園・動物園の整備
- 17.1 緑の保全と緑化の推進
- 6.6 河川改修と水辺環境の整備
- 7.3 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 24.9 良質な水の確保や安定供給
- 2.3 環境汚染や騒音などへの対策
- 35.5 ごみの分別収集、リサイクル
- 6.3 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 1.9 地球温暖化への対策
- 4.4 地震などの災害対策
- 5.0 防犯対策
- 2.8 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 1.0 訪問販売などに関する消費生活相談
- 4.5 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 3.4 学校教育の充実
- 1.3 青少年の健全育成
- 15.1 病院や救急医療など地域医療
- 10.9 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 6.6 高齢者福祉
- 3.4 障害者福祉
- 1.9 経済的に困っている人の保護や支援
- 1.4 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 13.4 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 6.6 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 5.3 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 1.9 国際交流・協力の推進
- 3.2 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 0.7 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 5.5 身近な住民窓口サービス
- 0.4 その他（具体的に
- 14.5 わからない

3.4（無回答）

問 12 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- 25.2 バス・地下鉄などの便
- 7.2 幹線道路や高速道路の整備
- 26.3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 17.9 違法駐車防止や交通安全対策
- 10.7 駐車場の整備
- 20.8 最寄り駅周辺の整備
- 5.4 都心部の整備や魅力づくり
- 13.0 街並みや景観の形成や保全
- 3.4 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 2.6 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 8.7 中小企業振興や雇用の創出
- 17.7 商店街の振興
- 6.7 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 9.1 公園・動物園の整備
- 16.9 緑の保全と緑化の推進
- 8.5 河川改修と水辺環境の整備
- 10.5 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 14.8 良質な水の確保や安定供給
- 12.1 環境汚染や騒音などへの対策
- 14.2 ごみの分別収集、リサイクル
- 18.9 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 18.0 地球温暖化への対策
- 31.0 地震などの災害対策
- 28.3 防犯対策
- 9.5 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 4.7 訪問販売などに関する消費生活相談
- 17.5 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 16.6 学校教育の充実
- 9.9 青少年の健全育成
- 28.8 病院や救急医療など地域医療
- 27.1 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 28.3 高齢者福祉
- 14.2 障害者福祉
- 12.9 経済的に困っている人の保護や支援
- 5.7 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 8.8 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 10.2 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 8.2 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 4.2 国際交流・協力の推進
- 3.6 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 4.3 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 13.0 身近な住民窓口サービス
- 3.5 その他（具体的に
- 8.5 わからない

2.0（無回答）

問 13 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

6.6	満足しているほう	7.4	やや不満があるほう	
33.6	まあ満足しているほう	4.4	不満があるほう	
35.1	どちらともいえない	10.4	わからない	2.5（無回答）

【日々の食事】次に、日々の食事の様子についてお尋ねします。

問 14 あなたの普段の朝食、昼食、夕食について、最も多い食事の内容を次の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	主に調理したものを食べる	主に自分又は家族が弁当、パン、惣菜などを食べる	主に買ったものを食べる	主に宅配や出前のものを食べる	（勤務先や通学先の食堂等を含む）	外食をする	左記以外のものを食べる	食べない	無回答
(ア) 朝食 (○は1つ) ……	66.6	18.9	0.7	1.2	2.1	9.7	0.9		
(イ) 昼食 (○は1つ) ……	48.9	22.2	1.4	23.0	1.6	1.9	1.0		
(ウ) 夕食 (○は1つ) ……	85.8	6.6	1.3	4.0	1.0	0.4	1.0		

問 15 あなたは、普段、どなたと食事をしていきますか。朝食、昼食、夕食別に、最も多いものを次の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）
なお、問 14 で「食べない」と回答したのものについては無記入で結構です。

	一人で食べる	家族と一緒に食べる	友人・知人と一緒に食べる	職場の食事と一緒に食べる	左記以外の人と一緒に食べる	無回答
(ア) 朝食 (○は1つ) (n=1,835) ……	47.8	50.5	0.3	0.8	0.2	0.4
(イ) 昼食 (○は1つ) (n=1,993) ……	43.6	21.1	5.6	28.5	0.8	0.5
(ウ) 夕食 (○は1つ) (n=2,024) ……	24.9	71.7	1.5	1.0	0.5	0.3

【隣近所、地域とのつき合い】次に、隣近所とのつき合いや地域での活動などについてお尋ねします。

問 16 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(○は1つ)

- 14.1 顔もよく知らない
- 49.3 道で会えば挨拶ぐらいする
- 25.9 たまに立ち話をする
- 4.9 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている
- 5.1 困ったとき、相談したり助け合ったりする

0.7 (無回答)

問 17 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(○は1つ)

- 75.9 互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい
- 9.0 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい
- 11.3 親密な人間関係があって、暮らしやすい
- 1.4 人間関係が濃密で、わずらわしい

2.5 (無回答)

問 18 あなたは、現在、地域でどのような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- 22.0 自治会、町内会の活動
- 5.6 子ども会、婦人会、老人クラブの活動
- 2.1 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- 4.5 身近な道路や公園などの清掃活動
- 2.7 文化・芸術活動への参加や振興
- 6.8 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興
- 8.8 祭や盆踊り、運動会などのイベント
- 5.1 資源回収やごみの分別、リサイクル活動
- 6.7 PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど
- 2.4 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
- 1.0 その他(具体的に)
- 58.9 特にない

1.9 (無回答)

問 19 あなたは、今後、地域の活動に参加するなど、地域の人ともっと親しくしたり、地域との関わりをより深めたいと思っていますか。あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

- 2.1 現在、十分に関わりがあるが、もっと深めたい
- 19.8 現在、十分に関わりがあるので、このままでよい
- 3.5 現在、関わりがあるが、もう少し関わりを減らしたい
- 2.2 現在、関わりがあるが、地域との関わりはできるだけ持ちたくない
- 11.4 現在、あまり関わりがないので、もっと深めたい
- 59.6 現在、あまり関わりがないが、このままでよい

1.3 (無回答)

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入を
よろしく願いたします。

【フェイスシート】

F 1 あなたの性別は。(○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

45.0 男性	55.0 女性
---------	---------

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

1.4 18～19歳	5.8 35～39歳	7.3 55～59歳	7.6 75～79歳
4.9 20～24歳	9.5 40～44歳	7.8 60～64歳	9.1 80歳以上
4.9 25～29歳	9.4 45～49歳	8.1 65～69歳	
5.3 30～34歳	9.7 50～54歳	9.2 70～74歳	

F 3 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

32.1 はい	66.3 いいえ	1.6 (無回答)
---------	----------	-----------

F 4 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

64.4 既婚(配偶者あり)	14.0 既婚(離別・死別)	21.1 未婚	0.5 (無回答)
----------------	----------------	---------	-----------

(F 4で「1」と答えた方に)

→ F 4-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ) (n=1,321)

45.1 している	53.9 していない	1.0 (無回答)
-----------	------------	-----------

F 5 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

27.8 子どもはいない	6.6 短大・大学・大学院在学中	
9.6 小学校入学前	15.3 学校教育終了-未婚-同居	
9.5 小学校在学中	10.4 学校教育終了-未婚-別居	
5.4 中学校在学中	3.3 学校教育終了-既婚-同居	
6.0 高校在学中	26.9 学校教育終了-既婚-別居	
0.8 各種学校、専修・専門学校在学中	1.0 その他(具体的に)	4.7 (無回答)

F 6 お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみを対象に当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

13.5 一人暮らし	5.7 祖父母と親と子(3世代)
24.2 夫婦のみ	2.4 その他(具体的に)
51.6 親と子(2世代)	2.6 (無回答)

F 7 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

43.8 持家(一戸建て)	2.2 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)	
32.3 持家(マンション・共同住宅)	2.1 借家(社宅、公務員住宅)	
2.0 借家(一戸建て)	13.6 借家(民間アパート、民間賃貸マンション)	
2.3 借家(県営・市営の共同住宅)	0.7 その他(具体的に)	1.0 (無回答)

F 8 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

7.2	自営業	(農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)	
5.2	管理職	(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)	
8.0	専門技術職	(勤務医師、研究所研究員、技師など)	
17.6	事務職	(事務職、営業職、教員など)	
21.0	現業職	(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)	
16.6	専業主婦・主夫		
3.5	学 生		
20.1	無 職		0.9 (無回答)

(F 8で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 8-1 あなたの現在のご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ) (n=1,062)

4.9	会社役員	26.2	アルバイト・パート	9.3	契約社員・嘱託社員
54.0	正社員・正規職員	3.8	派遣社員	0.4	その他(具体的に)
					1.5 (無回答)

→ F 8-2 あなたの勤務地はどこですか。複数ある場合は、主な勤務地をお答えください。(○は1つ) (n=1,062)

23.7	居住区内	7.9	川崎市を除く県内の他市町村	0.3	千葉県
31.3	市内他区	26.0	東京都区部	0.3	埼玉県
6.6	川崎市	1.1	東京都区部を除く東京都	0.8	その他()
					2.0 (無回答)

→ F 8-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。複数ある場合は、主な勤務地についてお答えください。(○は1つ) (n=1,062)

31.7	30分未満	30.1	1時間～1時間30分未満	0.9	2時間以上
30.9	30分～1時間未満	5.6	1時間30分～2時間未満	0.7	(無回答)

F 9 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近いほうをお答えください。(○は1つ)

[注: 複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅など(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、普段利用している路線名を答えてください。普段利用している路線が定かでない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。]

10.4	東海道線・横須賀線	19.8	市営地下鉄線(ブルーライン・グリーンライン)
8.5	横浜線	0.9	南武線
5.0	東横線	0.9	金沢シーサイドライン
7.4	田園都市線・こどもの国線	-	鶴見線
4.8	京浜東北線〔横浜～鶴見〕	0.5	みなとみらい線
8.4	根岸線〔横浜～大船〕	1.4	その他・駅名
15.3	京浜急行線	(具体的に)	
14.3	相鉄線〔本線・いずみ野線〕	0.5	わからない
			1.9 (無回答)

ご協力ありがとうございました。

II. 調査の結果

1. 市政

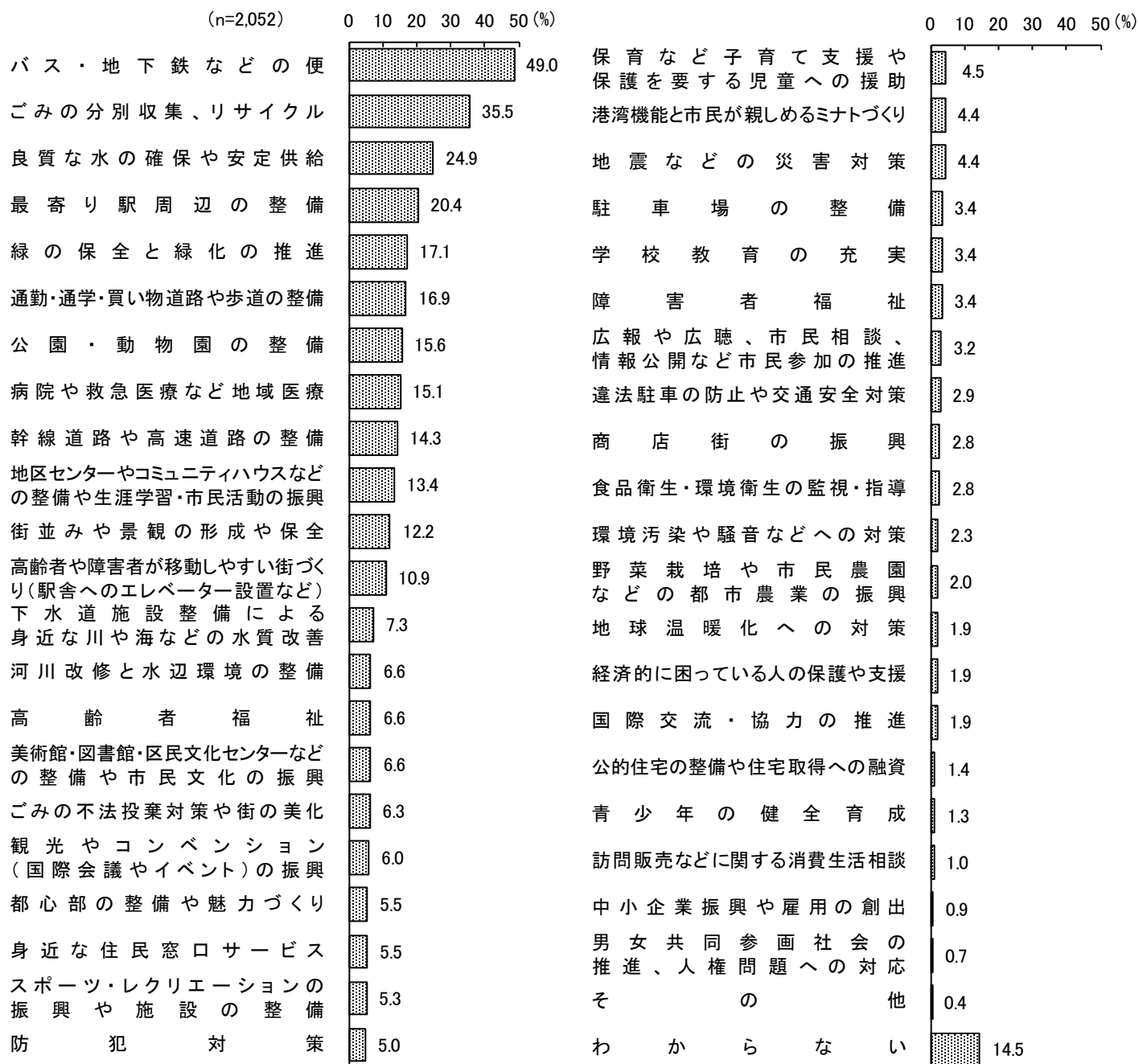
(1) 市政への満足度

問11 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(〇はいくつでも)

「バス・地下鉄などの便」が1位

市政への満足度について最も満足度が高いのは、「バス・地下鉄などの便」(49.0%)で、次いで「ごみの分別収集、リサイクル」(35.5%)、「良質な水の確保や安定供給」(24.9%)、「最寄り駅周辺の整備」(20.4%)などの順となっている。

図1-1-1 市政への満足度 [全体] (複数回答)



①市政への満足度〔経年変化〕

「バス・地下鉄などの便」は12年連続1位

経年変化について単純な比較はできないが、平成15年からの上位5項目をみると、「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」は、安定して上位に挙げられる項目といえる。「バス・地下鉄などの便」は、前回から1.9ポイント増加して、12年連続して1位となっている。2位の「ごみの分別収集、リサイクル」も12年連続、3位の「良質な水の確保や安定供給」と4位の「最寄り駅周辺の整備」は7年連続同じ順位となっている。

②市政への満足度〔ブロック別〕（注）ブロック別の構成は回収分析標本構成（P3）参照。

「バス・地下鉄などの便」は全ブロックで1位

ブロック別にみると、全ブロックで「バス・地下鉄などの便」が1位、「ごみの分別収集、リサイクル」が2位となっている。また、北部では「緑の保全と緑化の推進」が3位となっている。

③市政への満足度〔区別〕

「バス・地下鉄などの便」は16区で1位

区別にみると、18区中16区で「バス・地下鉄などの便」が1位となっており、旭区と瀬谷区では「ごみの分別収集、リサイクル」が1位となっている。また、都筑区で「緑の保全と緑化の推進」、戸塚区で「最寄り駅周辺の整備」が2位となっている。

表 1-1-1 市政への満足度 [上位 5 位の経年変化] (複数回答)

年度	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 15 年		バス・地下鉄などの便 30.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.2	公園・動物園の整備 18.4	地区センターやコミュニティ ハウスなどの市民利用施設 の整備や市民活動の振興 14.2	美術館・図書館などの整備 13.2
16 年		バス・地下鉄などの便 43.7	公園・動物園の整備 22.5	幹線道路や高速道路の整備 21.8	ごみの分別収集、リサイクル 20.6	通勤・通学・買い物道路や 歩道の整備 19.9
17 年		バス・地下鉄などの便 35.5	ごみの分別収集、リサイクル 32.3	公園・動物園の整備 19.6	良質な水の確保や安定供給 17.5	地区センターやコミュニティ ハウスなどの市民利用施設 の整備や市民活動の振興 16.5
18 年		ごみの分別収集、リサイクル 34.6	バス・地下鉄などの便 31.2	公園・動物園の整備 19.2	良質な水の確保や安定供給 16.8	最寄駅の周辺の整備 15.7
19 年		ごみの分別収集、リサイクル 37.1	バス・地下鉄などの便 32.9	良質な水の確保や安定供給 16.6	公園・動物園の整備 15.8	最寄駅の周辺の整備 14.6
20 年		バス・地下鉄などの便 39.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.0	良質な水の確保や安定供給 20.1	最寄駅の周辺の整備 18.2	公園・動物園の整備 16.7
21 年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 21.4	公園・動物園の整備 19.4	最寄駅の周辺の整備 19.0
22 年		バス・地下鉄などの便 43.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	最寄り駅周辺の整備 21.1	公園・動物園の整備 19.3	良質な水の確保や安定供給 18.3
23 年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 34.1	良質な水の確保や安定供給 20.8	最寄り駅周辺の整備 20.5	公園・動物園の整備 16.4
24 年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	最寄り駅周辺の整備 20.7	良質な水の確保や安定供給 20.2	公園・動物園の整備 18.7
25 年		バス・地下鉄などの便 45.2	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.2	最寄り駅周辺の整備 19.3	公園・動物園の整備 18.0
26 年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 18.8	最寄り駅周辺の整備 16.5	通勤・通学・買い物道路や 歩道の整備 15.7
27 年		バス・地下鉄などの便 48.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 18.8	幹線道路や高速道路の整備 17.0
28 年		バス・地下鉄などの便 50.1	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.7	最寄り駅周辺の整備 19.9	公園・動物園の整備 18.4
29 年		バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 21.3	公園・動物園の整備 19.3
30 年		バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
令和元年		バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1

表 1-1-2 市政への満足度 [ブロック別、区別] (複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体		(n=2,052)	バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
ブロック別	東部	(n=518)	バス・地下鉄などの便 49.8	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 24.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 15.4	最寄り駅周辺の整備/病院や救急医療など地域医療 14.3
	西部	(n=575)	バス・地下鉄などの便 43.3	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 24.7	最寄り駅周辺の整備 23.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 14.4
	南部	(n=421)	バス・地下鉄などの便 50.6	ごみの分別収集、リサイクル 41.3	良質な水の確保や安定供給 26.8	最寄り駅周辺の整備 22.8	緑の保全と緑化の推進/病院や救急医療など地域医療 19.7
	北部	(n=538)	バス・地下鉄などの便 53.0	ごみの分別収集、リサイクル 32.9	緑の保全と緑化の推進 26.0	良質な水の確保や安定供給 23.6	最寄り駅周辺の整備 21.4
区別	鶴見区	(n=167)	バス・地下鉄などの便 43.7	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 20.4	最寄り駅周辺の整備 14.4	病院や救急医療など地域医療/地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興 13.2
	神奈川区	(n=137)	バス・地下鉄などの便 48.2	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 28.5	幹線道路や高速道路の整備/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 18.2	
	西区	(n=45)	バス・地下鉄などの便 51.1	ごみの分別収集、リサイクル 33.3	良質な水の確保や安定供給 28.9	街並みや景観の形成や保全 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/最寄り駅周辺の整備 22.2
	中区	(n=69)	バス・地下鉄などの便 53.6	ごみの分別収集、リサイクル 31.9	良質な水の確保や安定供給 23.2	公園・動物園の整備 20.3	街並みや景観の形成や保全 18.8
	南区	(n=100)	バス・地下鉄などの便 59.0	ごみの分別収集、リサイクル 36.0	良質な水の確保や安定供給 26.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.0	病院や救急医療など地域医療 19.0
	港南区	(n=127)	バス・地下鉄などの便 70.9	ごみの分別収集、リサイクル 46.5	最寄り駅周辺の整備 30.7	病院や救急医療など地域医療 25.2	良質な水の確保や安定供給 22.0
	保土ヶ谷区	(n=102)	バス・地下鉄などの便 42.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.3	良質な水の確保や安定供給 23.5	公園・動物園の整備 15.7	最寄り駅周辺の整備 14.7
	旭区	(n=129)	ごみの分別収集、リサイクル 32.6	バス・地下鉄などの便 28.7	良質な水の確保や安定供給 24.8	最寄り駅周辺の整備 19.4	公園・動物園の整備 17.8
	磯子区	(n=92)	バス・地下鉄などの便 51.1	ごみの分別収集、リサイクル 44.6	良質な水の確保や安定供給 28.3	最寄り駅周辺の整備 21.7	緑の保全と緑化の推進/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 19.6
	金沢区	(n=130)	バス・地下鉄などの便 36.2	ごみの分別収集、リサイクル 35.4	良質な水の確保や安定供給 28.5	公園・動物園の整備 26.9	緑の保全と緑化の推進 23.8
	港北区	(n=175)	バス・地下鉄などの便 55.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.7	良質な水の確保や安定供給 25.1	幹線道路や高速道路の整備 16.0	最寄り駅周辺の整備 14.9
	緑区	(n=87)	バス・地下鉄などの便 50.6	ごみの分別収集、リサイクル 36.8	良質な水の確保や安定供給 25.3	緑の保全と緑化の推進 23.0	公園・動物園の整備 19.5
	青葉区	(n=159)	バス・地下鉄などの便 47.2	ごみの分別収集、リサイクル 29.6	緑の保全と緑化の推進 26.4	良質な水の確保や安定供給 25.2	幹線道路や高速道路の整備 22.6
	都筑区	(n=117)	バス・地下鉄などの便 59.0	緑の保全と緑化の推進 47.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 41.0	最寄り駅周辺の整備 35.9	街並みや景観の形成や保全/ごみの分別収集、リサイクル 33.3
	戸塚区	(n=178)	バス・地下鉄などの便 56.7	最寄り駅周辺の整備 32.0	ごみの分別収集、リサイクル 31.5	良質な水の確保や安定供給 25.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/病院や救急医療など地域医療 18.5
	栄区	(n=72)	バス・地下鉄などの便 40.3	ごみの分別収集、リサイクル 38.9	良質な水の確保や安定供給 30.6	緑の保全と緑化の推進 22.2	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興 19.4
	泉区	(n=90)	バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 36.7	良質な水の確保や安定供給 25.6	最寄り駅周辺の整備 22.2	公園・動物園の整備/地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興 16.7
	瀬谷区	(n=76)	ごみの分別収集、リサイクル 42.1	バス・地下鉄などの便 27.6	良質な水の確保や安定供給 23.7	最寄り駅周辺の整備 22.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/緑の保全と緑化の推進 15.8

④市政への満足度 [年齢別]

「バス・地下鉄などの便」は、全ての年齢で1位

年齢別にみると、全ての年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、30代では「公園・動物園の整備」が3位となっている。

⑤市政への満足度 [性・年齢別]

男性 18～29歳、30代で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位

性・年齢別にみると、全ての性・年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、男性 18～29歳、30代で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位となっている。

表 1-1-3 市政への満足度 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,052)		バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
年齢別	18～29歳 (n=230)	バス・地下鉄などの便 50.0	最寄り駅周辺の整備 24.8	ごみの分別収集、リサイクル 23.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.5	街並みや景観の形成や保全 17.4
	30代 (n=228)	バス・地下鉄などの便 45.6	ごみの分別収集、リサイクル 27.6	公園・動物園の整備 25.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.6	良質な水の確保や安定供給 19.3
	40代 (n=387)	バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 26.6	最寄り駅周辺の整備 21.4	公園・動物園の整備 18.3	幹線道路や高速道路の整備 17.8
	50代 (n=349)	バス・地下鉄などの便 47.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.2	良質な水の確保や安定供給 24.4	最寄り駅周辺の整備 24.1	緑の保全と緑化の推進 23.2
	60代 (n=327)	バス・地下鉄などの便 49.5	ごみの分別収集、リサイクル 41.6	良質な水の確保や安定供給 32.1	緑の保全と緑化の推進 18.7	公園・動物園の整備/病院や救急医療など地域医療 15.6
	70歳以上 (n=531)	バス・地下鉄などの便 55.2	ごみの分別収集、リサイクル 46.7	良質な水の確保や安定供給 33.5	病院や救急医療など地域医療 24.7	最寄り駅周辺の整備/緑の保全と緑化の推進 20.2
男性計 (n=923)	18～29歳 (n=106)	バス・地下鉄などの便 48.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.4	最寄り駅周辺の整備 24.5	ごみの分別収集、リサイクル 22.6	幹線道路や高速道路の整備 17.0
	30代 (n=105)	バス・地下鉄などの便 43.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.7	最寄り駅周辺の整備/ごみの分別収集、リサイクル 22.9	公園・動物園の整備 19.0	
	40代 (n=174)	バス・地下鉄などの便 35.6	ごみの分別収集、リサイクル 24.7	幹線道路や高速道路の整備/良質な水の確保や安定供給 18.4	最寄り駅周辺の整備 16.1	
	50代 (n=169)	バス・地下鉄などの便 43.8	ごみの分別収集、リサイクル 37.3	緑の保全と緑化の推進 26.0	最寄り駅周辺の整備/良質な水の確保や安定供給 24.9	
	60代 (n=146)	バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 40.4	良質な水の確保や安定供給 34.2	病院や救急医療など地域医療 16.4	緑の保全と緑化の推進/地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興 15.1
	70歳以上 (n=223)	バス・地下鉄などの便 56.1	ごみの分別収集、リサイクル 48.0	良質な水の確保や安定供給 38.6	病院や救急医療など地域医療 28.7	最寄り駅周辺の整備 23.8
	女性計 (n=1,129)	バス・地下鉄などの便 51.7	ごみの分別収集、リサイクル 36.1	良質な水の確保や安定供給 23.6	最寄り駅周辺の整備 20.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.6
女性計	18～29歳 (n=124)	バス・地下鉄などの便 51.6	最寄り駅周辺の整備/ごみの分別収集、リサイクル 25.0	街並みや景観の形成や保全 24.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.2	
	30代 (n=123)	バス・地下鉄などの便 47.2	ごみの分別収集、リサイクル 31.7	公園・動物園の整備 30.9	良質な水の確保や安定供給 22.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 16.3
	40代 (n=213)	バス・地下鉄などの便 49.3	ごみの分別収集、リサイクル 28.2	最寄り駅周辺の整備 25.8	公園・動物園の整備 21.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.2
	50代 (n=180)	バス・地下鉄などの便 50.0	ごみの分別収集、リサイクル 33.3	良質な水の確保や安定供給 23.9	最寄り駅周辺の整備 23.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.7
	60代 (n=181)	バス・地下鉄などの便 54.7	ごみの分別収集、リサイクル 42.5	良質な水の確保や安定供給 30.4	緑の保全と緑化の推進 21.5	公園・動物園の整備 19.3
	70歳以上 (n=308)	バス・地下鉄などの便 54.5	ごみの分別収集、リサイクル 45.8	良質な水の確保や安定供給 29.9	病院や救急医療など地域医療 21.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 18.8

⑥市政への満足度 [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期、夫婦だけ(1)で「公園・動物園の整備」が2位

ライフステージ別にみると、全てのステージで「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、家族形成期、家族成長前期、夫婦だけ(1)で「公園・動物園の整備」が2位となっている。

表1-1-4 市政への満足度 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,052)		バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
子どもなし計 (n=571)		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 29.9	最寄り駅周辺の整備 23.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/良質な水の確保や安定供給	21.5
単身(1) 40歳未満 (n=225)		バス・地下鉄などの便 51.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/最寄り駅周辺の整備	27.1	ごみの分別収集、リサイクル 25.3	良質な水の確保や安定供給 16.9
単身(2) 40~64歳 (n=137)		バス・地下鉄などの便 51.8	ごみの分別収集、リサイクル 32.8	良質な水の確保や安定供給 24.8	最寄り駅周辺の整備 22.6	緑の保全と緑化の推進 19.0
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=42)		バス・地下鉄などの便 57.1	公園・動物園の整備 21.4	幹線道路や高速道路の整備/最寄り駅周辺の整備/街並みや景観の形成や保全/ごみの分別収集、リサイクル		19.0
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=98)		バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	緑の保全と緑化の推進/良質な水の確保や安定供給	22.4	幹線道路や高速道路の整備 20.4
高齢子どもなし (n=69)		バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 43.5	良質な水の確保や安定供給 33.3	緑の保全と緑化の推進 24.6	病院や救急医療など地域医療 21.7
子どもあり計 (n=1,364)		バス・地下鉄などの便 48.5	ごみの分別収集、リサイクル 37.8	良質な水の確保や安定供給 26.9	最寄り駅周辺の整備 19.7	緑の保全と緑化の推進 17.7
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=122)		バス・地下鉄などの便 42.6	公園・動物園の整備 32.0	ごみの分別収集、リサイクル 23.8	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 21.3	良質な水の確保や安定供給 17.2
家族成長前期 第一子が小学生 (n=131)		バス・地下鉄などの便 41.2	公園・動物園の整備 26.7	ごみの分別収集、リサイクル 23.7	最寄り駅周辺の整備/地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興	19.1
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=133)		バス・地下鉄などの便 47.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	幹線道路や高速道路の整備 21.1	良質な水の確保や安定供給 18.8	最寄り駅周辺の整備 18.0
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=95)		バス・地下鉄などの便 53.7	ごみの分別収集、リサイクル 32.6	最寄り駅周辺の整備 26.3	緑の保全と緑化の推進 24.2	公園・動物園の整備 18.9
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=71)		バス・地下鉄などの便 29.6	ごみの分別収集、リサイクル 28.2	良質な水の確保や安定供給/ごみの分別収集、リサイクル	25.4	幹線道路や高速道路の整備/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/緑の保全と緑化の推進 16.9
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=238)		バス・地下鉄などの便 45.4	ごみの分別収集、リサイクル 38.7	良質な水の確保や安定供給 29.4	最寄り駅周辺の整備 21.0	緑の保全と緑化の推進 16.8
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=574)		バス・地下鉄などの便 54.4	ごみの分別収集、リサイクル 47.0	良質な水の確保や安定供給 34.3	病院や救急医療など地域医療 23.9	緑の保全と緑化の推進 20.7

⑦市政への満足度 [世帯類型別]

親と同居(1)で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位

世帯類型別にみると、全ての世帯類型で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、親と同居(1)で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位、祖父母と親と子で「幹線道路や高速道路の整備」が3位となっている。

表1-1-5 市政への満足度 [世帯類型別] (複数回答)

属性	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,052)	バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=47)	バス・地下鉄などの便 46.8	最寄り駅周辺の整備 23.4	ごみの分別収集、リサイクル 19.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.0	街並みや景観の形成や保全/公園・動物園の整備/緑の保全と緑化の推進 12.8
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=85)	バス・地下鉄などの便 49.4	ごみの分別収集、リサイクル 36.5	良質な水の確保や安定供給 22.4	幹線道路や高速道路の整備 20.0	最寄り駅周辺の整備 15.3
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=146)	バス・地下鉄などの便 54.8	ごみの分別収集、リサイクル 45.9	良質な水の確保や安定供給 26.7	病院や救急医療など地域医療 21.9	緑の保全と緑化の推進 17.8
夫婦のみ(1) 子なし (n=145)	バス・地下鉄などの便 55.2	ごみの分別収集、リサイクル 31.7	良質な水の確保や安定供給 23.4	緑の保全と緑化の推進 19.3	最寄り駅周辺の整備 18.6
夫婦のみ(2) 子あり (n=342)	バス・地下鉄などの便 52.6	ごみの分別収集、リサイクル 42.4	良質な水の確保や安定供給 34.2	最寄り駅周辺の整備 19.9	緑の保全と緑化の推進 19.0
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=474)	バス・地下鉄などの便 44.1	ごみの分別収集、リサイクル 27.2	公園・動物園の整備 24.1	最寄り駅周辺の整備 20.7	良質な水の確保や安定供給 17.3
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=289)	バス・地下鉄などの便 50.2	ごみの分別収集、リサイクル 46.0	良質な水の確保や安定供給 33.9	最寄り駅周辺の整備 22.5	緑の保全と緑化の推進 20.8
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=152)	バス・地下鉄などの便 52.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.9	最寄り駅周辺の整備/ごみの分別収集、リサイクル 26.3		良質な水の確保や安定供給 19.1
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=71)	バス・地下鉄などの便 46.5	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	最寄り駅周辺の整備 28.2	緑の保全と緑化の推進 26.8	良質な水の確保や安定供給 25.4
祖父母と親と子 3世代 (n=117)	バス・地下鉄などの便 41.0	ごみの分別収集、リサイクル 29.1	幹線道路や高速道路の整備 23.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2	良質な水の確保や安定供給 17.1

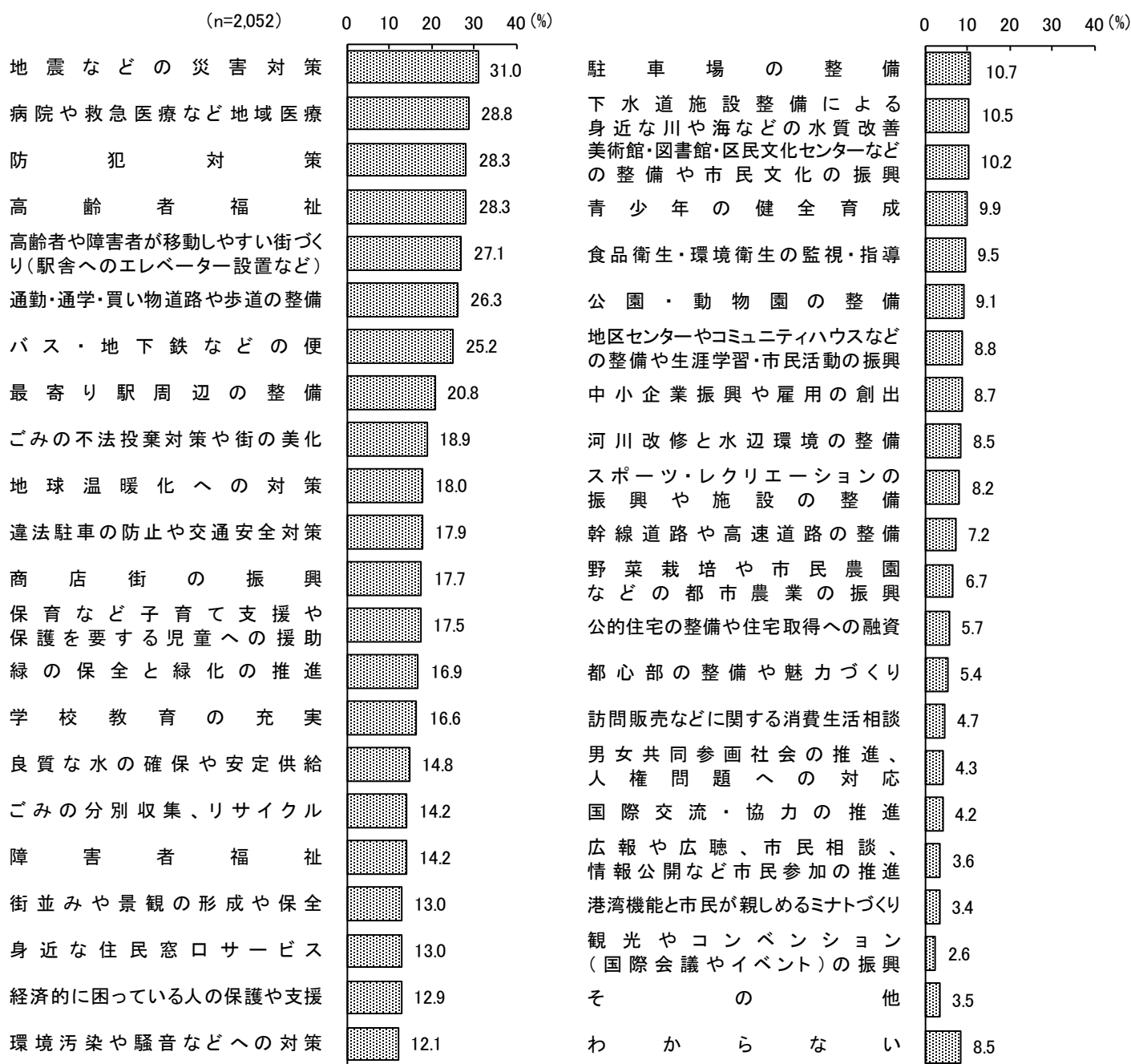
(2) 市政への要望

問12 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

「地震などの災害対策」が1位

市政への要望については、「地震などの災害対策」(31.0%)が3割を超えて最も多く、次いで「病院や救急医療など地域医療」(28.8%)、「防犯対策」と「高齢者福祉」(ともに28.3%)などの順となっている。

図1-2-1 市政への要望 [全体] (複数回答)



①市政への要望 [経年変化]

「地震などの災害対策」は9年連続の1位

経年変化をみると、「地震などの災害対策」(31.0%)は東日本大震災のあった平成23年以降、9年連続で1位となっている。また、「病院や救急医療など地域医療」(28.8%)が2位と、平成29年の5位、28・30年の4位から順位を上げている。

表1-2-1 市政への要望 [上位5位の経年変化] (複数回答)

年度	1位	2位	3位	4位	5位
平成15年	防犯対策 36.2	違法駐車防止や交通安全対策 33.3	高齢者福祉 31.0	地震などの災害対策 29.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.0
16年	防犯対策 51.7	違法駐車防止や交通安全対策 49.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 45.7	高齢者福祉 41.2	地震などの災害対策 41.1
17年	防犯対策 42.6	地震などの災害対策 37.1	違法駐車防止や交通安全対策 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 32.0	高齢者福祉 31.6
18年	防犯対策 37.2	地震などの災害対策 33.2	病院や救急医療など地域医療 31.5	高齢者福祉 29.3	駐車場の整備/ごみの不法投棄対策や街の美化 26.1
19年	防犯対策 36.9	病院や救急医療など地域医療 33.2	高齢者福祉 33.1	地震などの災害対策 31.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.7
20年	病院や救急医療など地域医療 41.0	地震などの災害対策 39.8	高齢者福祉 38.2	防犯対策 34.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 29.5
21年	高齢者福祉 35.5	病院や救急医療など地域医療 35.1	防犯対策 29.8	地震などの災害対策 28.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.9
22年	病院や救急医療など地域医療 34.8	高齢者福祉 31.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	地震などの災害対策 25.4	ごみの不法投棄対策や街の美化/防犯対策 25.2
23年	地震などの災害対策 44.9	病院や救急医療など地域医療 34.5	高齢者福祉 31.9	防犯対策 30.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.2
24年	地震などの災害対策 43.9	病院や救急医療など地域医療 31.2	防犯対策 28.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.1	高齢者福祉 26.9
25年	地震などの災害対策 37.5	病院や救急医療など地域医療 31.4	防犯対策 28.8	高齢者福祉 27.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.0
26年	地震などの災害対策 33.3	病院や救急医療など地域医療 25.2	防犯対策 24.2	バス・地下鉄などの便 23.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.7
27年	地震などの災害対策 32.9	高齢者福祉 26.8	病院や救急医療など地域医療 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	防犯対策 25.9
28年	地震などの災害対策 36.6	高齢者福祉 28.1	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	病院や救急医療など地域医療 25.4	防犯対策 25.1
29年	地震などの災害対策 30.7	高齢者福祉 27.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 27.5	防犯対策 25.0	病院や救急医療など地域医療 24.5
30年	地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
令和元年	地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策/高齢者福祉	28.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1

②市政への要望〔ブロック別〕

西部では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「病院や救急医療など地域医療」が同率の1位
ブロック別にみると、西部以外のブロックで「地震などの災害対策」は1位となっており、西部では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「病院や救急医療など地域医療」が同率の1位となっている。

③市政への要望〔区別〕

「地震などの災害対策」は6区で1位

区別にみると、鶴見区をはじめ6区で「地震などの災害対策」が1位となっている。また、鶴見区（同率1位）、戸塚区、泉区では「病院や救急医療など地域医療」、鶴見区（同率1位）、西区、青葉区では「高齢者や障害者が移動しやすい街づくり」、旭区、戸塚区（同率1位）、瀬谷区では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、中区、保土ヶ谷区では「防犯対策」、南区、磯子区では「高齢者福祉」、港北区では「最寄り駅周辺の整備」、栄区では「バス・地下鉄などの便」がそれぞれ1位となっている。

表 1-2-2 市政への要望 [ブロック別、区別] (複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体		(n=2,052)	地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策/高齢者福祉 28.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1	
ブロック別	東部	(n=518)	地震などの災害対策 28.4	防犯対策 27.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.0	病院や救急医療など地域医療 26.6	高齢者福祉 26.3
	西部	(n=575)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/病院や救急医療など地域医療 31.0	防犯対策 27.7	高齢者福祉 27.1	地震などの災害対策 27.0	
	南部	(n=421)	地震などの災害対策 34.9	高齢者福祉 32.1	病院や救急医療など地域医療 30.6	防犯対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.8	
	北部	(n=538)	地震などの災害対策 34.9	防犯対策 30.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 29.7	高齢者福祉 28.6	病院や救急医療など地域医療 27.3
区別	鶴見区	(n=167)	病院や救急医療など地域医療/地震などの災害対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 28.7	防犯対策 28.1	高齢者福祉 25.1		
	神奈川区	(n=137)	地震などの災害対策 32.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.5	病院や救急医療など地域医療/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 25.5	最寄り駅周辺の整備 24.1	
	西区	(n=45)	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 33.3	高齢者福祉 26.7	商店街の振興/地震などの災害対策 24.4	防犯対策/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.0	
	中区	(n=69)	防犯対策 40.6	バス・地下鉄などの便 36.2	高齢者福祉 29.0	病院や救急医療など地域医療 27.5	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 24.6
	南区	(n=100)	高齢者福祉 32.0	病院や救急医療など地域医療 30.0	地震などの災害対策 28.0	防犯対策 26.0	バス・地下鉄などの便/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 25.0
	港南区	(n=127)	地震などの災害対策 37.0	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 32.3	高齢者福祉 31.5	病院や救急医療など地域医療 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.6
	保土ヶ谷区	(n=102)	防犯対策 33.3	病院や救急医療など地域医療 31.4	最寄り駅周辺の整備 30.4	地震などの災害対策 28.4	バス・地下鉄などの便 27.5
	旭区	(n=129)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.8	バス・地下鉄などの便/病院や救急医療など地域医療 29.5	高齢者福祉 28.7	地震などの災害対策 27.9	
	磯子区	(n=92)	高齢者福祉 34.8	病院や救急医療など地域医療 31.5	地震などの災害対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 28.3	防犯対策 27.2	
	金沢区	(n=130)	地震などの災害対策 39.2	病院や救急医療など地域医療 33.1	高齢者福祉 30.0	最寄り駅周辺の整備 28.5	防犯対策 26.9
	港北区	(n=175)	最寄り駅周辺の整備 34.3	地震などの災害対策 33.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.0	病院や救急医療など地域医療 31.4	防犯対策 30.3
	緑区	(n=87)	地震などの災害対策 37.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 36.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 33.3	最寄り駅周辺の整備 32.2	防犯対策 28.7
	青葉区	(n=159)	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 35.2	高齢者福祉 34.0	地震などの災害対策 32.1	バス・地下鉄などの便 30.8	病院や救急医療など地域医療 29.6
	都筑区	(n=117)	地震などの災害対策 39.3	防犯対策/高齢者福祉 33.3	地球温暖化への対策 29.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 26.5	
	戸塚区	(n=178)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/病院や救急医療など地域医療 28.1	高齢者福祉 27.5	防犯対策 27.0	バス・地下鉄などの便/地震などの災害対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 26.4	
	栄区	(n=72)	バス・地下鉄などの便 41.7	防犯対策 38.9	高齢者福祉 33.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/地震などの災害対策 31.9	
	泉区	(n=90)	病院や救急医療など地域医療 42.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 37.8	防犯対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 28.9	地震などの災害対策 25.6	
瀬谷区	(n=76)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 39.5	高齢者福祉 32.9	地震などの災害対策/防犯対策/病院や救急医療など地域医療 26.3			

④市政への要望 [年齢別]

18～29歳では「最寄り駅周辺の整備」が1位

年齢別にみると、18～29歳では「最寄り駅周辺の整備」が1位となっている。また、30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」、40代では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、
「防犯対策」、50代と70歳以上では「高齢者福祉」がそれぞれ1位となっている。

⑤市政への要望 [性・年齢別]

女性30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

性・年齢別にみると、女性30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位となっている。また、男性30代、女性18～29歳、男性18～29歳では「最寄り駅周辺の整備」（男性18～29歳は「バス・地下鉄などの便」と同率）、男性40代では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」がそれぞれ1位となっている。

表1-2-3 市政への要望 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,052)	地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策/高齢者福祉 28.3		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1
	18～29歳 (n=230)	最寄り駅周辺の整備 26.1	バス・地下鉄などの便 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.7	防犯対策 20.9	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 20.4
	30代 (n=228)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 35.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.2	学校教育の充実 31.6	バス・地下鉄などの便/防犯対策 29.4	
	40代 (n=387)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/防犯対策 29.7		地震などの災害対策 28.4	病院や救急医療など地域医療 25.8	学校教育の充実 25.1
	50代 (n=349)	高齢者福祉 39.3	地震などの災害対策 38.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 34.4	病院や救急医療など地域医療 33.8	防犯対策 33.5
	60代 (n=327)	地震などの災害対策 37.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 37.3	病院や救急医療など地域医療/高齢者福祉 35.5		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.6
	70歳以上 (n=531)	高齢者福祉 36.5	病院や救急医療など地域医療 31.3	地震などの災害対策 29.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 29.2	防犯対策 27.1
	男性計 (n=923)	地震などの災害対策 28.0	防犯対策 27.7	病院や救急医療など地域医療 27.4	高齢者福祉 27.3	バス・地下鉄などの便 26.2
性別	18～29歳 (n=106)	バス・地下鉄などの便/最寄り駅周辺の整備 24.5		駐車場の整備 19.8	防犯対策 18.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/地震などの災害対策 17.9
	30代 (n=105)	最寄り駅周辺の整備 30.5	バス・地下鉄などの便/学校教育の充実 27.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.7	違法駐車防止や交通安全対策/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 25.7	
	40代 (n=174)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.2	防犯対策 31.6	地震などの災害対策 27.0	学校教育の充実 25.9	病院や救急医療など地域医療 24.1
	50代 (n=169)	高齢者福祉 39.6	地震などの災害対策 36.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 32.0	防犯対策 31.4	病院や救急医療など地域医療 30.8
	60代 (n=146)	病院や救急医療など地域医療 33.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり/高齢者福祉 31.5	地震などの災害対策 30.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.1	
	70歳以上 (n=223)	高齢者福祉 38.6	病院や救急医療など地域医療 33.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 30.5	防犯対策 29.1	バス・地下鉄などの便 28.7
	女性計 (n=1,129)	地震などの災害対策 33.6	病院や救急医療など地域医療 30.0	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 29.4	高齢者福祉 29.1	防犯対策 28.8
性別	18～29歳 (n=124)	最寄り駅周辺の整備 27.4	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 26.6	バス・地下鉄などの便 25.0	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 24.2	防犯対策 22.6
	30代 (n=123)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 43.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 40.7	学校教育の充実/防犯対策 35.0		地震などの災害対策 33.3
	40代 (n=213)	地震などの災害対策 29.6	防犯対策 28.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.7	病院や救急医療など地域医療 27.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 25.8
	50代 (n=180)	地震などの災害対策 40.6	高齢者福祉 38.9	病院や救急医療など地域医療/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 36.7		防犯対策 35.6
	60代 (n=181)	地震などの災害対策 43.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 42.0	高齢者福祉 38.7	病院や救急医療など地域医療 37.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.6
	70歳以上 (n=308)	高齢者福祉 35.1	地震などの災害対策 31.5	病院や救急医療など地域医療 29.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 28.2	バス・地下鉄などの便/防犯対策 25.6

⑥市政への要望 [ライフステージ別]

家族形成期では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

ライフステージ別にみると、家族形成期では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位となっている。また、単身(1)では「バス・地下鉄などの便」、夫婦だけ(1)では「最寄り駅周辺の整備」、家族成長前期では「学校教育の充実」、家族成長中期では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」がそれぞれ1位となっている。

表1-2-4 市政への要望 [ライフステージ別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,052)		地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策/高齢者福祉 28.3		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1
子どもなし計 (n=571)		地震などの災害対策 28.0	バス・地下鉄などの便 27.7	防犯対策 27.5	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 24.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.2
単身(1) 40歳未満 (n=225)		バス・地下鉄などの便 28.4	最寄り駅周辺の整備 25.8	防犯対策 23.1	地震などの災害対策 21.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.4
単身(2) 40~64歳 (n=137)		防犯対策 35.0	地震などの災害対策 32.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 32.1	高齢者福祉 30.7	バス・地下鉄などの便 23.4
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=42)		最寄り駅周辺の整備 45.2	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 40.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 38.1	バス・地下鉄などの便 33.3	病院や救急医療など地域医療/学校教育の充実 28.6
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=98)		地震などの災害対策 38.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 35.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/防犯対策/病院や救急医療など地域医療 32.7		
高齢子どもなし (n=69)		高齢者福祉 37.7	商店街の振興/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 33.3	病院や救急医療など地域医療 31.9	バス・地下鉄などの便 30.4	
子どもあり計 (n=1,364)		地震などの災害対策 33.4	病院や救急医療など地域医療 32.8	高齢者福祉 31.4	防犯対策 29.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 28.7
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=122)		保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 57.4	学校教育の充実 46.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 39.3	病院や救急医療など地域医療 37.7	地震などの災害対策 34.4
家族成長前期 第一子が小学生 (n=131)		学校教育の充実 42.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 40.5	防犯対策 38.2	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 32.1	地震などの災害対策 31.3
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=133)		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.6	地震などの災害対策/学校教育の充実 29.3	防犯対策 27.8	病院や救急医療など地域医療 26.3	
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=95)		地震などの災害対策 33.7	病院や救急医療など地域医療 32.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 31.6	防犯対策 30.5	高齢者福祉 29.5
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=71)		高齢者福祉 39.4	地震などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 33.8	バス・地下鉄などの便/防犯対策 31.0		
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=238)		高齢者福祉 40.3	地震などの災害対策 38.7	病院や救急医療など地域医療 37.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 34.9	防犯対策 29.8
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=574)		高齢者福祉 35.5	病院や救急医療など地域医療 32.8	地震などの災害対策 32.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 31.7	防犯対策 28.7

⑦市政への要望 [世帯類型別]

ひとり暮らし(1)では「最寄り駅周辺の整備」が1位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし(1)では「最寄り駅周辺の整備」が1位となっている。また、夫婦のみ(1)、子と同居(1)では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、親と同居(1)では「バス・地下鉄などの便」、祖父母と親と子では「防犯対策」がそれぞれ1位となっている。

表1-2-5 市政への要望 [世帯類型別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,052)		地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策/高齢者福祉 28.3		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=47)		最寄り駅周辺の整備 27.7	防犯対策 23.4	バス・地下鉄などの便/都心部の整備や魅力づくり 21.3		緑の保全と緑化の推進 19.1
ひとり暮らし(2) 40~64歳 (n=85)		防犯対策 36.5	地震などの災害対策 32.9	高齢者福祉 29.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=146)		高齢者福祉 33.6	地震などの災害対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 26.7	病院や救急医療など地域医療 26.0		防犯対策 22.6
夫婦のみ(1) 子なし (n=145)		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 35.9	病院や救急医療など地域医療/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 35.2		地震などの災害対策 33.1	バス・地下鉄などの便 30.3
夫婦のみ(2) 子あり (n=342)		病院や救急医療など地域医療/高齢者福祉 36.5	地震などの災害対策 32.7		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 31.9	バス・地下鉄などの便 27.5
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=474)		通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.6	学校教育の充実 34.0	防犯対策 31.6	地震などの災害対策 31.4	保育など子育て支援や保護を要す/病院や救急医療など地域医療 31.2
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=289)		高齢者福祉 38.8	地震などの災害対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 35.6		病院や救急医療など地域医療 32.2	防犯対策 31.8
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=152)		バス・地下鉄などの便 32.9	最寄り駅周辺の整備 25.0	地震などの災害対策 23.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.4	違法駐車防止や交通安全対策/防犯対策 19.7
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=71)		地震などの災害対策 35.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 33.8	バス・地下鉄などの便/高齢者福祉 32.4		防犯対策 29.6
祖父母と親と子 3世代 (n=117)		防犯対策 34.2	地震などの災害対策 33.3	最寄り駅周辺の整備 27.4		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり/高齢者福祉 25.6

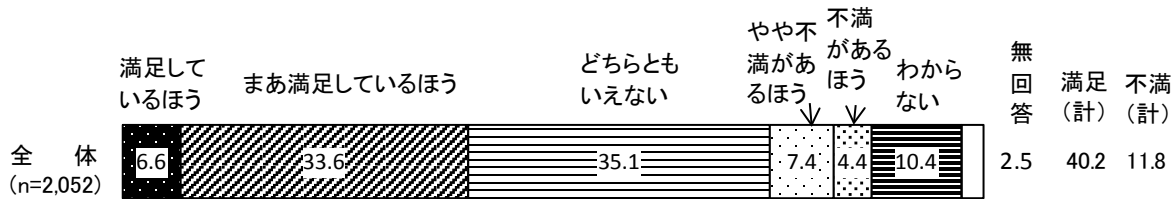
(3) 市政全体への満足度

問 13 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(〇は1つ)

『満足(計)』は4割を超える

市政全体への満足度については、「満足しているほう」(6.6%)と「まあ満足しているほう」(33.6%)を合わせた『満足(計)』(40.2%)は4割を超えている。また、「不満があるほう」(4.4%)と「やや不満があるほう」(7.4%)を合わせた『不満(計)』(11.8%)は1割を超えている。

図1-3-1 市政全体への満足度 [全体]

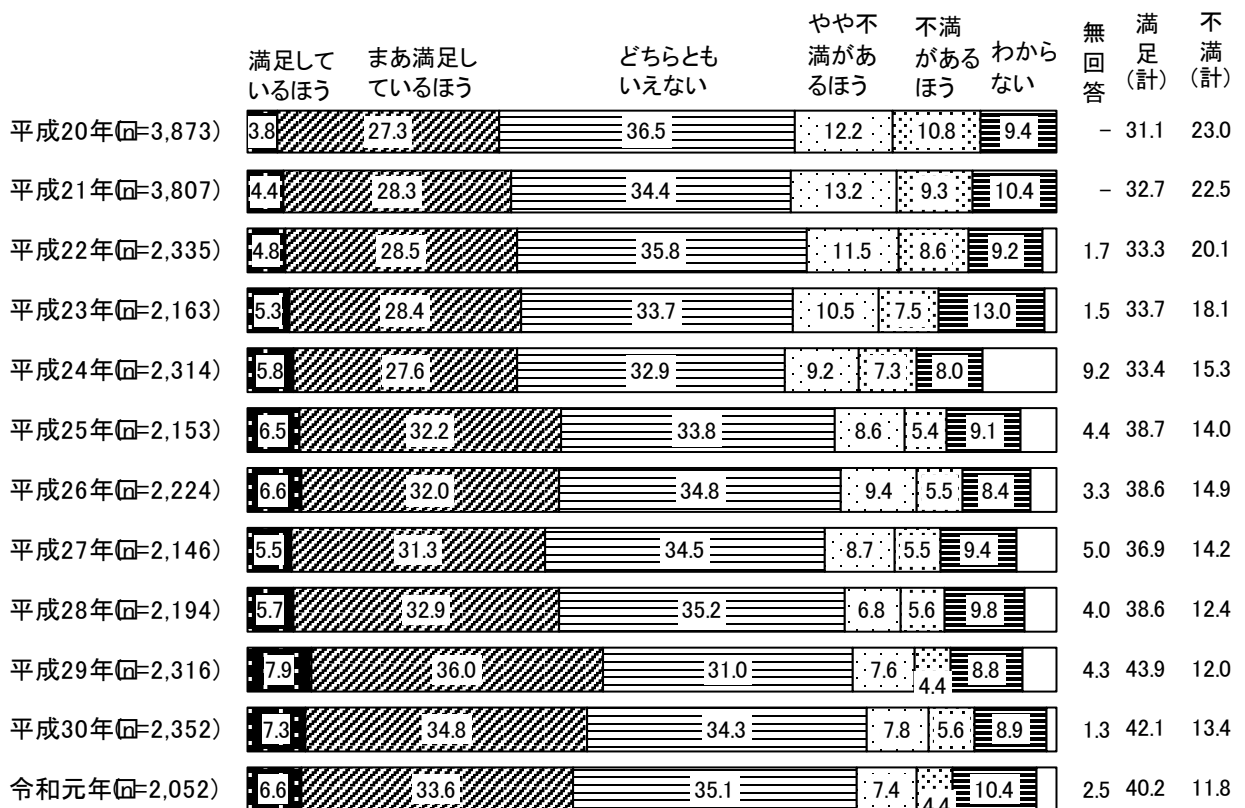


① 市政全体への満足度 [経年変化]

『満足(計)』は4割台を維持

経年変化をみると、前回調査から『満足(計)』(40.2%)は1.9ポイント減少したが、3年連続で4割台を維持している。

図1-3-2 市政全体への満足度 [経年変化]



(%)

②市政全体への満足度 [ブロック別]

『満足 (計)』は南部で4割半ば

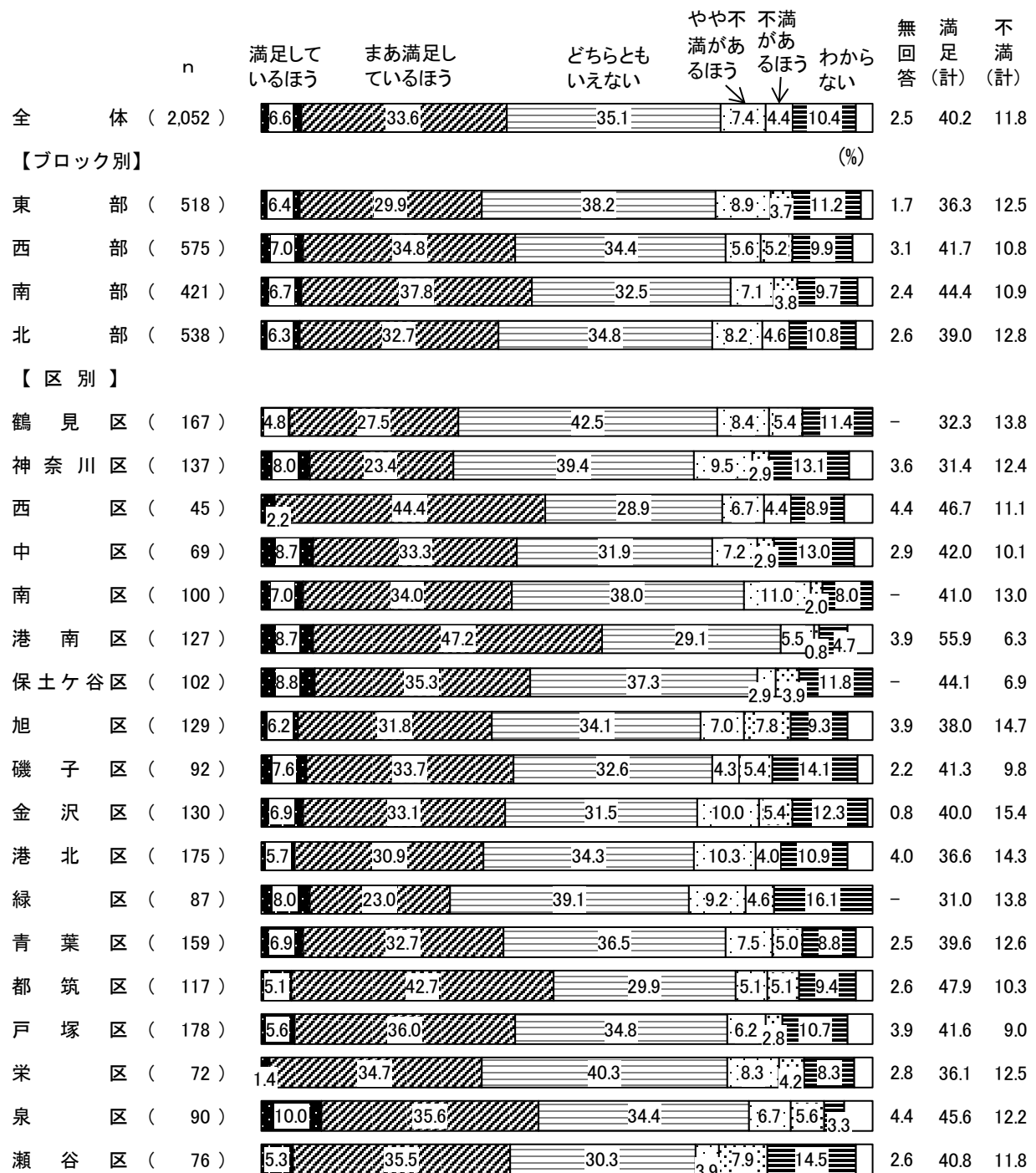
ブロック別にみると、『満足 (計)』は南部 (44.4%) で4割半ばと最も多く、東部 (36.3%) で3割半ばと最も少なくなっている。

③市政全体への満足度 [区別]

『満足 (計)』は港南区で5割半ば

区別にみると、『満足 (計)』は港南区 (55.9%) で5割半ばと最も多くなっている。

図1-3-3 市政全体への満足度 [ブロック別、区別]



④市政全体への満足度 [年齢別]

『満足 (計)』は70歳以上で5割を超える

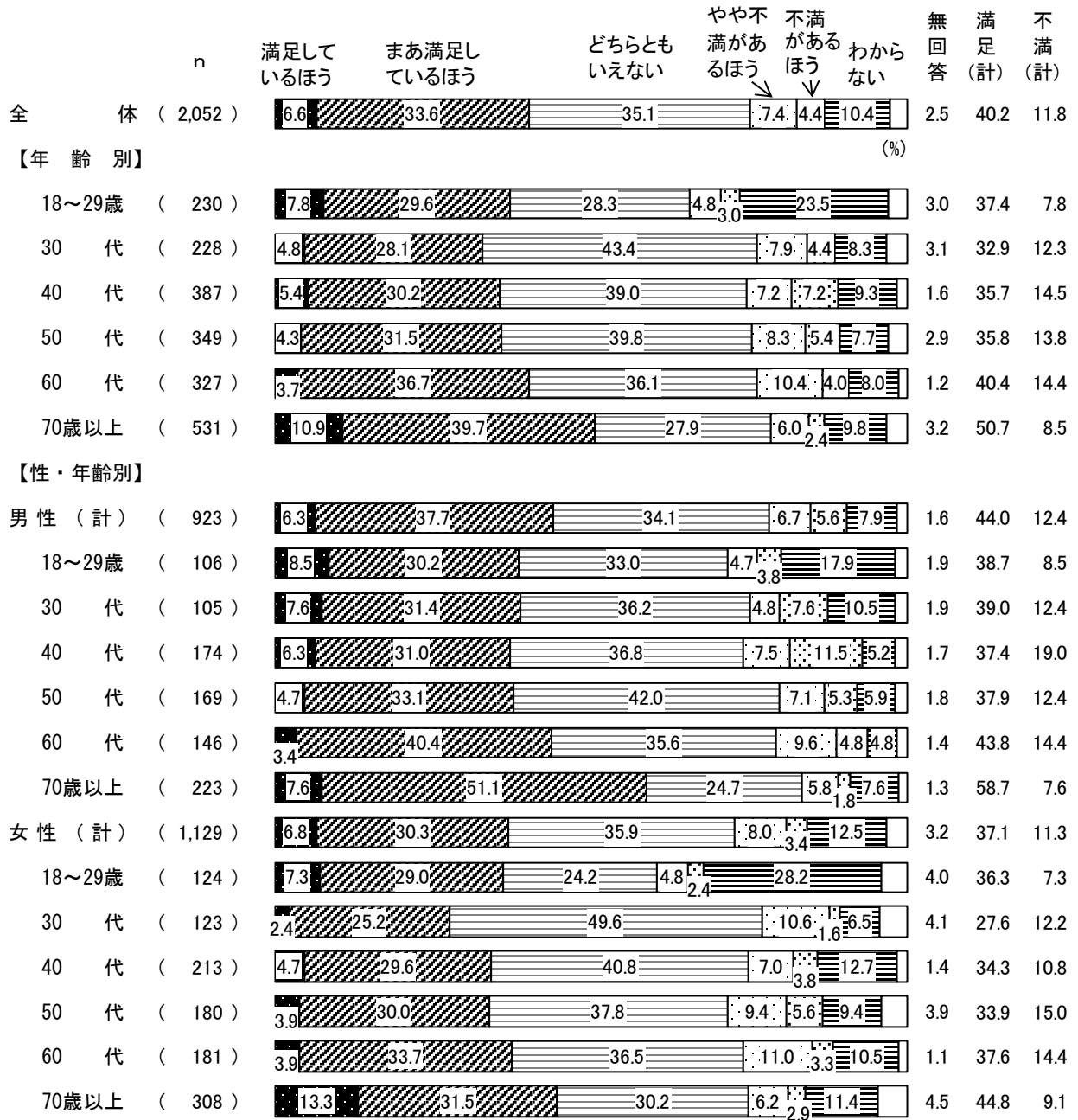
年齢別にみると、『満足 (計)』は70歳以上 (50.7%) で5割を超えて最も多くなっている。

⑤市政全体への満足度 [性・年齢別]

『満足 (計)』は男性70歳以上で6割近く

性・年齢別にみると、『満足 (計)』は男性70歳以上 (58.7%) で6割近くと最も多くなっている。一方、『不満 (計)』は男性40代 (19.0%) で2割近くと最も多い。

図1-3-4 市政全体への満足度 [年齢別、性・年齢別]

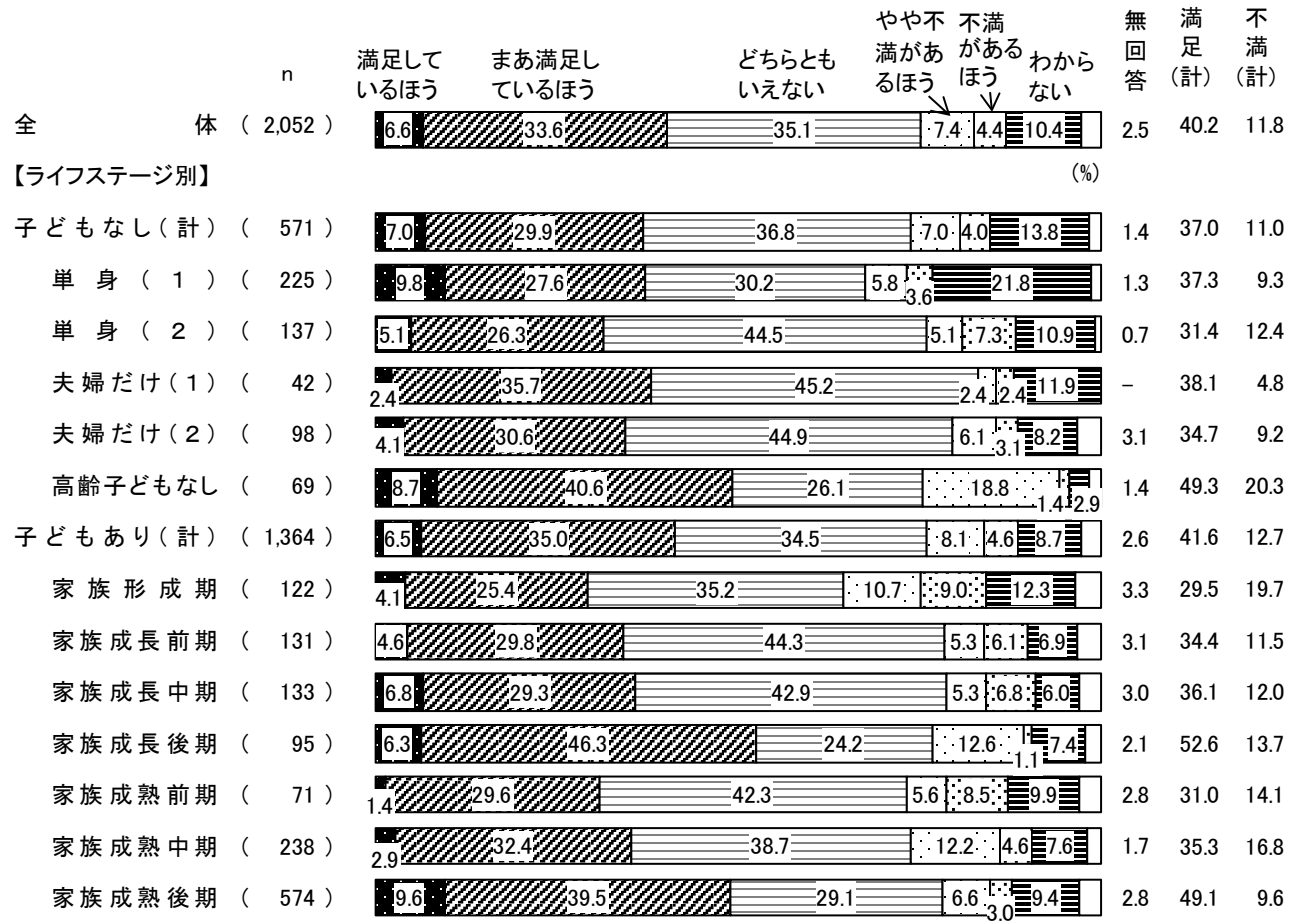


⑥市政全体への満足度 [ライフステージ別]

『満足 (計)』は家族成長後期で5割を超える

ライフステージ別にみると、『満足 (計)』は家族成長後期 (52.6%) で5割を超えて最も多くなっている。『不満 (計)』は高齢子どもなし (20.3%) で2割を超えて最も多いが、高齢子どもなしは『満足 (計)』も49.3%で5割近くと多くなっている。

図1-3-5 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

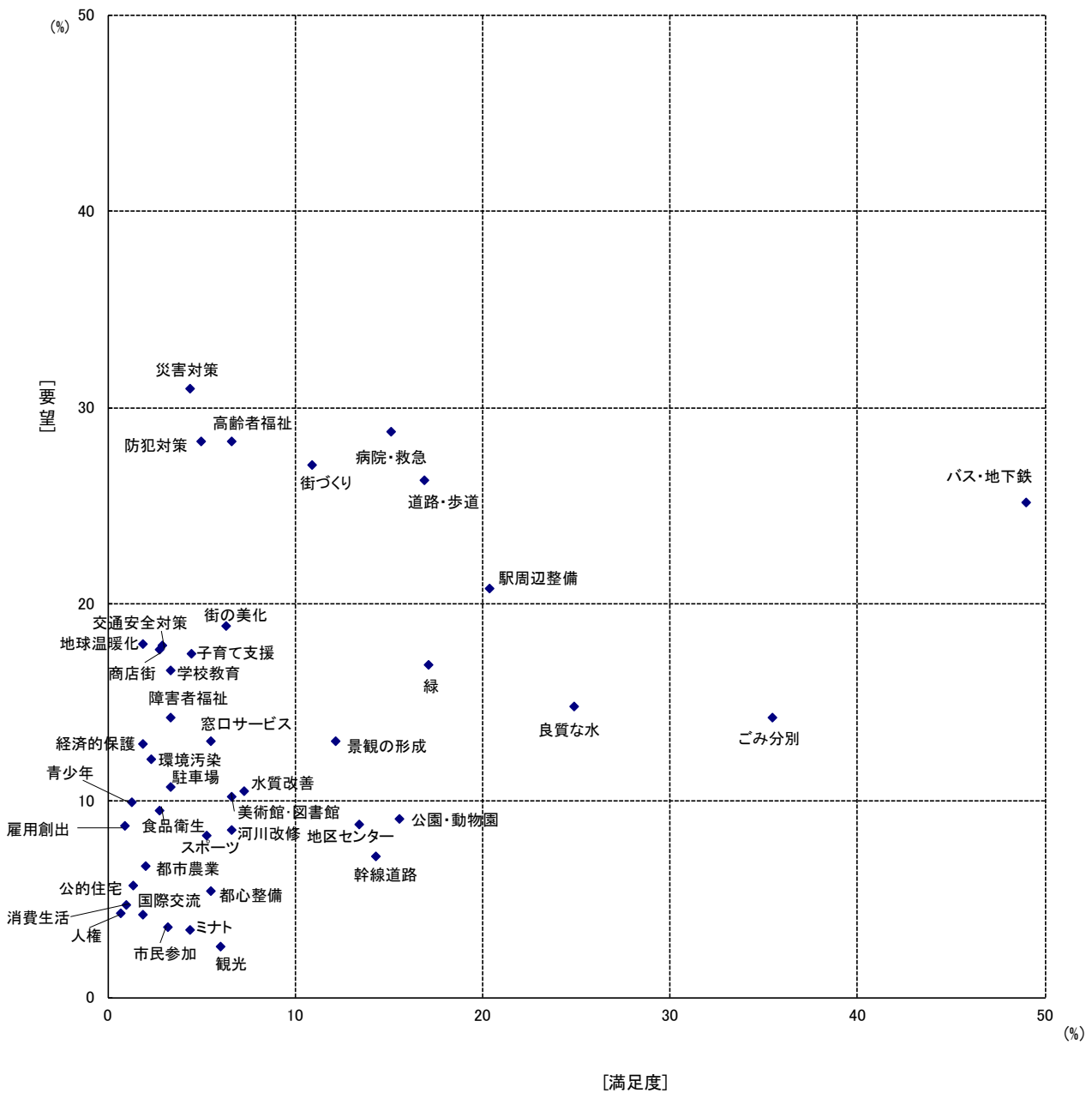


(4) 満足度と要望のまとめ

42項目について、満足度を横軸に、要望を縦軸にして同一平面にプロットすると、両者の相関をみることができる（図中に表わすため、実際の選択肢を一部省略した表現で表記している）。

＜満足度が低く要望の多いもの＞としては、「地震などの災害対策」（略称：災害対策）、「防犯対策」、「高齢者福祉」などが挙げられる。一方、＜満足度が高く要望が少ないもの＞としては、「ごみの分別収集、リサイクル」（略称：ごみ分別）、「良質な水の確保や安全供給」（略称：良質な水）などが挙げられる。

図1-4-1 満足度と要望



①満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

「地震などの災害対策」でギャップが最も大きい

42項目について、満足度と要望の差を求め、要望のほうが多い10項目を表にまとめた。「地震などの災害対策」は満足度（4.4%）が要望（31.0%）を26.6ポイント下回り、両者のギャップが最も大きい。次いで、「防犯対策」は満足度（5.0%）が要望（28.3%）を23.3ポイント、「高齢者福祉」は満足度（6.6%）が要望（28.3%）を21.7ポイント下回っている。

表1-4-1 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	地震などの災害対策	4.4	31.0	▲ 26.6
2位	防犯対策	5.0	28.3	▲ 23.3
3位	高齢者福祉	6.6	28.3	▲ 21.7
4位	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）	10.9	27.1	▲ 16.2
5位	地球温暖化への対策	1.9	18.0	▲ 16.1
6位	違法駐車防止や交通安全対策	2.9	17.9	▲ 15.0
7位	商店街の振興	2.8	17.7	▲ 14.9
8位	病院や救急医療など地域医療	15.1	28.8	▲ 13.7
9位	学校教育の充実	3.4	16.6	▲ 13.2
10位	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	4.5	17.5	▲ 13.0

②満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」で高い充足度

42項目について、満足度と要望の差を求め、満足度のほうが多い10項目を表にまとめた。「バス・地下鉄などの便」は満足度（49.0%）が要望（25.2%）を23.8ポイント上回り、充足度が最も高いといえる。次いで、「ごみの分別収集、リサイクル」は満足度（35.5%）が要望（14.2%）を21.3ポイント上回っている。以下、「良質な水の確保や安定供給」（10.1ポイント）、「幹線道路や高速道路の整備」（7.1ポイント）などの順となっている。

表1-4-2 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度-要望)
1位	バス・地下鉄などの便	49.0	25.2	23.8
2位	ごみの分別収集、リサイクル	35.5	14.2	21.3
3位	良質な水の確保や安定供給	24.9	14.8	10.1
4位	幹線道路や高速道路の整備	14.3	7.2	7.1
5位	公園・動物園の整備	15.6	9.1	6.5
6位	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興	13.4	8.8	4.6
7位	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	6.0	2.6	3.4
8位	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	4.4	3.4	1.0
9位	緑の保全と緑化の推進	17.1	16.9	0.2
10位	都心部の整備や魅力づくり	5.5	5.4	0.1

2. 定住意識

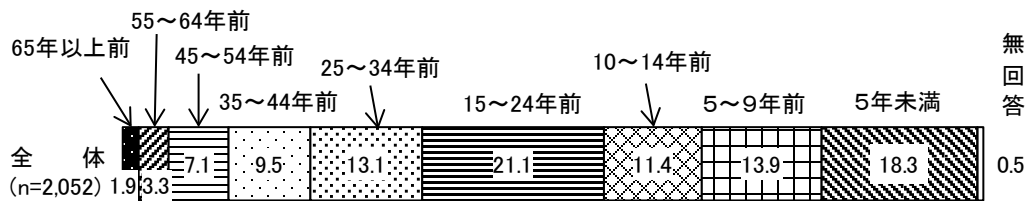
(1) 現住地居住年数

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

「5年未満」の居住者が2割近く

現住地居住年数については、「5年未満」(18.3%)が2割近くとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]



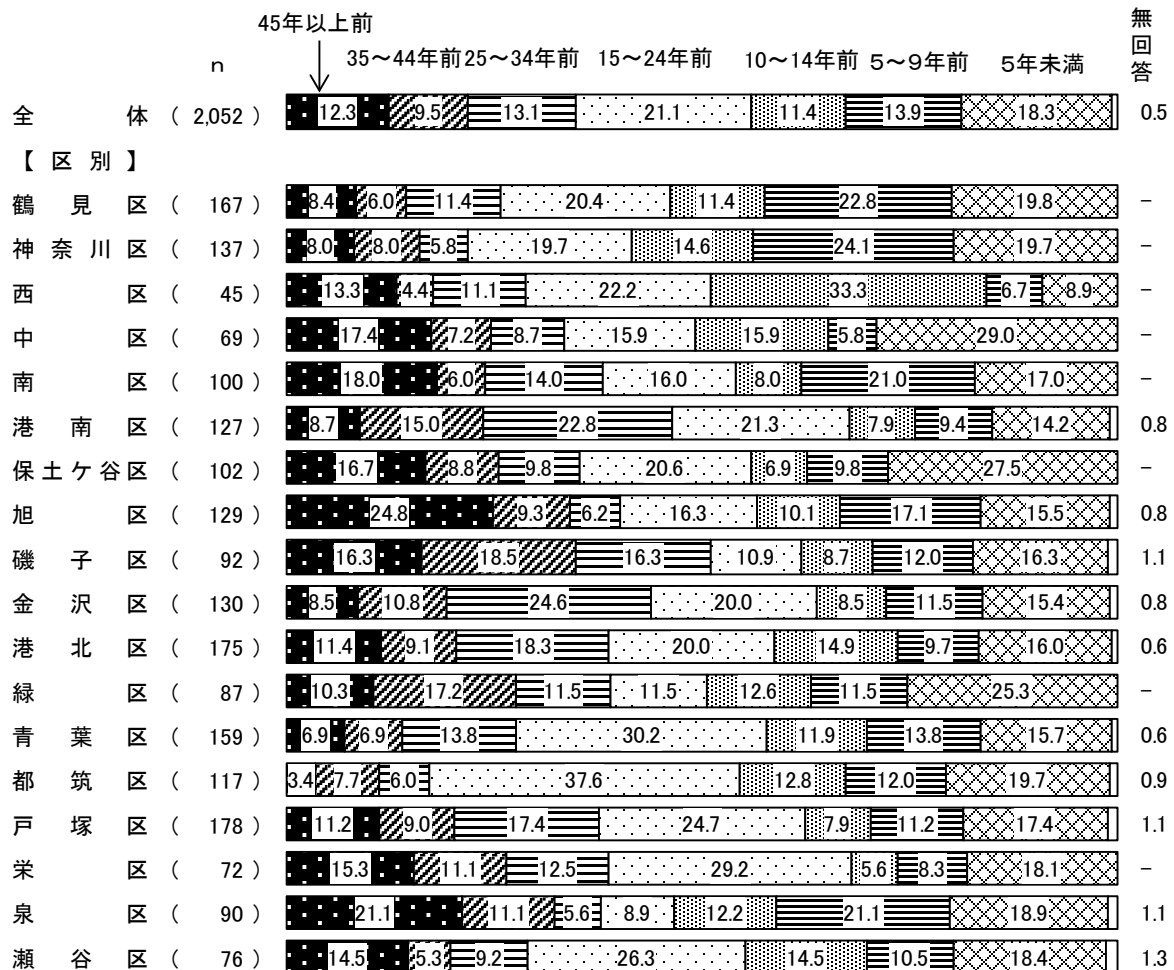
① 現住地居住年数 [区別]

「5年未満」の居住者は中区で3割近く

区別にみると、居住年数「5年未満」は中区(29.0%)で3割近くと最も多くなっている。一方、『45年以上前』は旭区(24.8%)で2割半ばと多い。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



② 現住地居住年数 [ライフステージ別]

「5年未満」の居住者は夫婦だけ(1)で7割近く

ライフステージ別にみると、居住年数「5年未満」は夫婦だけ(1) (69.0%)で7割近くと最も多く、次いで家族形成期(63.9%)で6割半ばとなっている。

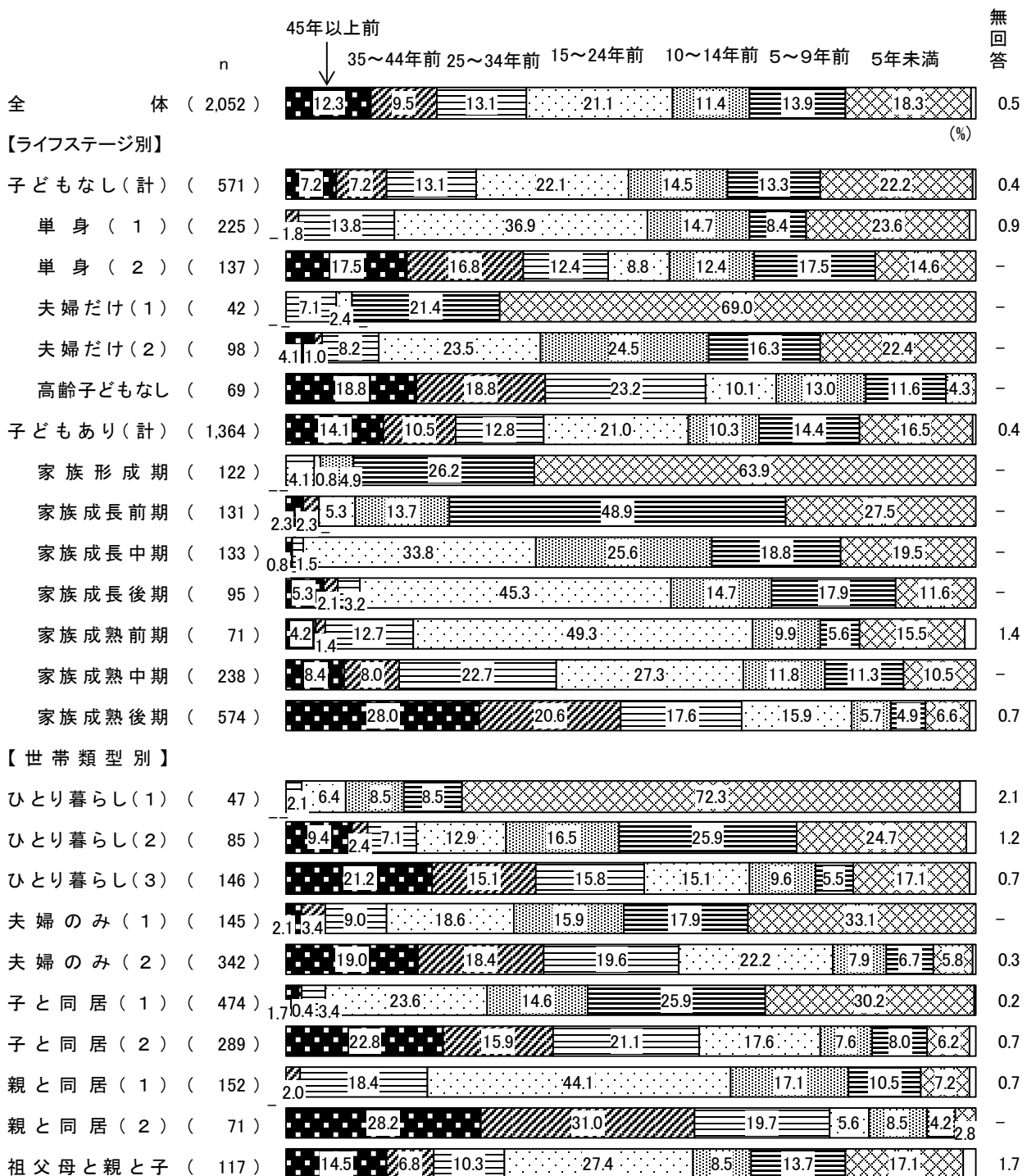
③ 現住地居住年数 [世帯類型別]

「5年未満」の居住者はひとり暮らし(1)で7割を超える

世帯類型別にみると、居住年数「5年未満」はひとり暮らし(1) (72.3%)で7割を超えて最も多くなっている。『45年以上前』は親と同居(2) (28.2%)で3割近くと最も多い。

図2-1-3 現住地居住年数 [ライフステージ別、世帯類型別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



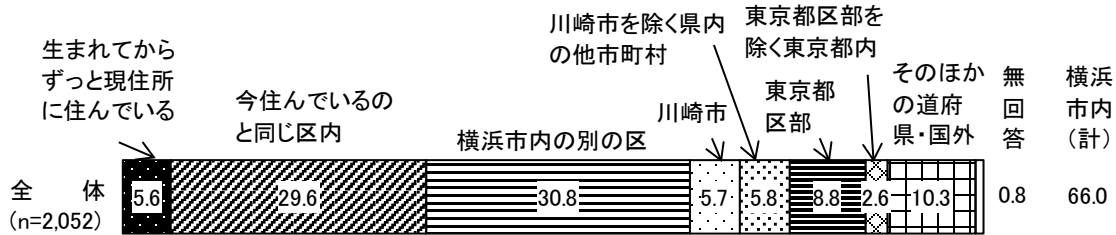
(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

現住所の直前に住んでいたところについては、「横浜市内の別の区」(30.8%)が3割を超えて最も多く、次いで「今住んでいるのと同じ区内」(29.6%)となっている。これらと「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(5.6%)を合わせた『横浜市内(計)』(66.0%)は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地 [全体]

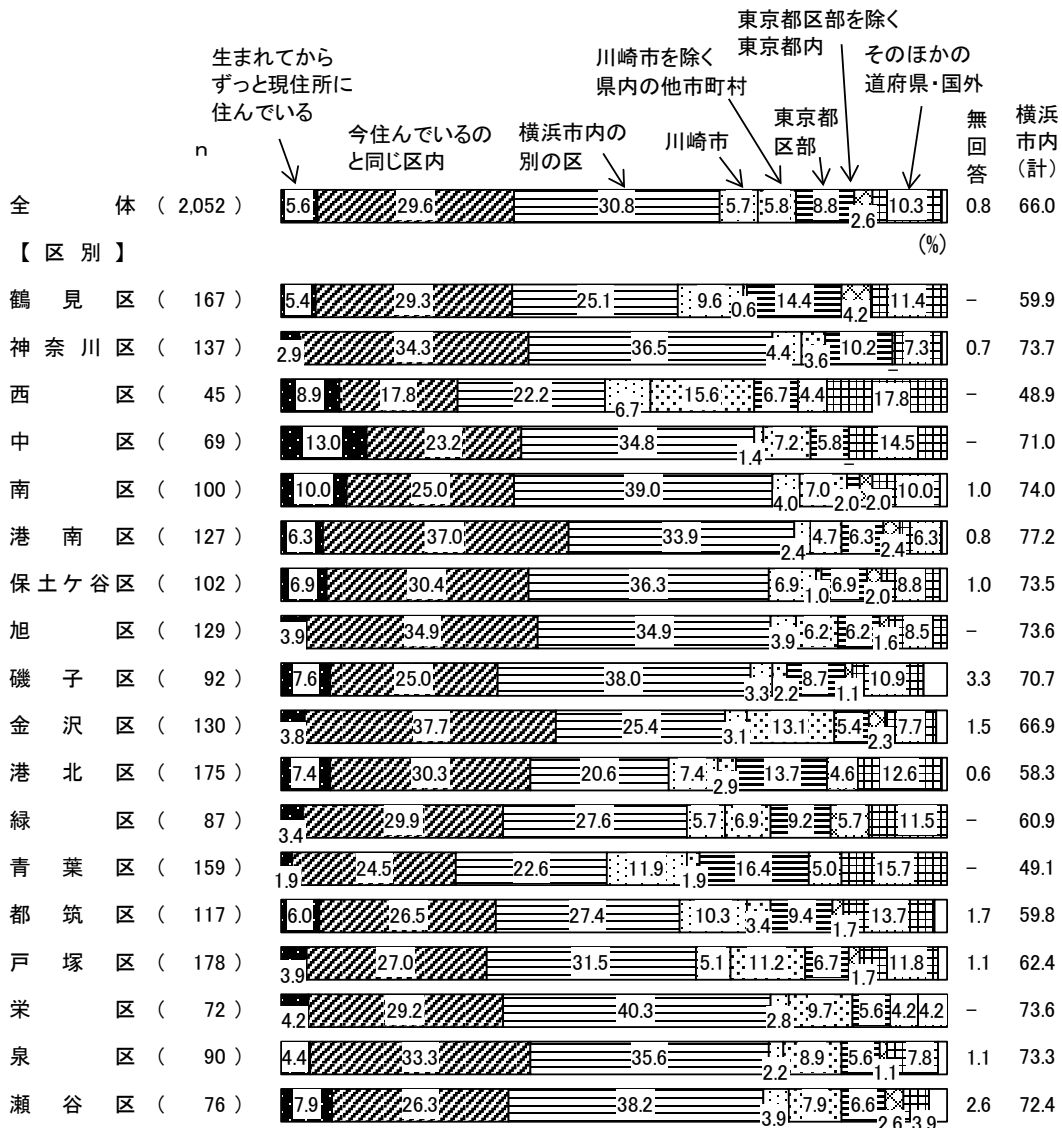


① 前住地 [区別]

『横浜市内(計)』は、港南区(77.2%)で7割半ば

区別にみると、『横浜市内(計)』は、港南区(77.2%)で7割半ばと最も多い。

図2-2-2 前住地 [区別]



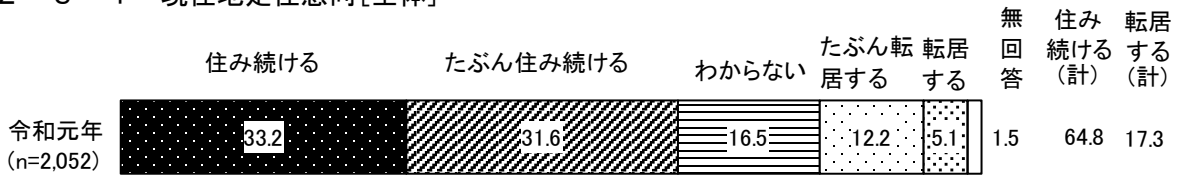
(3) 現住地定住意向

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

『住み続ける(計)』は6割半ば

現住地定住意向については、「住み続ける」(33.2%)と「たぶん住み続ける」(31.6%)を合わせた『住み続ける(計)』(64.8%)は6割半ばとなっている。

図2-3-1 現住地定住意向[全体]

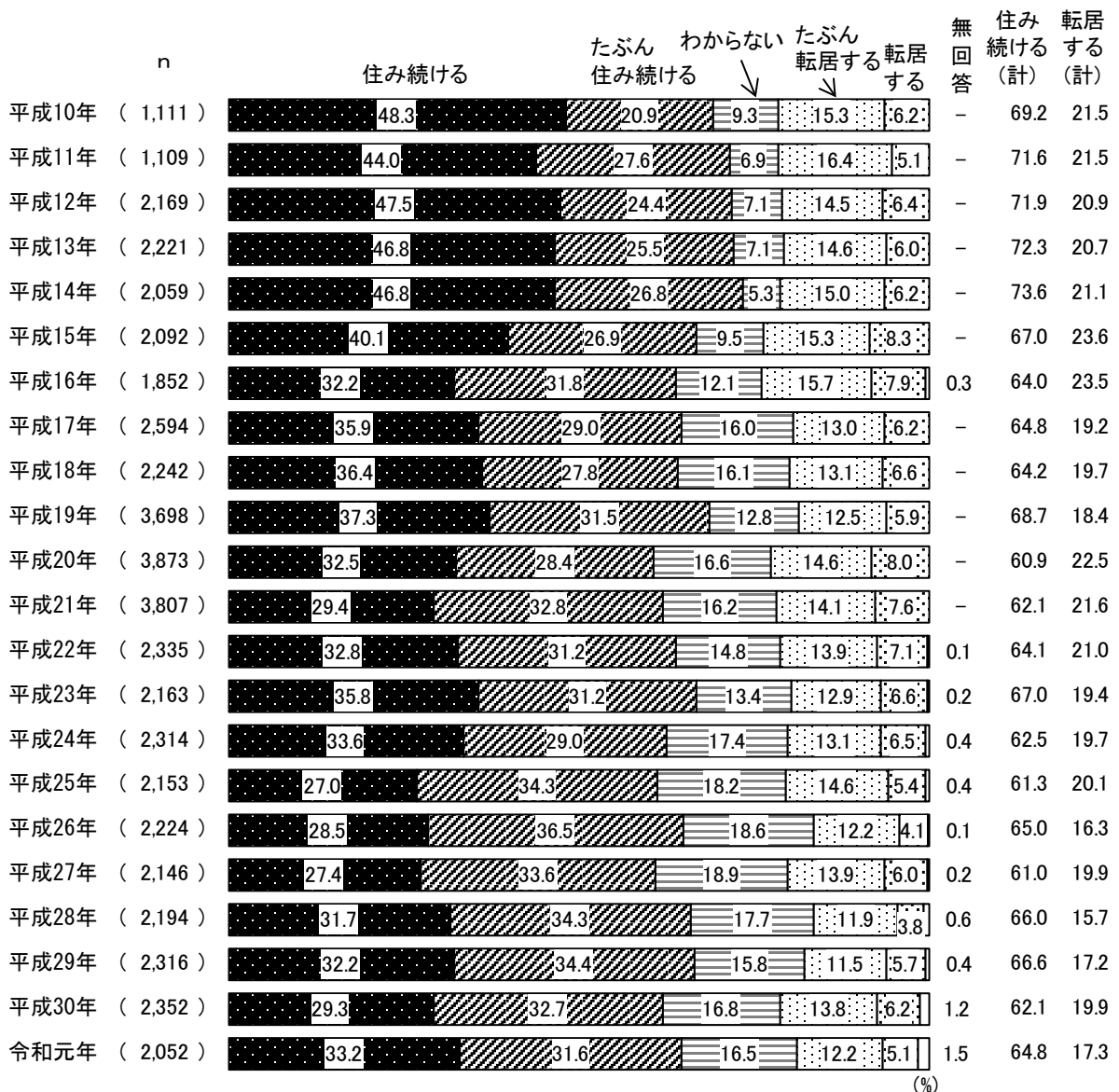


① 現住地定住意向 [経年変化]

『住み続ける(計)』は2.7ポイント増加

経年変化をみると、前回調査から『住み続ける(計)』は2.7ポイント増加している。

図2-3-2 現住地定住意向 [経年変化]



② 現住地定住意向 [ブロック別]

『住み続ける (計)』は北部で約6割と少ない

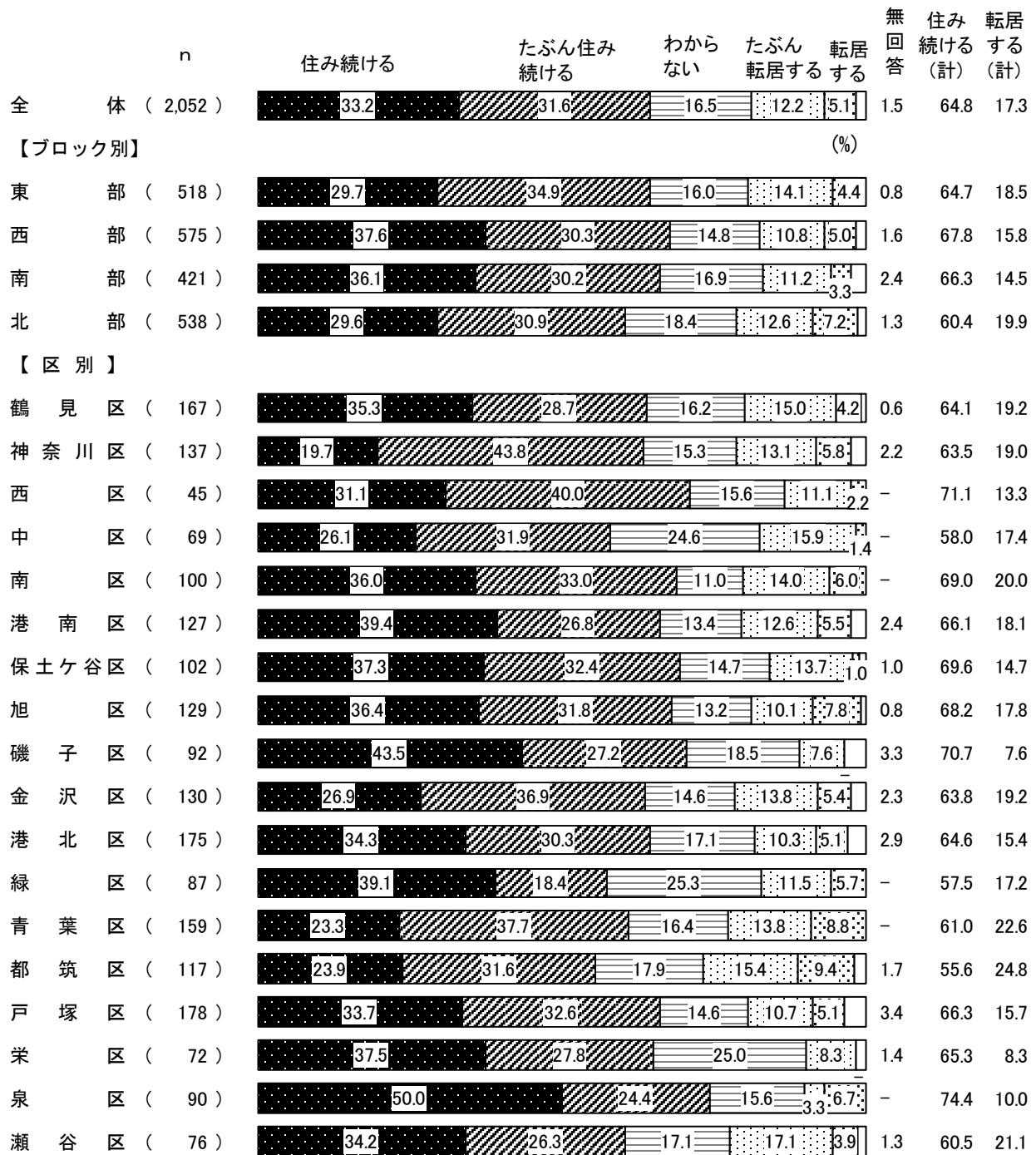
ブロック別にみると、『住み続ける (計)』は北部 (60.4%) で約6割と最も少なくなっている。

③ 現住地定住意向 [区別]

『住み続ける (計)』は泉区で7割半ば

区別にみると、『住み続ける (計)』は泉区 (74.4%) で7割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は都筑区 (24.8%) で2割半ばと最も多い。

図2-3-3 現住地定住意向 [ブロック別、区別]



④ 現住地定住意向 [年齢別]

『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多い

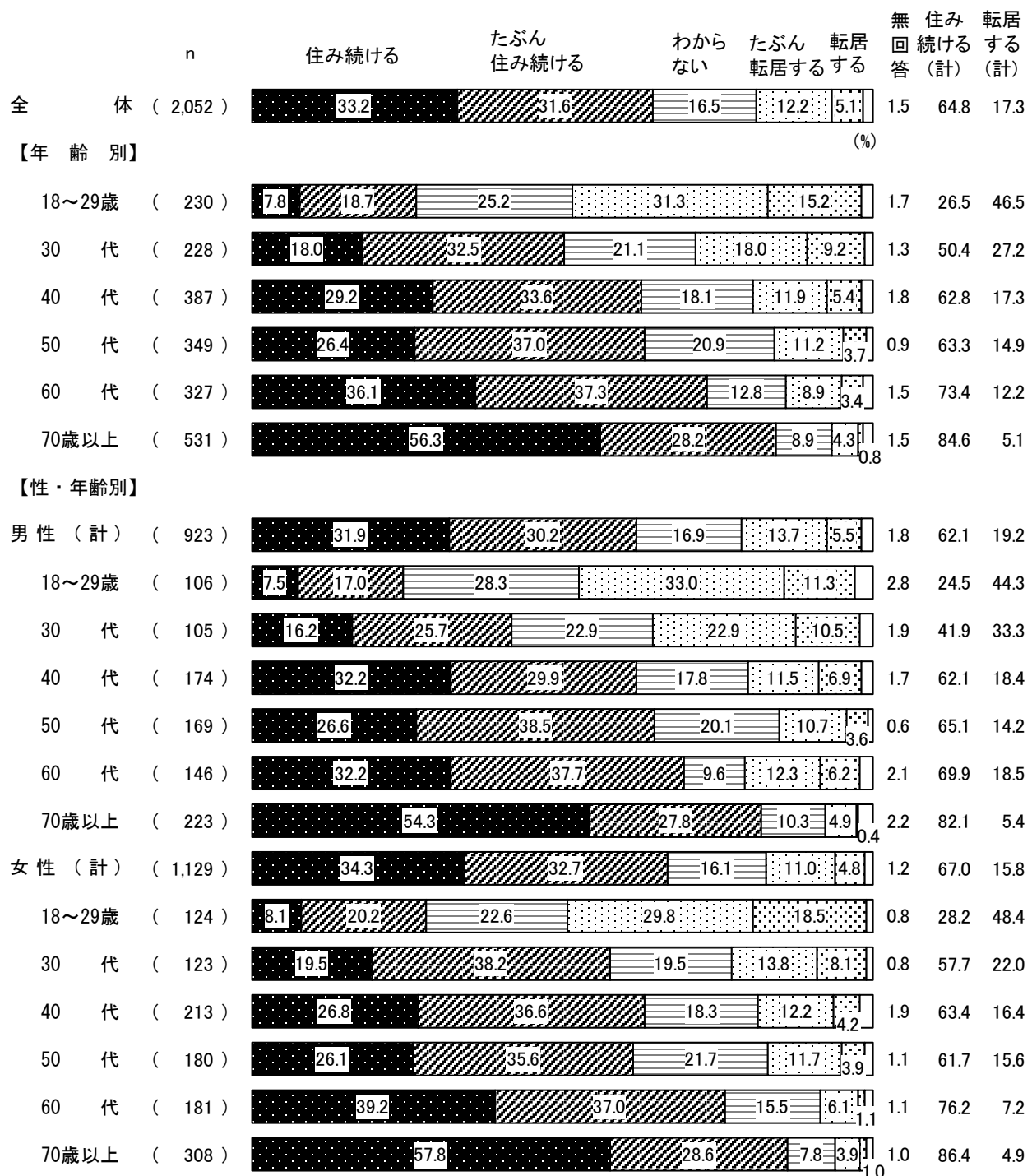
年齢別にみると、『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多くなっている。

⑤ 現住地定住意向 [性・年齢別]

『住み続ける（計）』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、『住み続ける（計）』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多く、男女とも70歳以上で8割を超えている。また、50代を除き、男性よりも女性のほうが多くなっている。一方、『転居する（計）』は女性18～29歳（48.4%）で5割近くと多い。

図2-3-4 現住地定住意向 [年齢別、性・年齢別]



⑥ 現住地定住意向 [ライフステージ別]

『住み続ける (計)』は家族成熟後期で8割半ば

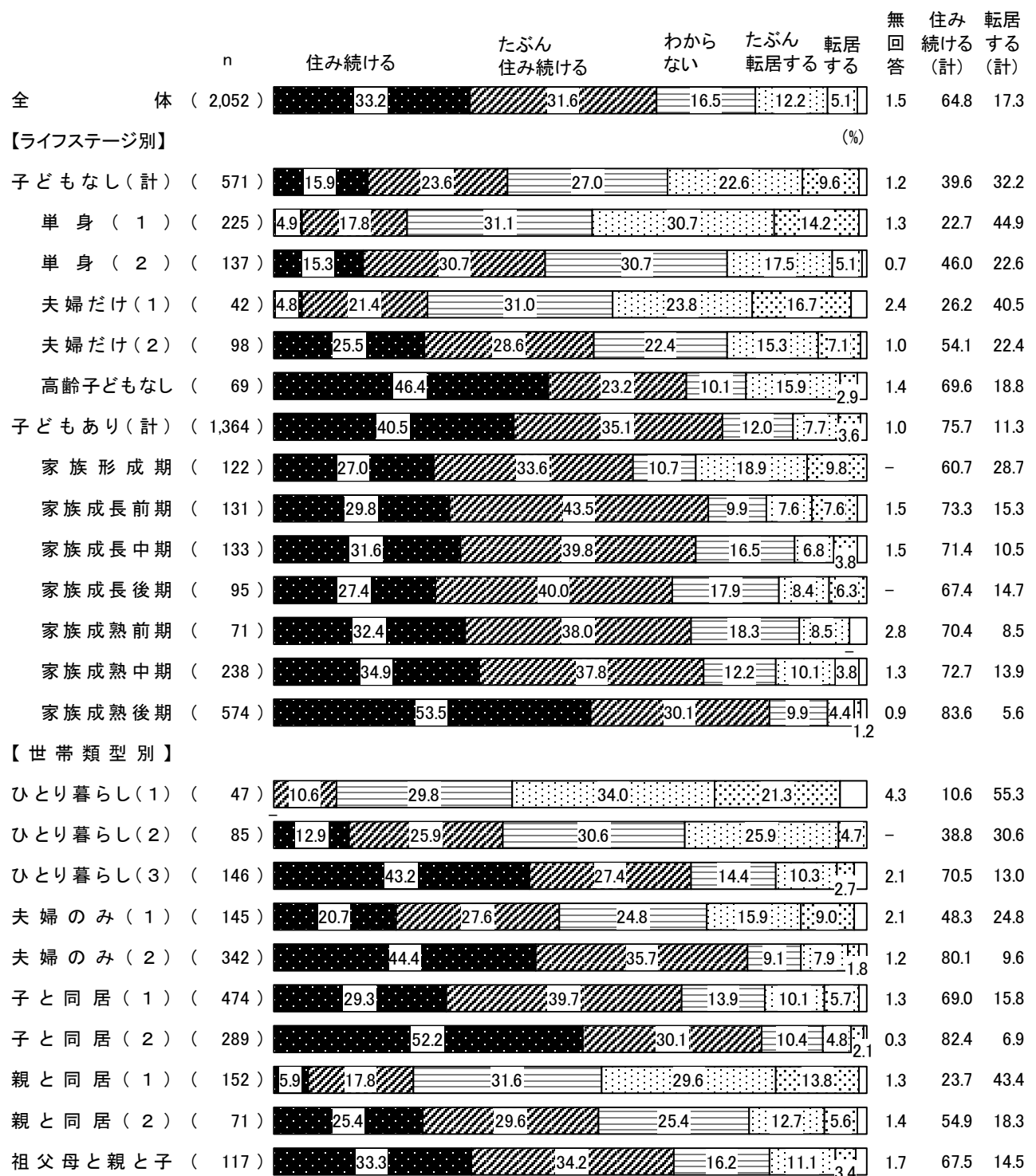
ライフステージ別にみると、『住み続ける (計)』は家族成熟後期 (83.6%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、単身 (1) (44.9%) で4割半ばと多い。

⑦ 現住地定住意向 [世帯類型別]

『転居する (計)』はひとり暮らし (1) で5割半ば

世帯類型別にみると、『住み続ける (計)』は子と同居 (2) (82.4%)、夫婦のみ (2) (80.1%) で8割を超えて多くなっている。一方、『転居する (計)』は、ひとり暮らし (1) (55.3%) で5割半ばと最も多い。

図2-3-5 現住地定住意向 [ライフステージ別、世帯類型別]



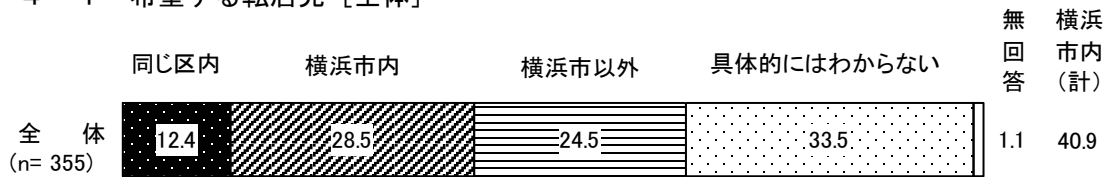
(4) 希望する転居先

(問3で「3」または「4」と答えた方に)
 問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』への転居意向は4割を超える

現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と回答した人(355人)に、希望する転居先を尋ねたところ、「同じ区内」(12.4%)と「横浜市内」(28.5%)を合わせた『横浜市内(計)』(40.9%)は4割を超え、「横浜市以外」(24.5%)を上回っている。

図2-4-1 希望する転居先[全体]

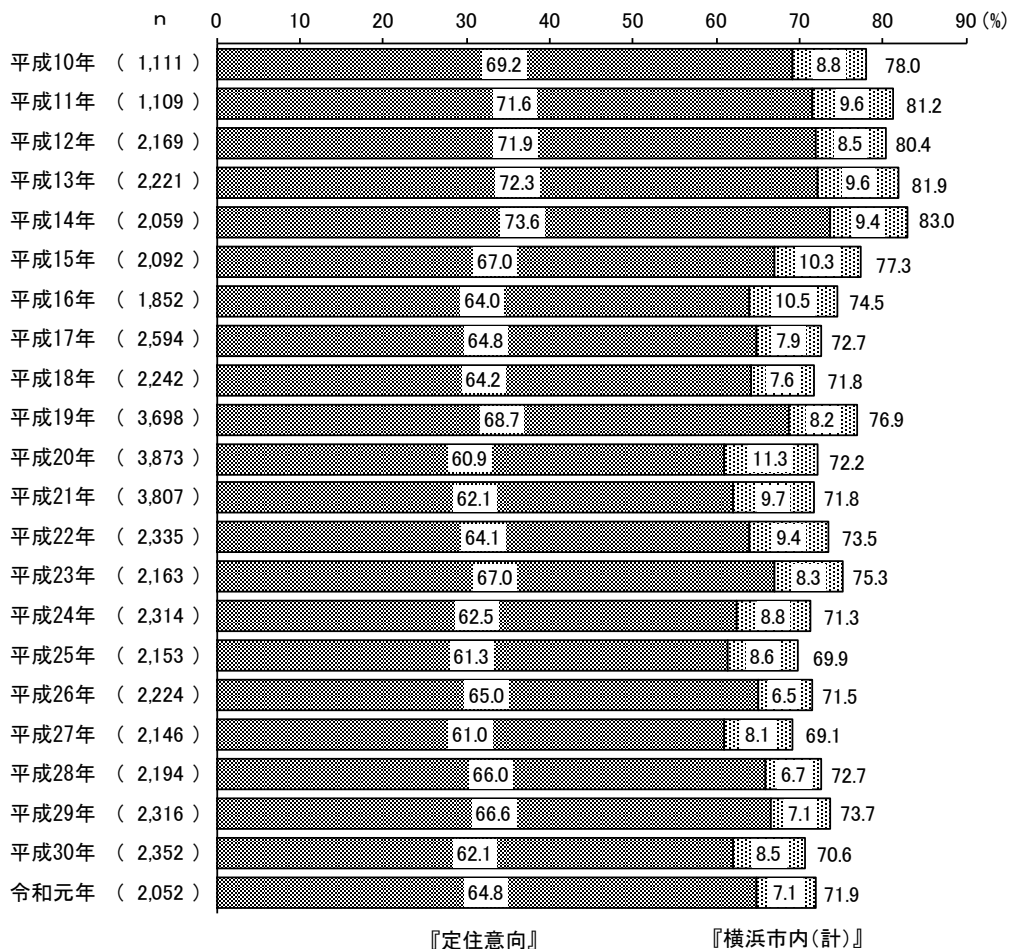


(5) 市内定住意向

『市内定住意向』は7割台を維持

現住地での『定住意向』に、現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と答えた人のうち希望する転居先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』(71.9%)は、前回調査から1.3ポイント増加して7割台を維持している。

図2-5-1 市内定住意向[経年変化]



3. 暮らしやすさ

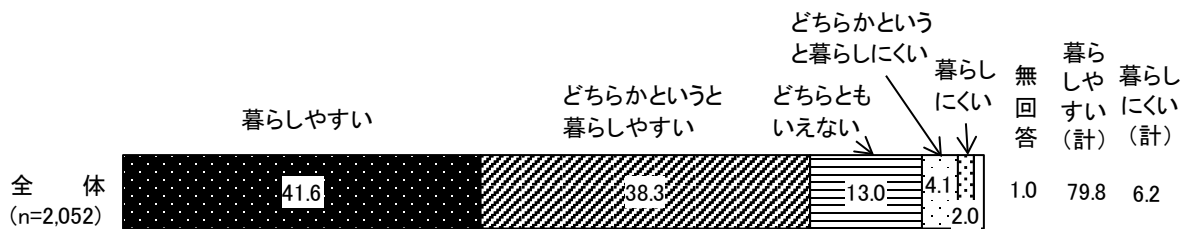
(1) 周辺環境の総合評価

問4 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(〇は1つ)

『暮らしやすい(計)』は8割近く

周辺環境の総合評価については、「暮らしやすい」(41.6%)と「どちらかという暮らしやすい」(38.3%)を合わせた『暮らしやすい(計)』(79.8%)は8割近くとなっている。

図3-1-1 周辺環境の総合評価[全体]

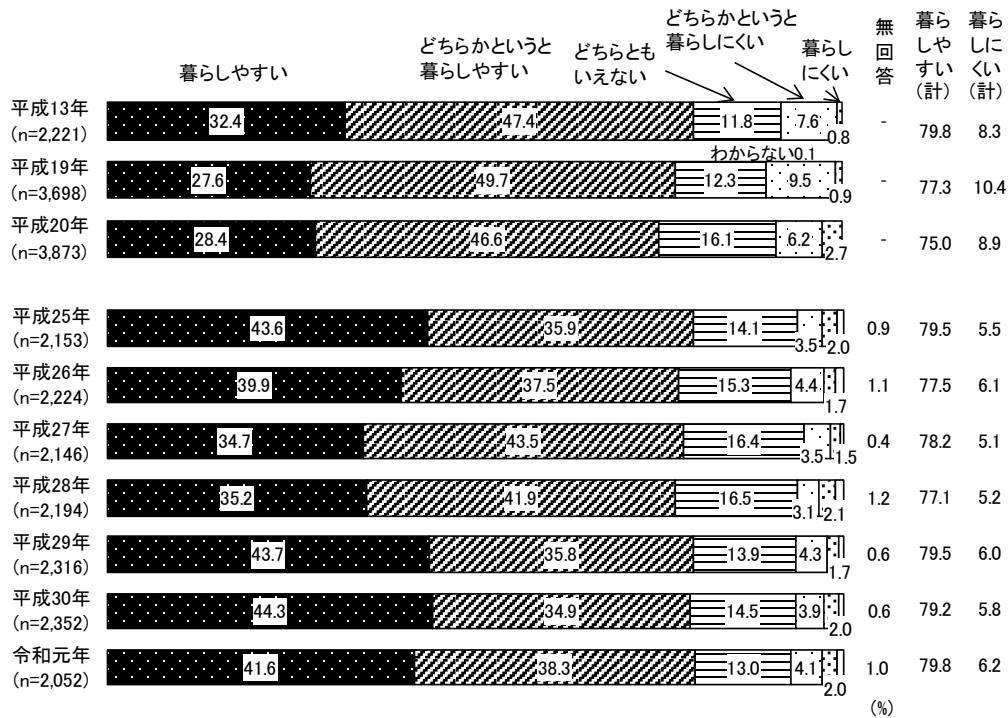


① 周辺環境の総合評価 [経年変化]

『暮らしやすい(計)』は横ばい傾向

経年変化をみると、前回調査から『暮らしやすい(計)』は0.6ポイントの増加で、ここ数年横ばい傾向が続いている。

図3-1-2 周辺環境の総合評価 [経年変化]



(注1) 平成13年・平成19年調査は、設問文が「今お住まいの周辺の環境を暮らしやすいと感じていますか。」、平成20年調査は設問文が「あなたはお住まいの環境を暮らしやすいと感じていますか。」である。

(注2) 平成13年・平成19年調査では選択肢の一部を以下のようにしていた。

「どちらかという暮らしやすい」は「まあ暮らしやすい」

「どちらかという暮らしにくい」は「あまり暮らしやすくない」

「暮らしにくい」は「まったく暮らしやすくない」

(注3) 平成13年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

② 周辺環境の総合評価 [ブロック別]

『暮らしやすい(計)』は北部で8割半ば

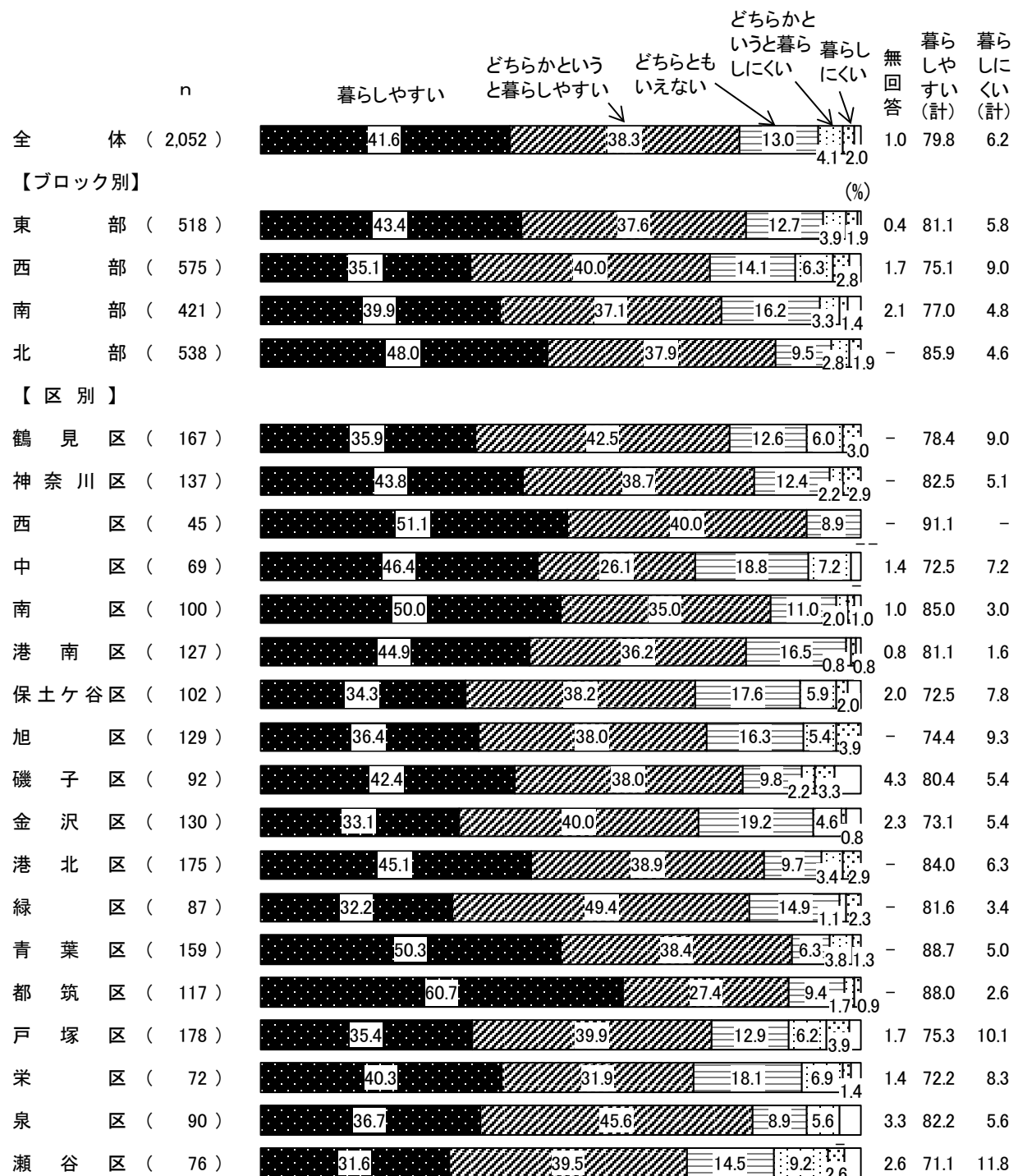
ブロック別にみると、『暮らしやすい(計)』は北部(85.9%)で8割半ばと最も多くなっている。

③ 周辺環境の総合評価 [区別]

『暮らしやすい(計)』は西区で9割を超える

区別にみると、『暮らしやすい(計)』は西区(91.1%)で9割を超えて最も多くなっている。一方、「暮らしにくい」と「どちらかという暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい(計)』は瀬谷区(11.8%)、戸塚区(10.1%)で1割を超えている。

図3-1-3 周辺環境の総合評価 [ブロック別、区別]

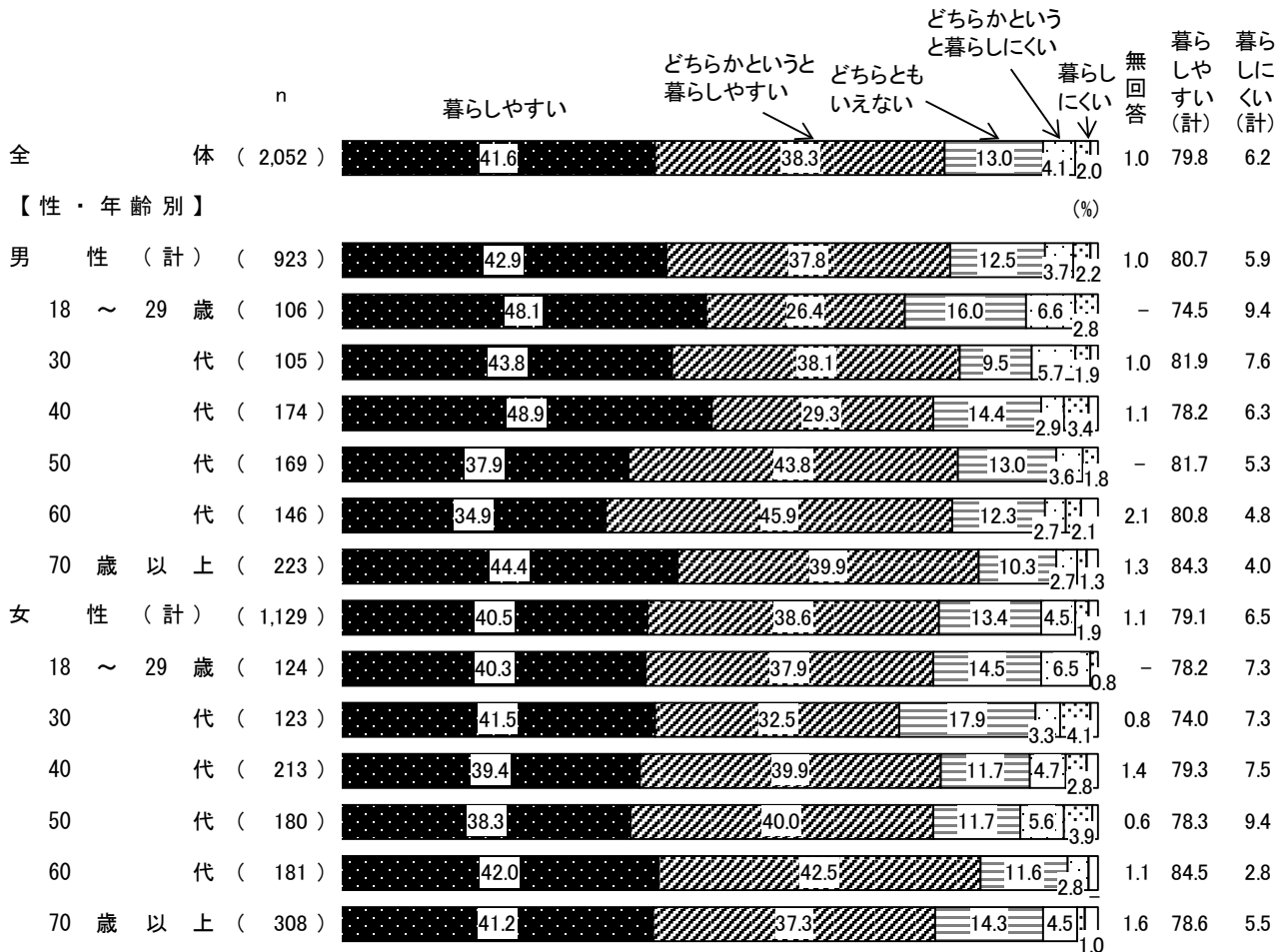


④ 周辺環境の総合評価 [性・年齢別]

『暮らしやすい(計)』は女性60代、男性70歳以上で8割半ば

性・年齢別にみると、『暮らしやすい(計)』は女性60代(84.5%)、男性70歳以上(84.3%)で8割半ばと多くなっている。

図3-1-4 周辺環境の総合評価 [性・年齢別]



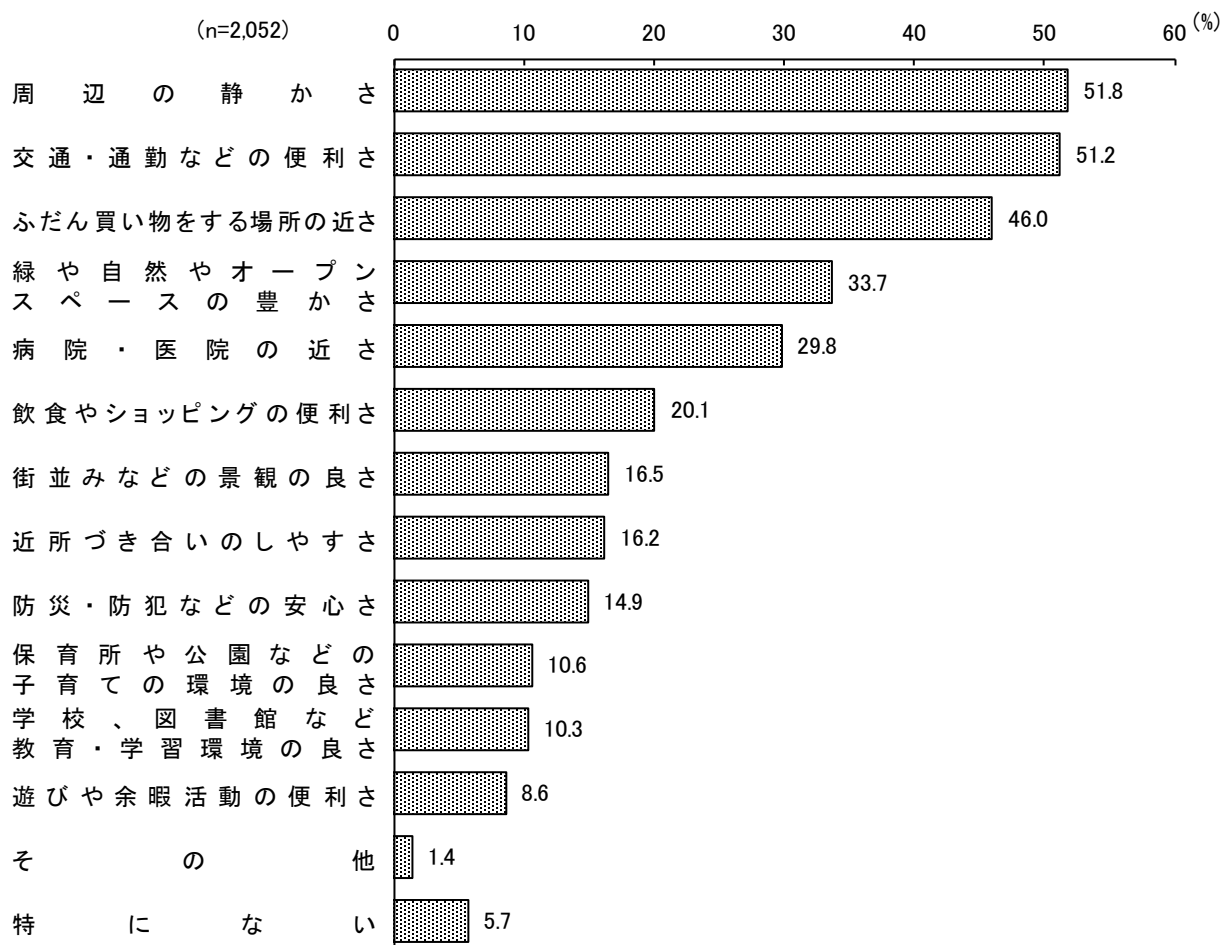
(2) 暮らしやすいと感じている点

問5 今のお住まいの周辺の環境で、暮らしやすいと感じているのはどのような点ですか。
(〇はいくつでも)

「周辺の静かさ」、「交通・通勤などの便利さ」は5割を超える

暮らしやすいと感じている点については、「周辺の静かさ」(51.8%)、「交通・通勤などの便利さ」(51.2%)が5割を超えて多く、次いで「ふだん買い物をする場所の近さ」(46.0%)、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」(33.7%)などの順となっている。

図3-2-1 暮らしやすいと感じている点[全体] (複数回答)

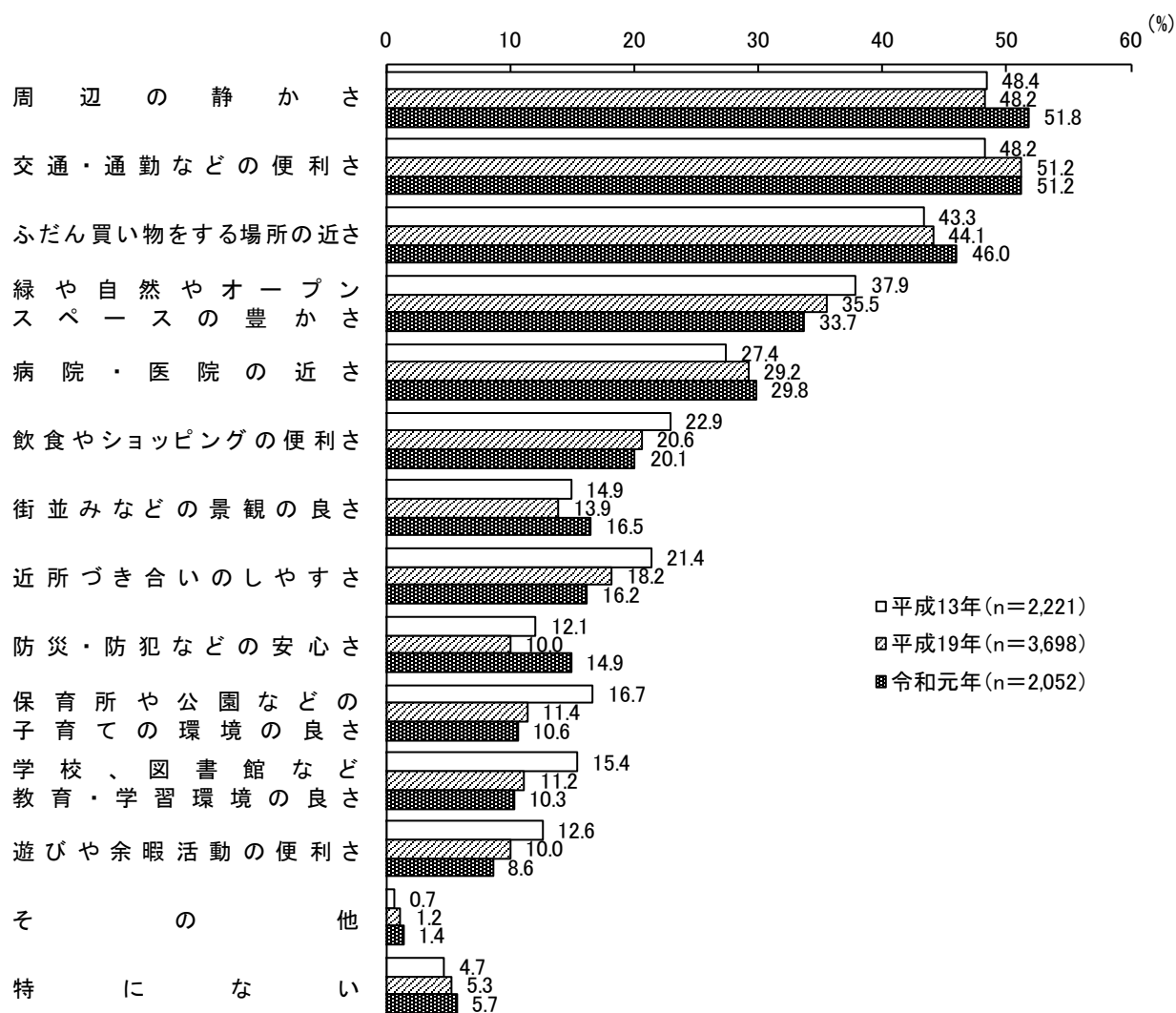


① 暮らしやすいと感じている点〔経年変化〕

「ふだん買い物をする場所の近さ」、「病院・医院の近さ」はやや増加傾向

経年変化をみると、「ふだん買い物をする場所の近さ」、「病院・医院の近さ」はやや増加傾向にあり、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」、「飲食やショッピングの便利さ」、「近所づき合いのしやすさ」、「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」、「学校、図書館など教育・学習環境の良さ」、「遊びや余暇活動の便利さ」は減少傾向となっている。

図3-2-2 暮らしやすいと感じている点〔経年変化〕（複数回答）



※平成13年の「特にない」(4.4%)は「わからない」(0.3%)を含んだ割合を示す。

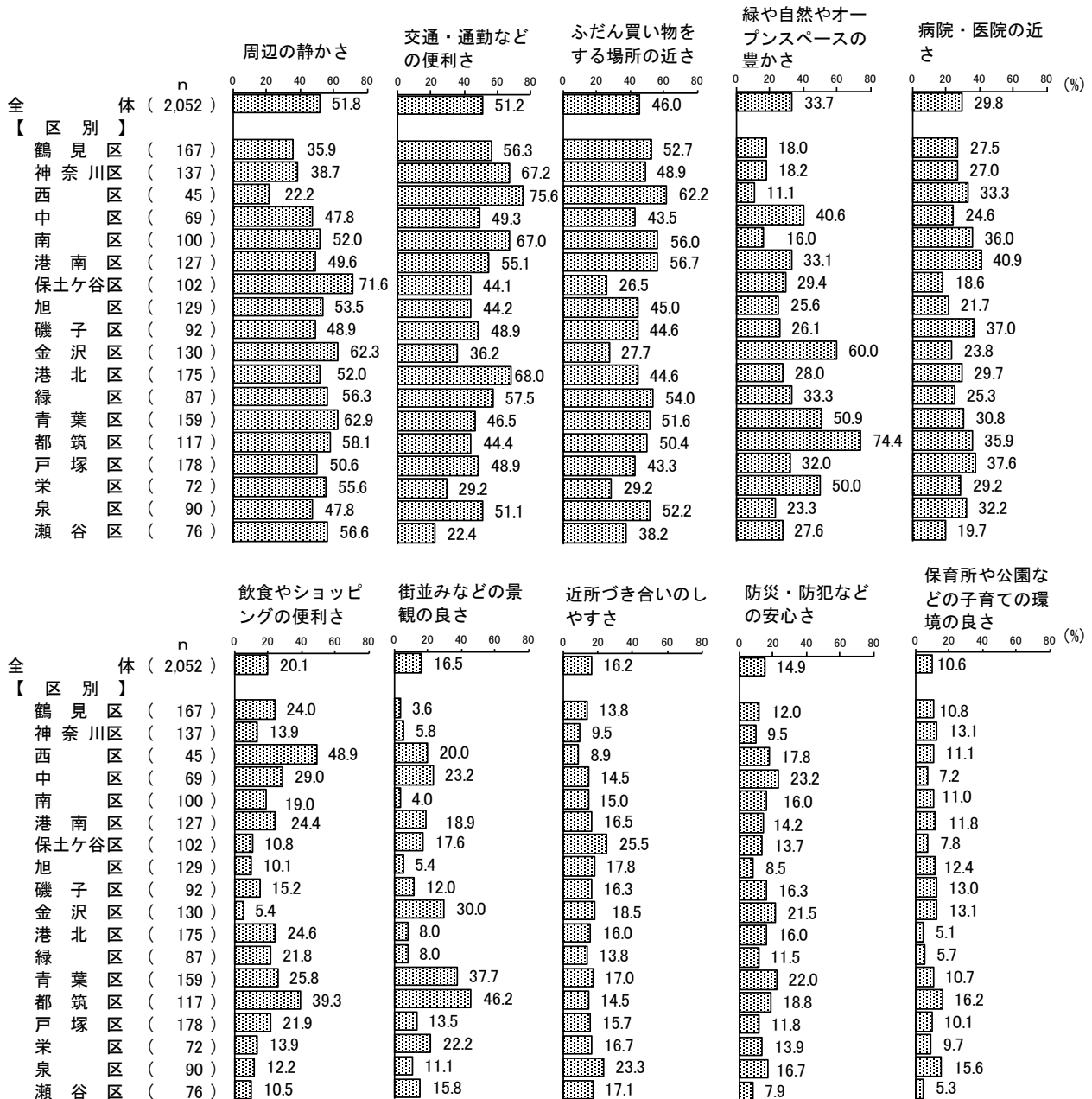
※「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」は平成13、19年調査では「子どもを安心して遊ばせることができるなど子育て環境の良さ」としていた。

② 暮らしやすいと感じている点 [区別]

「交通・通勤などの便利さ」は西区で7割半ば

区別にみると、「交通・通勤などの便利さ」は西区(75.6%)で7割半ばと最も多くなっている。「周辺の静かさ」は保土ヶ谷区(71.6%)、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」は都筑区(74.4%)、「飲食やショッピングの便利さ」は西区(48.9%)、「街並みなどの景観の良さ」は都筑区(46.2%)でそれぞれ最も多い。

図3-2-3 暮らしやすいと感じている点 上位10項目 [区別] (複数回答)

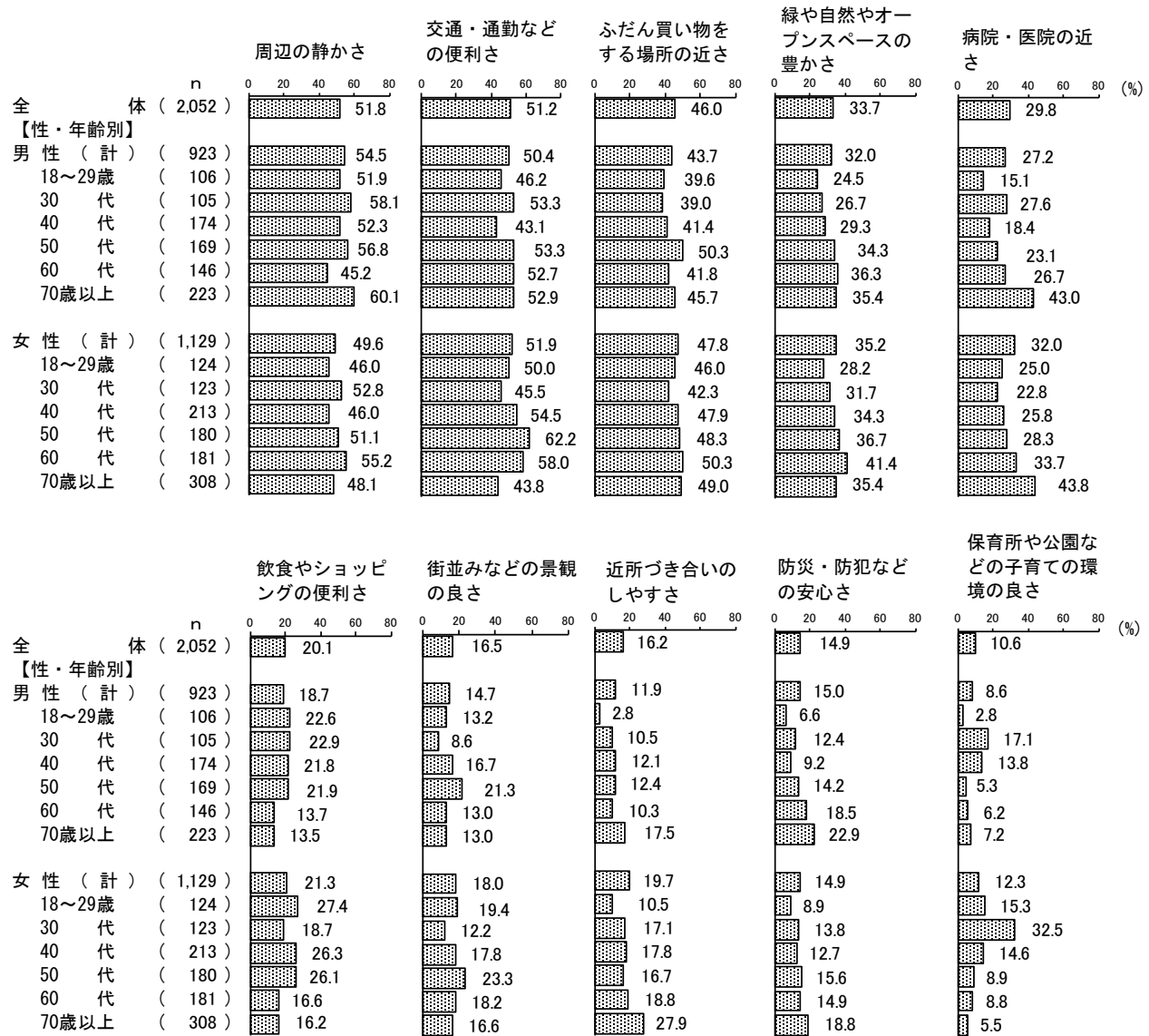


③ 暮らしやすいと感じている点 [性・年齢別]

「交通・通勤などの便利さ」は女性 50 代で 6 割を超える

性・年齢別にみると、「交通・通勤などの便利さ」は女性 50 代（62.2%）で 6 割を超えて最も多くなっている。「病院・医院の近さ」は女性 70 歳以上（43.8%）、男性 70 歳以上（43.0%）で 4 割半ば、「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」は女性 30 代（32.5%）で 3 割を超えてそれぞれ多い。

図 3-2-4 暮らしやすいと感じている点 上位 10 項目 [性・年齢別]（複数回答）

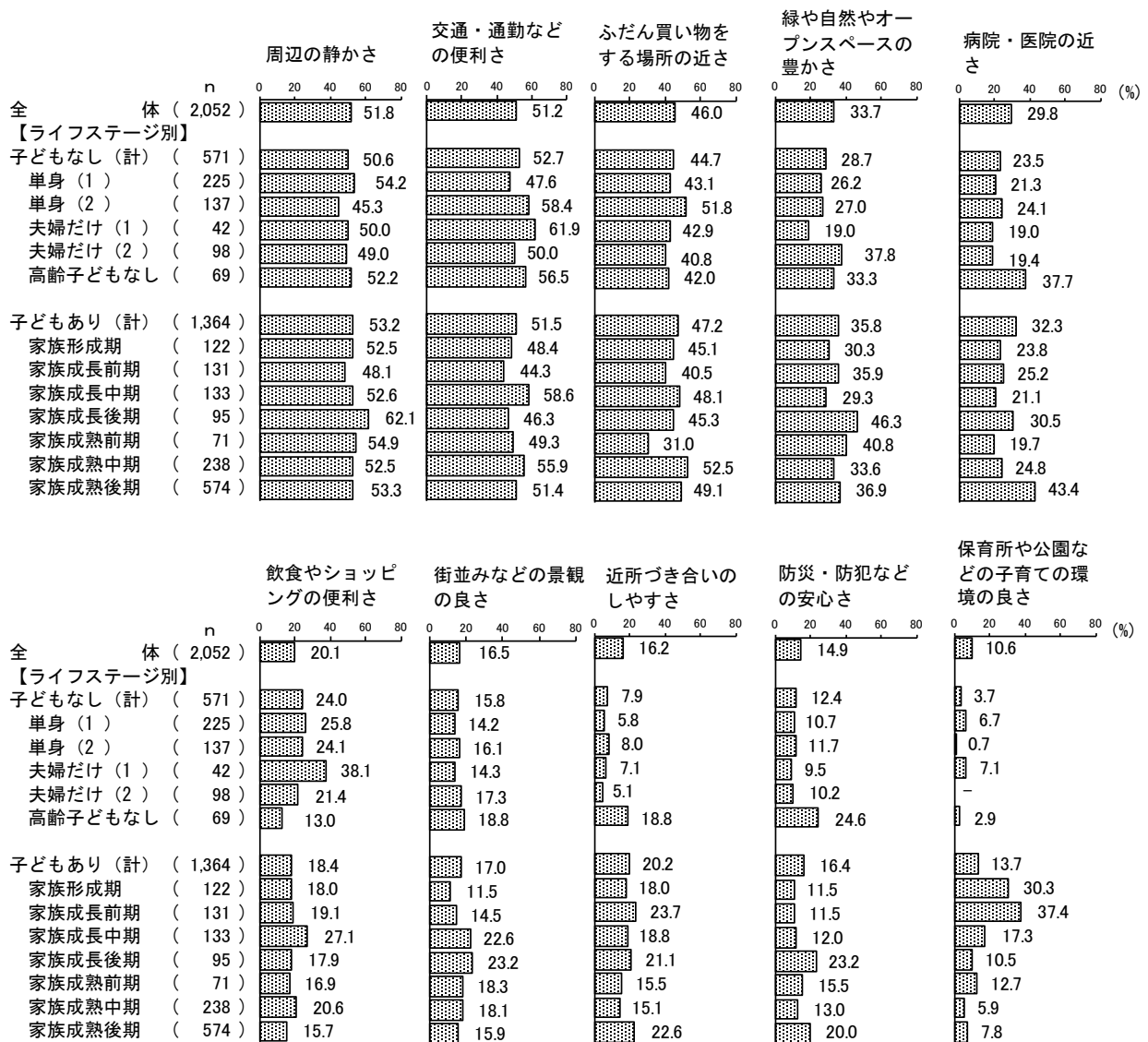


④ 暮らしやすいと感じている点 [ライフステージ別]

「病院・医院の近さ」は家族成熟後期で4割半ば

ライフステージ別にみると、「病院・医院の近さ」は家族成熟後期（43.4%）で4割半ばと多くなっている。「飲食やショッピングの便利さ」は夫婦だけ（1）（38.1%）、「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」は家族成長前期（37.4%）、家族形成期（30.3%）でそれぞれ多い。

図3-2-5 暮らしやすいと感じている点 上位10項目 [ライフステージ別]（複数回答）



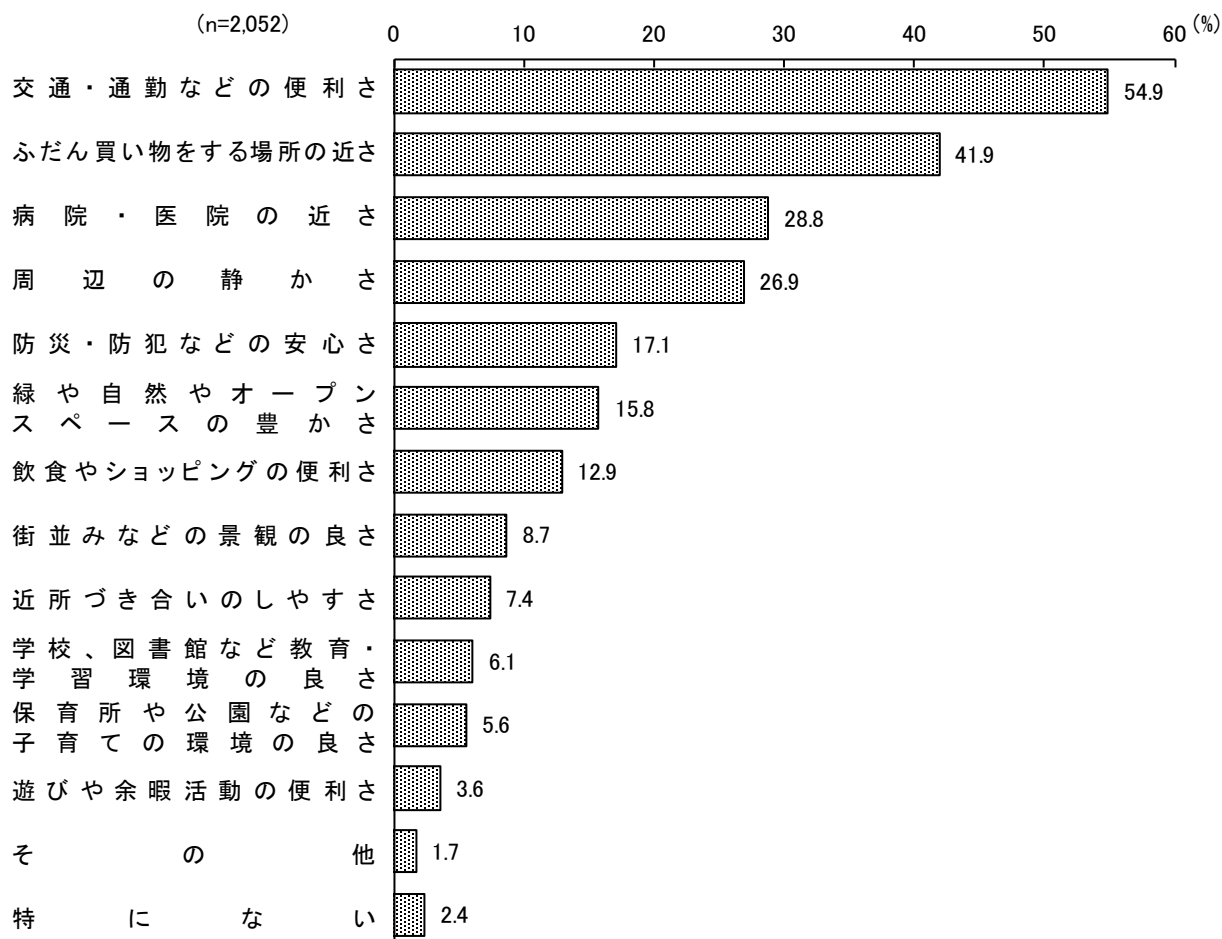
(3) 周辺環境で特に重視する点

問6 仮に、今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺の環境で、特に重視するのはどのような点ですか。(〇は3つまで)

「交通・通勤などの便利さ」は5割半ば

周辺環境で特に重視する点については、「交通・通勤などの便利さ」(54.9%)が5割半ばで最も多く、次いで「ふだん買い物をする場所の近さ」(41.9%)、「病院・医院の近さ」(28.8%)、「周辺の静かさ」(26.9%)などの順となっている。

図3-3-1 周辺環境で特に重視する点[全体] (複数回答)

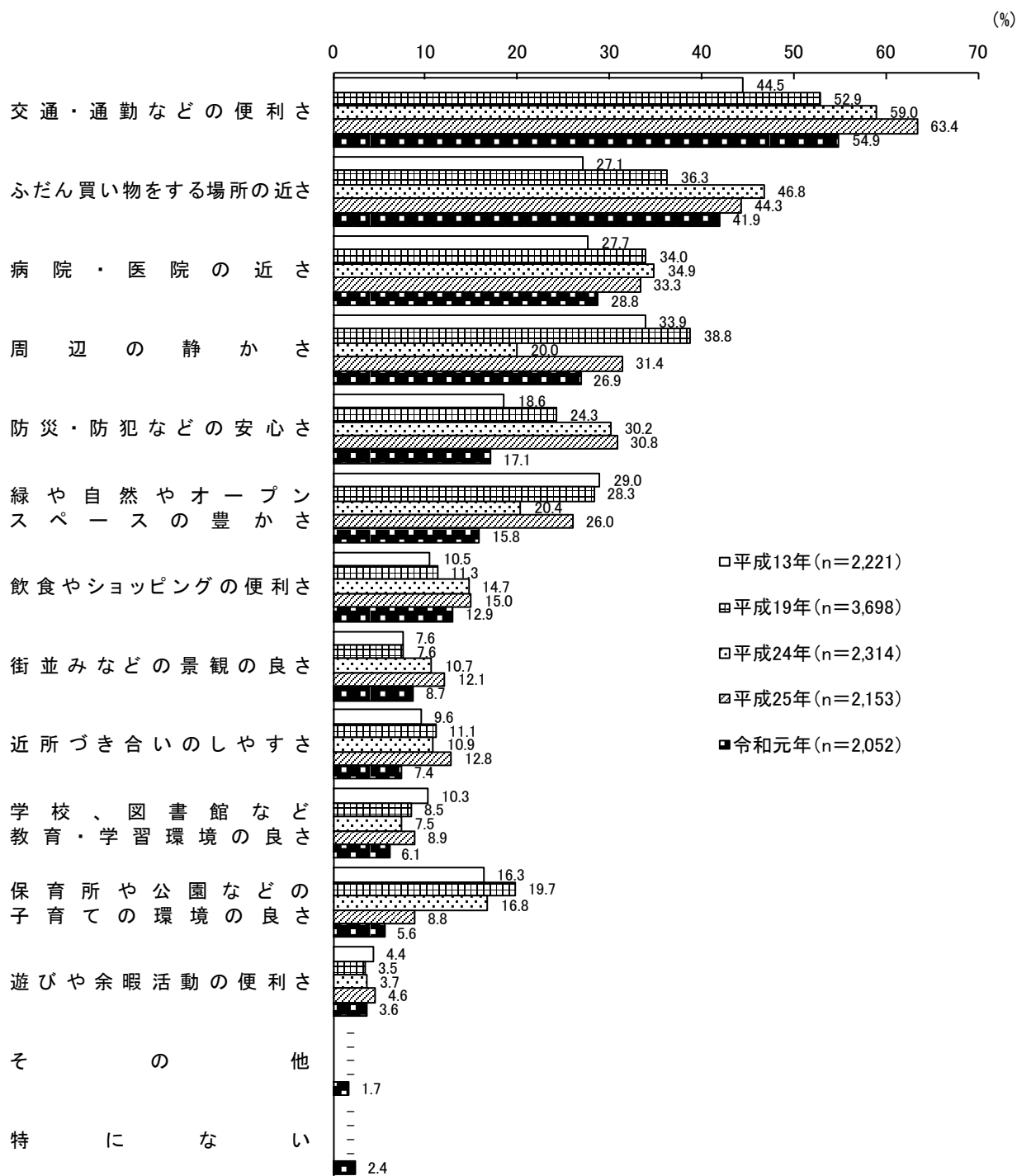


① 周辺環境で特に重視する点〔経年変化〕

「防災・防犯などの安心さ」は前回調査から 13.7 ポイント減少

経年変化をみると、「防災・防犯などの安心さ」は前回調査から 13.7 ポイント、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」は 10.2 ポイント、「交通・通勤などの便利さ」は 8.5 ポイント減少しており、他の項目も全て前回調査よりも減少している。

図 3-3-2 周辺環境で特に重視する点〔経年変化〕（複数回答）



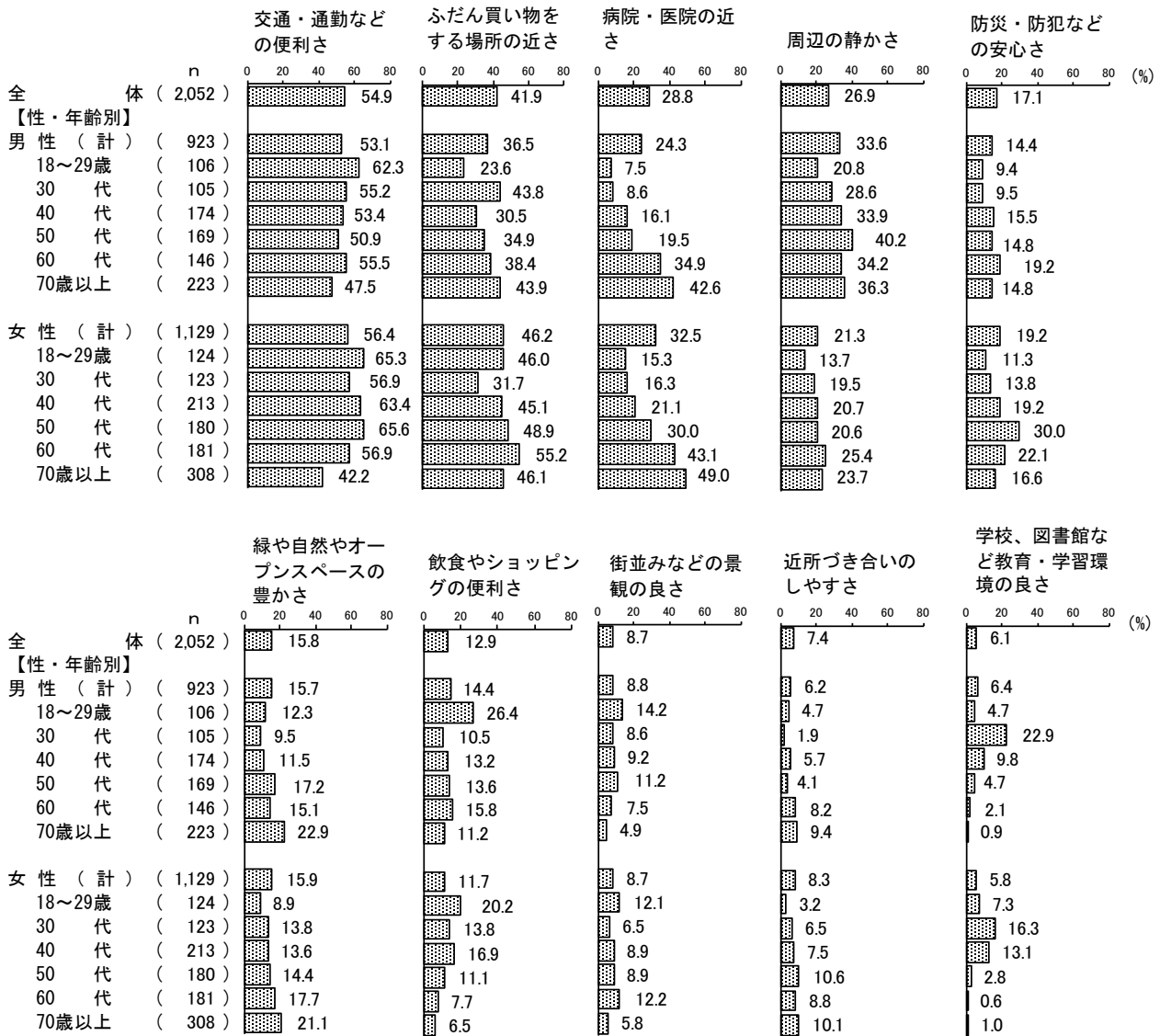
※「保育所や公園などの子育ての環境のよさ」は、平成 24 年までは「安心して子どもを遊ばせることができるなど子育ての環境のよさ」としていた。

② 周辺環境で特に重視する点 [性・年齢別]

「病院・医院の近さ」は男女とも年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、「病院・医院の近さ」は男女とも年齢が高いほど多くなっている。「飲食やショッピングの便利さ」は男性18～29歳（26.4%）、女性18～29歳（20.2%）で2割を超えて多い。

図3-3-3 周辺環境で特に重視する点 上位10項目 [性・年齢別]（複数回答）

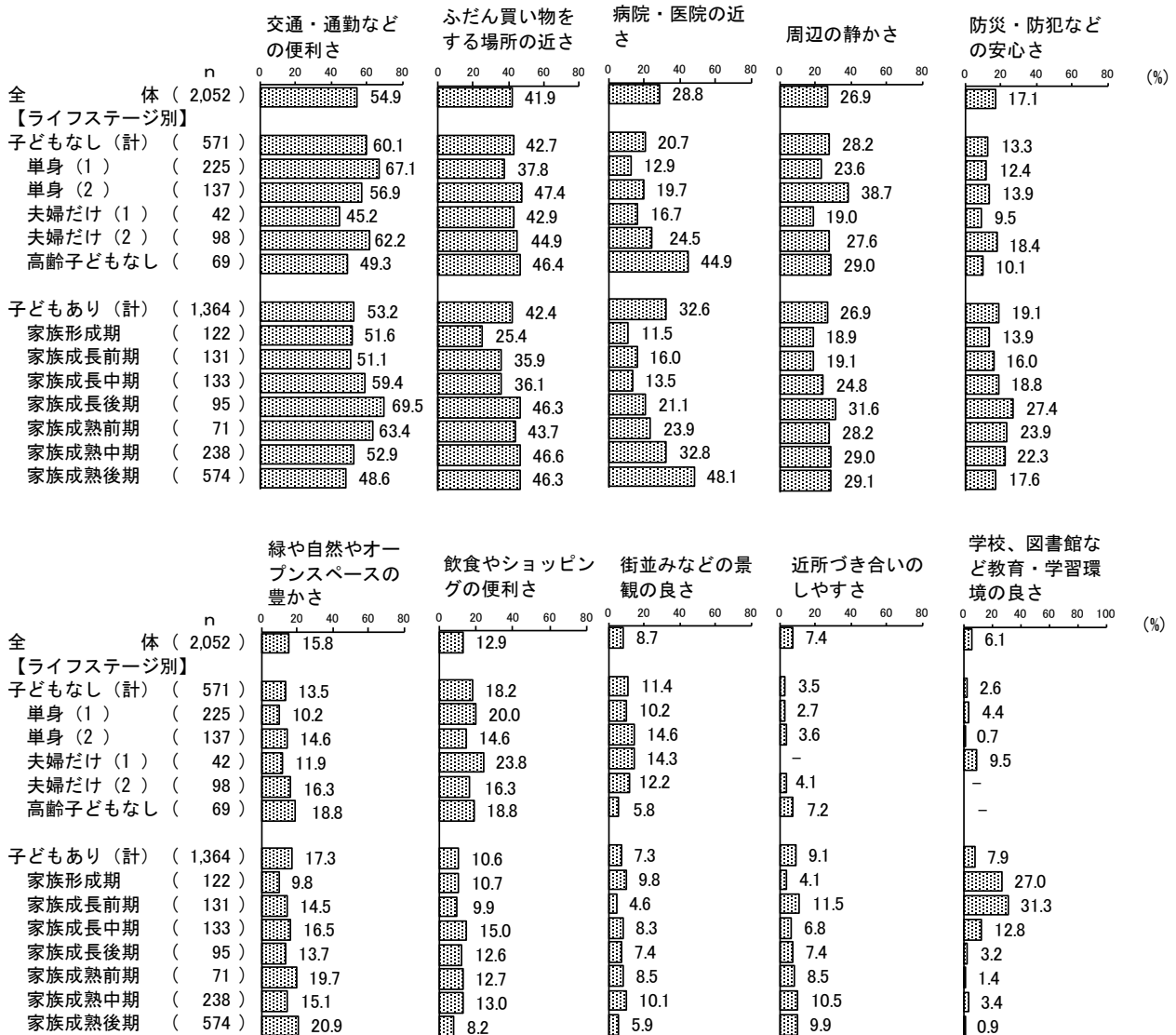


③ 周辺環境で特に重視する点 [ライフステージ別]

「病院・医院の近さ」は家族成熟後期、高齢子どもなしで4割半ば以上

ライフステージ別にみると、「病院・医院の近さ」は家族成熟後期（48.1%）で5割近くと最も多く、次いで高齢子どもなし（44.9%）で4割半ばとなっている。「学校、図書館など教育・学習環境の良さ」は家族成長前期（31.3%）で3割を超えて、家族形成期（27.0%）で2割半ばと多い。

図3-3-4 周辺環境で特に重視する点 上位10項目 [ライフステージ別] (複数回答)



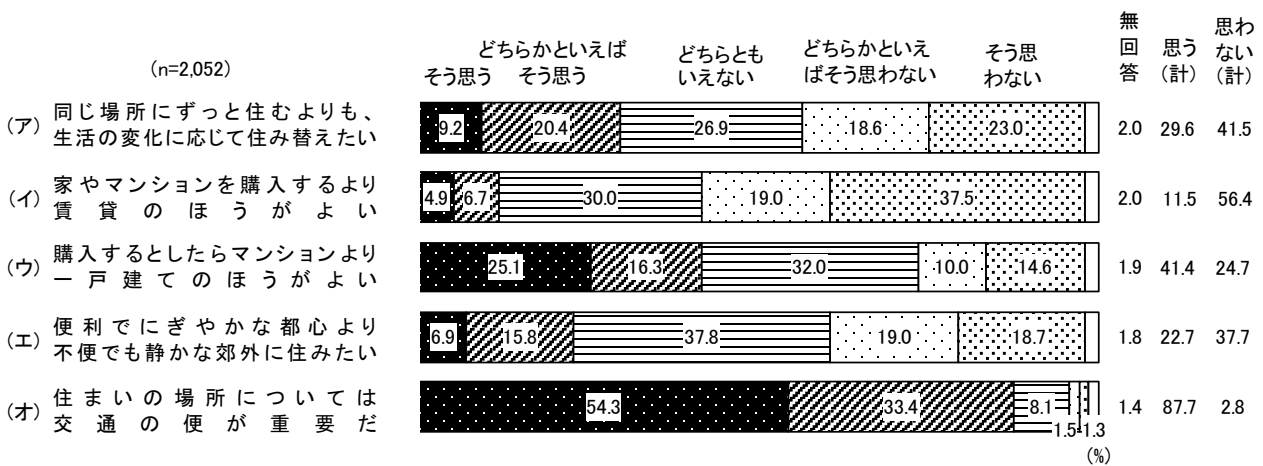
(4) 住まいに関する価値観

問7 住まいに関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。(〇はそれぞれ1つ)

『思う(計)』は《住まいの場所については交通の便が重要だ》で8割半ば

住まいに関する価値観について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う(計)』は、《住まいの場所については交通の便が重要だ》(87.7%)で8割半ばとなっている。

図3-4-1 住まいに関する価値観[全体]

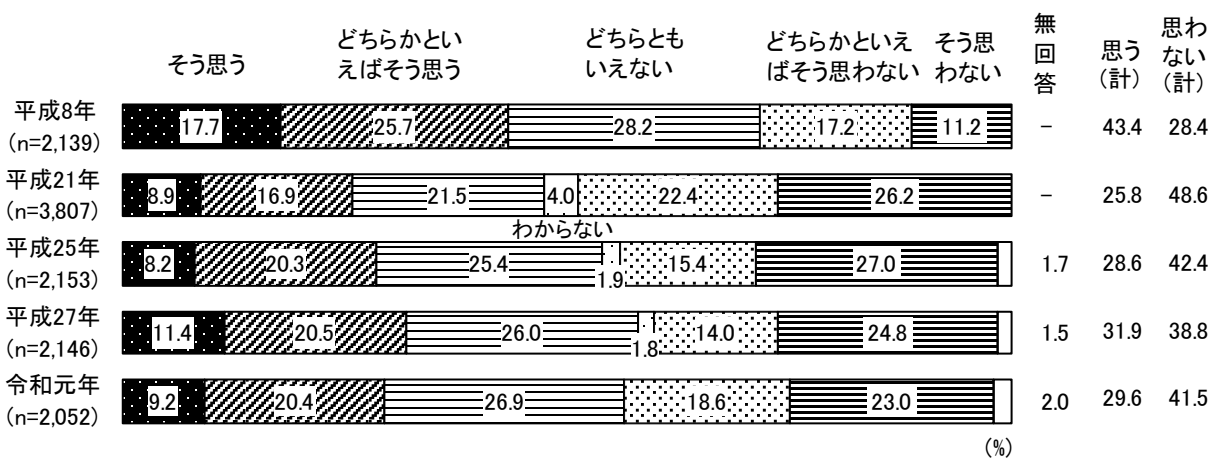


① 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [経年変化]

『思う(計)』は2.3ポイント減少

経年変化をみると、前回調査に比べ『思う(計)』は2.3ポイント減少、『思わない(計)』は2.7ポイントの増加となっている。

図3-4-2 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [経年変化]



※平成8年度は、「そう思う」は「まったくそう思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

② 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい
 [年齢別]

『思わない(計)』は70歳以上で5割半ば

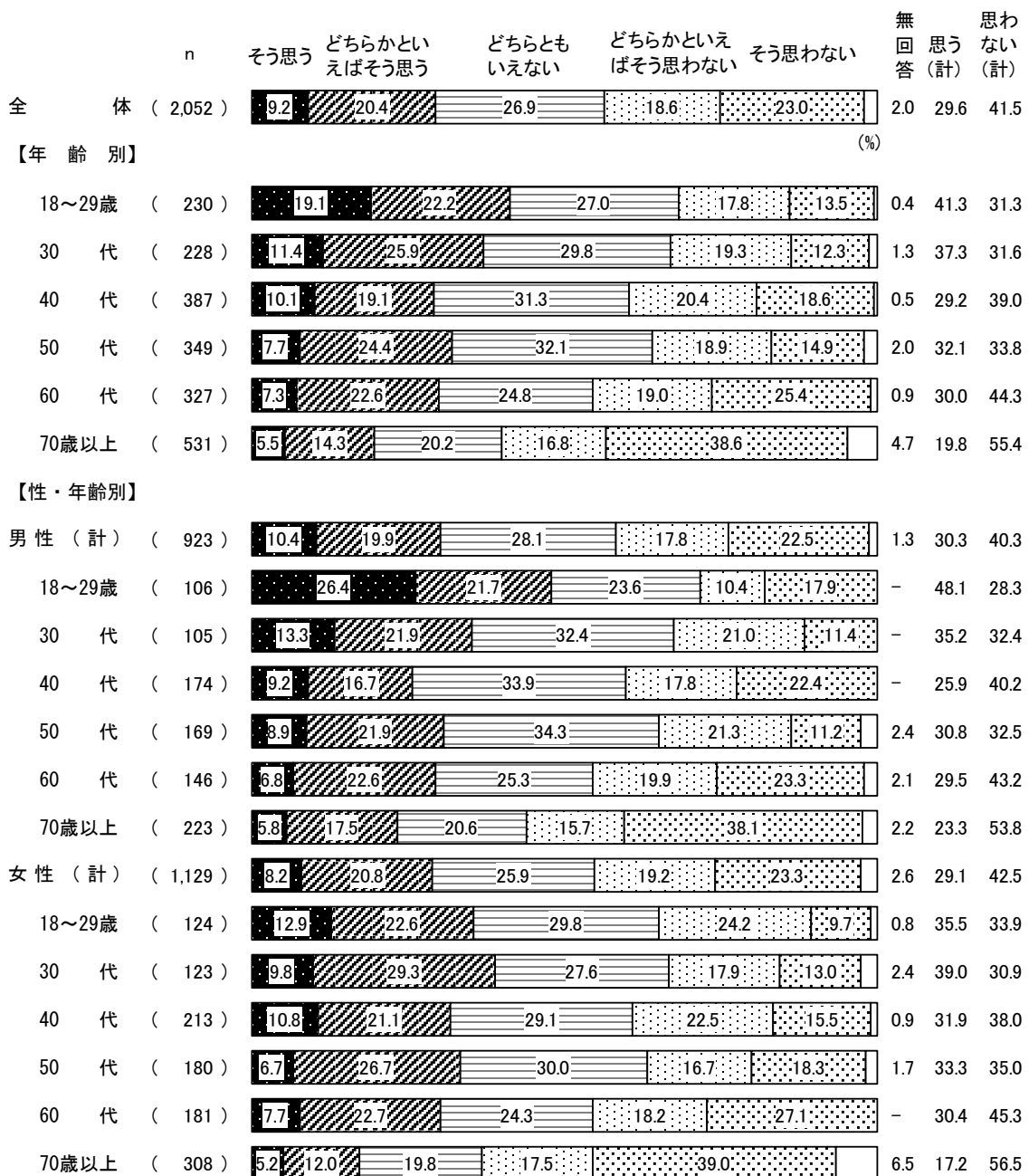
年齢別にみると、『思う(計)』は18～29歳(41.3%)で4割を超えて最も多い。『思わない(計)』は70歳以上(55.4%)で5割半ばと最も多くなっている。なお、70歳以上を70代と80歳以上とに分けてみると、『思う(計)』は70代が2割強、80歳以上は1割半ばと更に少なくなっている。

③ 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい
 [性・年齢別]

『思う(計)』は男性18～29歳で5割近く

性・年齢別にみると、『思う(計)』は男性は18～29歳(48.1%)で5割近く、女性は30代(39.0%)で4割近くと多くなっている。

図3-4-3 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [年齢別、性・年齢別]



④ 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい
 [ライフステージ別]

『思わない(計)』は家族成熟後期で5割半ば

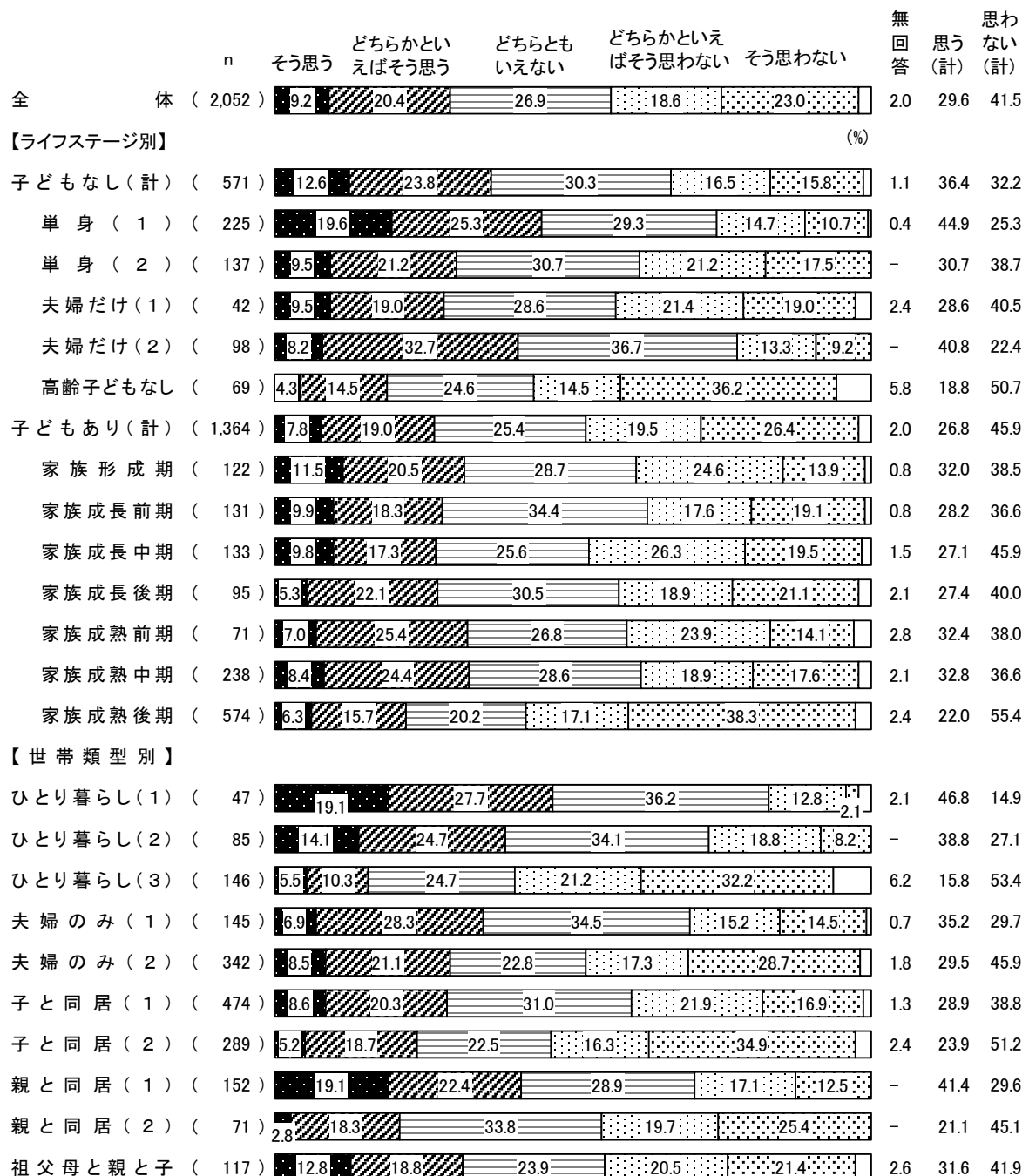
ライフステージ別にみると、『思わない(計)』は家族成熟後期(55.4%)で5割半ばと最も多くなっている。

⑤ 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい
 [世帯類型別]

『思わない(計)』はひとり暮らし(3)、子と同居(2)で5割を超える

世帯類型別にみると、『思わない(計)』はひとり暮らし(3)(53.4%)、子と同居(2)(51.2%)で5割を超えて多い。

図3-4-4 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [ライフステージ別、世帯類型別]

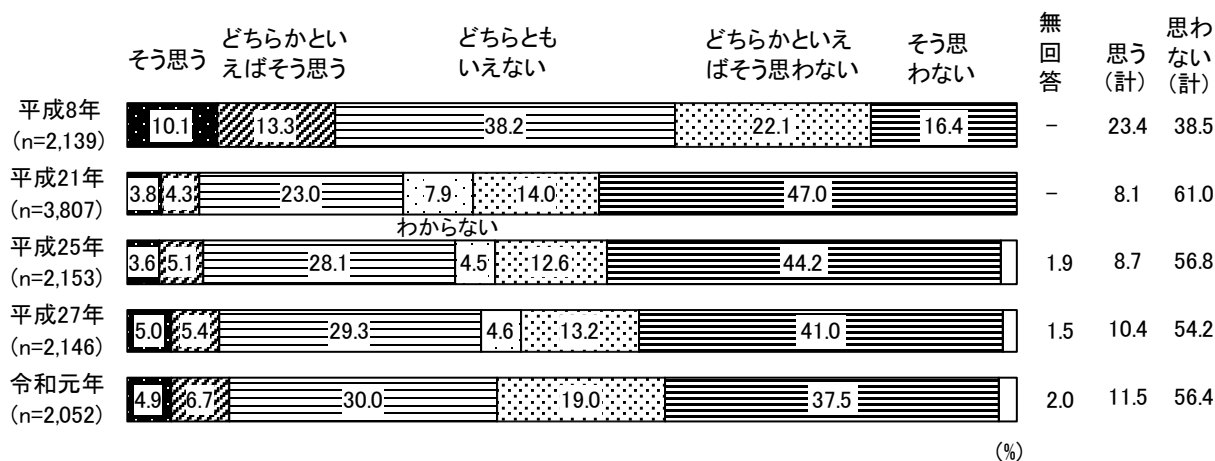


⑥ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [経年変化]

『思わない(計)』は2.2ポイント増加

経年変化をみると、前回調査に比べ『思わない(計)』は2.2ポイントの増加となっている。『思う(計)』は平成21年から微増の傾向が続いている。

図3-4-5 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [経年変化]



※平成8年度は、「思う」は「まったく思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

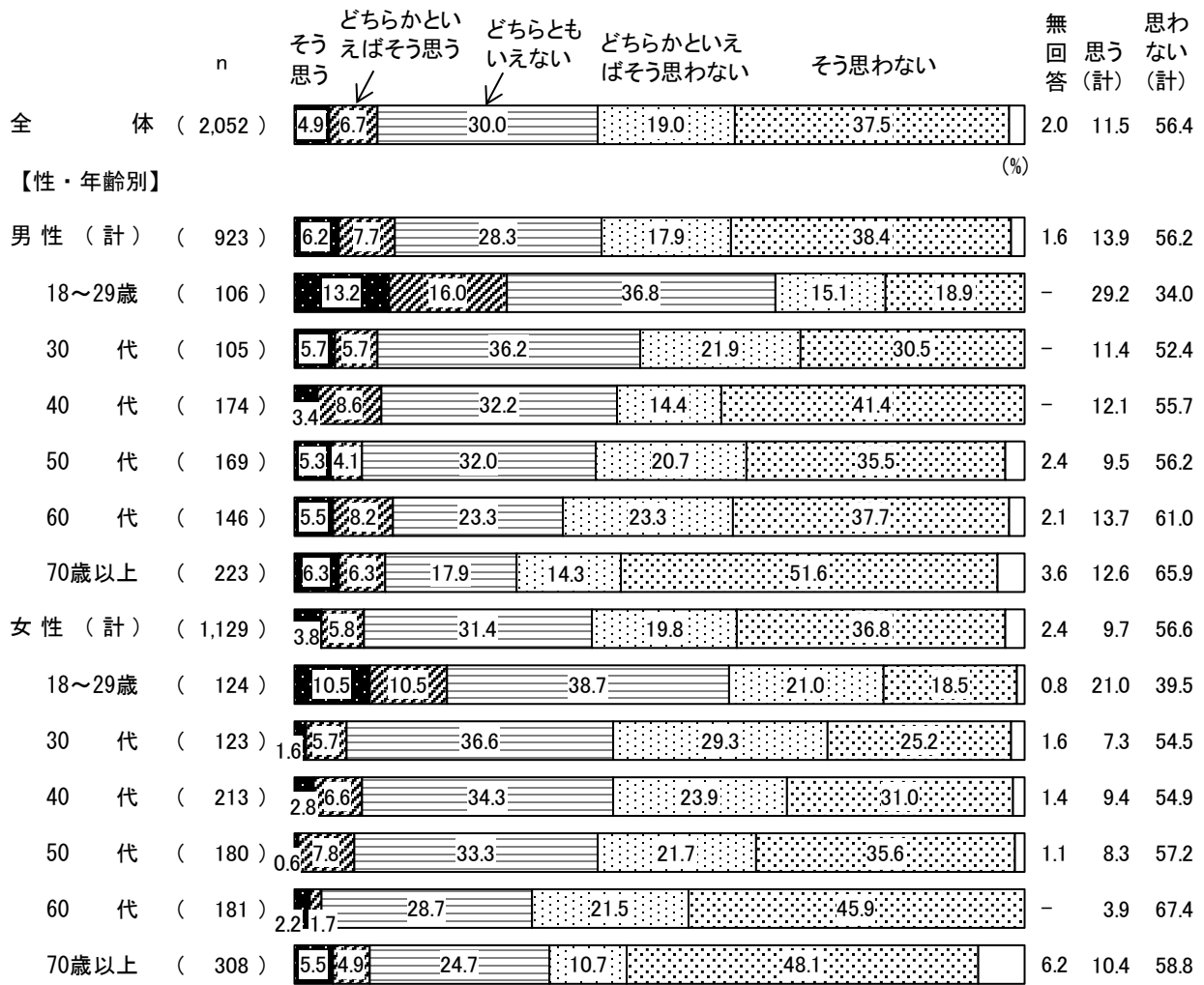
※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

⑦ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [性・年齢別]

『思わない(計)』は女性60代、男性70歳以上で6割半ば

性・年齢別にみると、『思わない(計)』は女性60代(67.4%)、男性70歳以上(65.9%)で6割半ばと多くなっている。『思う(計)』は男性18~29歳(29.2%)で3割近くと多い。

図3-4-6 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [性・年齢別]



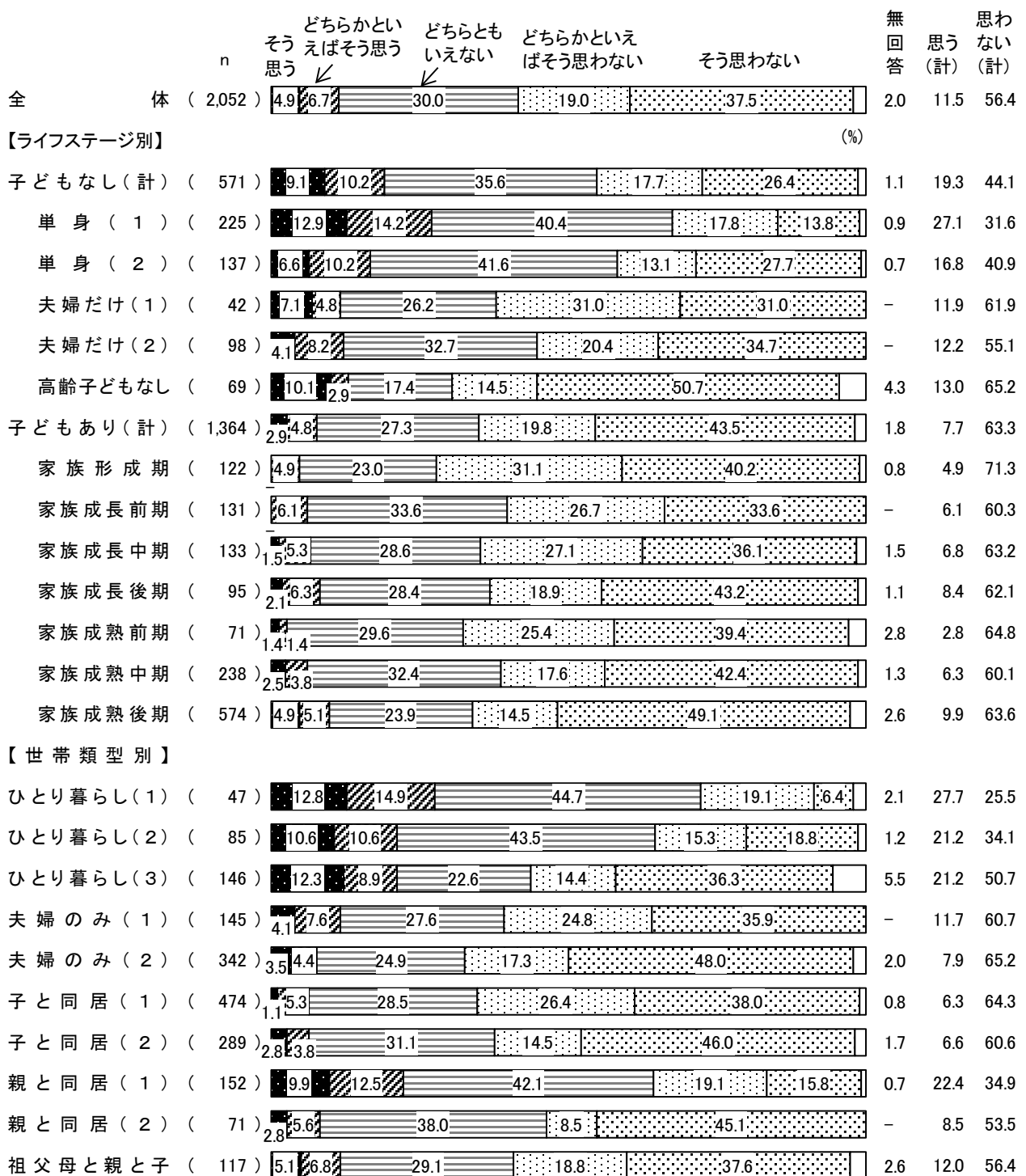
⑧ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [ライフステージ別]
『思わない(計)』は家族形成期で7割を超える

ライフステージ別にみると、『思わない(計)』は家族形成期(71.3%)で7割を超えて最も多くなっている。

⑨ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [世帯類型別]
『思わない(計)』は夫婦のみ(2)、子と同居(1)で6割半ば

世帯類型別にみると、『思わない(計)』は夫婦のみ(2)(65.2%)、子と同居(1)(64.3%)で6割半ばと多くなっている。

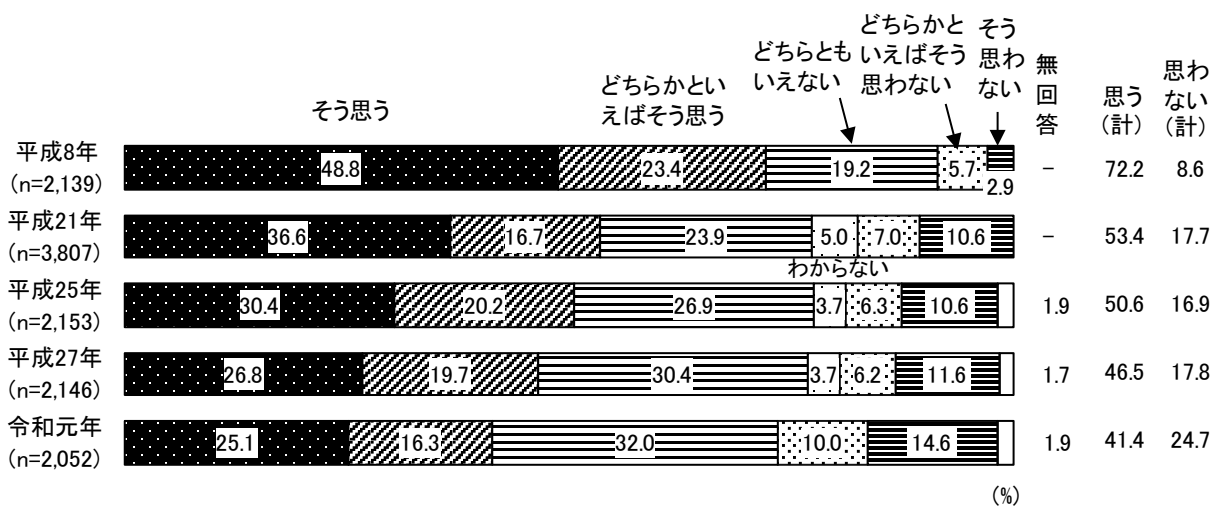
図3-4-7 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい
[ライフステージ別、世帯類型別]



⑩ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [経年変化]
『思う(計)』は減少傾向

経年変化をみると、『思う(計)』は減少傾向となっており、前回調査からは5.1ポイントの減少となっている。

図3-4-8 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [経年変化]



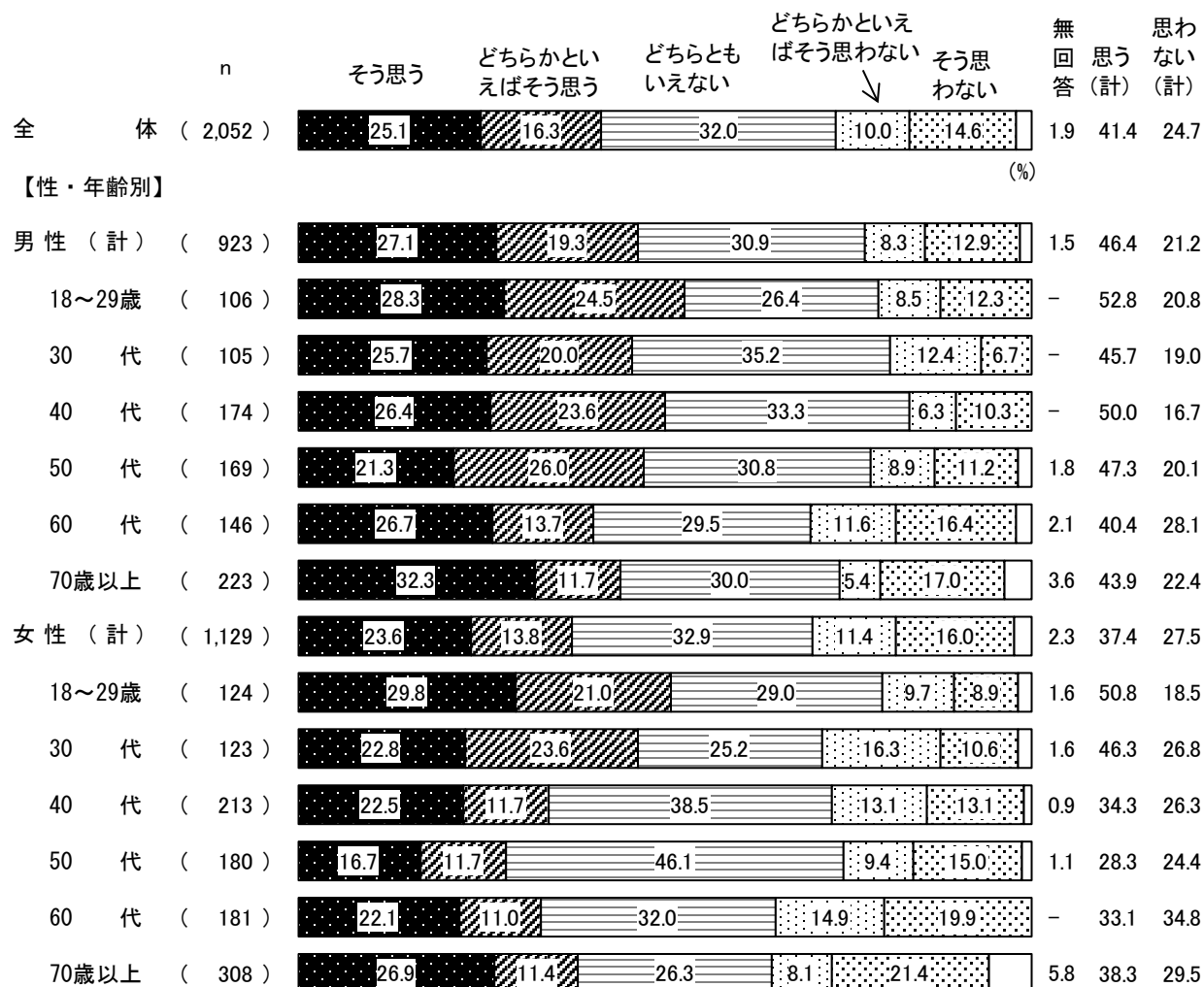
※平成8年度は、「そう思う」は「まったくそう思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

⑪ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [性・年齢別]
『思う(計)』は男女18～29歳で5割を超える

性・年齢別にみると、『思う(計)』は男性18～29歳(52.8%)、女性18～29歳(50.8%)で5割を超えて多くなっている。

図3-4-9 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [性・年齢別]



⑫ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい

[ライフステージ別]

『思う(計)』は夫婦だけ(1)、家族成長前期で5割半ば

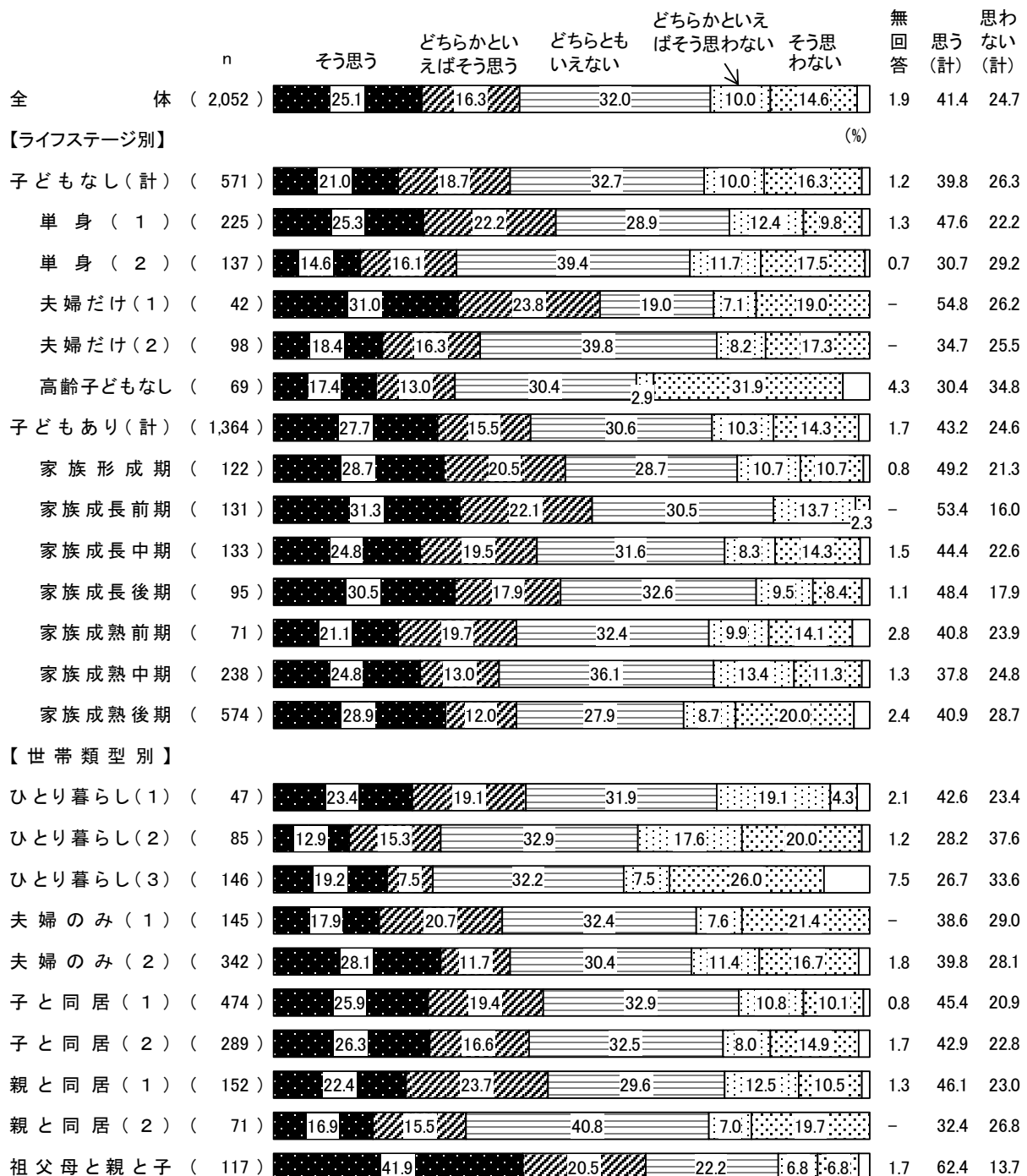
ライフステージ別にみると、『思う(計)』は夫婦だけ(1) (54.8%)、家族成長前期(53.4%)で5割半ばと多くなっている。

⑬ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [世帯類型別]

『思う(計)』は祖父母と親と子で6割を超える

世帯類型別にみると、『思う(計)』は祖父母と親と子(62.4%)で6割を超えて最も多くなっている。

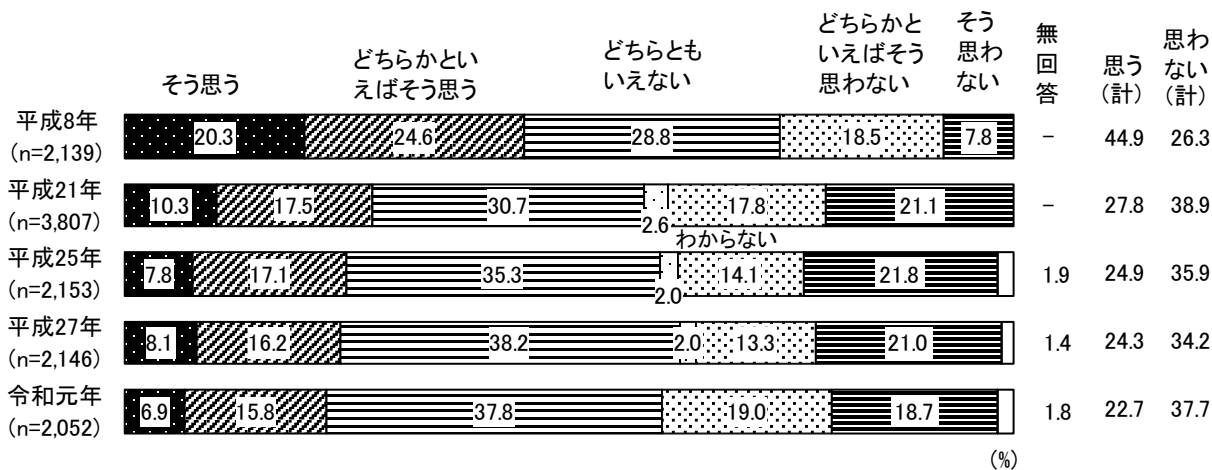
図3-4-10 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [ライフステージ別、世帯類型別]



⑭ 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [経年変化]
『思う(計)』は減少傾向

経年変化をみると、『思う(計)』は減少傾向にあり、前回調査に比べ1.6ポイントの減少となっている。

図3-4-11 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [経年変化]



※平成8年度は、「思う」は「まったく思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

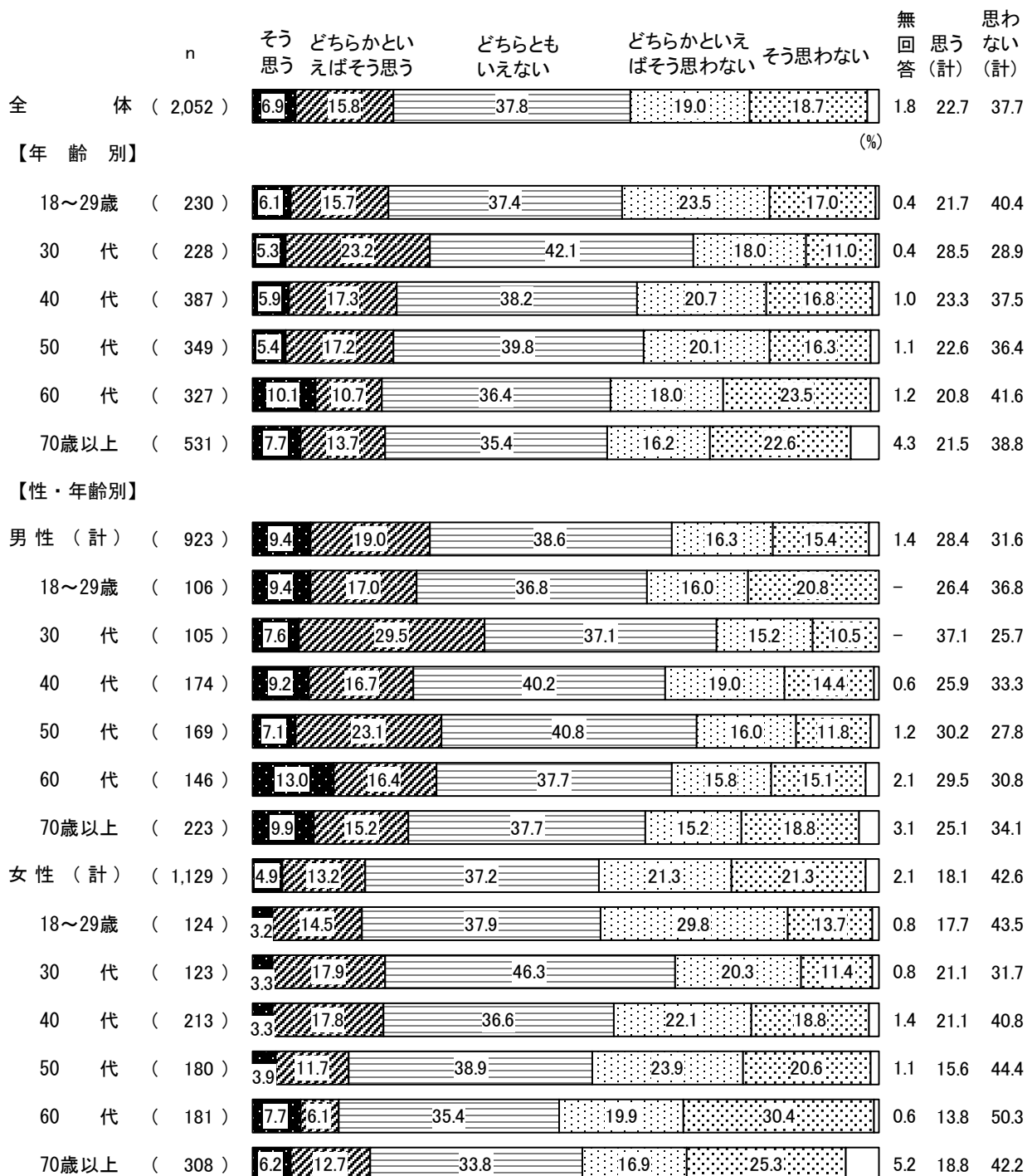
⑮ 住まいに関する価値観(工) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [年齢別]
『思う(計)』は30代で3割近く

年齢別にみると、『思う(計)』は30代(28.5%)で3割近くと最も多くなっている。なお、70歳以上を70代と80歳以上とに分けてみると、『思う(計)』は70代が1割半ばに対して、80歳以上は3割近くと多くなっている。

⑯ 住まいに関する価値観(工) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [性・年齢別]
『思わない(計)』は女性60代で5割を超える

性・年齢別にみると、『思わない(計)』は女性60代(50.3%)で5割を超えて最も多い。

図3-4-12 住まいに関する価値観(工) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [年齢別、性・年齢別]



⑩ 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい

[ライフステージ別]

『思わない(計)』は夫婦だけ(2)で4割半ば

ライフステージ別にみると、『思わない(計)』は夫婦だけ(2)(46.9%)で4割半ばと最も多くなっている。

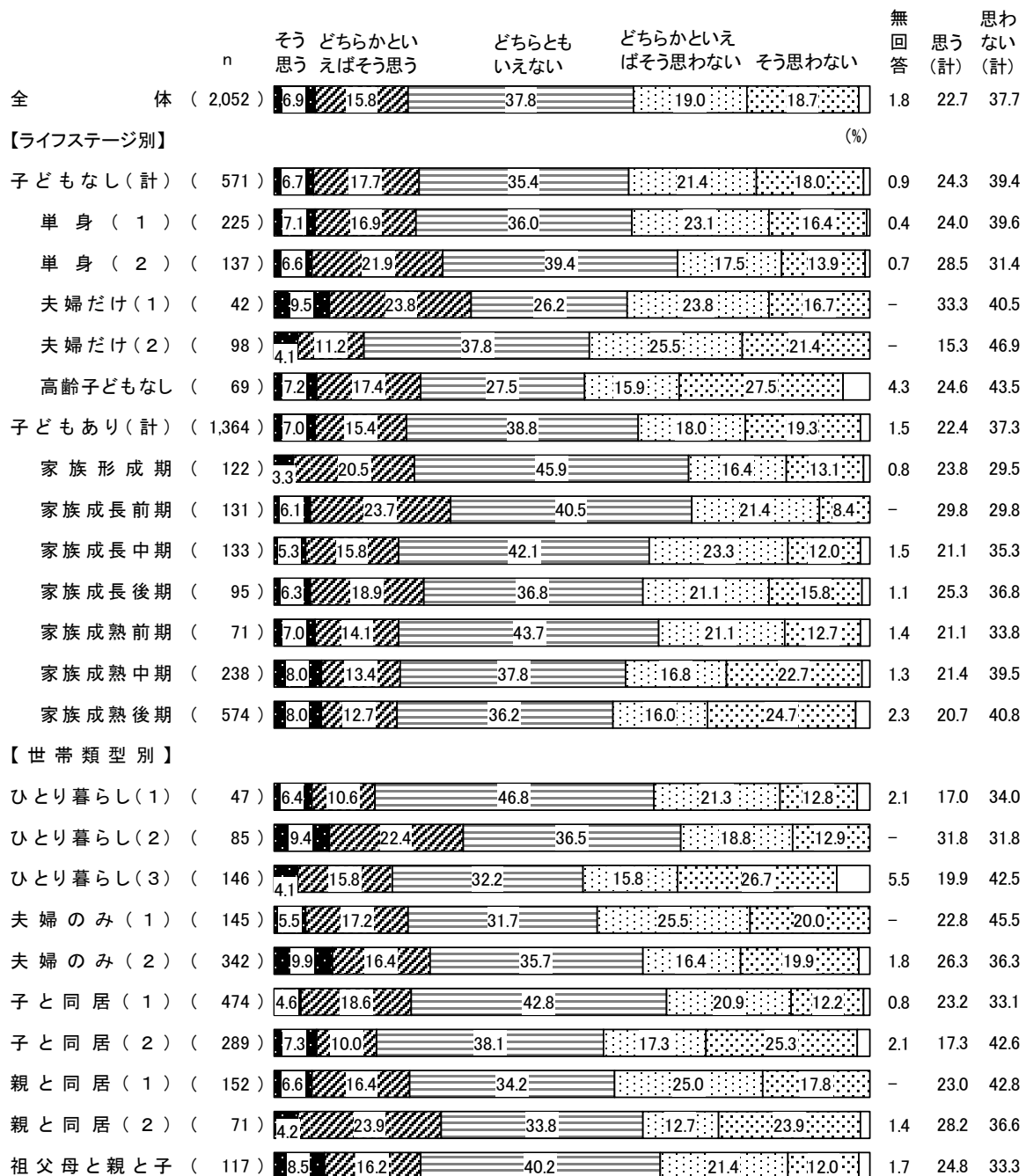
⑪ 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい

[世帯類型別]

『思う(計)』はひとり暮らし(2)で3割を超える

世帯類型別にみると、『思う(計)』はひとり暮らし(2)(31.8%)で3割を超えて最も多くなっている。

図3-4-13 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい
[ライフステージ別、世帯類型別]

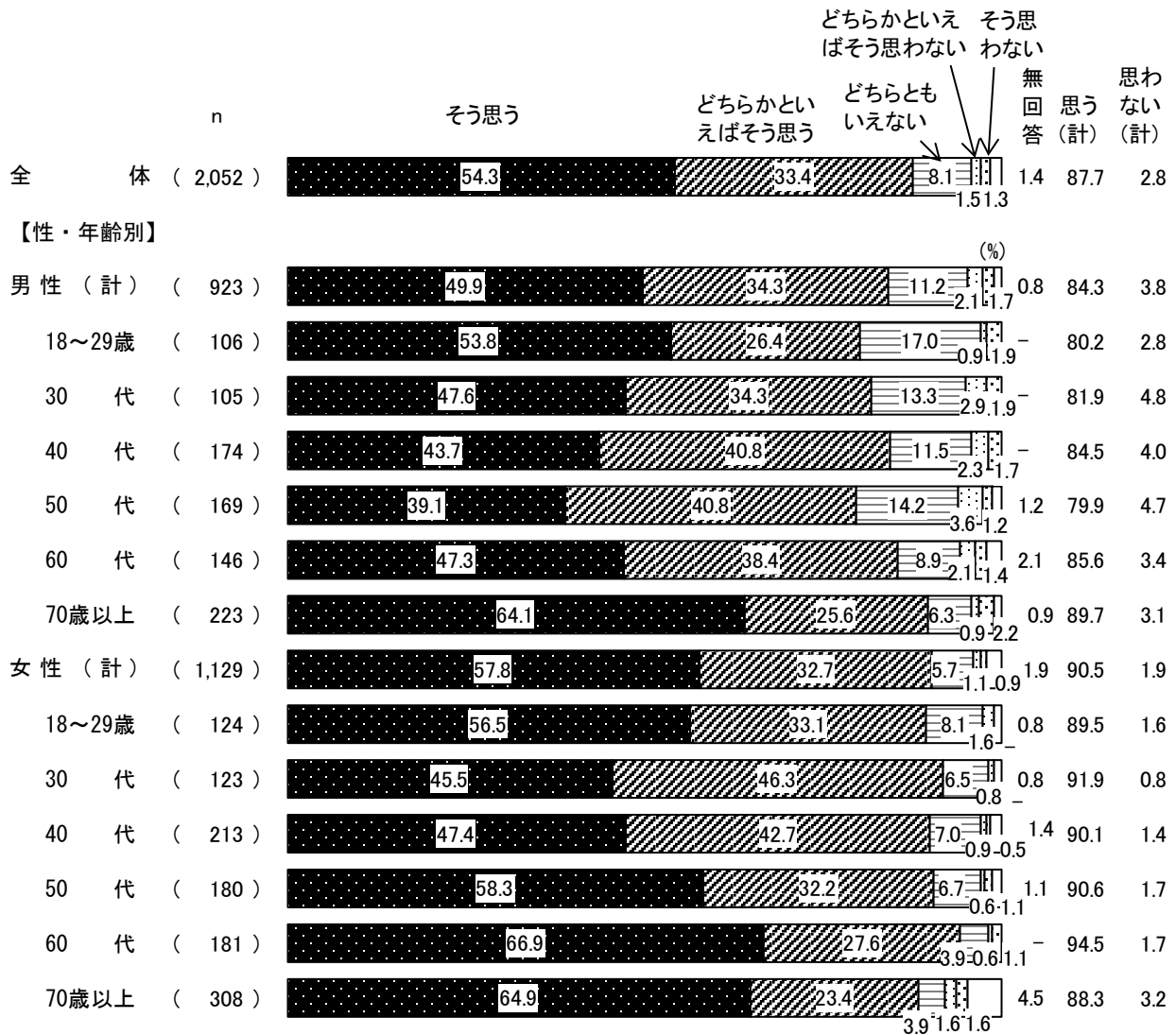


⑱ 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [性・年齢別]

『思う(計)』は女性60代で9割半ば

性・年齢別にみると、『思う(計)』は女性60代(94.5%)で9割半ばと最も多くなっている。また、『思う(計)』はおおむね男性よりも女性のほうが多くなっている。

図3-4-14 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [性・年齢別]



⑳ 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [ライフステージ別]

『思う(計)』は単身(2)で約8割と少ない

ライフステージ別にみると、『思う(計)』は単身(2) (81.0%)で約8割と最も少なくなっている。

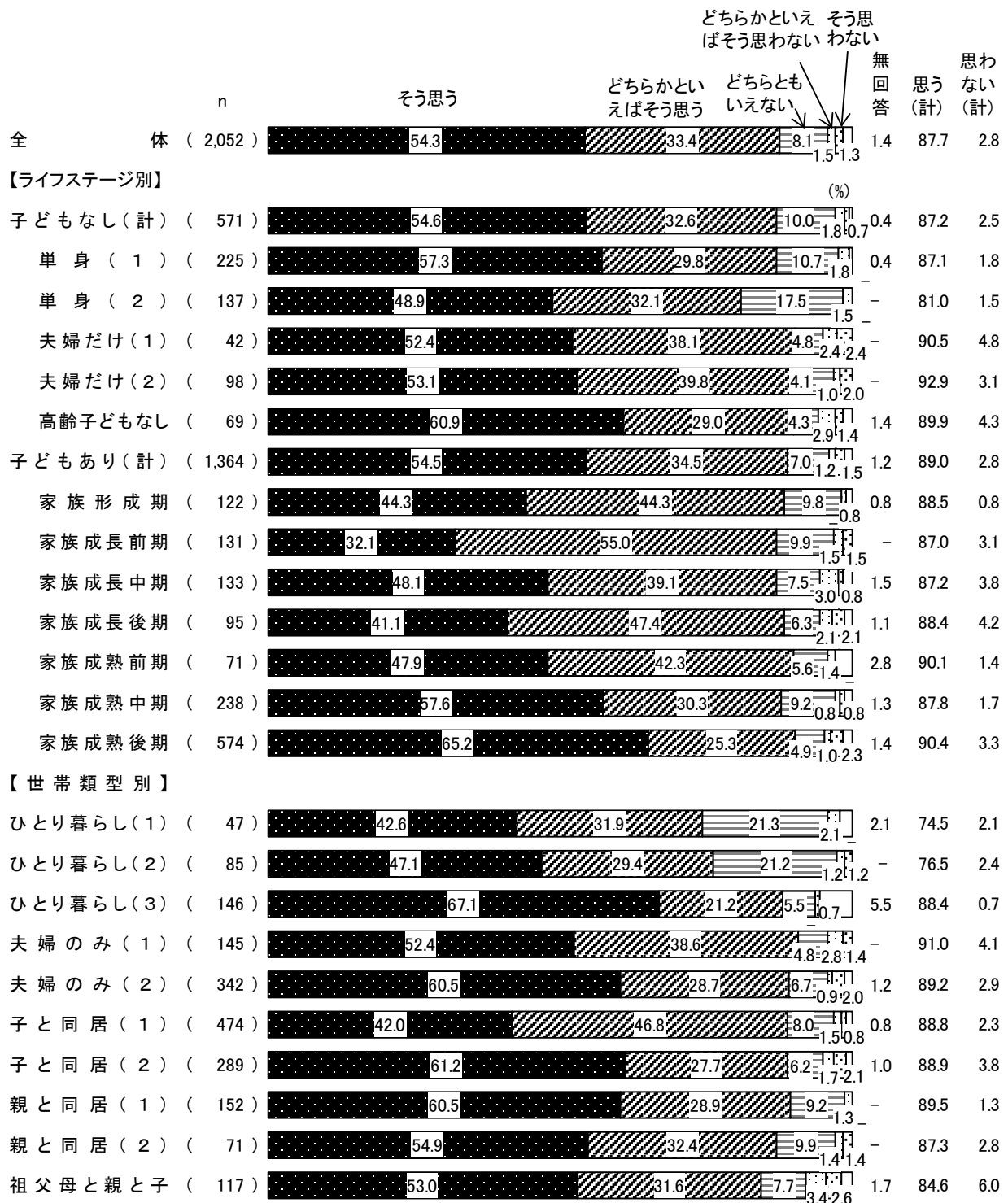
㉑ 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [世帯類型別]

『思う(計)』はひとり暮らし(1)、ひとり暮らし(2)で7割半ばと少ない

世帯類型別にみると、『思う(計)』はひとり暮らし(1) (74.5%)、ひとり暮らし(2) (76.5%)で7割半ばと少なくなっている。

図3-4-15 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ

[ライフステージ別、世帯類型別]



4. 生活意識

(1) 生活満足度

問8 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

『満足(計)』は7割近く

生活満足度については、「満足しているほう」(22.2%)と「まあ満足しているほう」(47.0%)を合わせた『満足(計)』(69.2%)は7割近くとなっている。これは、本年度の内閣府「国民生活に関する世論調査(※)」における全国の『満足(計)』(73.8%)と比べると4.6ポイント低くなっている。

一方、「不満があるほう」(3.6%)と「やや不満があるほう」(8.4%)を合わせた『不満(計)』(12.0%)は1割を超えて、横ばい傾向となっている。この『不満(計)』の割合は、全国の『不満(計)』(25.0%)と比較すると13.0ポイント低くなっている。

(※) 全国の18歳以上の日本国籍を有する者10,000人を対象(回収数5,969人)

図4-1-1 生活満足度 [全体]

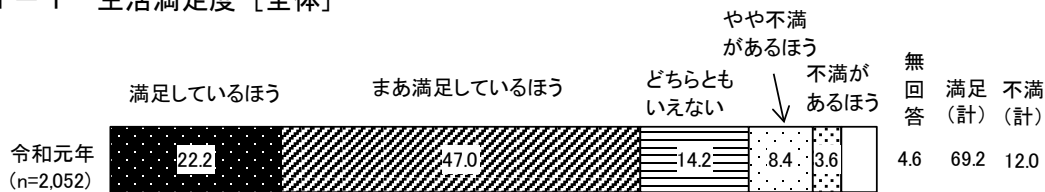
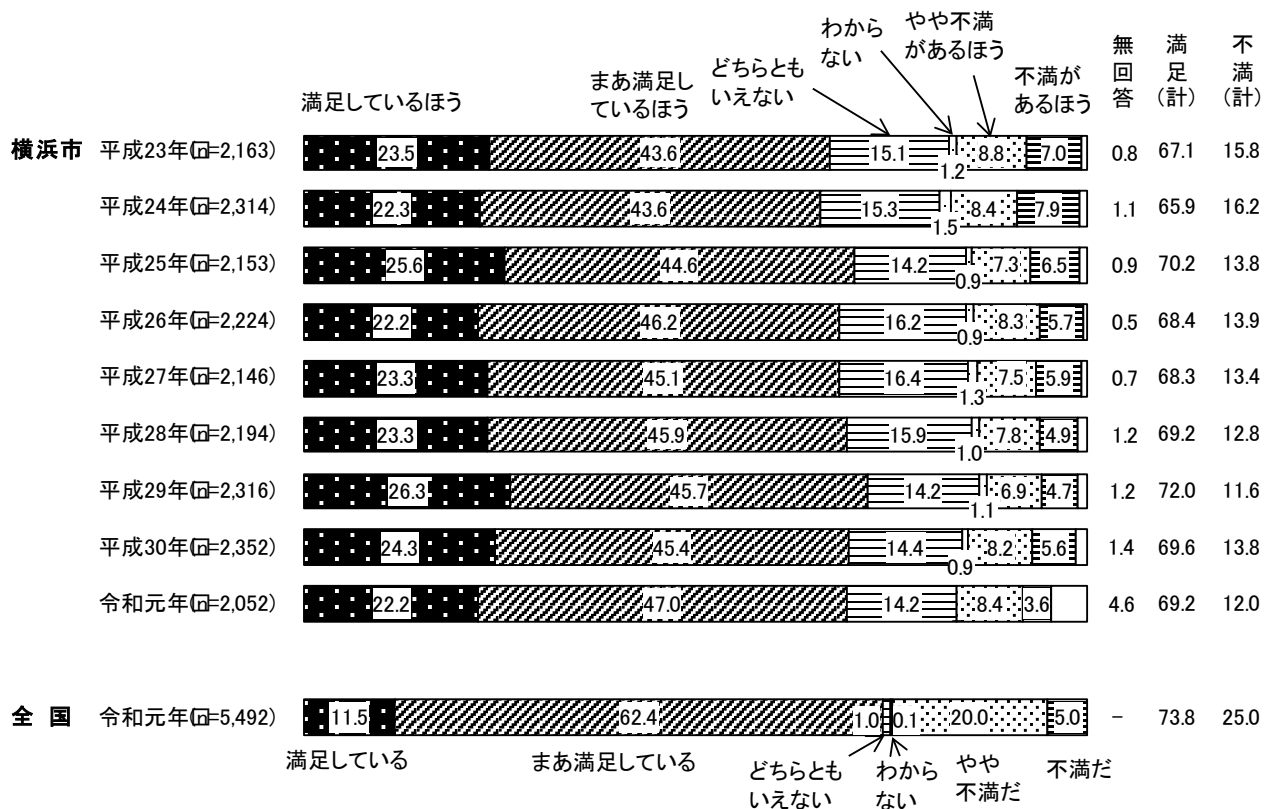


図4-1-2 生活満足度 [経年変化、全国との比較]



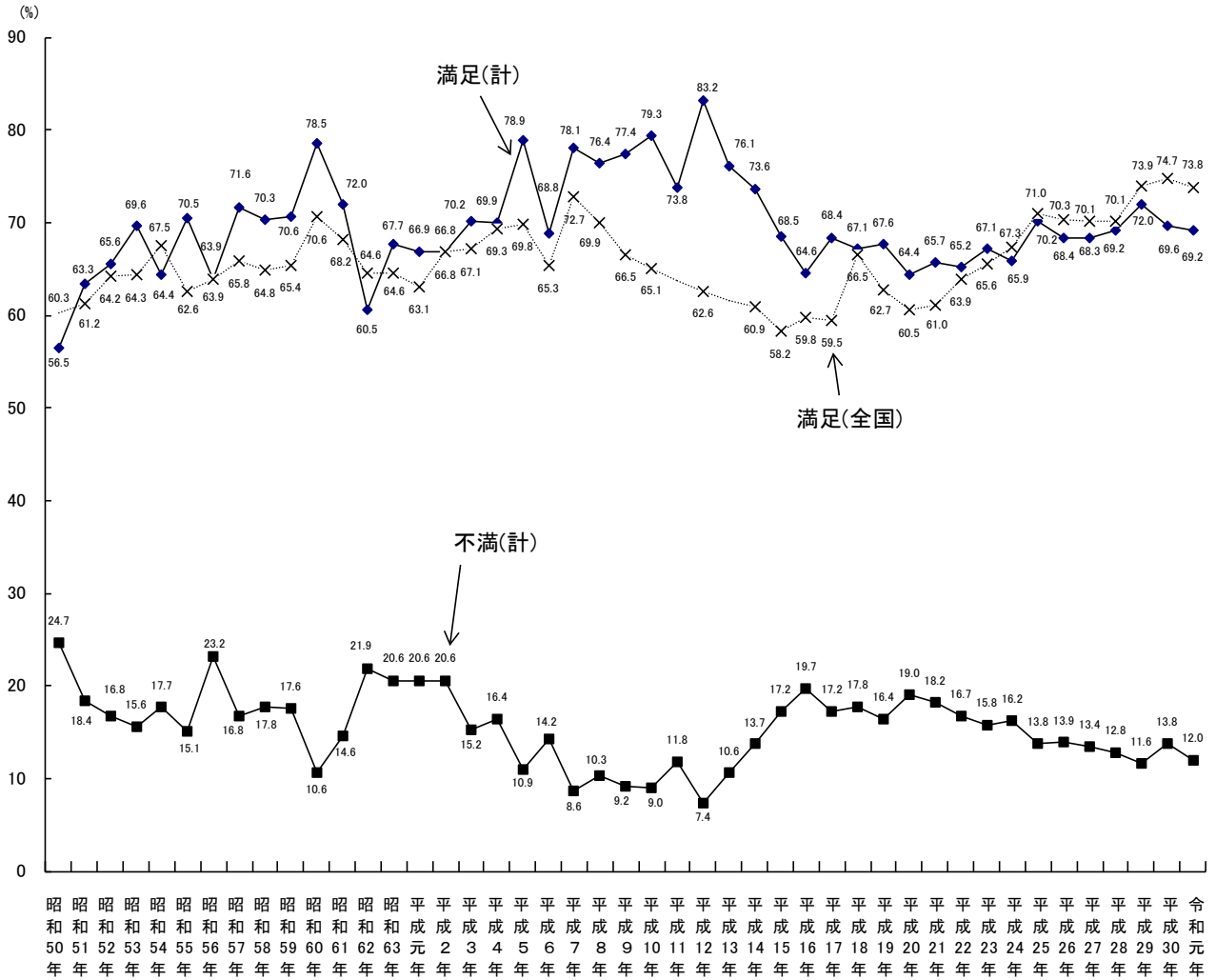
※平成30年以前の調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

① 生活満足度 [経年変化]

横浜市の満足度は微減

経年変化をみると、前回調査に比べ『満足(計)』は0.4ポイント減少、『不満(計)』は1.8ポイントの減少となっている。

図4-1-3 生活満足度 [経年変化]



② 生活満足度 [年齢別]

『満足 (計)』は70歳以上で7割半ば

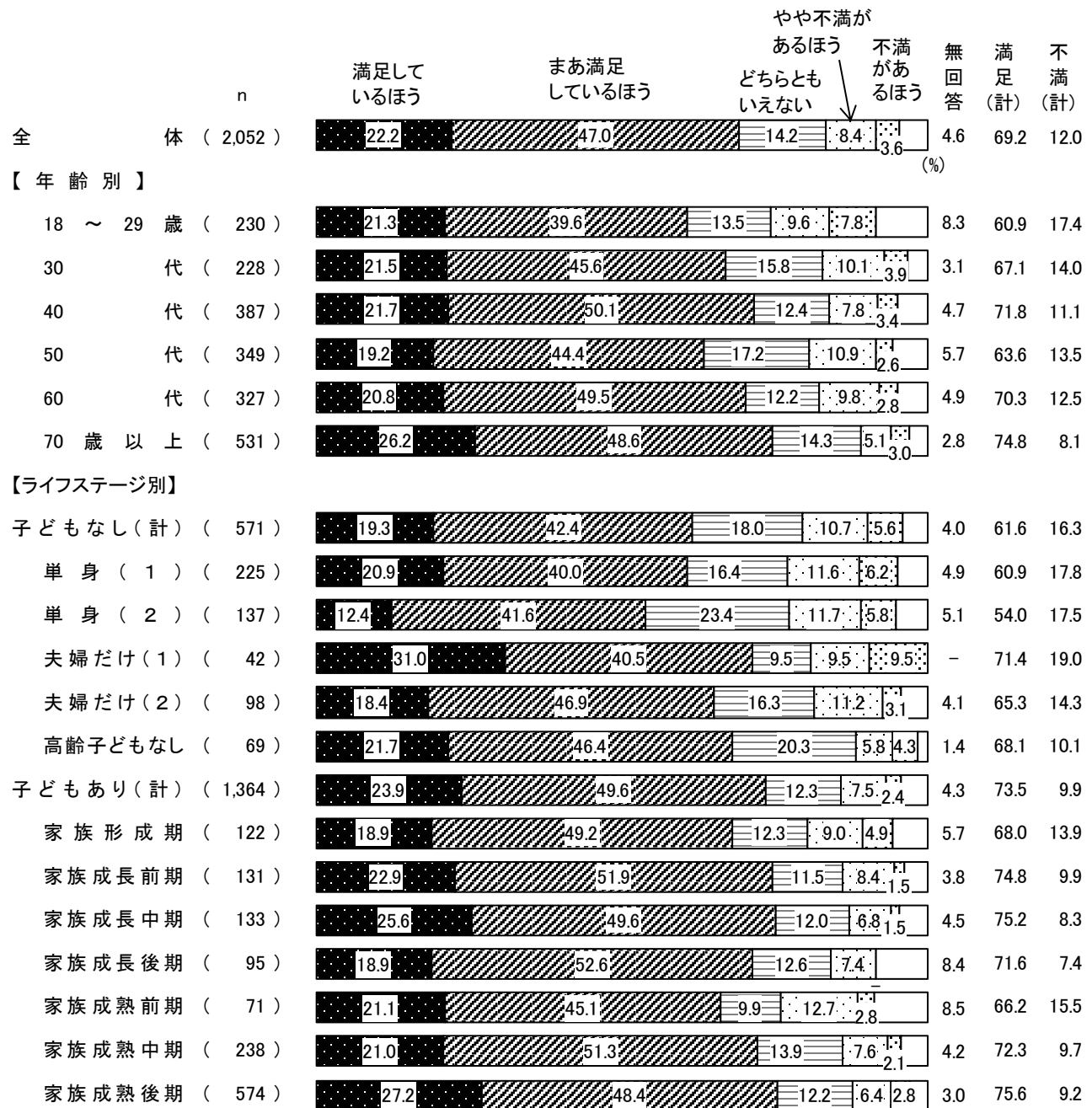
年齢別にみると、『満足 (計)』は70歳以上 (74.8%) で7割半ばと最も多くなっている。

③ 生活満足度 [ライフステージ別]

『満足 (計)』は家族成熟後期で7割半ば

ライフステージ別にみると、『満足 (計)』は家族成熟後期 (75.6%) で7割半ばと最も多い。

図4-1-4 生活満足度 [年齢別、ライフステージ別]



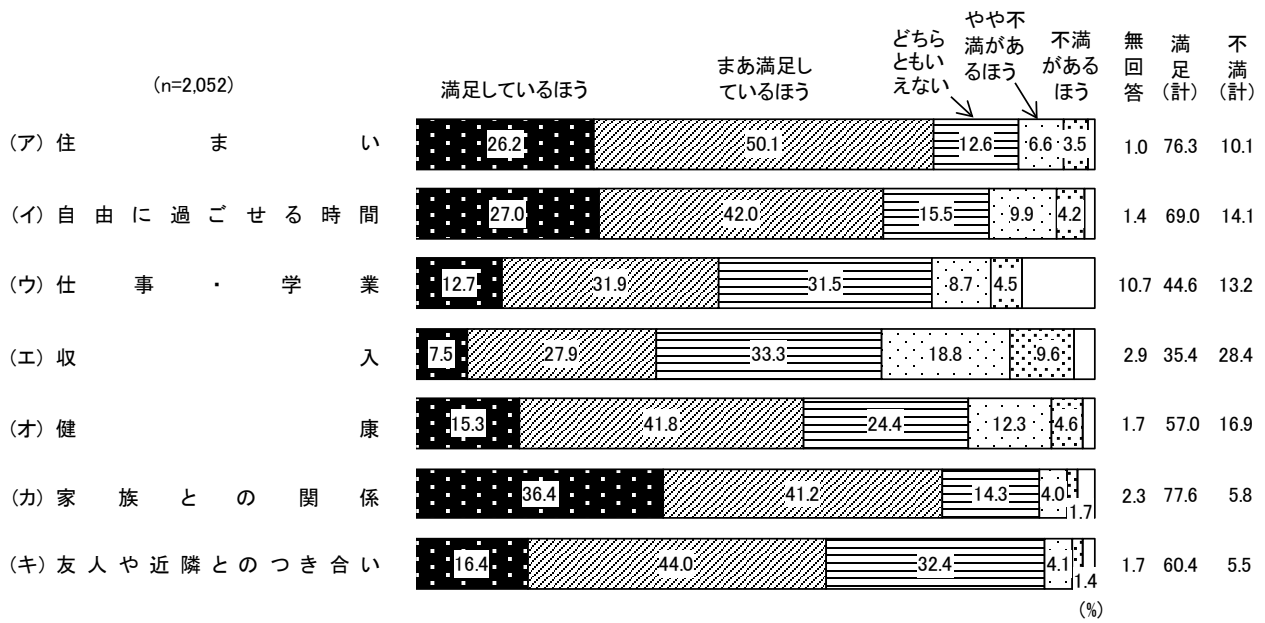
(2) 項目別生活満足度

問9 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

『満足(計)』は《家族との関係》、《住まい》で7割半ば

項目別生活満足度について、「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」を合わせた『満足(計)』は、《家族との関係》(77.6%)、《住まい》(76.3%)で7割半ばとなっている。

図4-2-1 項目別生活満足度[全体]



① 項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別〕

『満足（計）』は30代で約7割と少ない

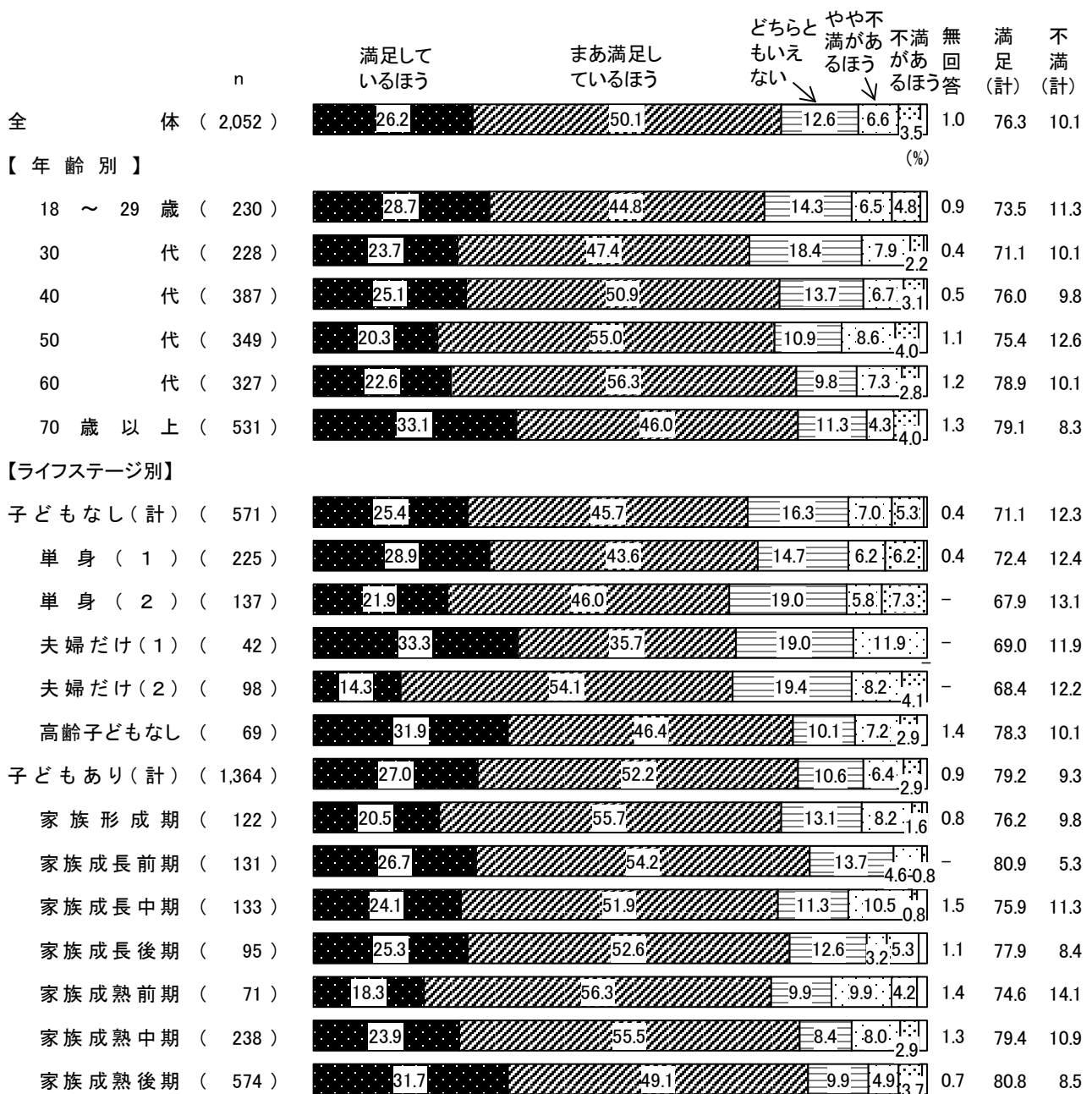
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（79.1%）、60代（78.9%）で8割近くと多く、30代（71.1%）で約7割と少なくなっている。

② 項目別生活満足度（ア）住まい〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は家族成長前期、家族成熟後期で8割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長前期（80.9%）、家族成熟後期（80.8%）で8割を超えて多い。

図4-2-2 項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別、ライフステージ別〕



③ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別]

『満足（計）』は70歳以上で8割半ば

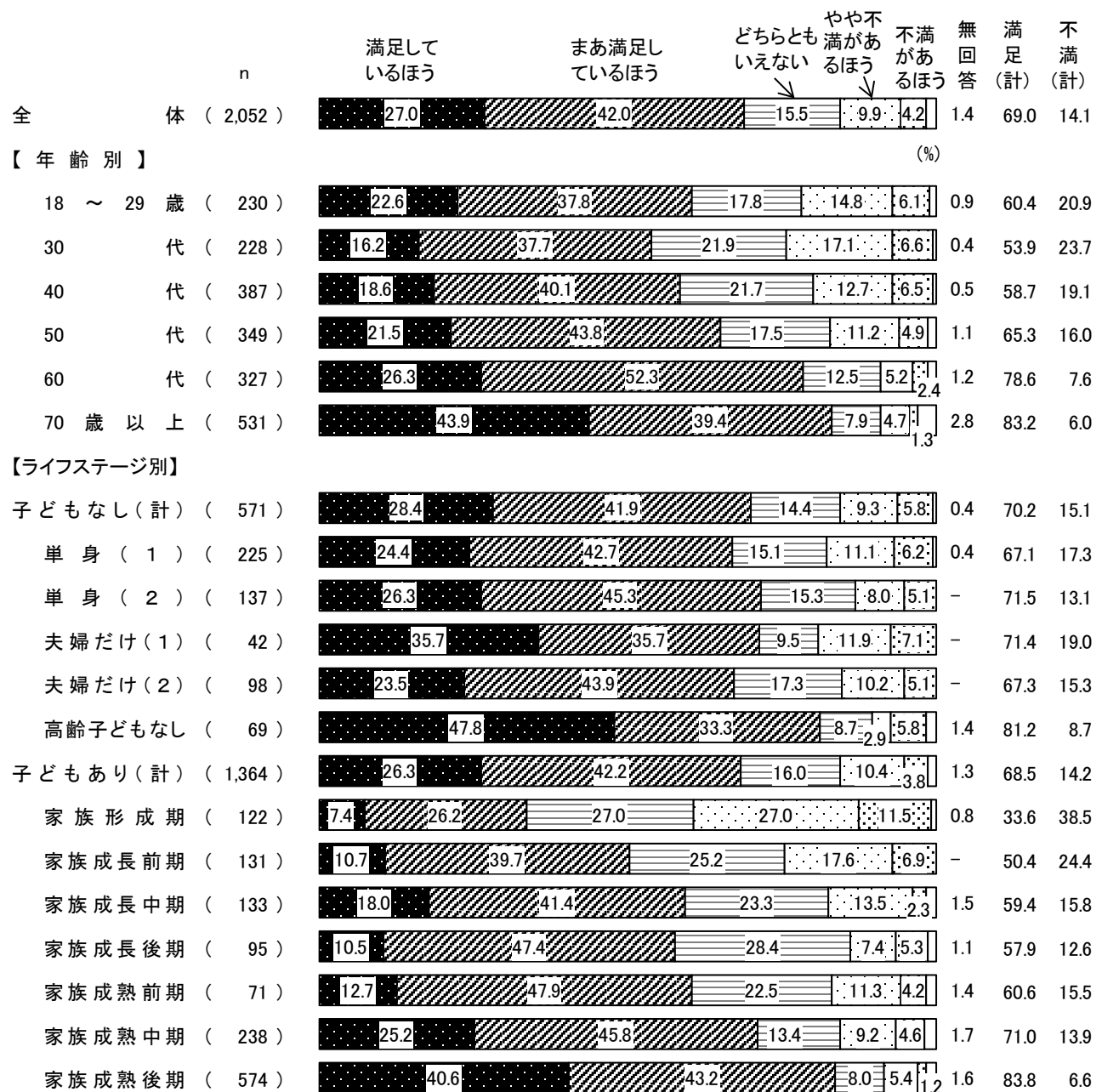
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（83.2%）で8割半ばと最も多くなっている。30代以降は年齢が高いほど『満足（計）』が増加、『不満（計）』が減少している。

④ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [ライフステージ別]

『不満（計）』は家族形成期で4割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成熟後期（83.8%）、高齢子どもなし（81.2%）で8割を超えて多くなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期（38.5%）で4割近くと最も多い。

図4-2-3 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別、ライフステージ別]



⑤ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別]

『不満（計）』は年齢が高いほど少ない

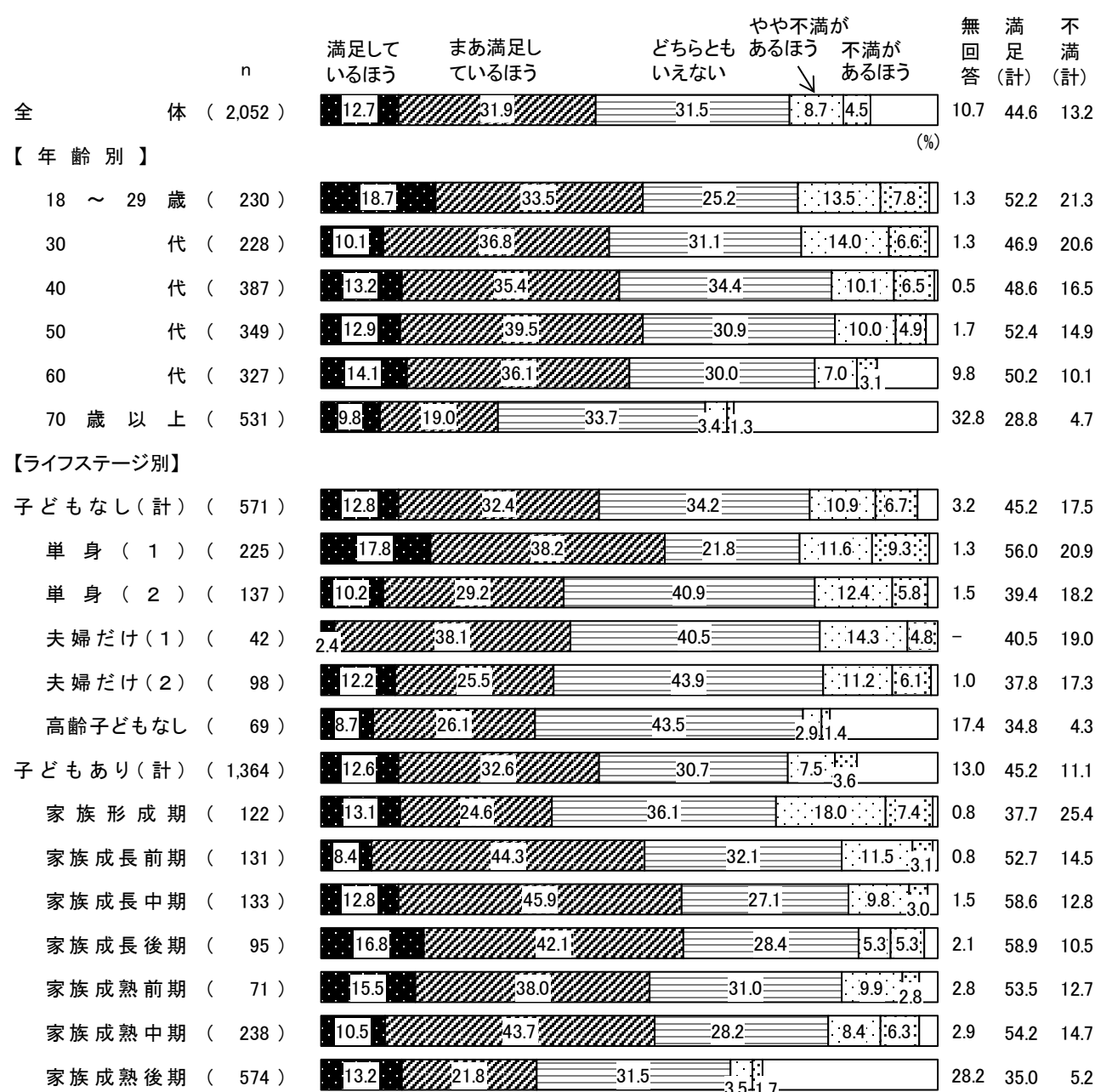
年齢別にみると、『不満（計）』は年齢が高いほど少なくなっている。『満足（計）』は50代（52.4%）、18～29歳（52.2%）、60代（50.2%）で5割を超えて多くなっている。

⑥ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [ライフステージ別]

『不満（計）』は家族形成期で2割半ば

ライフステージ別にみると、『不満（計）』は家族形成期（25.4%）で2割半ばと最も多く、『満足（計）』は家族成長後期（58.9%）、家族成長中期（58.6%）、単身（1）（56.0%）などで5割を超えて多くなっている。

図4-2-4 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別、ライフステージ別]



⑦ 項目別生活満足度（エ）収入 [年齢別]

『不満（計）』は18～29歳で3割半ば

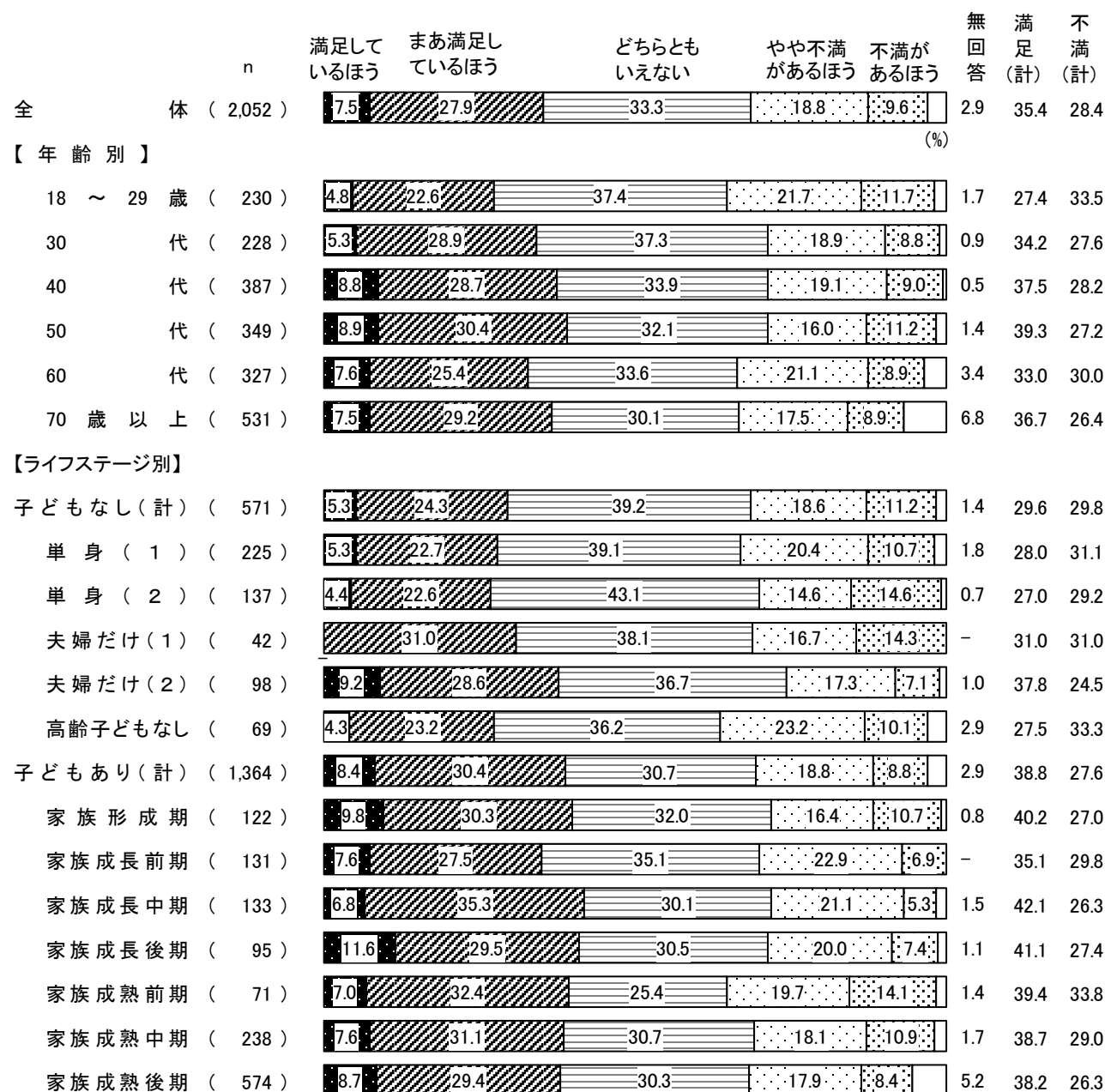
年齢別にみると、『満足（計）』は50代（39.3%）で4割近くと最も多く、『不満（計）』は18～29歳（33.5%）で3割半ばと最も多くなっている。

⑧ 項目別生活満足度（エ）収入 [ライフステージ別]

『満足（計）』は単身（2）で2割半ばと少ない

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は単身（2）（27.0%）で2割半ばと最も少ない。

図4-2-5 項目別生活満足度（エ）収入 [年齢別、ライフステージ別]



⑨ 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別〕

『満足（計）』はおおむね年齢が高いほど少ない

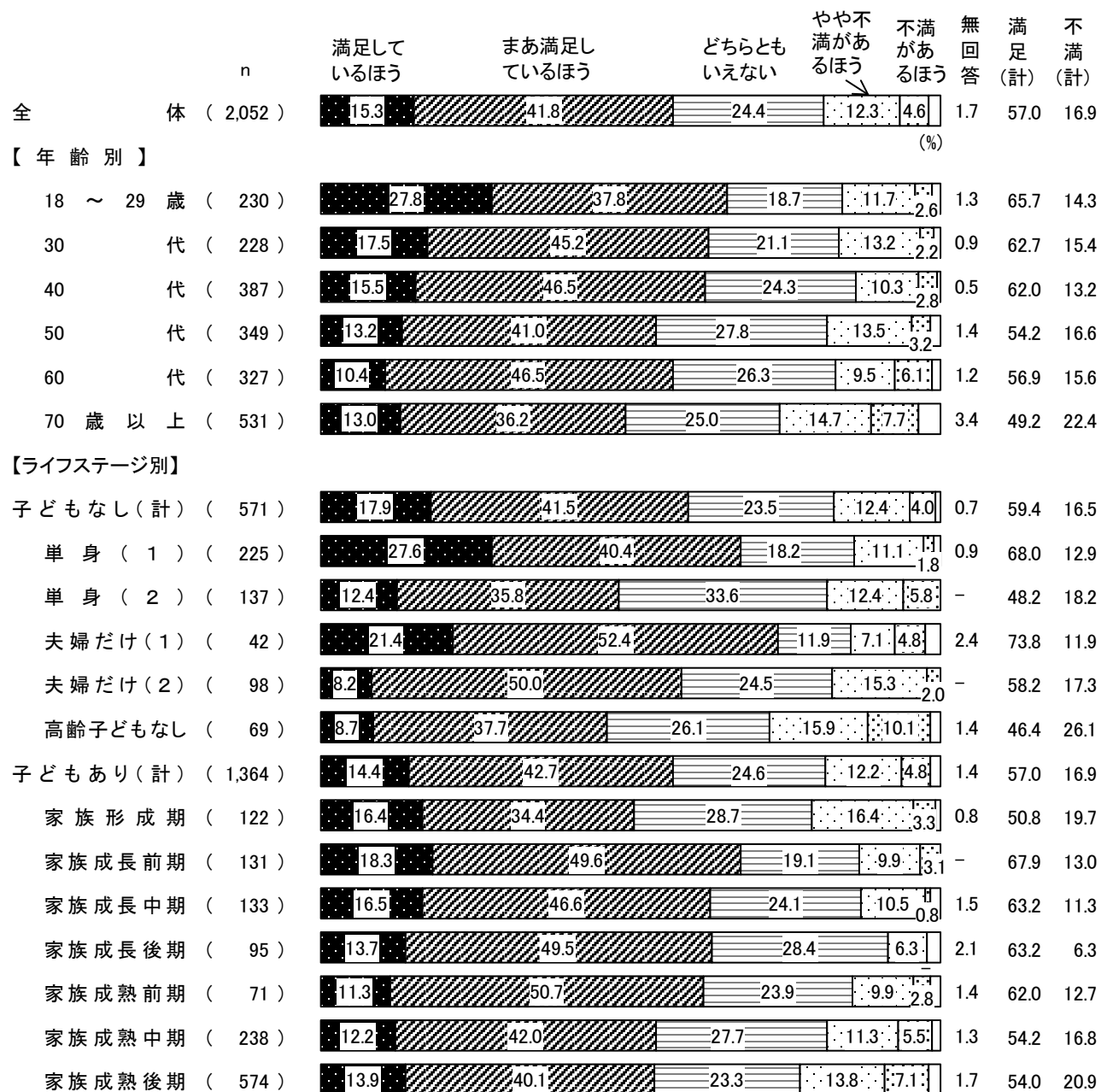
年齢別にみると、『満足（計）』はおおむね年齢が高いほど少なくなっている。一方、『不満（計）』は70歳以上（22.4%）で2割を超えて最も多い。

⑩ 項目別生活満足度（オ）健康〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で7割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（73.8%）で7割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は高齢子どもなし（26.1%）で2割半ばと最も多い。

図4-2-6 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別、ライフステージ別〕



⑪ 項目別生活満足度（カ）家族との関係 [年齢別]

『満足（計）』は30代で8割を超える

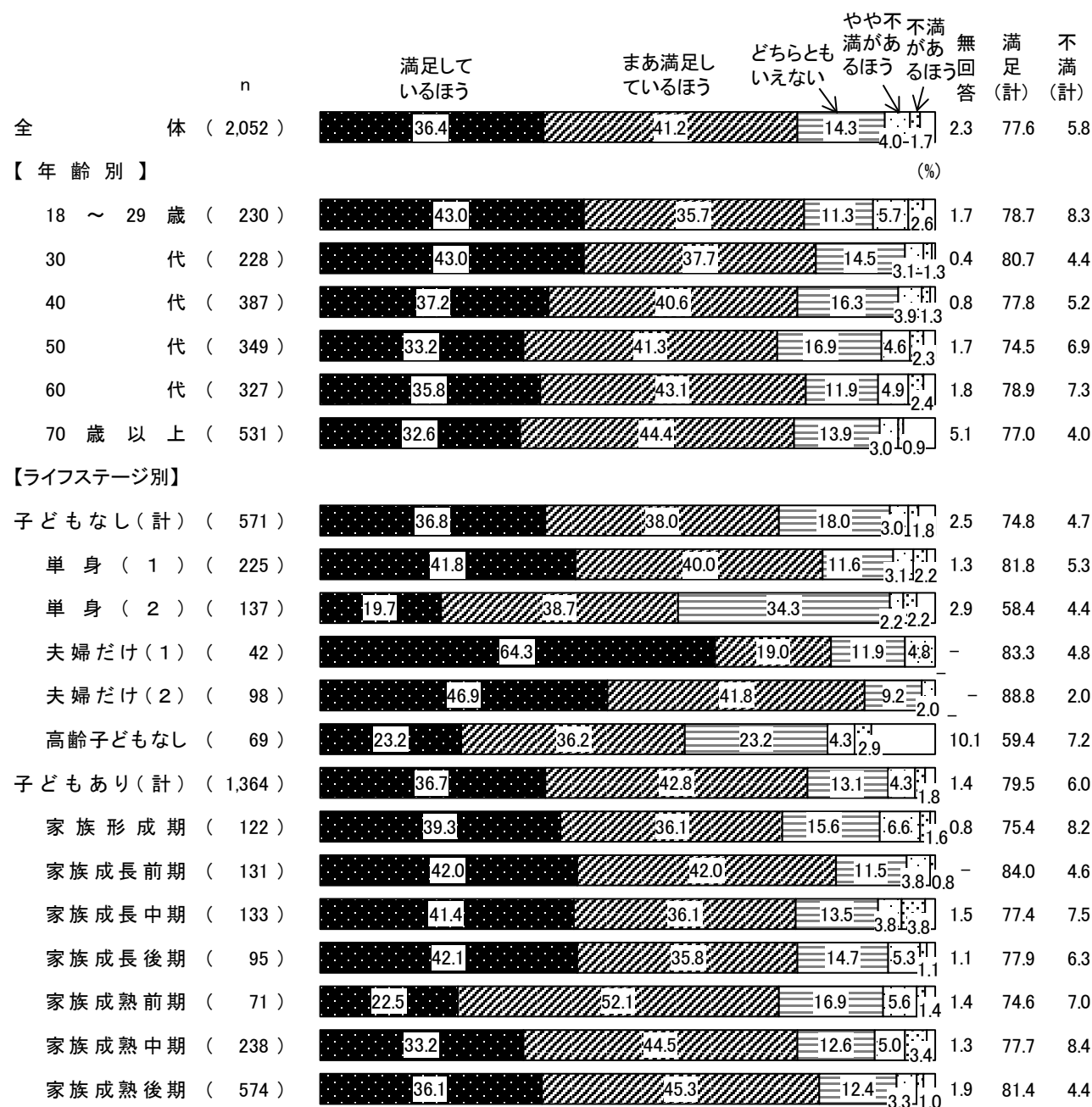
年齢別にみると、『満足（計）』は30代（80.7%）で8割を超えて最も多くなっている。

⑫ 項目別生活満足度（カ）家族との関係 [ライフステージ別]

『満足（計）』は夫婦だけ（2）で9割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（2）（88.8%）で9割近くと最も多い。

図4-2-7 項目別生活満足度（カ）家族との関係 [年齢別、ライフステージ別]



⑬ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い [年齢別]

年齢別では大きな違いはみられない

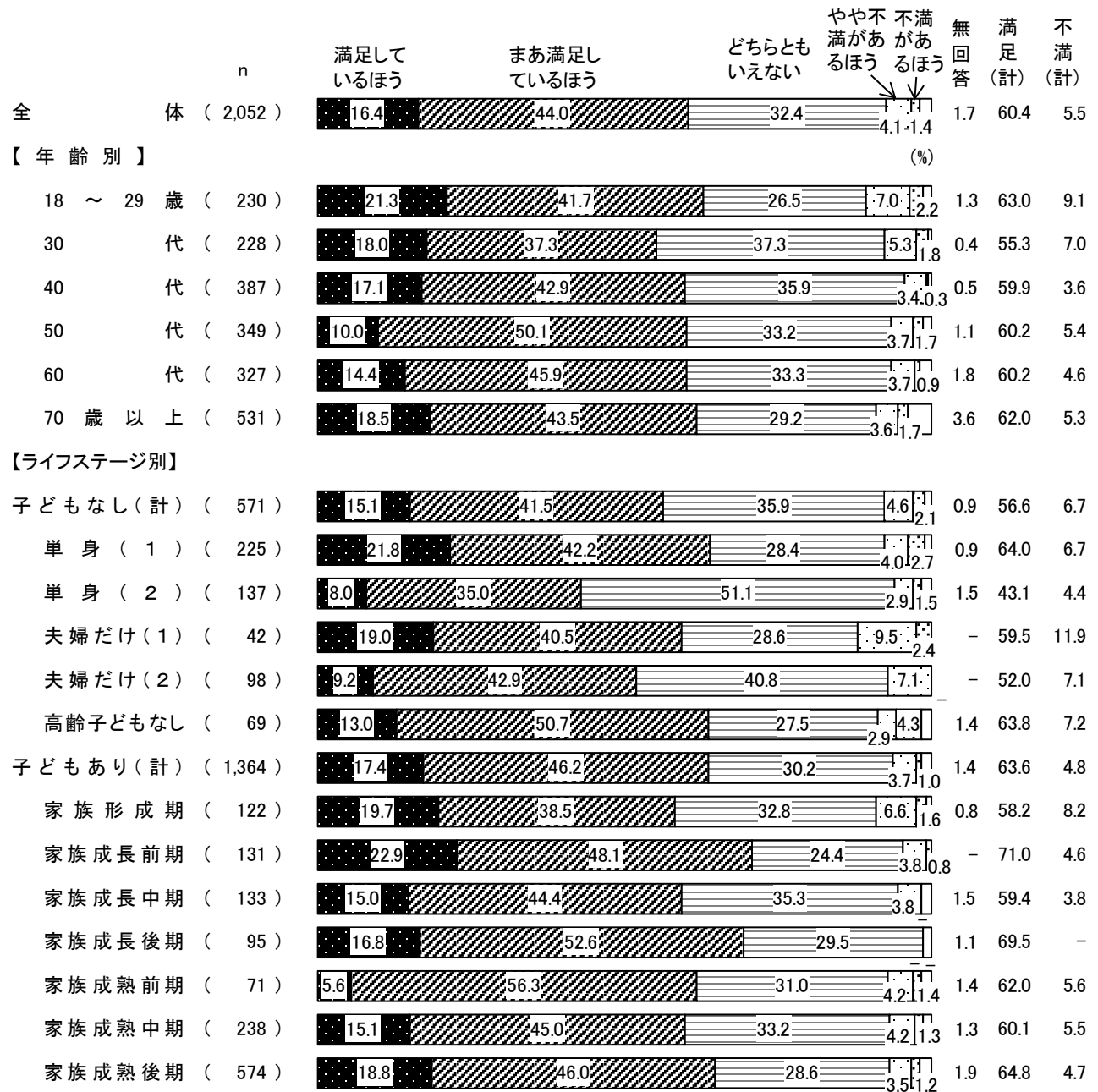
年齢別にみると、大きな違いはみられないが、30代で『満足（計）』（55.3%）が最も少なく、『不満（計）』（7.0%）も比較的多くなっている。

⑭ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い [ライフステージ別]

『満足（計）』は家族成長前期で7割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長前期（71.0%）で7割を超えて最も多い。『不満（計）』は夫婦だけ（1）（11.9%）で1割を超えて最も多い。

図4-2-8 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い [年齢別、ライフステージ別]



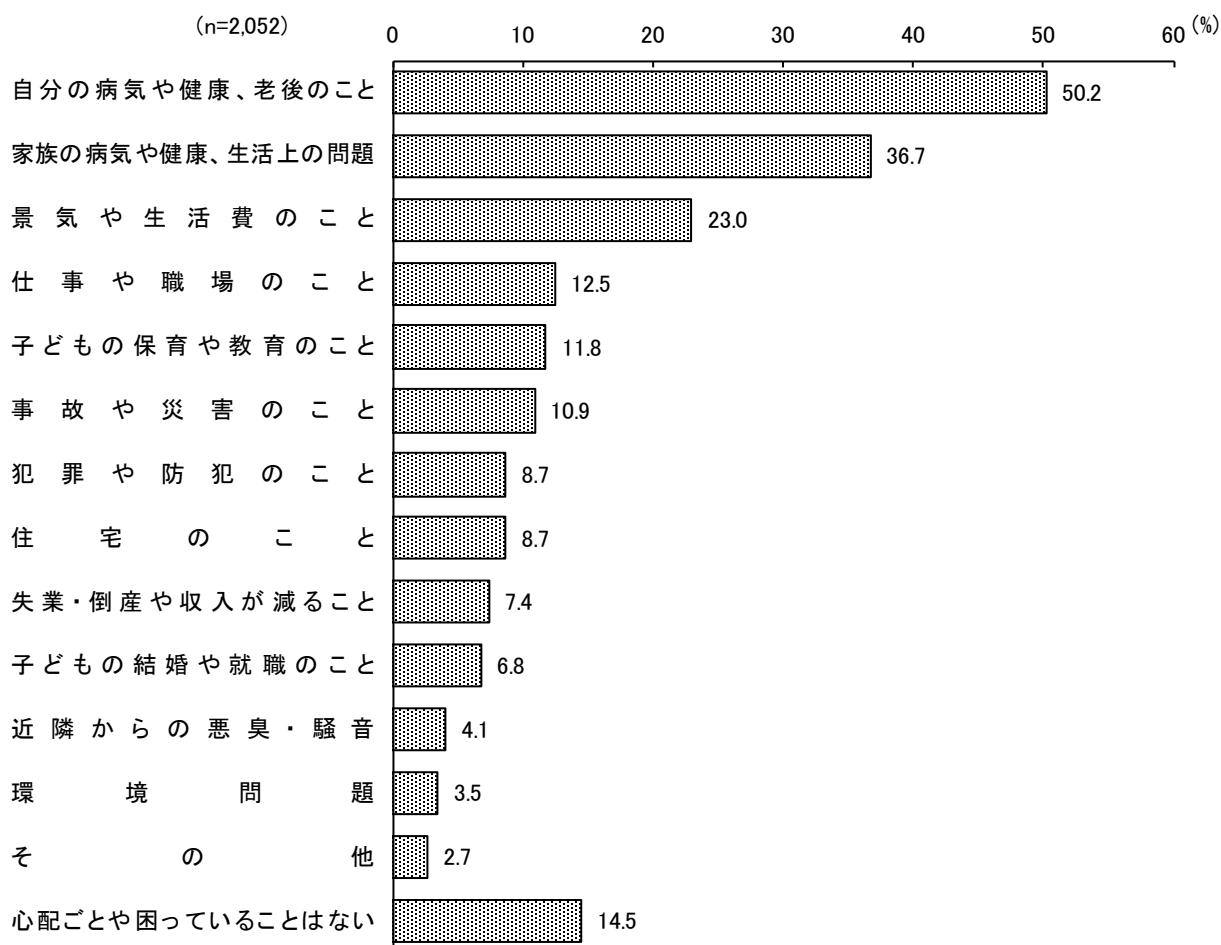
(3) 心配ごとや困っていること

問10 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(○は3つまで)

「自分の病気や健康、老後のこと」が5割を超えて最も多い

心配ごとや困っていることについては、「自分の病気や健康、老後のこと」(50.2%)が5割を超えて最も多く、次いで「家族の病気や健康、生活上の問題」(36.7%)、「景気や生活費のこと」(23.0%)となっている。

図4-3-1 心配ごとや困っていること [全体] (3つまでの複数回答)

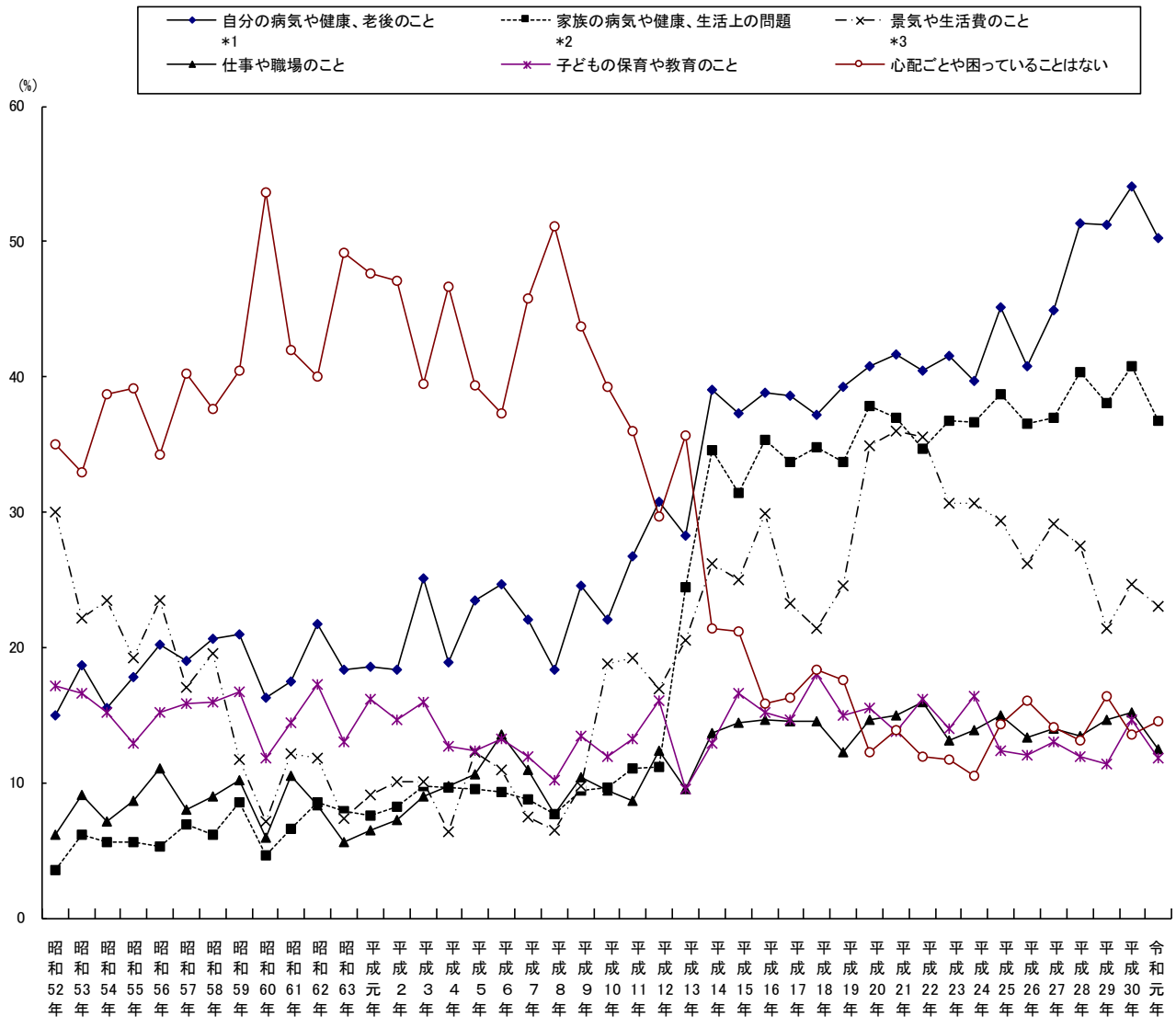


① 心配ごとや困っていること〔経年変化〕

「自分の病気や健康、老後のこと」は増加傾向

経年変化をみると、「自分の病気や健康、老後のこと」は、この20年ほど増加傾向にある。

図4-3-2 心配ごとや困っていること〔経年変化〕（3つまでの複数回答、上位5項目と「心配ごとや困っていることはない」の割合）



*1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。
 *2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。
 *3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

表4-3-1 心配ごとや困っていること〔経年変化〕（3つまでの複数回答）

(%)

調査時期	心配ごと 自分の病気や健康、老後のこと*1	家族の病気や健康、生活上の問題*2	景気や生活費のこと*3	事故や災害のこと*4	環境問題*4	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	住宅のこと	犯罪や防犯のこと	近隣からの悪臭・騒音	子どもの結婚や就職のこと	心配ごとや困っていることはない
昭和52年	15.0	3.5	30.0		13.0	17.1	6.1	3.9	15.6	-	-	-	35.0
53年	18.7	6.2	22.2		11.2	16.6	9.1	5.2	17.6	-	-	-	32.9
54年	15.5	5.6	23.5		8.7	15.2	7.1	3.0	16.5	-	-	-	38.7
55年	17.8	5.6	19.2		6.5	12.9	8.7	3.4	15.2	-	-	-	39.2
56年	20.2	5.3	23.5		8.7	15.2	11.0	2.3	19.0	-	-	-	34.3
57年	19.0	6.9	17.0		7.7	15.8	8.0	3.1	14.1	-	-	-	40.2
58年	20.6	6.2	19.5		11.0	15.9	9.0	4.0	12.4	-	-	-	37.6
59年	21.0	8.6	11.7		8.1	16.7	10.2	4.6	11.7	-	-	-	40.4
60年	16.3	4.6	7.1		4.4	11.8	5.9	2.5	6.3	-	-	-	53.6
61年	17.5	6.6	12.1		5.9	14.4	10.5	4.2	11.6	-	-	-	42.0
62年	21.7	8.5	11.8		5.8	17.3	8.3	4.7	13.7	-	-	-	40.0
63年	18.3	7.9	7.4		4.8	13.0	5.6	3.1	12.5	-	-	-	49.2
平成元年	18.6	7.6	9.1		6.3	16.2	6.5	2.2	11.6	-	-	-	47.6
2年	18.4	8.2	10.1		6.1	14.6	7.2	1.1	14.2	-	-	-	47.1
3年	25.1	9.7	10.1		8.9	15.9	9.0	2.0	12.0	-	-	-	39.5
4年	18.9	9.6	6.4		5.7	12.7	9.8	3.0	12.7	-	-	-	46.7
5年	23.5	9.5	12.3		8.7	12.4	10.6	5.3	6.0	-	-	-	39.4
6年	24.7	9.3	10.9		6.0	13.2	13.6	7.6	14.7	-	-	-	37.3
7年	22.1	8.8	7.5		6.8	11.9	10.9	4.0	9.6	-	-	-	45.8
8年	18.4	7.7	6.5		4.9	10.2	7.7	3.2	9.4	-	-	-	51.1
9年	24.6	9.4	9.7		7.6	13.5	10.4	4.6	7.8	-	-	-	43.7
10年	22.1	9.6	18.8		7.7	11.9	9.4	6.8	8.3	-	-	-	39.3
11年	26.7	11.0	19.2		11.5	13.2	8.7	7.2	6.9	-	-	-	36.0
12年	30.8	11.2	16.9		11.8	16.1	12.4	6.5	9.0	-	-	-	29.7
13年	28.3	24.4	20.5	11.6	12.4	9.5	9.5	12.6	6.9	-	-	-	35.7
14年	39.0	34.6	26.2	6.8	12.7	12.9	13.7	16.3	6.2	-	3.0	-	21.4
15年	37.3	31.4	25.0	9.0	9.5	16.6	14.4	12.5	11.4	-	4.7	-	21.2
16年	38.8	35.3	29.9	7.6	10.0	15.2	14.6	13.3	13.5	-	4.4	-	15.8
17年	38.6	33.7	23.3	14.9	13.4	14.6	14.5	8.5	10.7	25.6	3.7	-	16.3
18年	37.2	34.8	21.4	11.5	10.7	18.0	14.5	7.9	9.7	25.0	3.3	-	18.3
19年	39.3	33.7	24.6	11.0	14.8	15.0	12.2	8.7	9.0	24.6	3.8	-	17.6
20年	40.8	37.8	34.9	3.8	12.3	15.5	14.7	8.8	11.5	16.6	3.5	-	12.3
21年	41.7	37.0	36.0	4.6	5.3	13.8	15.0	15.1	10.1	11.4	3.5	-	13.9
22年	40.5	34.7	35.6	6.3	4.5	16.2	16.0	13.5	10.5	10.9	4.1	-	11.9
23年	41.5	36.8	30.6	16.0	11.5	14.0	13.1	10.7	10.7	7.4	3.6	-	11.7
24年	39.7	36.6	30.6	20.7	7.7	16.4	13.9	11.2	8.8	8.0	3.2	-	10.5
25年	45.1	38.7	29.4	13.0	4.8	12.4	15.0	10.0	10.1	7.9	3.9	-	14.3
26年	40.8	36.5	26.2	8.9	3.8	12.0	13.3	8.4	9.0	7.6	3.5	-	16.1
27年	44.9	37.0	29.1	10.4	4.3	13.0	14.0	8.5	10.1	8.9	4.1	-	14.1
28年	51.3	40.3	27.5	13.4	2.8	11.9	13.4	8.0	10.5	7.6	4.3	-	13.1
29年	51.2	38.1	21.4	8.6	3.7	11.4	14.7	6.5	10.9	6.7	3.3	-	16.4
30年	54.1	40.8	24.7	7.5	3.0	14.7	15.2	6.5	11.6	7.8	4.8	-	13.6
令和元年	50.2	36.7	23.0	10.9	3.5	11.8	12.5	7.4	8.7	8.7	4.1	6.8	14.5

*1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

*2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

*3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

*4 平成9年までは「公害や交通事故のこと」、平成10年から平成12年までは「環境問題や事故・災害のこと」としていた。

② 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別]

上位1位から3位までは全てのブロックで同じ順位

ブロック別にみると、上位1位から3位までは全てのブロックで同じ順位となっている。

区別にみると、西区で「仕事や職場のこと」が2位となっている。

表4-3-2 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,052)	自分の病気や健康、老後のこと 50.2	家族の病気や健康、生活上的問題 36.7	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 12.5	子どもの保育や教育のこと 11.8
ブロック別	東部	(n=518) 自分の病気や健康、老後のこと 46.5	家族の病気や健康、生活上的問題 30.9	景気や生活費のこと 21.2	仕事や職場のこと/子どもの保育や教育のこと 13.9	
	西部	(n=575) 自分の病気や健康、老後のこと 48.5	家族の病気や健康、生活上的問題 39.5	景気や生活費のこと 24.0	子どもの保育や教育のこと 13.7	仕事や職場のこと 13.2
	南部	(n=421) 自分の病気や健康、老後のこと 57.0	家族の病気や健康、生活上的問題 38.0	景気や生活費のこと 27.3	仕事や職場のこと 11.4	事故や災害のこと 9.5
	北部	(n=538) 自分の病気や健康、老後のこと 50.2	家族の病気や健康、生活上的問題 38.3	景気や生活費のこと 20.3	子どもの保育や教育のこと 12.1	事故や災害のこと 11.7
区別	鶴見区	(n=167) 自分の病気や健康、老後のこと 46.1	家族の病気や健康、生活上的問題 30.5	景気や生活費のこと 24.0	事故や災害のこと 16.2	子どもの保育や教育のこと 13.2
	神奈川区	(n=137) 自分の病気や健康、老後のこと 38.0	家族の病気や健康、生活上的問題 35.8	景気や生活費のこと 24.1	子どもの保育や教育のこと 19.7	仕事や職場のこと 16.1
	西区	(n=45) 自分の病気や健康、老後のこと 53.3	仕事や職場のこと 20.0	家族の病気や健康、生活上的問題 17.8	景気や生活費のこと 13.3	子どもの保育や教育のこと/失業・倒産や収入が減ること 11.1
	中区	(n=69) 自分の病気や健康、老後のこと 49.3	家族の病気や健康、生活上的問題 37.7	景気や生活費のこと 17.4	仕事や職場のこと/犯罪や防犯のこと 14.5	
	南区	(n=100) 自分の病気や健康、老後のこと 54.0	家族の病気や健康、生活上的問題 26.0	景気や生活費のこと 19.0	仕事や職場のこと 12.0	子どもの保育や教育のこと/失業・倒産や収入が減ること/子どもの結婚や就職のこと 11.0
	港南区	(n=127) 自分の病気や健康、老後のこと 58.3	家族の病気や健康、生活上的問題 38.6	景気や生活費のこと 28.3	事故や災害のこと 11.8	仕事や職場のこと 11.0
	保土ヶ谷区	(n=102) 自分の病気や健康、老後のこと 43.1	家族の病気や健康、生活上的問題 33.3	景気や生活費のこと 21.6	仕事や職場のこと 14.7	事故や災害のこと 10.8
	旭区	(n=129) 自分の病気や健康、老後のこと 55.0	家族の病気や健康、生活上的問題 38.0	景気や生活費のこと 25.6	子どもの保育や教育のこと 17.1	仕事や職場のこと 14.7
	磯子区	(n=92) 自分の病気や健康、老後のこと 56.5	家族の病気や健康、生活上的問題 37.0	景気や生活費のこと 22.8	住宅のこと/犯罪や防犯のこと 9.8	
	金沢区	(n=130) 自分の病気や健康、老後のこと 53.1	家族の病気や健康、生活上的問題 36.9	景気や生活費のこと 24.6	仕事や職場のこと 15.4	子どもの結婚や就職のこと 12.3
	港北区	(n=175) 自分の病気や健康、老後のこと 46.9	家族の病気や健康、生活上的問題 37.1	景気や生活費のこと 19.4	事故や災害のこと 16.0	子どもの保育や教育のこと 12.6
	緑区	(n=87) 自分の病気や健康、老後のこと 51.7	家族の病気や健康、生活上的問題 39.1	景気や生活費のこと 25.3	仕事や職場のこと 16.1	事故や災害のこと 13.8
	青葉区	(n=159) 自分の病気や健康、老後のこと 55.3	家族の病気や健康、生活上的問題 40.3	景気や生活費のこと 16.4	子どもの保育や教育のこと 15.7	住宅のこと/犯罪や防犯のこと 9.4
	都筑区	(n=117) 自分の病気や健康、老後のこと 47.0	家族の病気や健康、生活上的問題 36.8	景気や生活費のこと 23.1	子どもの結婚や就職のこと 14.5	子どもの保育や教育のこと 10.3
	戸塚区	(n=178) 自分の病気や健康、老後のこと 46.6	家族の病気や健康、生活上的問題 44.9	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 13.5	子どもの保育や教育のこと 12.4
	栄区	(n=72) 自分の病気や健康、老後のこと 62.5	家族の病気や健康、生活上的問題 40.3	景気や生活費のこと 36.1	事故や災害のこと 11.1	仕事や職場のこと 9.7
泉区	(n=90) 自分の病気や健康、老後のこと 54.4	家族の病気や健康、生活上的問題 40.0	景気や生活費のこと 22.2	子どもの保育や教育のこと 18.9	事故や災害のこと 10.0	
瀬谷区	(n=76) 自分の病気や健康、老後のこと 42.1	家族の病気や健康、生活上的問題 36.8	景気や生活費のこと 28.9	子どもの保育や教育のこと 14.5	仕事や職場のこと 13.2	

③ 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別]

30代で「子どもの保育や教育のこと」が1位

年齢別にみると、30代で「子どもの保育や教育のこと」が1位となっている。

性・年齢別にみると、男性18～29歳で「仕事や職場のこと」、男性30代、女性18～29歳で「家族の病気や健康、生活上の問題」、女性30代で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表4-3-3 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,052)		自分の病気や健康、老後のこと 50.2	家族の病気や健康、生活上の問題 36.7	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 12.5	子どもの保育や教育のこと 11.8
年齢別	18～29歳 (n=230)	家族の病気や健康、生活上の問題 27.8	仕事や職場のこと 27.4	自分の病気や健康、老後のこと 26.1	景気や生活費のこと 22.2	事故や災害のこと 11.3
	30代 (n=228)	子どもの保育や教育のこと 34.2	家族の病気や健康、生活上の問題 32.9	自分の病気や健康、老後のこと 25.9	景気や生活費のこと 24.6	仕事や職場のこと 21.9
	40代 (n=387)	自分の病気や健康、老後のこと 40.6	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	子どもの保育や教育のこと 26.4	景気や生活費のこと 24.0	仕事や職場のこと 15.5
	50代 (n=349)	自分の病気や健康、老後のこと 53.0	家族の病気や健康、生活上の問題 40.7	景気や生活費のこと 18.9	仕事や職場のこと 15.5	子どもの結婚や就職のこと 12.3
	60代 (n=327)	自分の病気や健康、老後のこと 62.7	家族の病気や健康、生活上の問題 37.9	景気や生活費のこと 27.2	子どもの結婚や就職のこと 12.5	住宅のこと 11.0
	70歳以上 (n=531)	自分の病気や健康、老後のこと 68.5	家族の病気や健康、生活上の問題 37.3	景気や生活費のこと 22.0	事故や災害のこと 12.6	住宅のこと 8.1
男性計 (n=923)		自分の病気や健康、老後のこと 50.7	家族の病気や健康、生活上の問題 36.3	景気や生活費のこと 24.9	仕事や職場のこと 15.2	事故や災害のこと 10.6
	18～29歳 (n=106)	仕事や職場のこと 28.3	自分の病気や健康、老後のこと/景気や生活費のこと 26.4	家族の病気や健康、生活上の問題 20.8	事故や災害のこと 12.3	
	30代 (n=105)	家族の病気や健康、生活上の問題 36.2	子どもの保育や教育のこと 29.5	自分の病気や健康、老後のこと/景気や生活費のこと 25.7	仕事や職場のこと 24.8	
	40代 (n=174)	自分の病気や健康、老後のこと 39.7	家族の病気や健康、生活上の問題 36.2	景気や生活費のこと 24.7	子どもの保育や教育のこと 20.1	仕事や職場のこと 19.5
	50代 (n=169)	自分の病気や健康、老後のこと 56.2	家族の病気や健康、生活上の問題 34.9	景気や生活費のこと 20.7	仕事や職場のこと 18.9	失業・倒産や収入が減ること 14.8
	60代 (n=146)	自分の病気や健康、老後のこと 65.1	家族の病気や健康、生活上の問題 37.7	景気や生活費のこと 28.1	子どもの結婚や就職のこと 15.1	住宅のこと 12.3
	70歳以上 (n=223)	自分の病気や健康、老後のこと 69.1	家族の病気や健康、生活上の問題 43.9	景気や生活費のこと 25.1	事故や災害のこと 11.7	子どもの結婚や就職のこと/住宅のこと 9.4
女性計 (n=1,129)		自分の病気や健康、老後のこと 49.8	家族の病気や健康、生活上の問題 37.0	景気や生活費のこと 21.4	子どもの保育や教育のこと 13.4	事故や災害のこと 11.1
	18～29歳 (n=124)	家族の病気や健康、生活上の問題 33.9	仕事や職場のこと 26.6	自分の病気や健康、老後のこと 25.8	景気や生活費のこと 18.5	子どもの保育や教育のこと 16.9
	30代 (n=123)	子どもの保育や教育のこと 38.2	家族の病気や健康、生活上の問題 30.1	自分の病気や健康、老後のこと 26.0	景気や生活費のこと 23.6	仕事や職場のこと 19.5
	40代 (n=213)	自分の病気や健康、老後のこと 41.3	家族の病気や健康、生活上の問題 40.8	子どもの保育や教育のこと 31.5	景気や生活費のこと 23.5	仕事や職場のこと 12.2
	50代 (n=180)	自分の病気や健康、老後のこと 50.0	家族の病気や健康、生活上の問題 46.1	景気や生活費のこと 17.2	子どもの結婚や就職のこと 15.0	住宅のこと 13.9
	60代 (n=181)	自分の病気や健康、老後のこと 60.8	家族の病気や健康、生活上の問題 38.1	景気や生活費のこと 26.5	事故や災害のこと 11.6	子どもの結婚や就職のこと 10.5
	70歳以上 (n=308)	自分の病気や健康、老後のこと 68.2	家族の病気や健康、生活上の問題 32.5	景気や生活費のこと 19.8	事故や災害のこと 13.3	犯罪や防犯のこと 8.1

④ 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」が1位

ライフステージ別にみると、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表4-3-4 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,052)		自分の病気や健康、老後のこと 50.2	家族の病気や健康、生活上の問題 36.7	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 12.5	子どもの保育や教育のこと 11.8
子どもなし計 (n=571)		自分の病気や健康、老後のこと 48.3	家族の病気や健康、生活上の問題 35.4	仕事や職場のこと 20.3	景気や生活費のこと 19.8	失業・倒産や収入が減ること 10.9
単身(1) 40歳未満 (n=225)		家族の病気や健康、生活上の問題 30.2	自分の病気や健康、老後のこと 29.8	仕事や職場のこと 29.3	景気や生活費のこと 17.3	失業・倒産や収入が減ること 11.1
単身(2) 40~64歳 (n=137)		自分の病気や健康、老後のこと 68.6	家族の病気や健康、生活上の問題 39.4	景気や生活費のこと 21.2	仕事や職場のこと 18.2	失業・倒産や収入が減ること 14.6
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=42)		家族の病気や健康、生活上の問題 42.9	景気や生活費のこと 38.1	自分の病気や健康、老後のこと 28.6	子どもの保育や教育のこと/仕事や職場のこと 21.4	
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=98)		自分の病気や健康、老後のこと 57.1	家族の病気や健康、生活上の問題 43.9	仕事や職場のこと 14.3	景気や生活費のこと/事故や災害のこと/失業・倒産や収入が減ること 12.2	
高齢子どもなし (n=69)		自分の病気や健康、老後のこと 68.1	家族の病気や健康、生活上の問題 27.5	景気や生活費のこと 24.6	事故や災害のこと 14.5	住宅のこと 13.0
子どもあり計 (n=1,364)		自分の病気や健康、老後のこと 50.9	家族の病気や健康、生活上の問題 37.5	景気や生活費のこと 24.3	子どもの保育や教育のこと 16.6	事故や災害のこと 11.1
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=122)		子どもの保育や教育のこと 57.4	家族の病気や健康、生活上の問題 31.1	自分の病気や健康、老後のこと 27.0	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 19.7
家族成長前期 第一子が小学生 (n=131)		子どもの保育や教育のこと 51.1	家族の病気や健康、生活上の問題 32.8	景気や生活費のこと 26.7	自分の病気や健康、老後のこと 23.7	犯罪や防犯のこと 16.8
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=133)		子どもの保育や教育のこと 45.1	家族の病気や健康、生活上の問題 37.6	自分の病気や健康、老後のこと 35.3	景気や生活費のこと 30.8	事故や災害のこと 12.0
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=95)		自分の病気や健康、老後のこと 41.1	家族の病気や健康、生活上の問題 30.5	景気や生活費のこと 22.1	子どもの保育や教育のこと 18.9	子どもの結婚や就職のこと 17.9
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=71)		自分の病気や健康、老後のこと 43.7	家族の病気や健康、生活上の問題 35.2	子どもの結婚や就職のこと 26.8	景気や生活費のこと 22.5	住宅のこと 14.1
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=238)		自分の病気や健康、老後のこと 54.2	家族の病気や健康、生活上の問題 44.1	景気や生活費のこと 25.2	子どもの結婚や就職のこと 16.4	仕事や職場のこと 11.3
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=574)		自分の病気や健康、老後のこと 66.9	家族の病気や健康、生活上の問題 38.7	景気や生活費のこと 22.8	事故や災害のこと 12.5	子どもの結婚や就職のこと 9.4

⑤ 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別]

ひとり暮らし(1)で「仕事や職場のこと」が1位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし(1)で「仕事や職場のこと」、子と同居(1)で「子どもの保育や教育のこと」、親と同居(1)で「家族の病気や健康、生活上の問題」がそれぞれ1位となっている。

表4-3-5 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全 体 (n=2,052)		自分の病気や健康、老後のこと 50.2	家族の病気や健康、生活上の問題 36.7	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 12.5	子どもの保育や教育のこと 11.8
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=47)		仕事や職場のこと 36.2	自分の病気や健康、老後のこと 31.9	景気や生活費のこと 25.5	家族の病気や健康、生活上の問題 21.3	失業・倒産や収入が減ること 12.8
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=85)		自分の病気や健康、老後のこと 69.4	家族の病気や健康、生活上の問題 28.2	仕事や職場のこと 25.9	景気や生活費のこと 22.4	失業・倒産や収入が減ること 14.1
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=146)		自分の病気や健康、老後のこと 74.0	景気や生活費のこと 22.6	家族の病気や健康、生活上の問題 16.4	犯罪や防犯のこと/事故や災害のこと	13.0
夫婦のみ(1) 子なし (n=145)		自分の病気や健康、老後のこと 52.4	家族の病気や健康、生活上の問題 44.1	景気や生活費のこと 21.4	仕事や職場のこと 15.2	事故や災害のこと 11.0
夫婦のみ(2) 子あり (n=342)		自分の病気や健康、老後のこと 60.5	家族の病気や健康、生活上の問題 43.6	景気や生活費のこと 21.6	事故や災害のこと 14.3	住宅のこと 9.4
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=474)		子どもの保育や教育のこと 40.5	家族の病気や健康、生活上の問題 32.3	自分の病気や健康、老後のこと 32.1	景気や生活費のこと 25.1	仕事や職場のこと 14.3
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=289)		自分の病気や健康、老後のこと 59.9	家族の病気や健康、生活上の問題 42.6	景気や生活費のこと 25.3	子どもの結婚や就職のこと 20.1	事故や災害のこと 10.7
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=152)		家族の病気や健康、生活上の問題 34.9	自分の病気や健康、老後のこと 28.9	仕事や職場のこと 27.0	景気や生活費のこと 17.8	犯罪や防犯のこと 11.2
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=71)		自分の病気や健康、老後のこと 62.0	家族の病気や健康、生活上の問題 49.3	仕事や職場のこと/景気や生活費のこと	19.7	失業・倒産や収入が減ること/事故や災害のこと/住宅のこと 12.7
祖父母と親と子 3世代 (n=117)		自分の病気や健康、老後のこと 39.3	家族の病気や健康、生活上の問題 37.6	景気や生活費のこと 26.5	子どもの保育や教育のこと 16.2	仕事や職場のこと 13.7

⑥ 心配ごとや困っていること 上位5位 [生活満足度別]

不満があるほうのほうがおおむね心配ごとがあると答えた人が多い

生活満足度別にみると、上位1位から3位までの順位は全て一致しているが、満足しているほうよりも不満があるほうのほうがおおむね心配ごとがあると答えた人が多い。

表4-3-6 心配ごとや困っていること 上位5位 [生活満足度別] (3つまでの複数回答)

(%)

属性 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位	参考
全 体 (n=2,052)	自分の病気や健康、老後のこと 50.2	家族の病気や健康、生活上の問題 36.7	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 12.5	子どもの保育や教育のこと 11.8	心配ごとや困っていることはない 14.5
満足しているほう (n=456)	自分の病気や健康、老後のこと 41.0	家族の病気や健康、生活上の問題 32.2	景気や生活費のこと 13.6	事故や災害のこと 11.2	犯罪や防犯のこと 9.0	心配ごとや困っていることはない 27.6
まあ満足しているほう (n=964)	自分の病気や健康、老後のこと 51.3	家族の病気や健康、生活上の問題 38.6	景気や生活費のこと 24.1	子どもの保育や教育のこと 14.2	仕事や職場のこと 12.7	心配ごとや困っていることはない 12.0
どちらともいえない (n=291)	自分の病気や健康、老後のこと 55.7	家族の病気や健康、生活上の問題 35.1	景気や生活費のこと 27.1	仕事や職場のこと 15.8	事故や災害のこと/住宅のこと 13.4	心配ごとや困っていることはない 11.0
やや不満があるほう (n=172)	自分の病気や健康、老後のこと 61.0	家族の病気や健康、生活上の問題 39.0	景気や生活費のこと 31.4	住宅のこと 21.5	仕事や職場のこと 19.8	心配ごとや困っていることはない 6.4
不満があるほう (n=74)	自分の病気や健康、老後のこと 58.1	家族の病気や健康、生活上の問題 48.6	景気や生活費のこと 37.8	仕事や職場のこと 23.0	住宅のこと 21.6	心配ごとや困っていることはない 2.7

5. 日々の食事

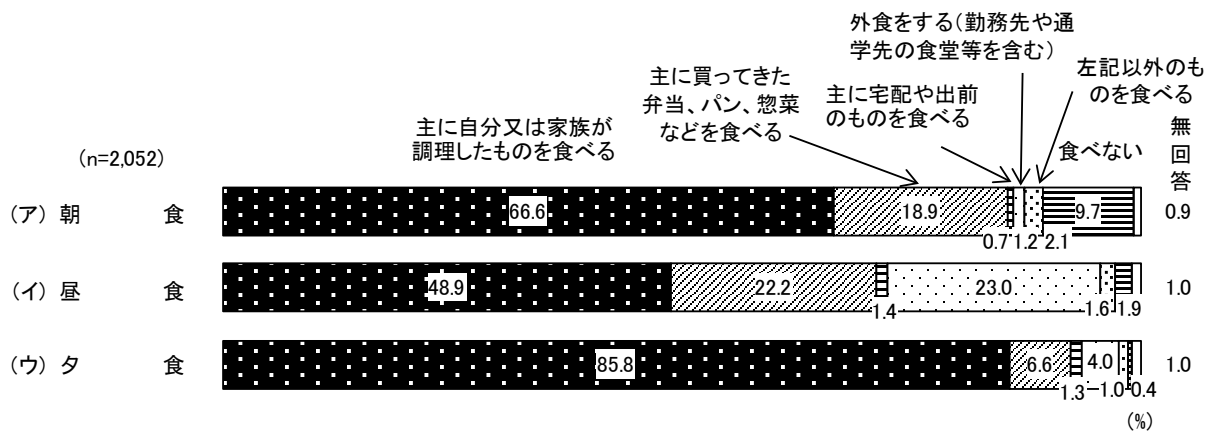
(1) 食事の内容

問 14 あなたの普段の朝食、昼食、夕食について、最も多い食事の内容を次の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

「主に自分又は家族が調理したものを食べる」が朝昼夕全ての食事で最も多い

食事の内容については、「主に自分又は家族が調理したものを食べる」が朝昼夕全ての食事で最も多く、《朝食》(66.6%)は6割半ば、《昼食》(48.9%)は5割近く、《夕食》(85.8%)は8割半ばとなっている。

図5-1-1 食事の内容[全体]

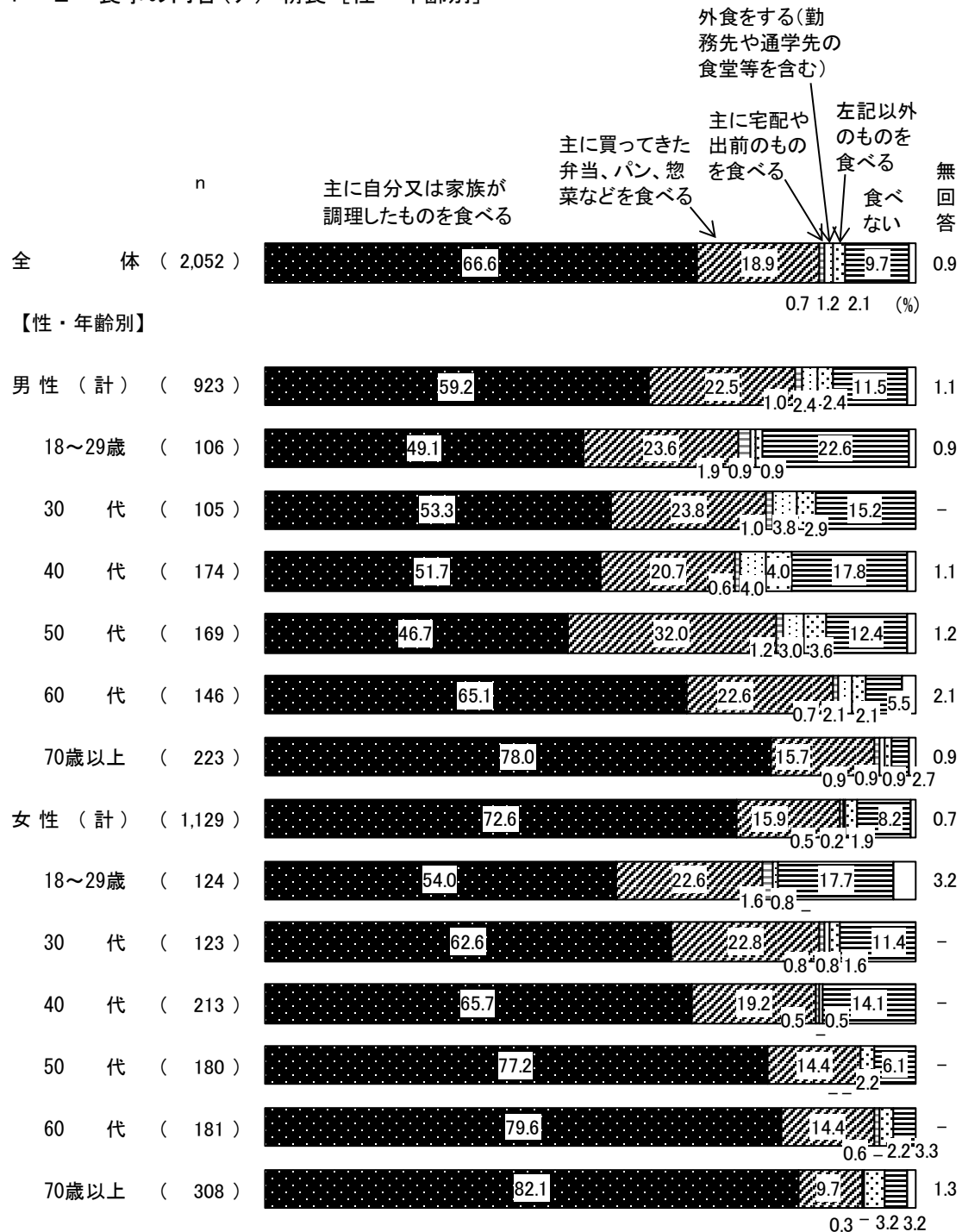


① 食事の内容(ア) 朝食 [性・年齢別]

「食べない」は男性 18～29 歳で 2 割を超える

性・年齢別にみると、「食べない」は男性 18～29 歳 (22.6%) で 2 割を超えて最も多い。また、「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は女性で年齢が高いほど多くなっている。

図 5-1-2 食事の内容(ア) 朝食 [性・年齢別]



② 食事の内容(ア) 朝食 [ライフステージ別]

「食べない」は夫婦だけ(1)で3割近く

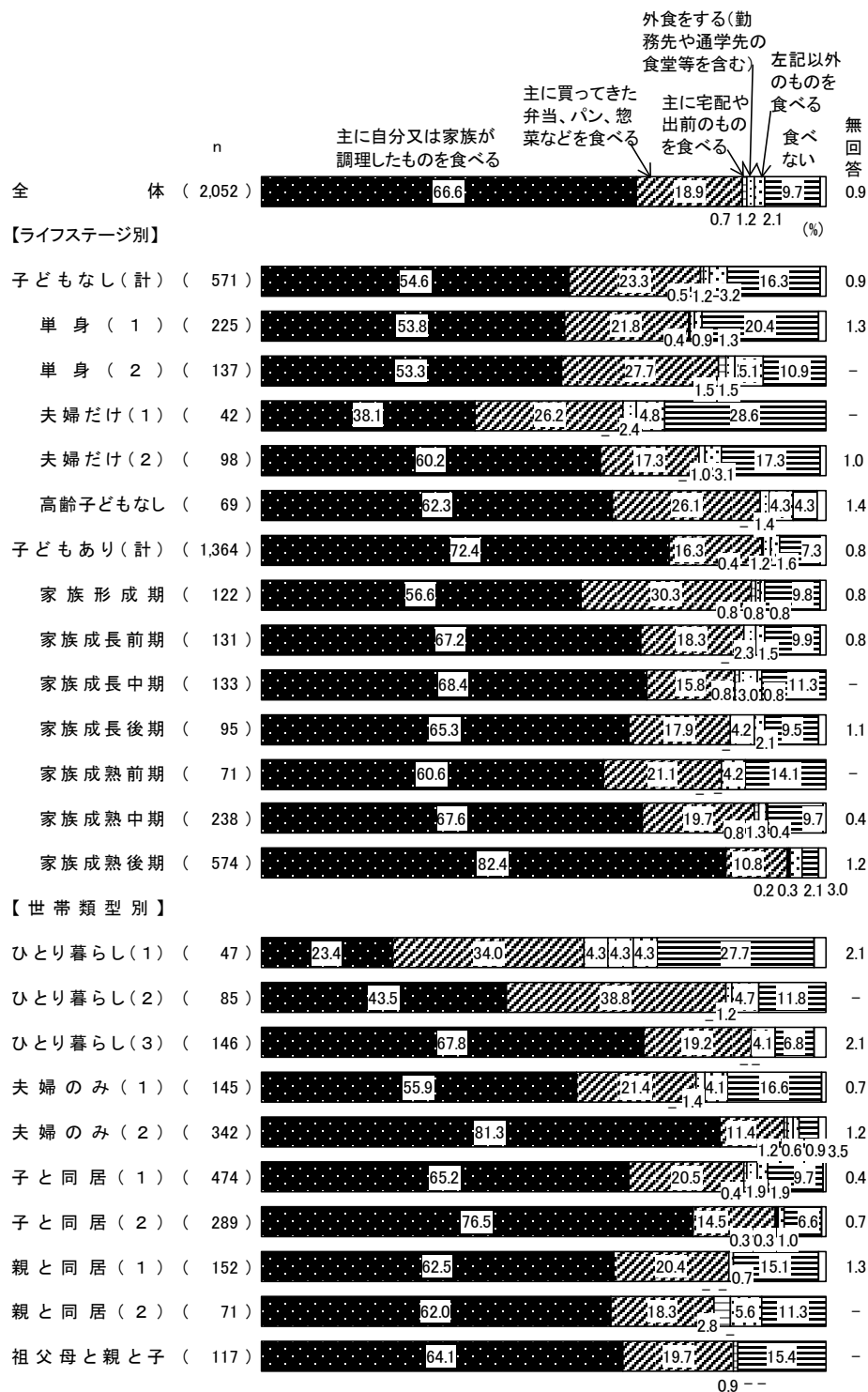
ライフステージ別にみると、「食べない」は夫婦だけ(1) (28.6%)で3割近くと最も多くなっている。

③ 食事の内容(ア) 朝食 [世帯類型別]

「主に買ってきた弁当、パン、惣菜などを食べる」はひとり暮らし(2)で4割近く

世帯類型別にみると、「主に買ってきた弁当、パン、惣菜などを食べる」はひとり暮らし(2) (38.8%)で4割近くと最も多くなっている。「食べない」はひとり暮らし(1) (27.7%)で3割近くと最も多くなっている。

図5-1-3 食事の内容(ア) 朝食 [ライフステージ別、世帯類型別]

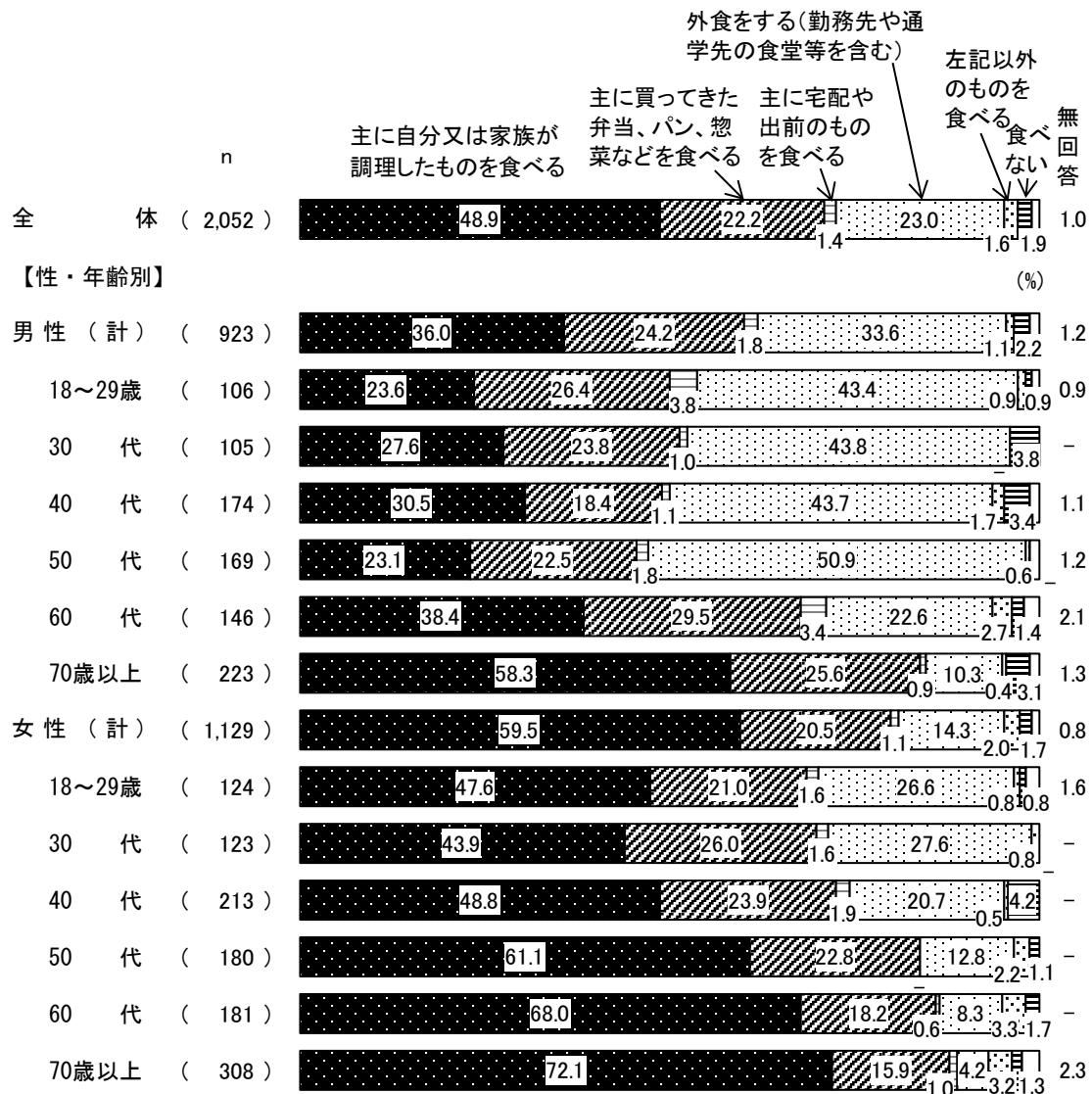


④ 食事の内容(イ) 昼食 [性・年齢別]

「外食をする（勤務先や通学先の食堂等を含む）」は男性 50 代で 5 割を超える

性・年齢別にみると、「外食をする（勤務先や通学先の食堂等を含む）」は男性 50 代（50.9%）で 5 割を超えて多くなっている。

図 5-1-4 食事の内容(イ) 昼食 [性・年齢別]



⑤ 食事の内容(イ) 昼食 [ライフステージ別]

「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は家族成熟後期で6割半ば

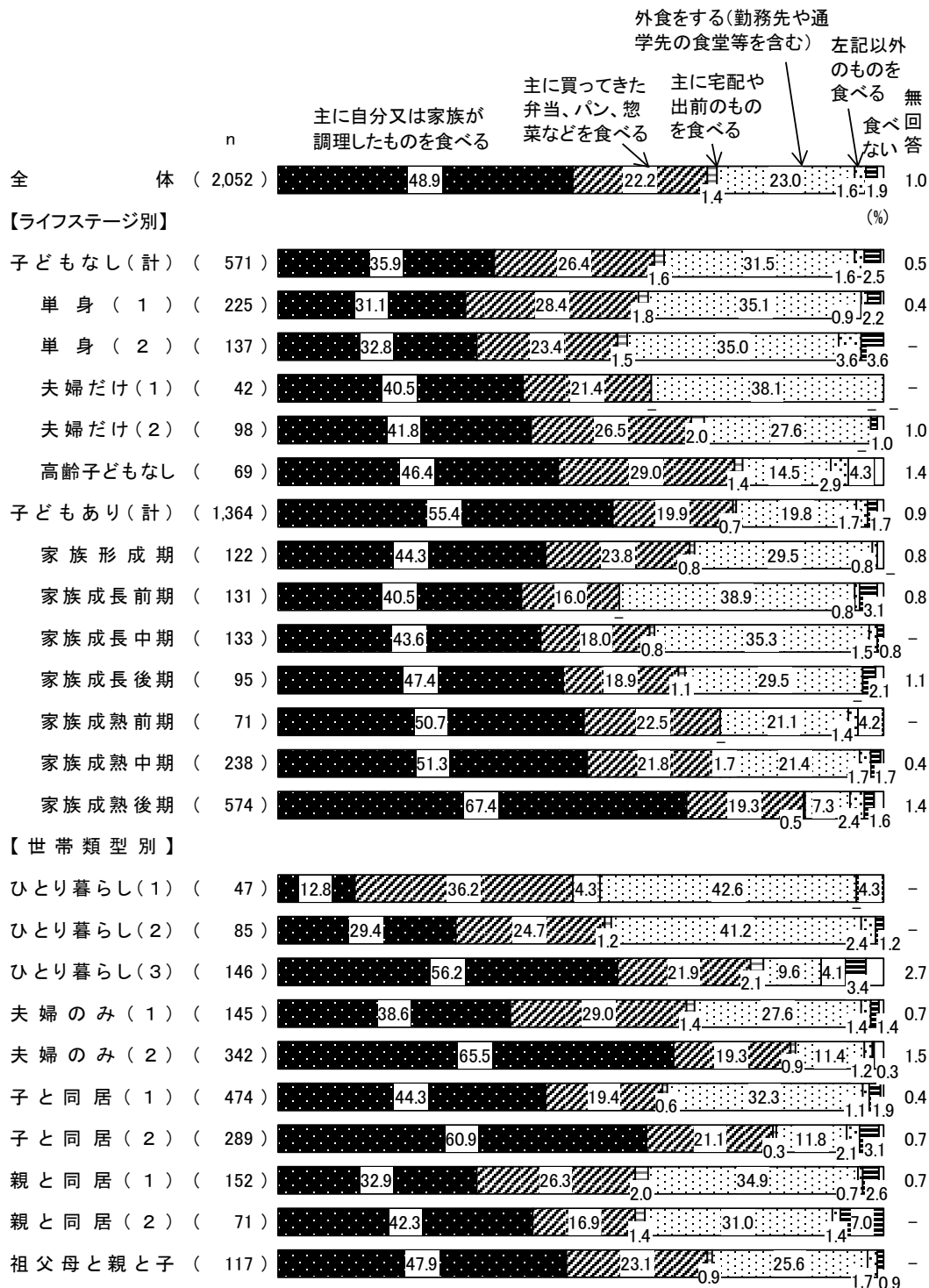
ライフステージ別にみると、「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は家族成熟後期 (67.4%) で6割半ばと最も多くなっている。

⑥ 食事の内容(イ) 昼食 [世帯類型別]

「主に買ってきた弁当、パン、惣菜などを食べる」はひとり暮らし(1)で3割半ば

世帯類型別にみると、「主に買ってきた弁当、パン、惣菜などを食べる」はひとり暮らし(1) (36.2%) で3割半ばと多くなっている。

図5-1-5 食事の内容(イ) 昼食 [ライフステージ別、世帯類型別]

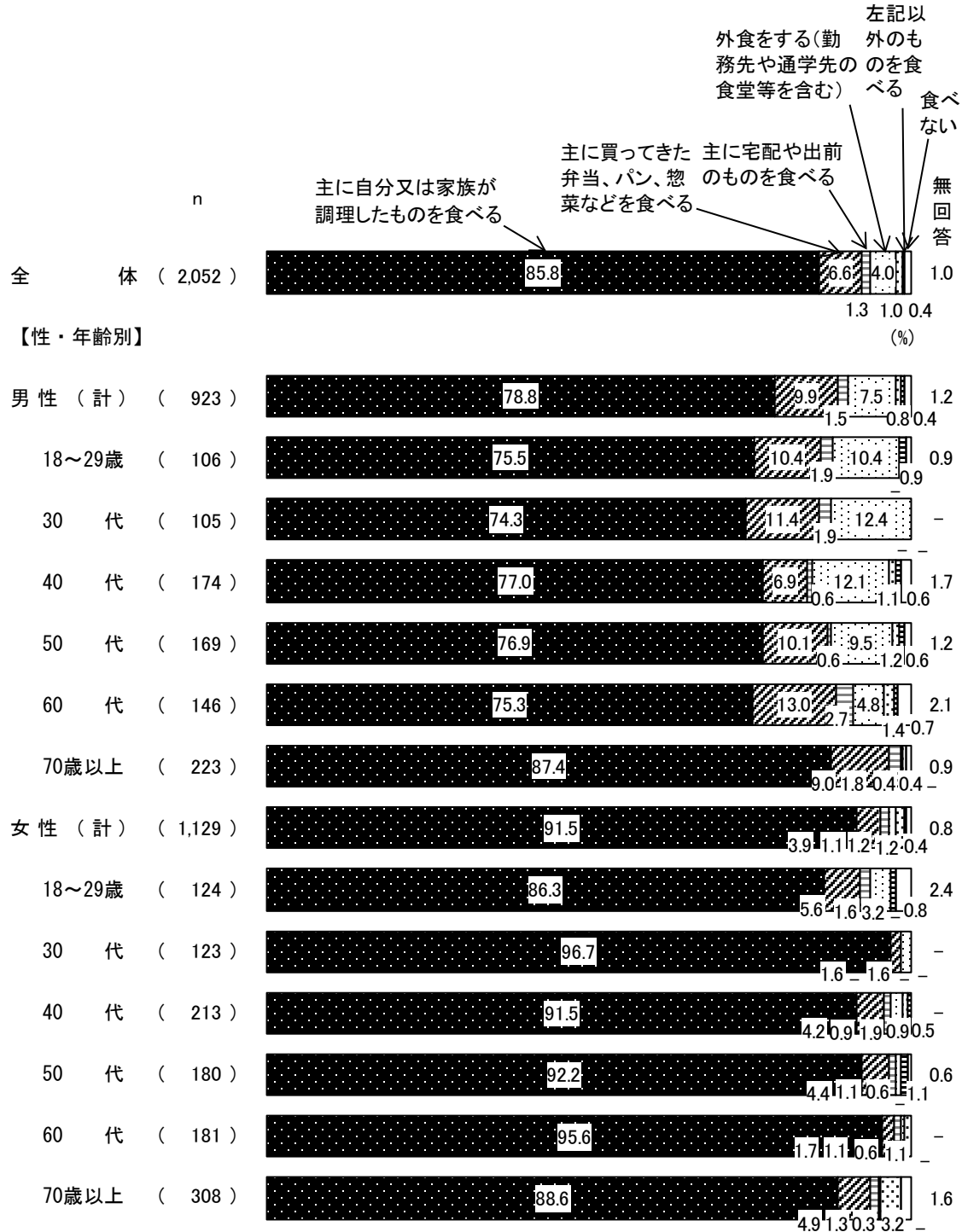


⑦ 食事の内容(ウ) 夕食 [性・年齢別]

「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は女性 30～60 代で 9 割を超える

性・年齢別にみると、「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は女性 30～60 代で 9 割を超えて多くなっている。一方、男性 30～60 代は 7 割半ばである。

図 5-1-6 食事の内容(ウ) 夕食 [性・年齢別]



⑧ 食事の内容(ウ) 夕食 [ライフステージ別]

「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は単身(2)で6割半ばと少ない

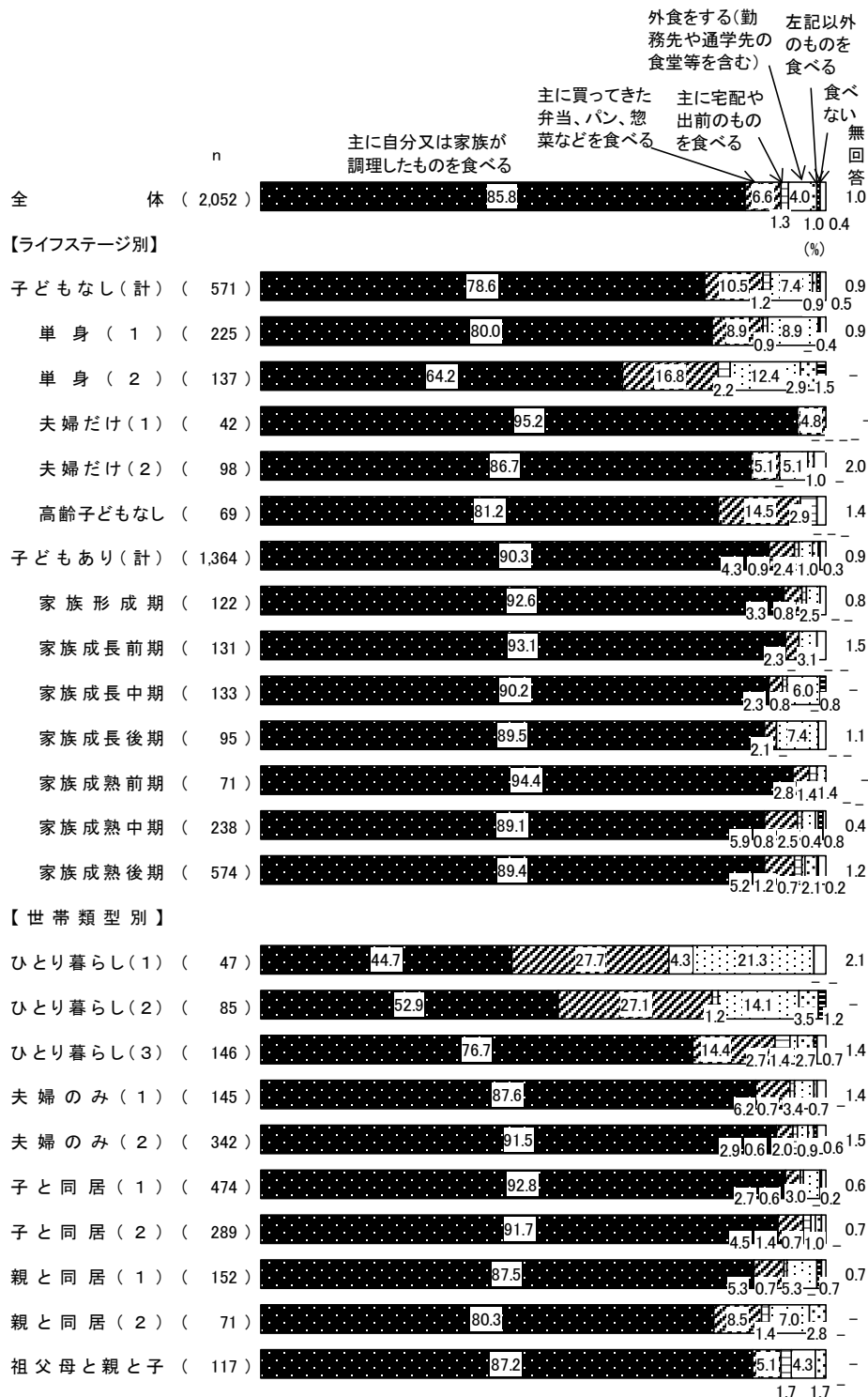
ライフステージ別にみると、「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は単身(2) (64.2%)で6割半ばと少なくなっている。

⑨ 食事の内容(ウ) 夕食 [世帯類型別]

「主に買って来た弁当、パン、惣菜などを食べる」はひとり暮らし(1)、(2)で2割半ば

世帯類型別にみると、「主に買って来た弁当、パン、惣菜などを食べる」はひとり暮らし(1) (27.7%)、ひとり暮らし(2) (27.1%)で2割半ばと多くなっている。「外食をする(勤務先や通学先の食堂等を含む)」はひとり暮らし(1) (21.3%)で2割を超えて多い。

図5-1-7 食事の内容(ウ) 夕食 [ライフステージ別、世帯類型別]

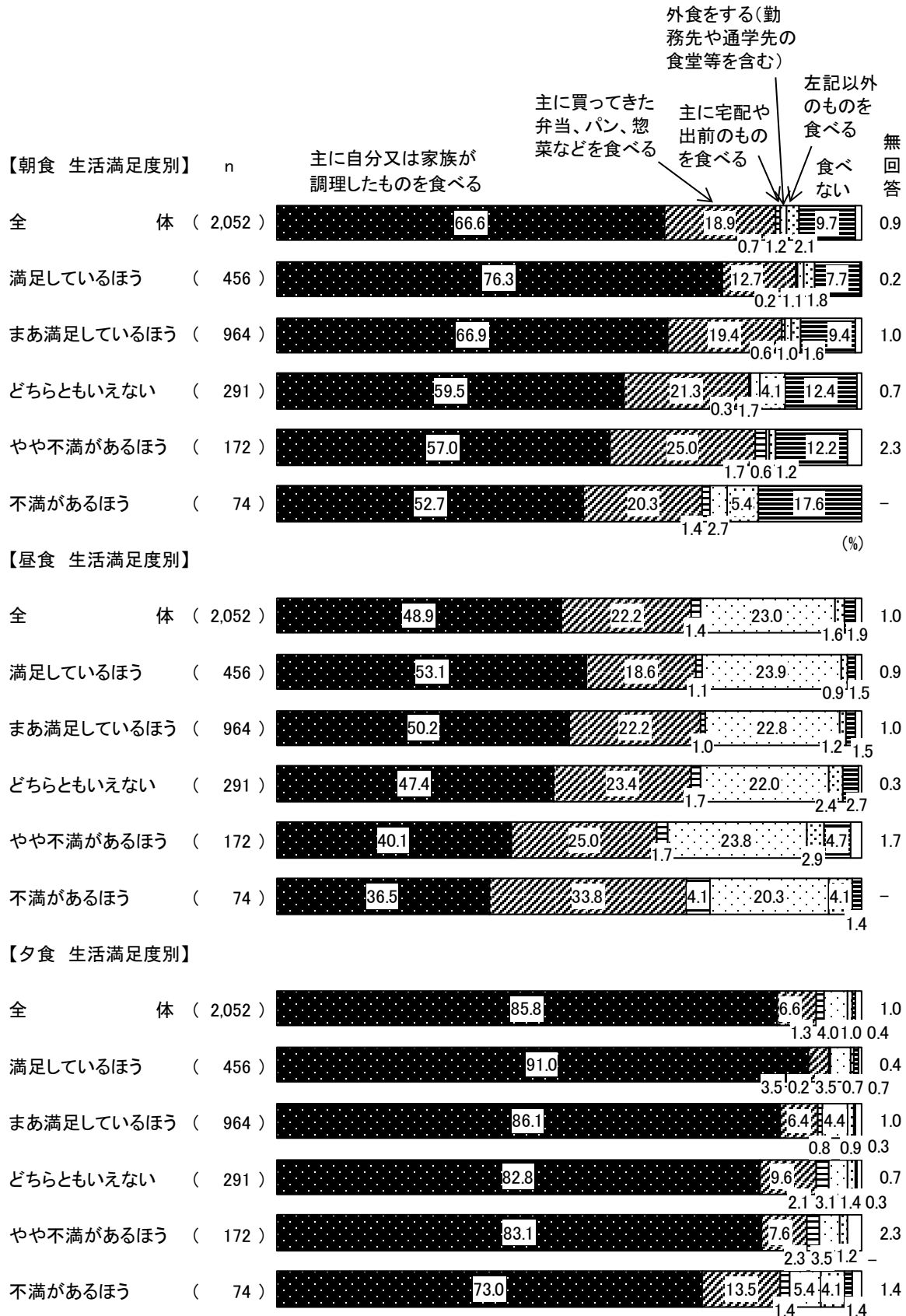


⑩ 食事の内容(ア～ウ) 朝食、昼食、夕食 [生活満足度別]

「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は生活満足度がおおむね高いほど多い

生活満足度別にみると、「主に自分又は家族が調理したものを食べる」は生活満足度がおおむね高いほど多くなっている。

図5-1-8 食事の内容(ア～ウ) 朝食・昼食・夕食 [生活満足度別]



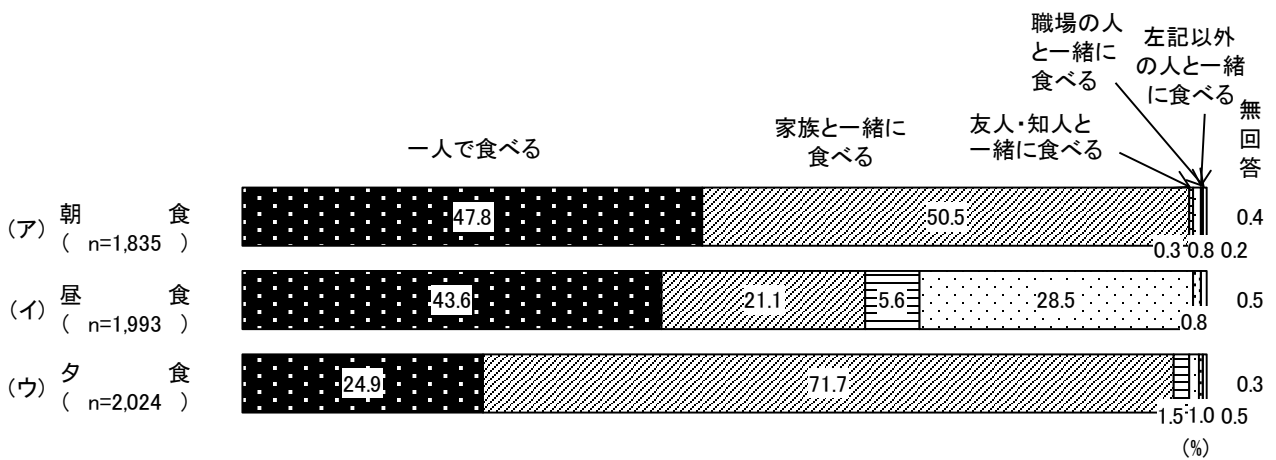
(2) 食事を共にする人

問 15 あなたは、普段、どなたと食事をしていますか。朝食、昼食、夕食別に、最も多いものを次の中から選んでください。(〇はそれぞれ1つ)
 なお、問 14 で「食べない」と回答したものについては無記入で結構です。

「家族と一緒に食べる」は《夕食》で7割を超える

食事を共にする人について、「家族と一緒に食べる」は、《朝食》(50.5%)で5割を超え、《夕食》(71.7%)で7割を超えて多くなっている。また、「一人で食べる」は《昼食》(43.6%)で4割半ばとなっている。

図5-2-1 食事を共にする人[全体]

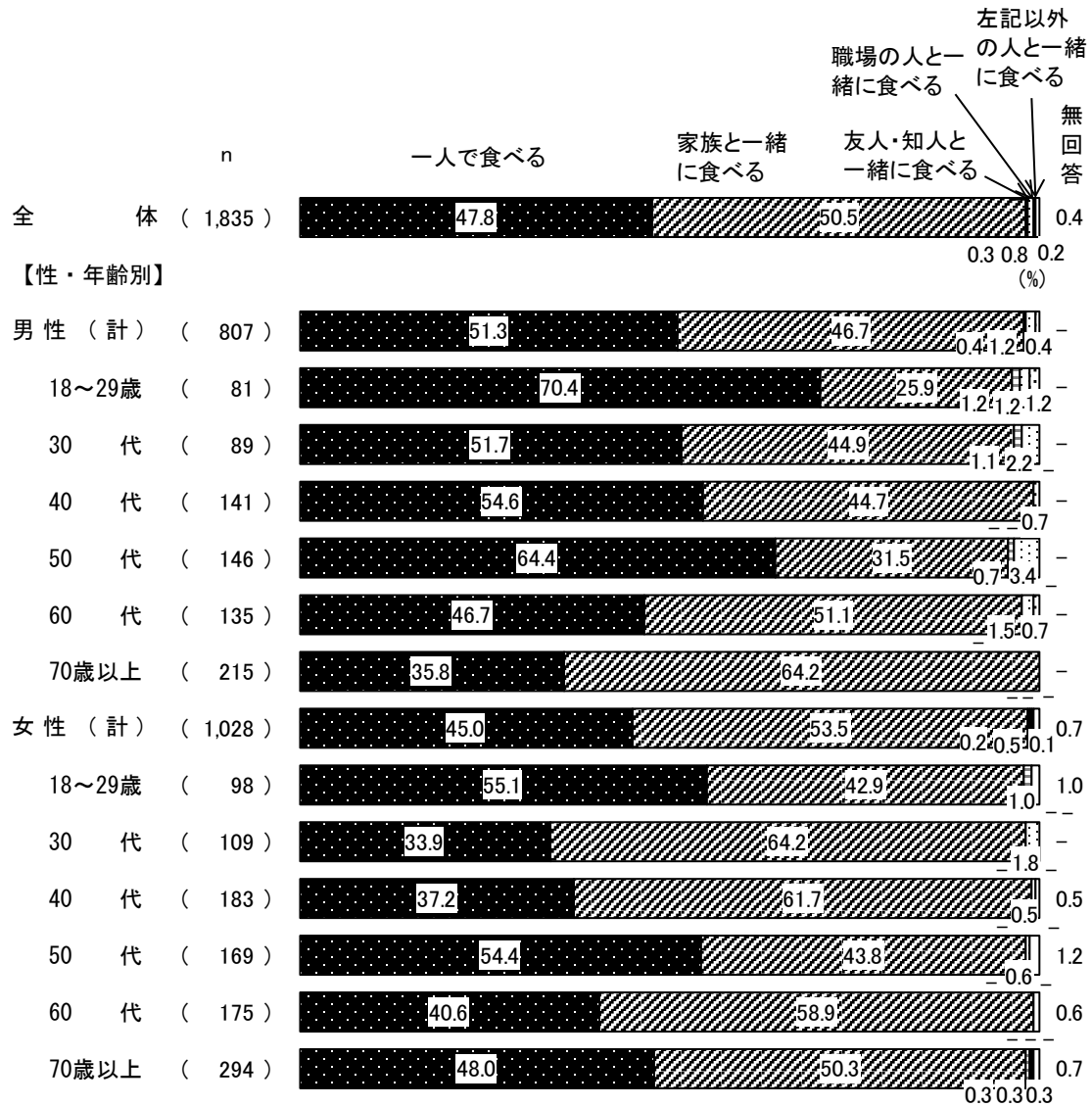


① 食事を共にする人(ア) 朝食 [性・年齢別]

「一人で食べる」は男性 18～29 歳で 7 割を超える

性・年齢別にみると、「一人で食べる」は男性 18～29 歳 (70.4%) で 7 割を超えて最も多くなっている。

図 5-2-2 食事を共にする人(ア) 朝食 [性・年齢別]



② 食事を共にする人(ア) 朝食 [ライフステージ別]

「家族と一緒に食べる」は家族成長前期で7割半ば

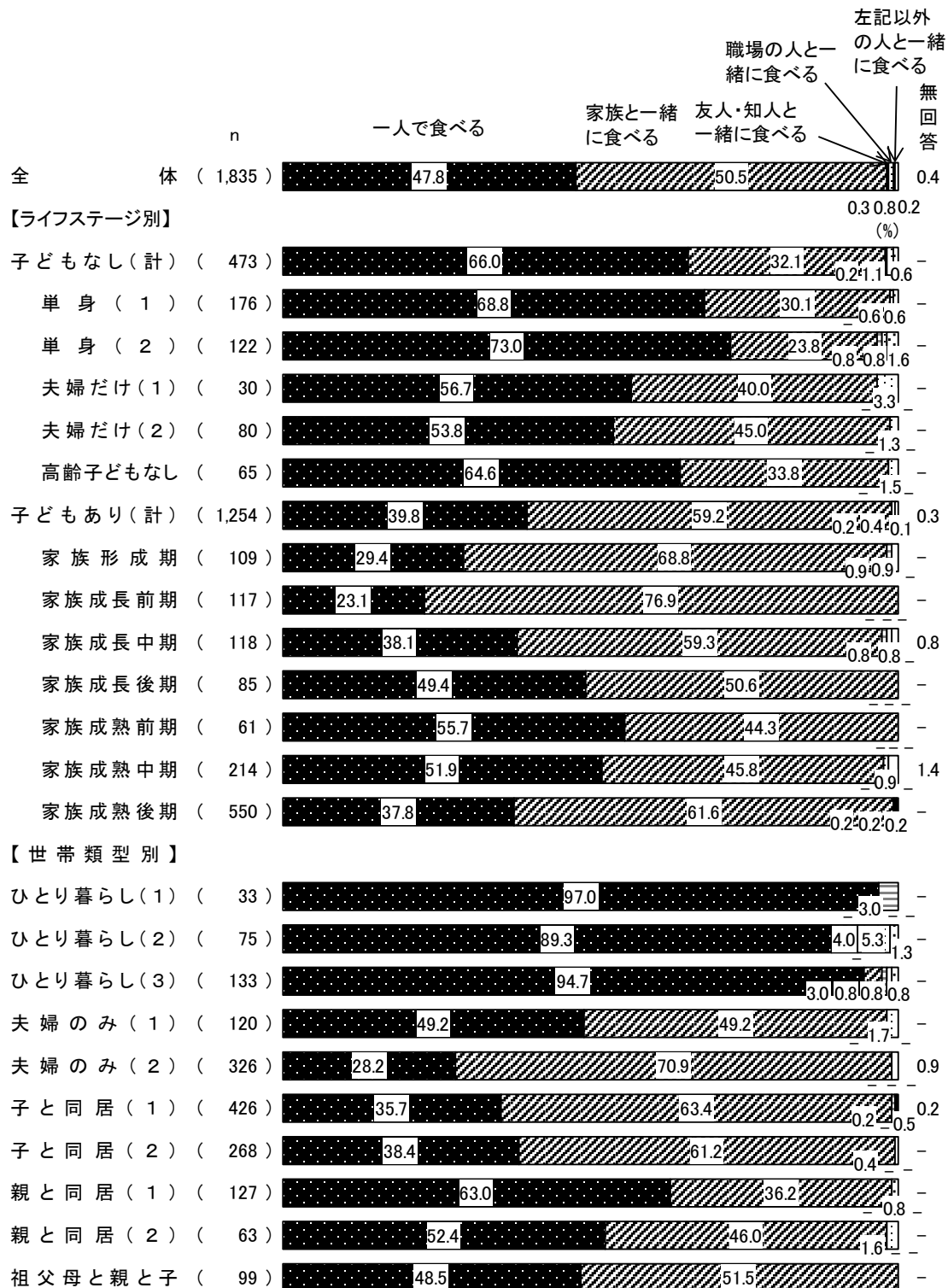
ライフステージ別にみると、「家族と一緒に食べる」は家族成長前期（76.9%）で7割半ばと最も多くなっている。

③ 食事を共にする人(ア) 朝食 [世帯類型別]

「家族と一緒に食べる」は夫婦のみ（2）で7割を超える

世帯類型別にみると、「家族と一緒に食べる」は夫婦のみ（2）（70.9%）で7割を超えて多くなっている。

図5-2-3 食事を共にする人(ア) 朝食 [ライフステージ別、世帯類型別]

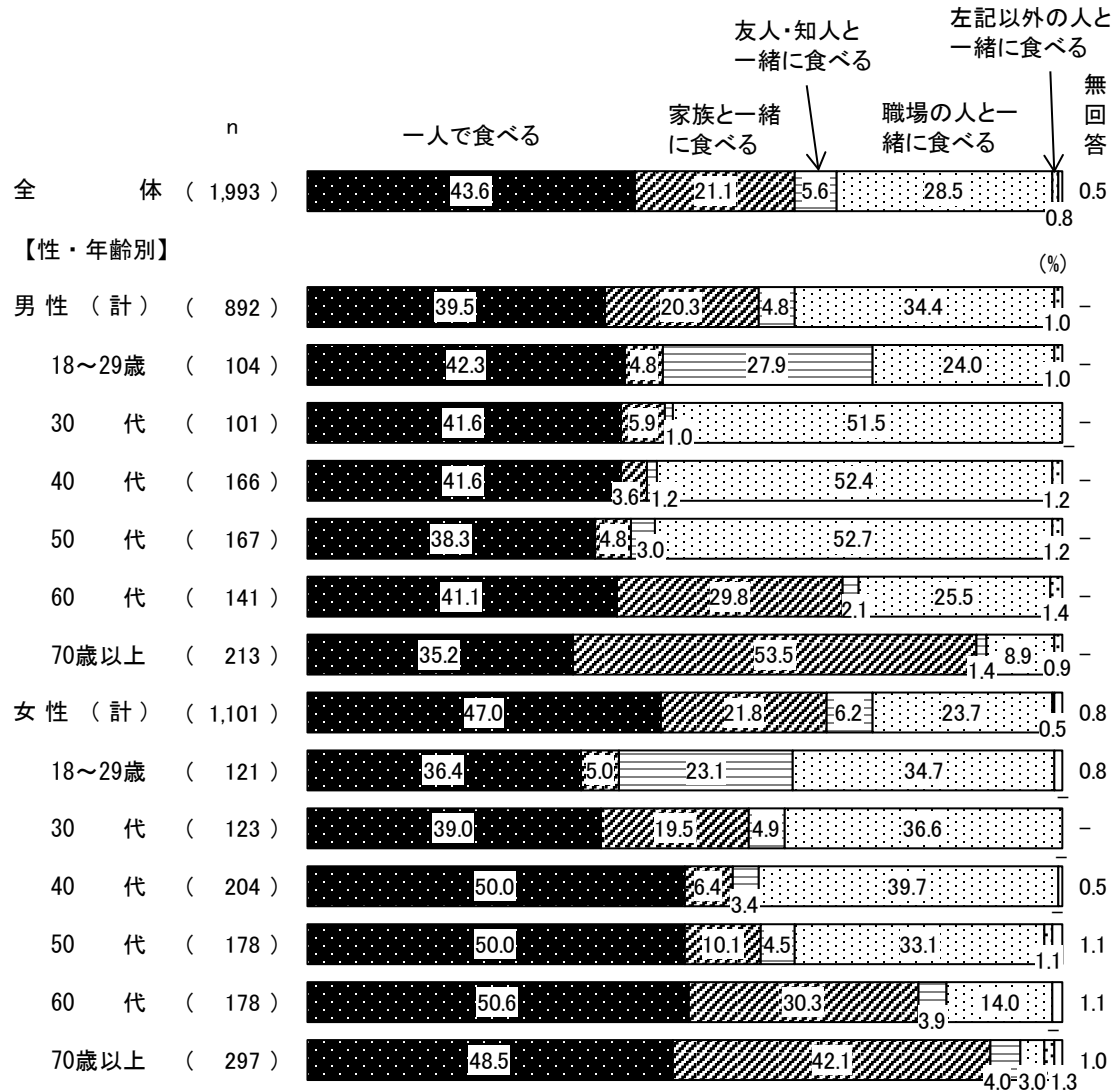


④ 食事を共にする人(イ) 昼食 [性・年齢別]

「職場の人と一緒に食べる」は男性 30～50 代で 5 割を超える

性・年齢別にみると、「職場の人と一緒に食べる」は男性 30～50 代で 5 割を超えて多くなっている。

図 5-2-4 食事を共にする人(イ) 昼食 [性・年齢別]



⑤ 食事を共にする人(イ) 昼食 [ライフステージ別]

「職場の人と一緒に食べる」は夫婦だけ(1)で5割半ば

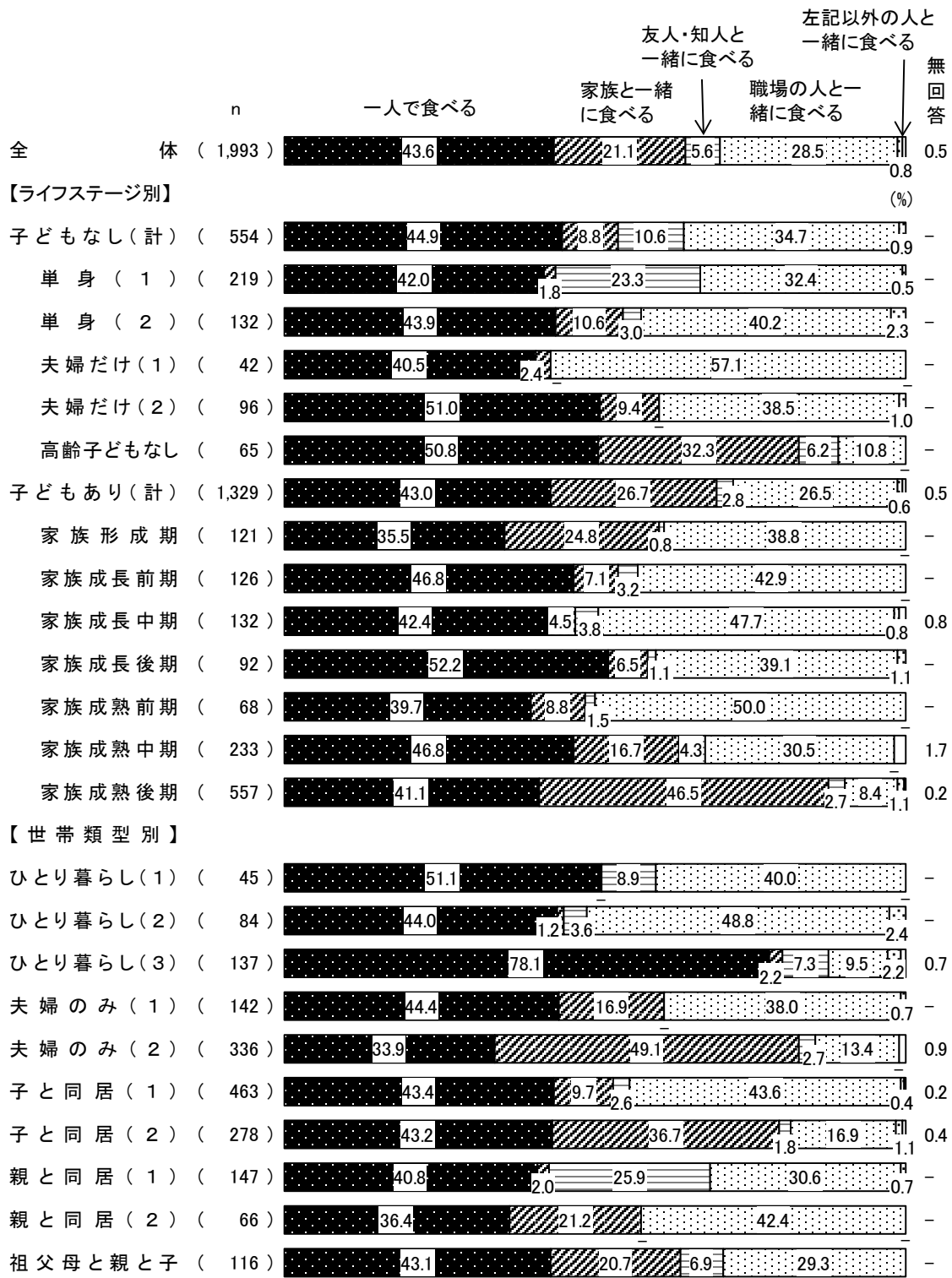
ライフステージ別にみると、「職場の人と一緒に食べる」は夫婦だけ(1) (57.1%)で5割半ばと最も多くなっている。

⑥ 食事を共にする人(イ) 昼食 [世帯類型別]

「一人で食べる」はひとり暮らし(3)で8割近く

世帯類型別にみると、「一人で食べる」はひとり暮らし(3) (78.1%)で8割近くと最も多くなっている。

図5-2-5 食事を共にする人(イ) 昼食 [ライフステージ別、世帯類型別]

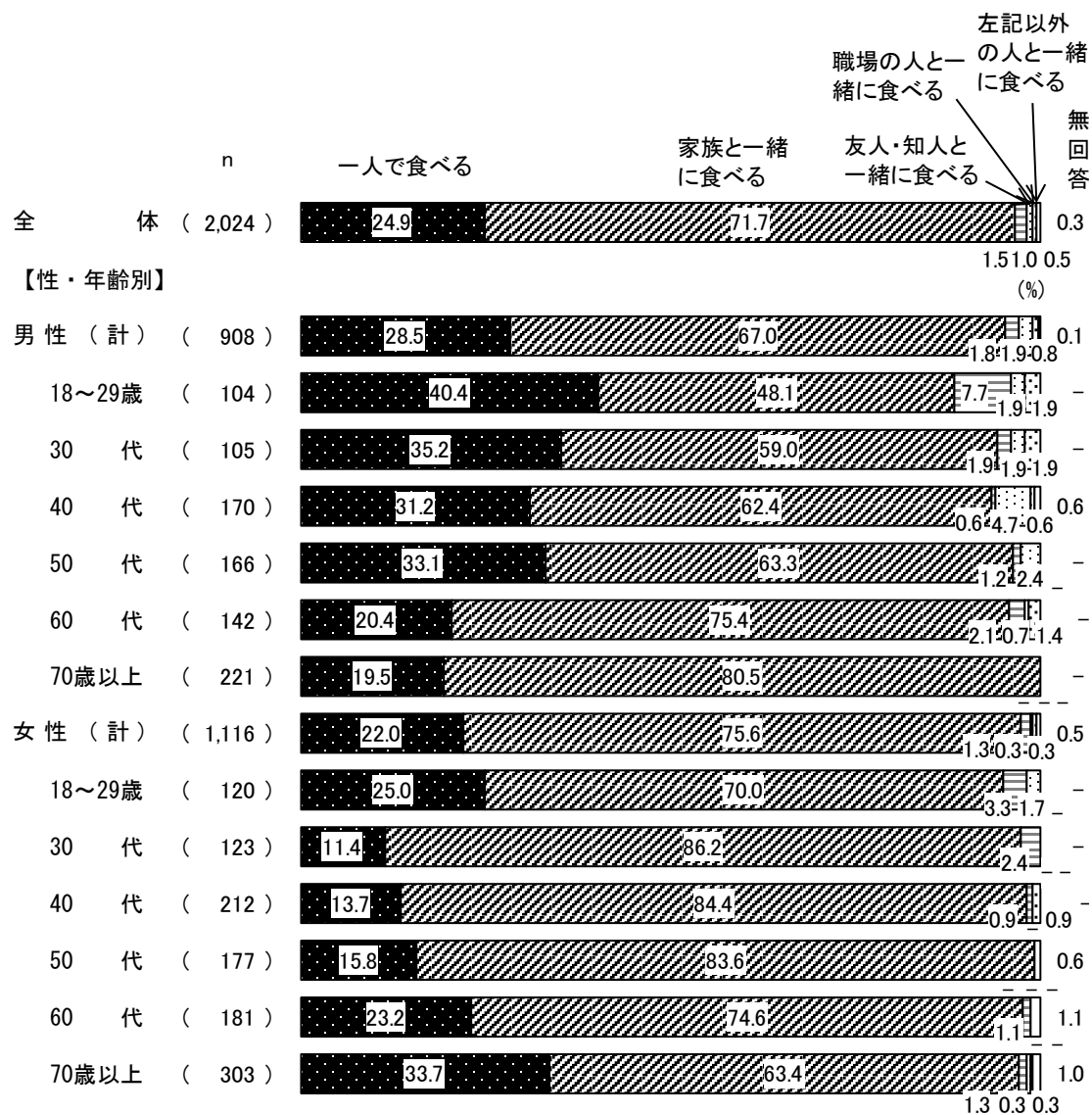


⑦ 食事を共にする人(ウ) 夕食 [性・年齢別]

「家族と一緒に食べる」は男性で年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、「家族と一緒に食べる」は男性で年齢が高いほど多くなっている。一方、女性は30代以降、年齢が高くなるにつれて徐々に少なくなっている。

図5-2-6 食事を共にする人(ウ) 夕食 [性・年齢別]



⑧ 食事を共にする人(ウ) 夕食 [ライフステージ別]

「一人で食べる」は単身(2)で6割近く

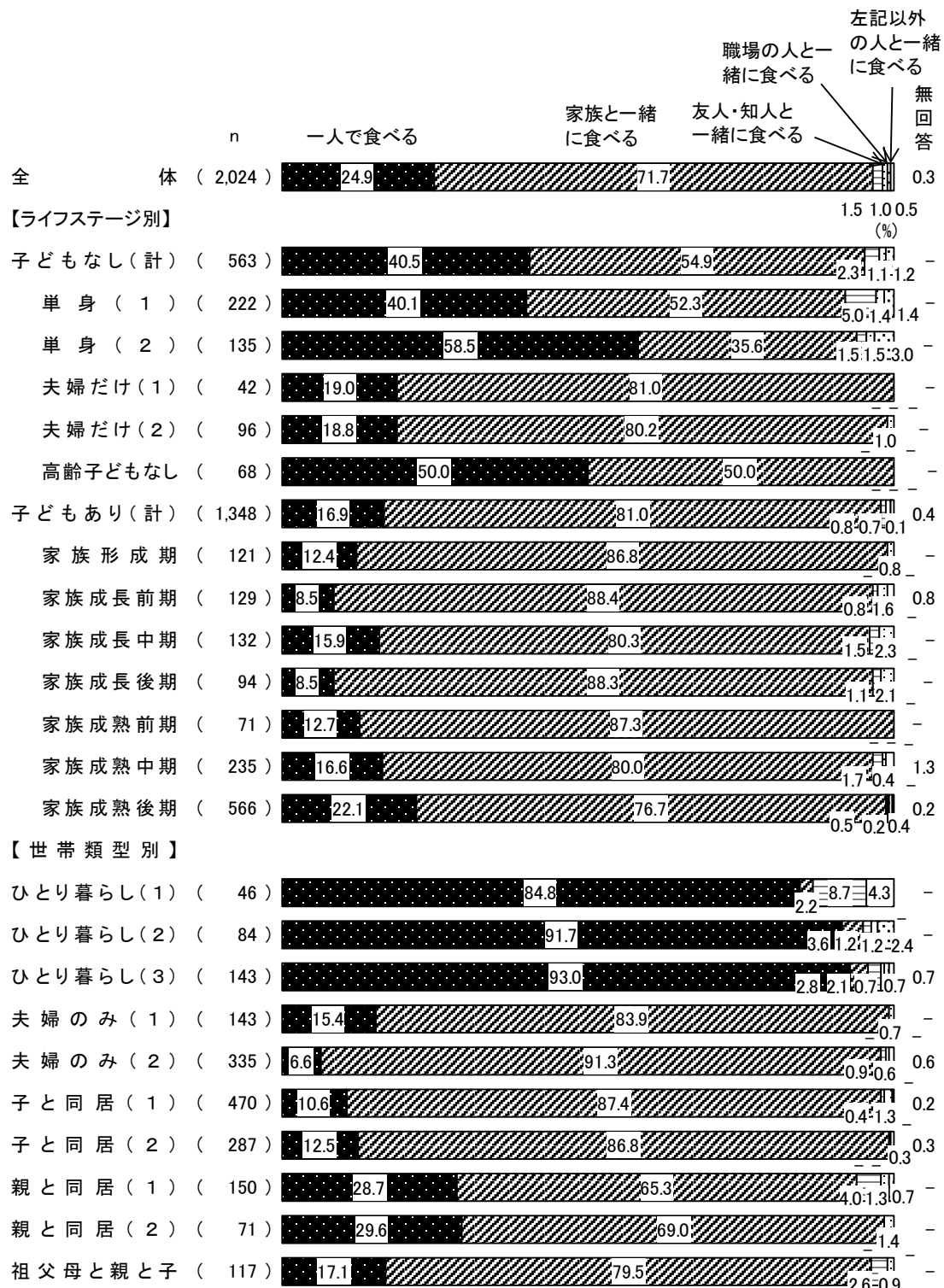
ライフステージ別にみると、「一人で食べる」が単身(2)(58.5%)で6割近くと多くなっている。

⑨ 食事を共にする人(ウ) 夕食 [世帯類型別]

「一人で食べる」は親と同居(2)、親と同居(1)で3割近く

世帯類型別にみると、「一人で食べる」は親と同居(2)(29.6%)、親と同居(1)(28.7%)で3割近くとなっている。

図5-2-7 食事を共にする人(ウ) 夕食 [ライフステージ別、世帯類型別]

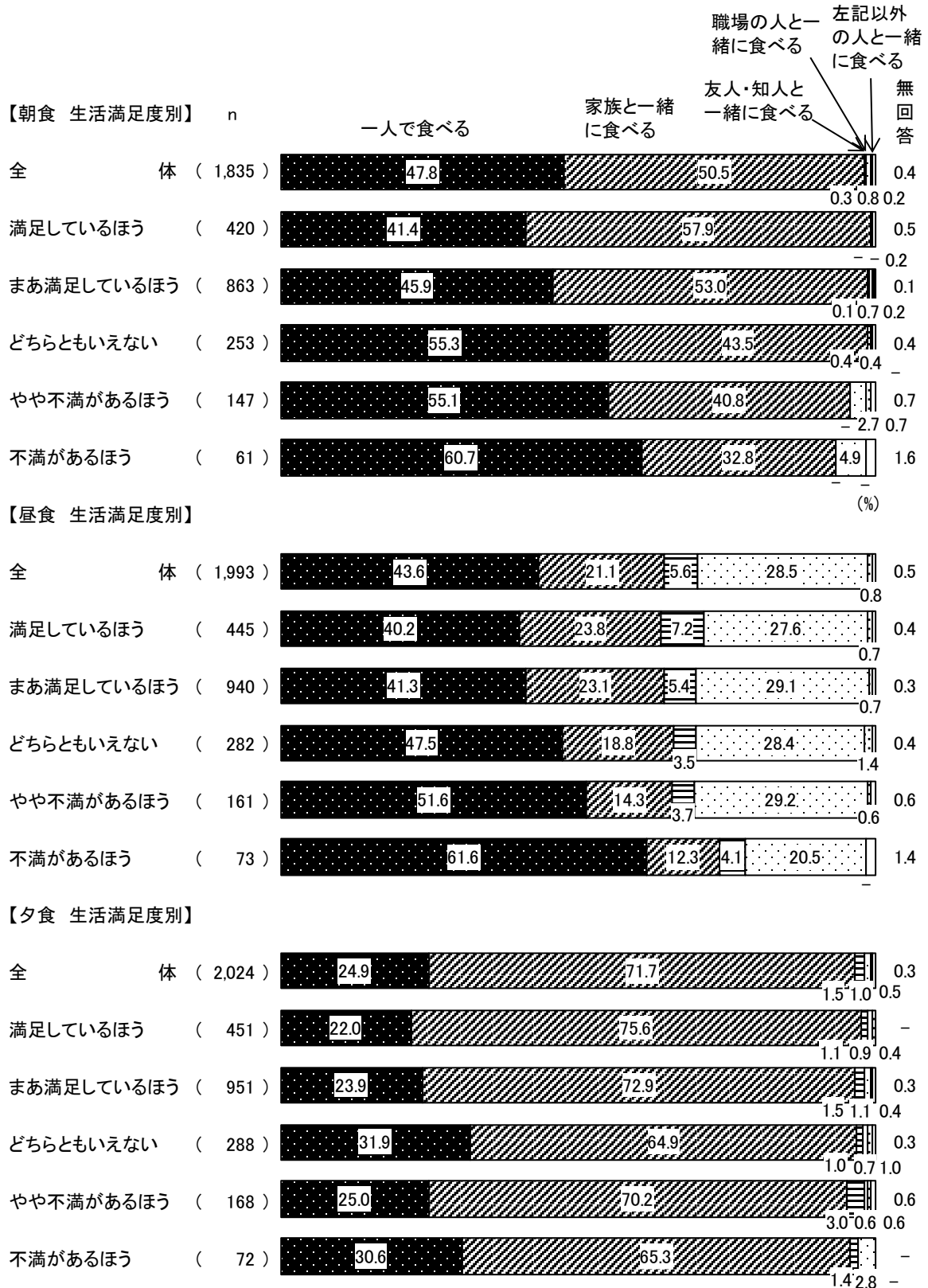


⑩ 食事を共にする人(ア～ウ) 朝食、昼食、夕食 [生活満足度別]

「家族と一緒に食べる」は《朝食、昼食》で生活満足度が高いほど多い

生活満足度別にみると、「家族と一緒に食べる」は《朝食、昼食》で生活満足度が高いほど多くなっている。

図5-2-8 食事を共にする人(ア～ウ) 朝食、昼食、夕食 [生活満足度別]



(3) 日々の食事のまとめ

① 日々の食事のまとめ(ア) 食事の内容 上位5位 [性・年齢別]

朝昼夕全て「自分又は家族が調理」が4割近くで1位

《食事の内容》についてまとめると、全体では朝昼夕全て「自分又は家族が調理」(39.7%)が4割近くで1位となっている。

性・年齢別にみると、朝夕「自分又は家族が調理」で昼「外食をする」が男性50代(18.9%)、男性40代(18.4%)、男性18~29歳(16.0%)で1位となっている。

表5-3-1 日々の食事のまとめ(ア) 食事の内容 上位5位 [性・年齢別]

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,052)	朝食 自分又は家族が調理 39.7	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 11.1	自分又は家族が調理 外食をする 9.9	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 4.7	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 4.3
男性計	(n=923)	朝食 自分又は家族が調理 28.3	自分又は家族が調理 外食をする 13.1	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 9.6	買ってきた弁当、パンなど 外食をする 5.7	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 5.4
18~29歳	(n=106)	朝食 自分又は家族が調理 外食をする 16.0	自分又は家族が調理 自分又は家族が調理 15.1	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 8.5	買ってきた弁当、パンなど 外食をする 7.5	食べない 外食をする 自分又は家族が調理 7.5
30代	(n=105)	朝食 自分又は家族が調理 22.9	自分又は家族が調理 外食をする 16.2	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 6.7	買ってきた弁当、パンなど 外食をする 6.7	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 4.8
40代	(n=174)	朝食 自分又は家族が調理 外食をする 18.4	自分又は家族が調理 自分又は家族が調理 17.2	食べない 外食をする 自分又は家族が調理 6.3	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 5.7	買ってきた弁当、パンなど 外食をする 自分又は家族が調理 5.7
50代	(n=169)	朝食 自分又は家族が調理 外食をする 18.9	自分又は家族が調理 自分又は家族が調理 16.6	買ってきた弁当、パンなど 外食をする 10.1	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 6.5	食べない 外食をする 自分又は家族が調理 6.5
60代	(n=146)	朝食 自分又は家族が調理 31.5	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 14.4	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 9.6	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 4.8	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 4.1
70歳以上	(n=223)	朝食 自分又は家族が調理 外食をする 52.5	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 13.9	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 5.4	自分又は家族が調理 外食をする 4.0	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 2.7
女性計	(n=1,129)	朝食 自分又は家族が調理 49.0	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 12.2	自分又は家族が調理 外食をする 7.3	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 6.2	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 3.5
18~29歳	(n=124)	朝食 自分又は家族が調理 30.6	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 12.1	自分又は家族が調理 外食をする 8.9	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 8.9	買ってきた弁当、パンなど 外食をする 自分又は家族が調理 6.5
30代	(n=123)	朝食 自分又は家族が調理 33.3	自分又は家族が調理 外食をする 14.6	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 12.2	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 7.3	買ってきた弁当、パンなど 外食をする 自分又は家族が調理 7.3
40代	(n=213)	朝食 自分又は家族が調理 35.2	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 15.0	自分又は家族が調理 外食をする 10.8	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 7.5	食べない 自分又は家族が調理 自分又は家族が調理 4.7
50代	(n=180)	朝食 自分又は家族が調理 50.6	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 12.8	自分又は家族が調理 外食をする 8.3	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 6.7	買ってきた弁当、パンなど 買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 2.8
60代	(n=181)	朝食 自分又は家族が調理 外食をする 60.2	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 12.2	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 6.6	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 3.9	自分又は家族が調理 外食をする 自分又は家族が調理 3.3
70歳以上	(n=308)	朝食 自分又は家族が調理 64.6	自分又は家族が調理 買ってきた弁当、パンなど 10.1	買ってきた弁当、パンなど 自分又は家族が調理 3.2	自分又は家族が調理 外食をする 2.9	左記以外のものを食べる 左記以外のものを食べる 左記以外のものを食べる 2.6

② 日々の食事のまとめ(イ) 食事を共にする人 上位5位 [性・年齢別]

朝昼夕全て「家族と一緒に食べる」が1割半ばで1位

《食事を共にする人》についてまとめると、全体では朝昼夕全て「家族と一緒に食べる」(17.5%)が1割半ばで1位となっている。

性・年齢別にみると、朝昼夕全て「一人で食べる」は男性18～29歳(18.1%)で1位、女性70歳以上(25.2%)、男性70歳以上(14.5%)で2位などとなっている。

表5-3-2 日々の食事のまとめ(イ) 食事を共にする人 上位5位 [性・年齢別]

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,037)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 家族と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 17.5	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 12.8	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 12.4	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 11.4	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 9.7
男性計	(n=913)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 家族と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 16.3	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 12.3	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 9.6	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 9.3	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 9.3
18～29歳	(n=105)	朝食 一人で食べる 昼食 一人で食べる 夕食 一人で食べる 18.1	一人で食べる 友人・知人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 9.5	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 6.7	一人で食べる 友人・知人と一緒に食べる 一人で食べる 5.7	家族と一緒に食べる 友人・知人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 5.7
30代	(n=105)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 職場の人と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 14.3	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 11.4	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 10.5	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 8.6	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 一人で食べる 8.6
40代	(n=172)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 職場の人と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 15.1	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 12.8	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 10.5	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 9.9	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 一人で食べる 7.6
50代	(n=167)	朝食 一人で食べる 昼食 職場の人と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 15.0	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 14.4	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 13.2	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 12.0	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 一人で食べる 10.8
60代	(n=143)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 家族と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 23.8	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 16.1	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 12.6	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 9.1	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 7.7
70歳以上	(n=221)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 家族と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 44.8	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 14.5	家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 11.8	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 6.3	一人で食べる 家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 5.0
女性計	(n=1,124)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 家族と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 18.4	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 15.6	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 12.9	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 12.5	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 10.0
18～29歳	(n=122)	朝食 一人で食べる 昼食 一人で食べる 夕食 家族と一緒に食べる 13.9	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 12.3	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 8.2	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 8.2	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 6.6
30代	(n=123)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 一人で食べる 夕食 家族と一緒に食べる 22.8	家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 17.1	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 15.4	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 8.9	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 8.1
40代	(n=213)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 一人で食べる 夕食 家族と一緒に食べる 23.0	家族と一緒に食べる 一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 20.7	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 13.1	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 7.0	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 5.6
50代	(n=180)	朝食 一人で食べる 昼食 一人で食べる 夕食 家族と一緒に食べる 20.6	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 17.2	一人で食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 13.3	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 10.6	家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 8.3
60代	(n=181)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 家族と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 26.5	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 18.2	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 16.0	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 11.6	家族と一緒に食べる 職場の人と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 6.6
70歳以上	(n=305)	朝食 家族と一緒に食べる 昼食 家族と一緒に食べる 夕食 家族と一緒に食べる 36.4	一人で食べる 一人で食べる 一人で食べる 25.2	一人で食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 10.2	家族と一緒に食べる 一人で食べる 家族と一緒に食べる 7.9	一人で食べる 家族と一緒に食べる 家族と一緒に食べる 3.6

6. 隣近所・地域とのつき合い

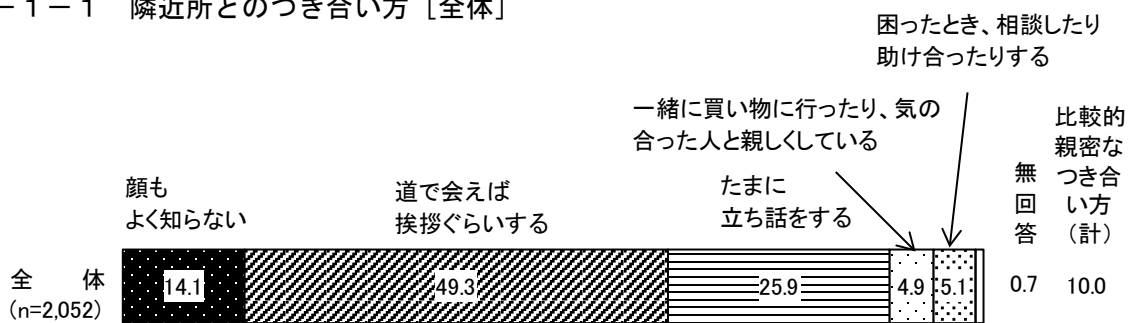
(1) 隣近所とのつき合い方

問 16 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(○は1つ)

「道で会えば挨拶ぐらいする」は5割近く

隣近所とのつき合い方については、「道で会えば挨拶ぐらいする」(49.3%)が5割近くと最も多くなっている。「たまに立ち話をする」(25.9%)は2割半ば、「顔もよく知らない」(14.1%)は1割半ばとなっている。「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」(4.9%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(5.1%)の2つを合わせた、『比較的親密なつき合い方』(10.0%)をしている人は1割となっている。

図6-1-1 隣近所とのつき合い方 [全体]

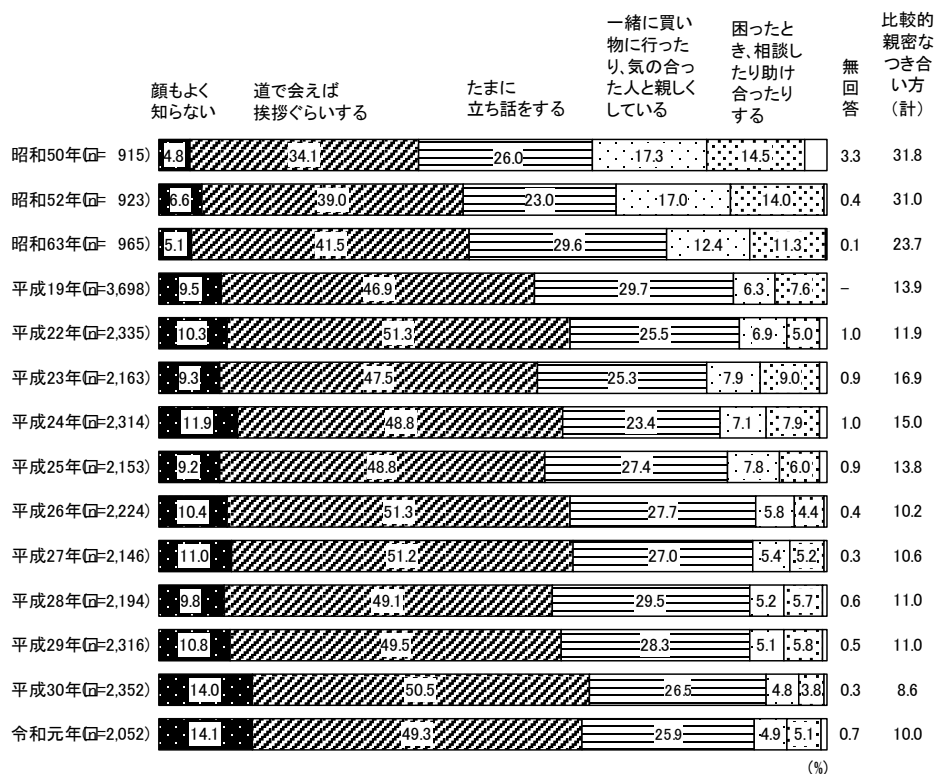


① 隣近所とのつき合い方 [経年変化]

『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は横ばい傾向

経年変化をみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合はここ5年ほどはおおむね横ばい傾向となっている。

図6-1-2 隣近所とのつき合い方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合い方 [ブロック別]

東部で「顔もよく知らない」が2割近く

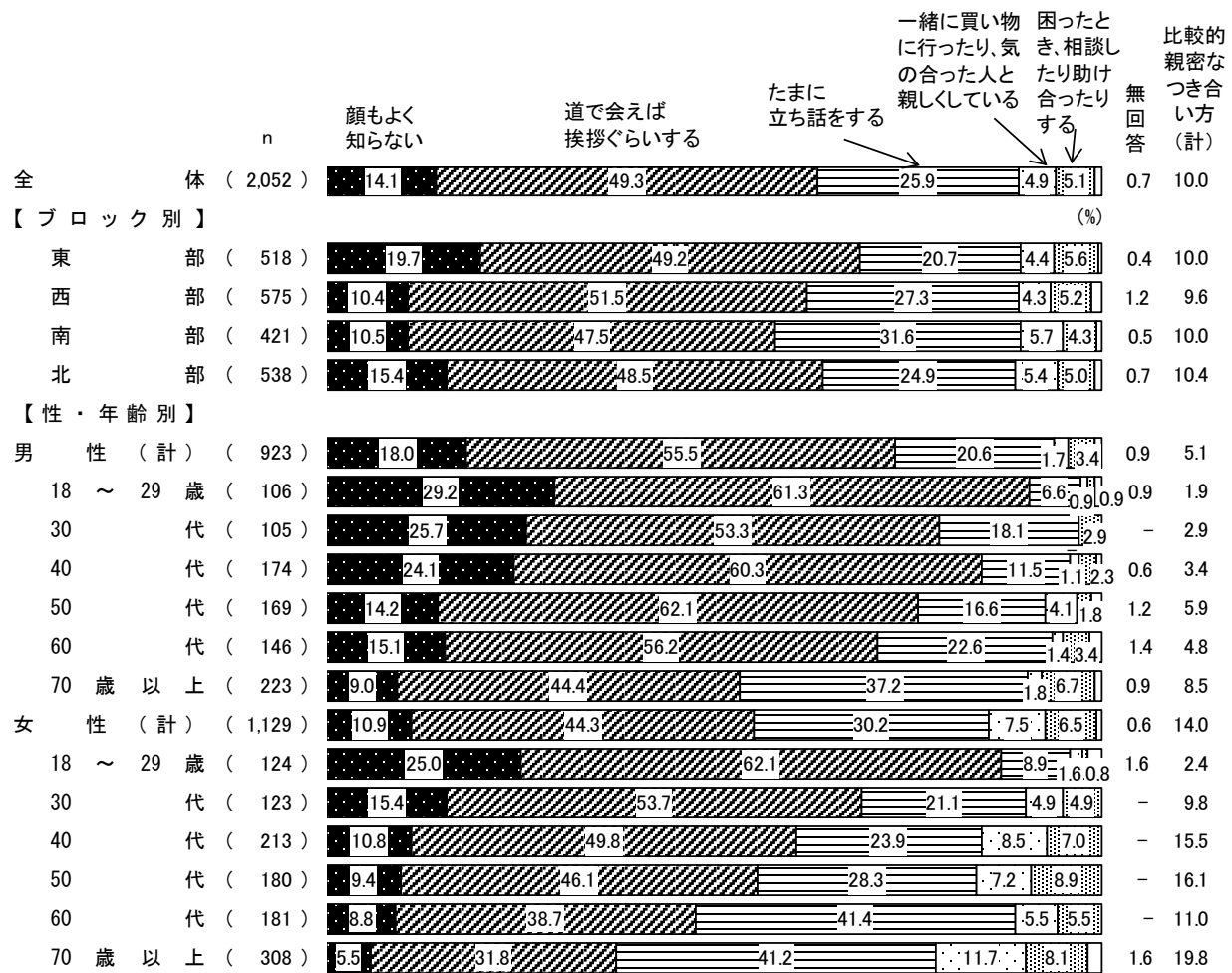
ブロック別にみると、東部で「顔もよく知らない」(19.7%)が2割近くと多くなっている。

③ 隣近所とのつき合い方 [性・年齢別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は女性70歳以上で2割近く

性・年齢別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、女性は70歳以上(19.8%)で2割近くと最も多く、男性は70歳以上(8.5%)で1割近くと最も多い。一方、「顔もよく知らない」は男性18～29歳(29.2%)で3割近くと多い。

図6-1-3 隣近所とのつき合い方 [ブロック別、性・年齢別]



④ 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は家族成長前期で1割半ば

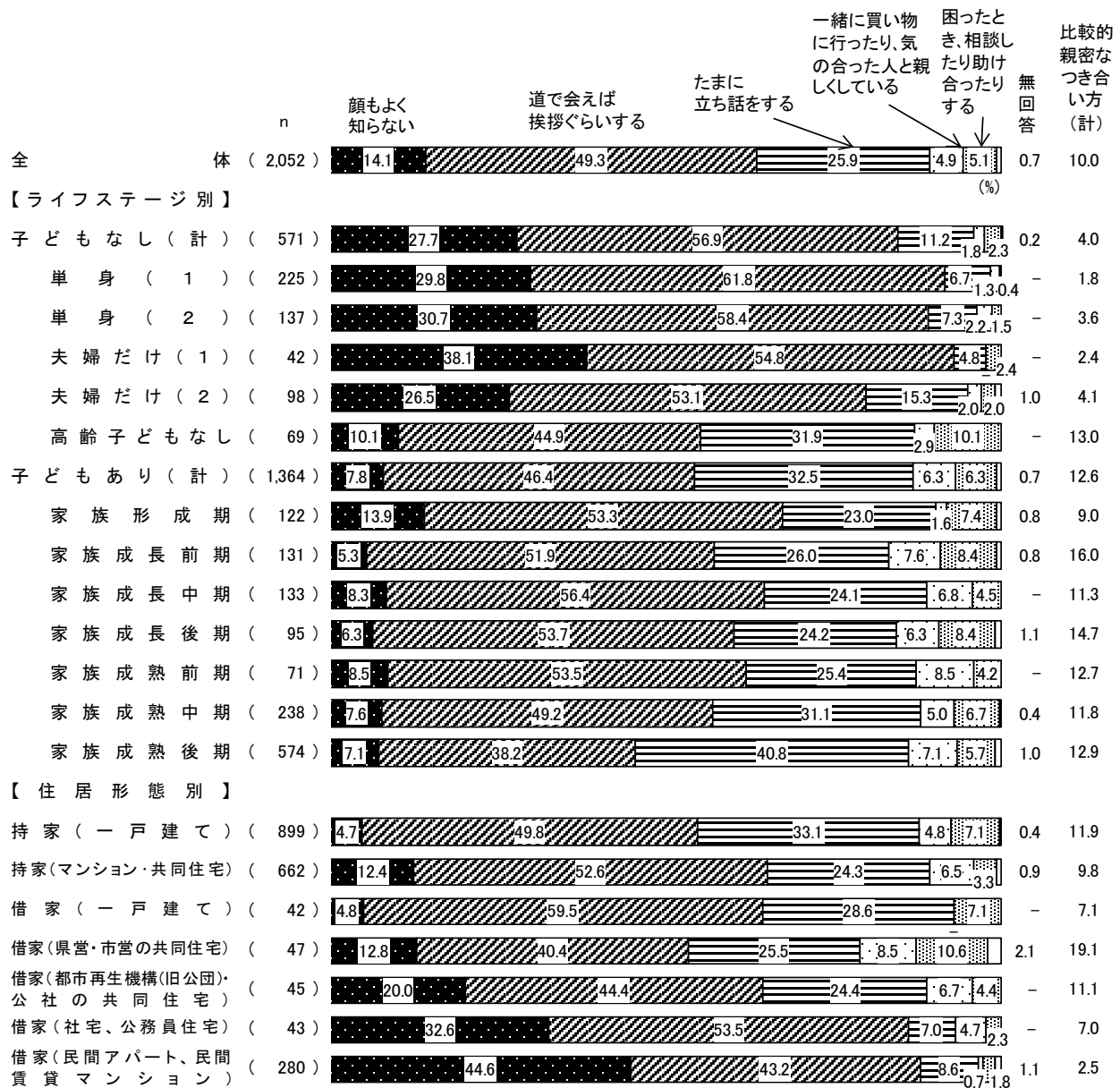
ライフステージ別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、家族成長前期（16.0%）で1割半ばと最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は夫婦だけ（1）（38.1%）で4割近くと多い。

⑤ 隣近所とのつき合い方 [住居形態別]

「顔もよく知らない」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で4割半ば

住居形態別にみると、「顔もよく知らない」は借家（民間アパート・民間賃貸マンション）（44.6%）で4割半ばと最も多くなっている。また、『比較的親密なつき合い方』をしている人は借家（県営・市営の共同住宅）（19.1%）で2割近くと最も多くなっている。

図6-1-4 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別、住居形態別]



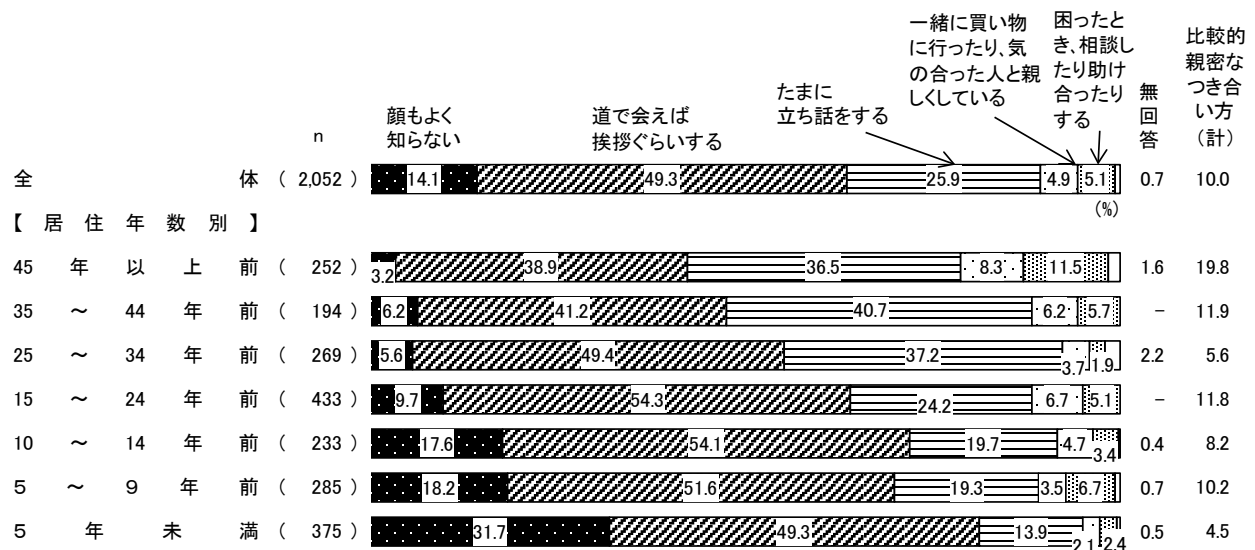
⑥ 隣近所とのつき合い方〔居住年数別〕

『比較的親密なつき合い方』をしている人は『45年以上前』で2割近く

居住年数別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、『45年以上前』（19.8%）で2割近くと最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」はおおむね居住年数が短いほど多く、「5年未満」（31.7%）で3割を超えて多い。

図6-1-5 隣近所とのつき合い方〔居住年数別〕

（注）45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



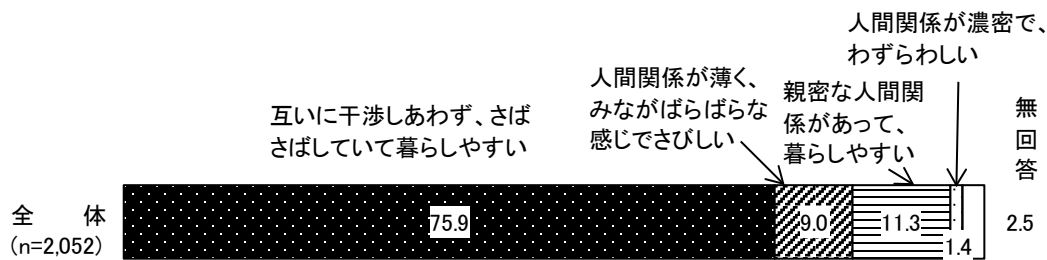
(2) 隣近所とのつき合いの感じ方

問 17 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(○は1つ)

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は7割半ば

隣近所とのつき合いの感じ方については、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」(75.9%)が7割半ばと最も多く、次いで「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(11.3%)、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」(9.0%)、「人間関係が濃密で、わずらわしい」(1.4%)となっている。

図6-2-1 隣近所とのつき合いの感じ方 [全体]

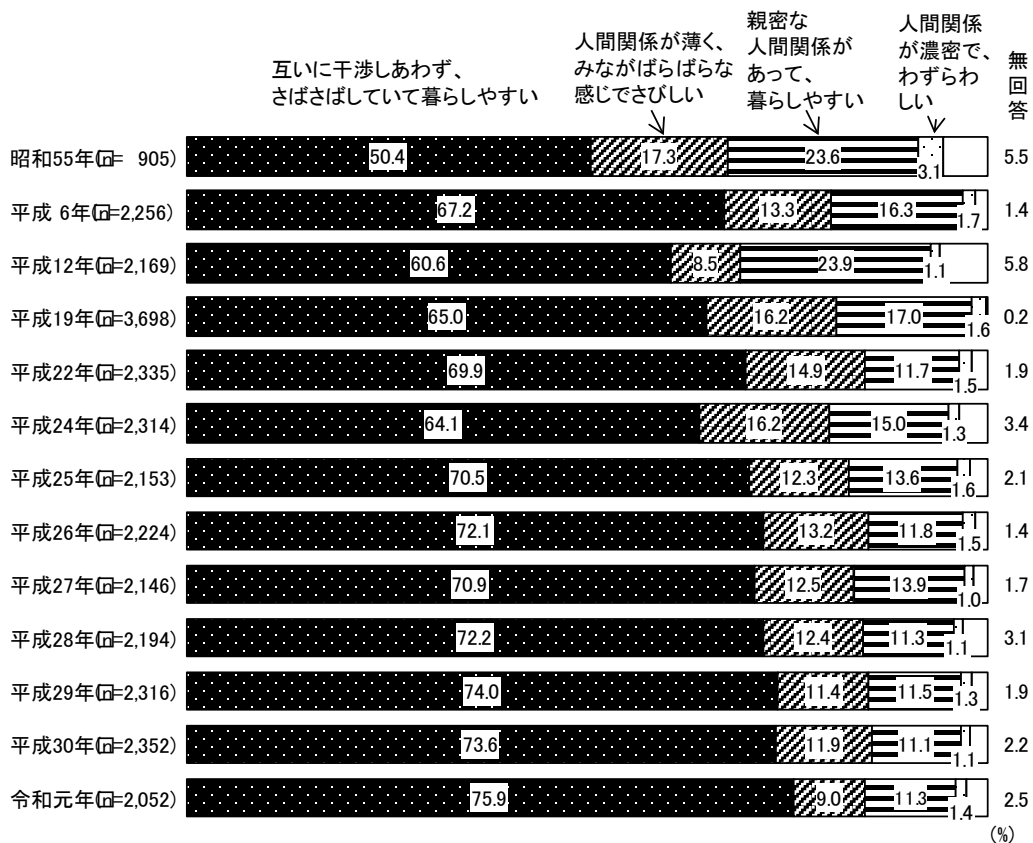


① 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は2.3ポイント増加

経年変化をみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は前回調査から2.3ポイントの増加となっている。

図6-2-2 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合いの感じ方 [ブロック別]

ブロック別では大きな違いはみられない

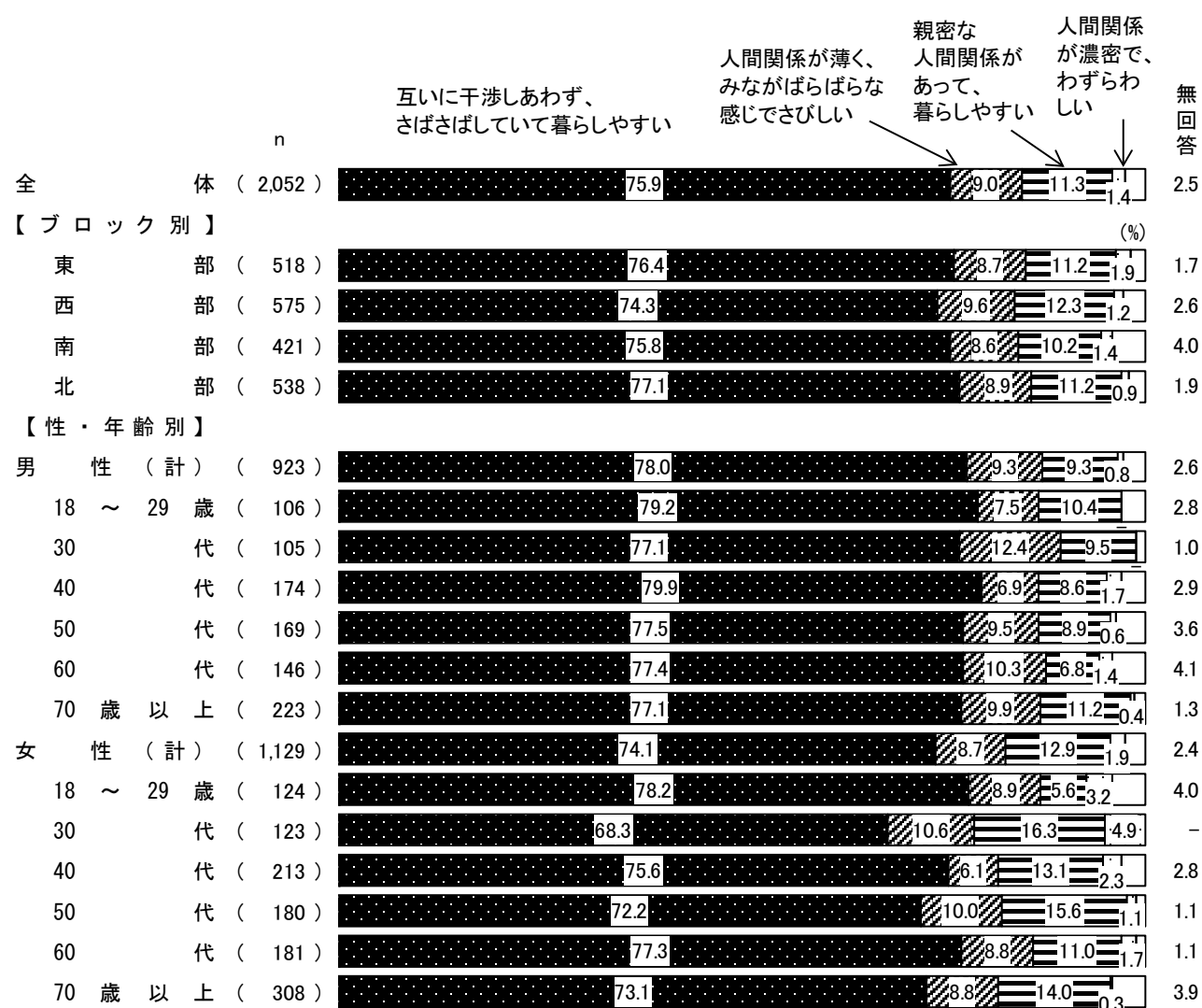
ブロック別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は全てのブロックで7割半ばと、大きな違いはみられない。

③ 隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別]

女性30代で「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が7割近くと少ない

性・年齢別にみると、女性30代で「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」(68.3%)が7割近くと少なく、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(16.3%)は1割半ばを超えて最も多い。

図6-2-3 隣近所とのつき合いの感じ方 [ブロック別、性・年齢別]



④ 隣近所とのつき合いの感じ方 [住居形態別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で8割を超える

住居形態別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）（81.4%）で8割を超えて最も多く、持家（マンション・共同住宅）（79.2%）と比較してもやや多くなっている。また、「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」は借家（一戸建て）（26.2%）で2割半ばと最も多い。

⑤ 隣近所とのつき合いの感じ方 [居住年数別]

「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」は『45年以上前』で2割近く

居住年数別にみると、「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」は『45年以上前』（19.0%）で2割近くと最も多い。

図6-2-4 隣近所とのつき合いの感じ方 [住居形態別、居住年数別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



(3) 参加している地域活動

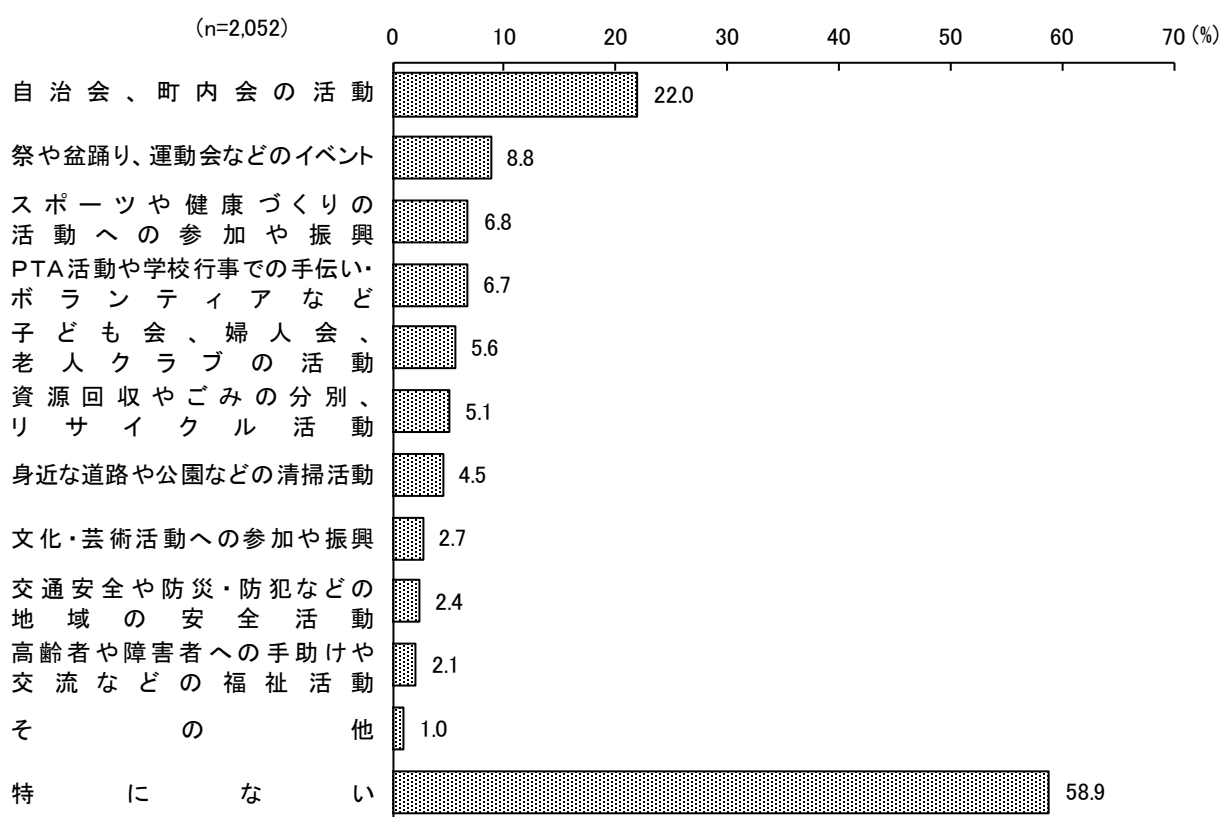
問18 あなたは、現在、地域でどのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

「自治会、町内会の活動」は2割を超える

参加している地域活動については、「特にない」(58.9%)が6割近くと最も多くなっている。

参加している人については、「自治会、町内会の活動」(22.0%)が2割を超えて多く、次いで「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(8.8%)、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」(6.8%)、「PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど」(6.7%)などの順となっている。

図6-3-1 参加している地域活動[全体] (複数回答)

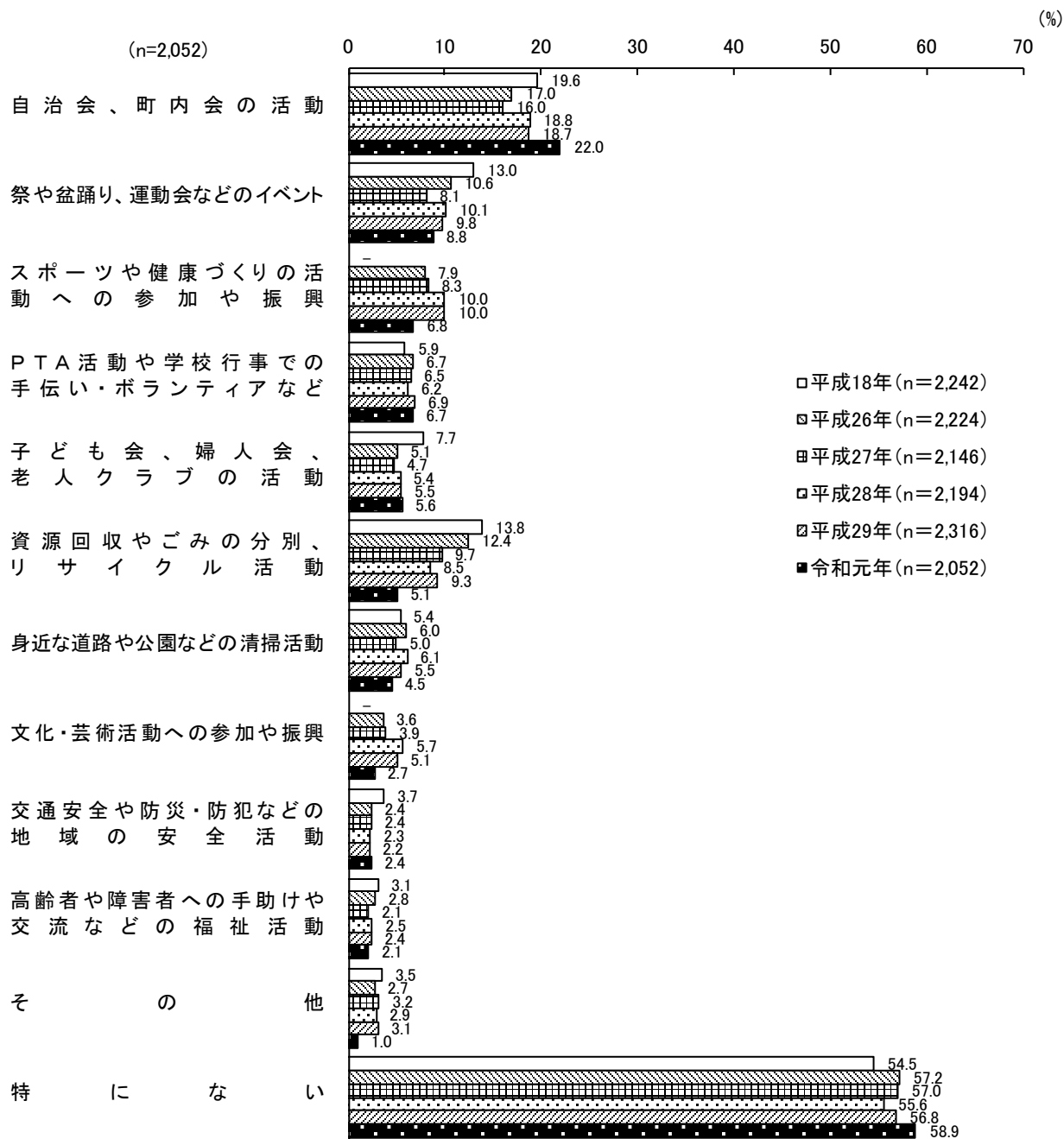


① 参加している地域活動 [経年変化]

「自治会、町内会の活動」が連続して1位

経年変化をみると、「自治会、町内会の活動」が平成 18 年から連続して1位となっている。「特にない」は前回、前々回調査からやや増加している。

図6-3-2 参加している地域活動 [経年変化] (複数回答)



※平成 18 年調査は、選択肢の一部を以下のようにしていた。

「PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど」は「PTA活動」

「身近な道路や公園などの清掃活動」は「身近な道路などの清掃活動」

「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）など自然環境の保全」は「公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺や緑地（里山など）などの自然環境の保全」

「文化・芸術活動への参加や振興」、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」は「文化、芸術活動、スポーツへの参加や振興」（平成 18 年調査 10.0% グラフ未掲載）

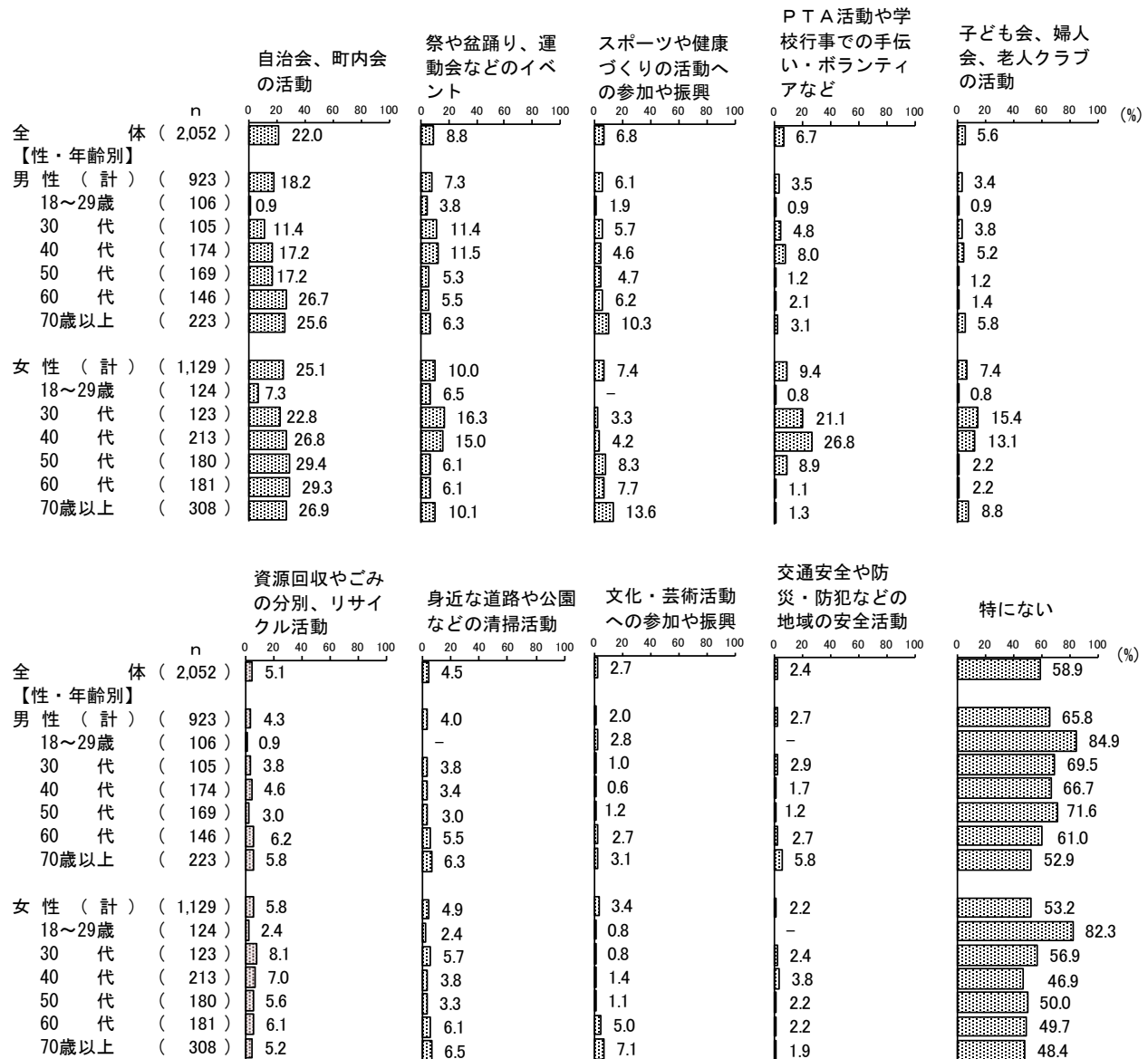
※平成 29 年調査までは上記の他に「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）など自然環境の保全」、「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」、「保育ボランティアなどの子育て支援」、「建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちづくり」の選択肢を加えていた。また、「その他」は「その他の社会奉仕などボランティア活動」としていた。

② 参加している地域活動〔性・年齢別〕

女性40代、30代で「PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど」が2割を超える

性・年齢別にみると、女性40代、30代で「PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど」が2割を超えて多くなっている。なお、70歳以上を70代と80歳以上とに分けてみると、「自治会、町内会の活動」は男女とも70代が3割前後に対して、80歳以上は2割前後と少なくなっている。「特にない」は男女とも18～29歳で8割以上と最も多く、どの年代も女性より男性のほうが多い。

図6-3-3 参加している地域活動 上位10項目〔性・年齢別〕（複数回答）



(4) 地域との関わり

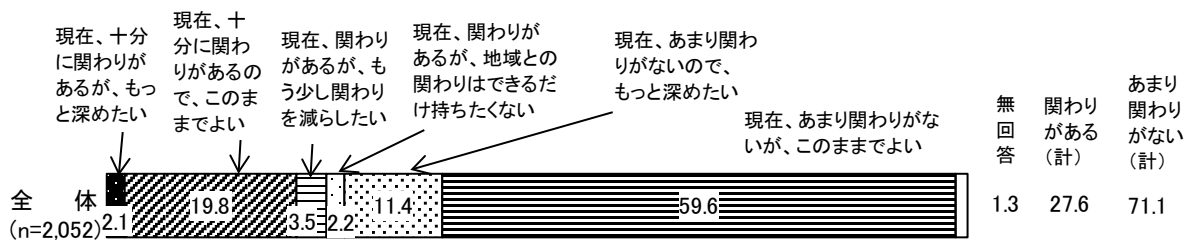
問 19 あなたは、今後、地域の活動に参加するなど、地域の人ともっと親しくしたり、地域との関わりをより深めたいと思っていますか。あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。
(○は1つ)

「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は6割近く

地域との関わりについては、「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」(59.6%)が6割近くと最も多くなっている。「現在、十分に関わりがあるので、このままでよい」(19.8%)は2割近く、「現在、あまり関わりがないので、もっと深めたい」(11.4%)は約1割となっている。

また、「現在、十分に関わりがあるが、もっと深めたい」、「現在、十分に関わりがあるので、このままでよい」、「現在、関わりがあるが、もう少し関わりを減らしたい」、「現在、関わりがあるが、地域との関わりはできるだけ持ちたくない」の4つを合わせた『関わりがある(計)』(27.6%)は2割半ばで、「現在、あまり関わりがないので、もっと深めたい」、「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」の2つを合わせた『あまり関わりがない』(71.1%)は7割を超えている。

図6-4-1 地域との関わり [全体]

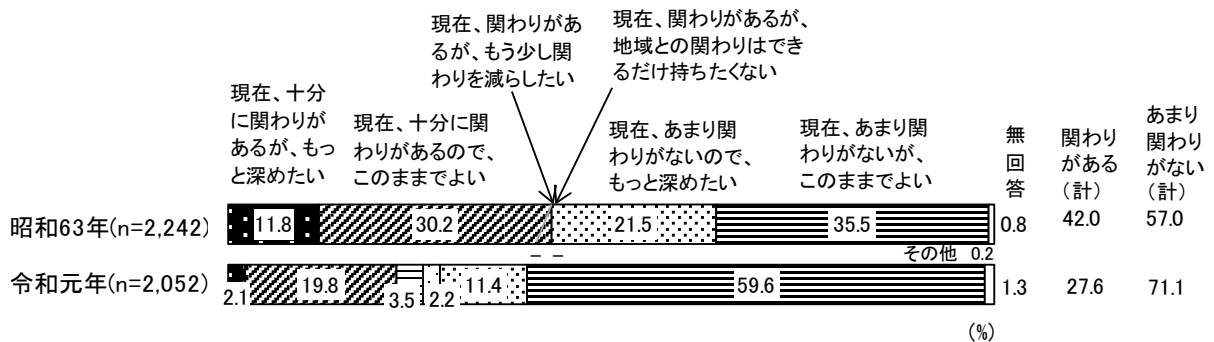


① 地域との関わり [経年変化]

「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は24.1ポイント増加

経年変化をみると、前回の昭和63年調査から「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は24.1ポイント増加している。一方、『関わりがある(計)』は14.4ポイント減少している。

図6-4-2 地域との関わり [経年変化]



※昭和63年調査は「現在、関わりがあるが、もう少し関わりを減らしたい」、「現在、関わりがあるが、地域との関わりはできるだけ持ちたくない」は設けておらず、「その他」を設けていた。

② 地域との関わり [ブロック別]

「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は東部で6割半ば

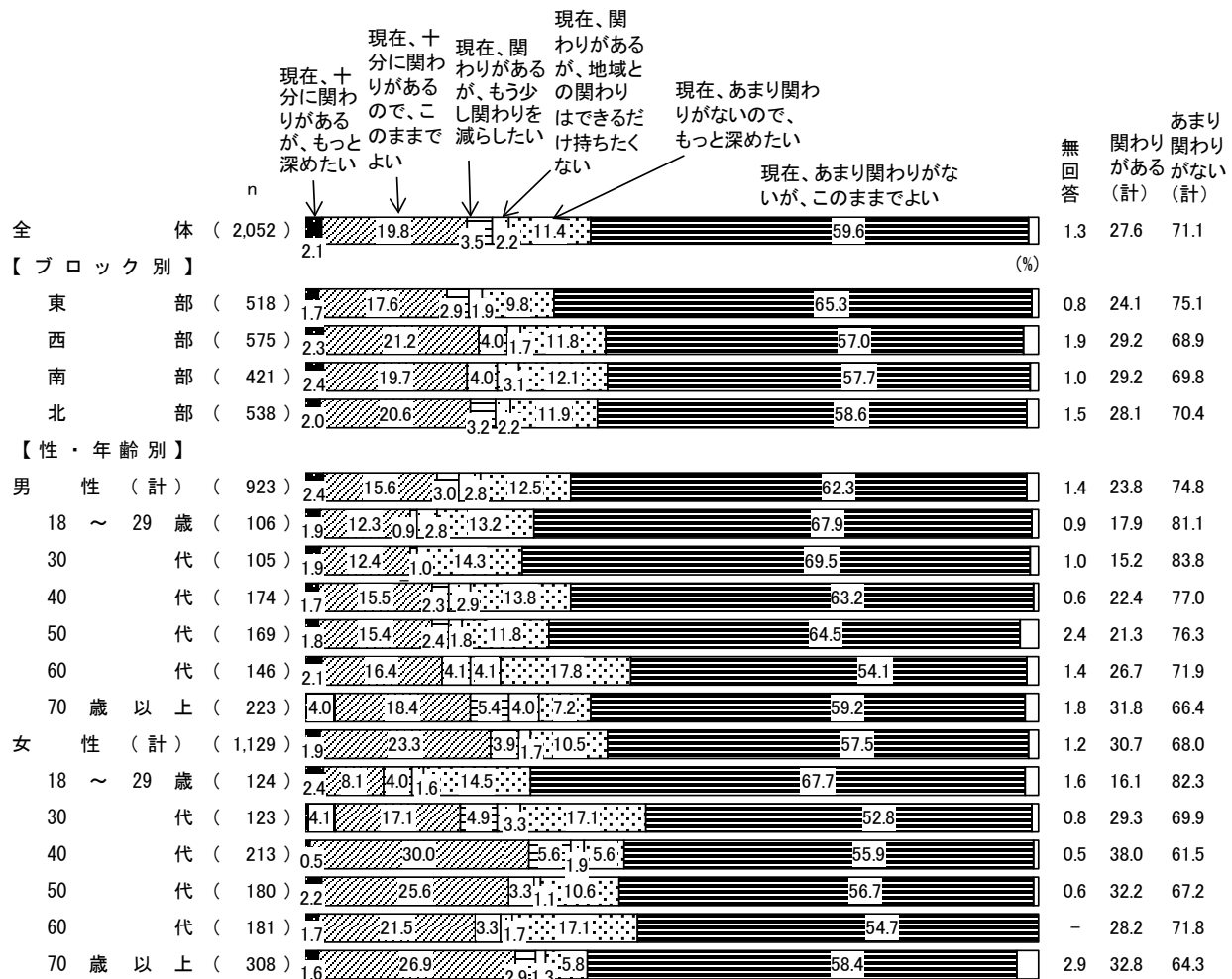
ブロック別にみると、「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は東部（65.3%）で6割半ばと多くなっている。『あまり関わりがない（計）』も東部（75.1%）で7割半ばと多い。

③ 地域との関わり [性・年齢別]

「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は男性30代で7割近く

性・年齢別にみると、「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は男性30代（69.5%）で7割近くと多くなっている。『あまり関わりがない（計）』は男性30代（83.8%）で8割半ば、女性18～29歳（82.3%）、男性18～29歳（81.1%）で8割を超えて多い。

図6-4-3 地域との関わり [ブロック別、性・年齢別]



④ 地域との関わり [ライフステージ別]

「現在、十分に関わりがあるので、このままでよい」は家成長前期で4割近く

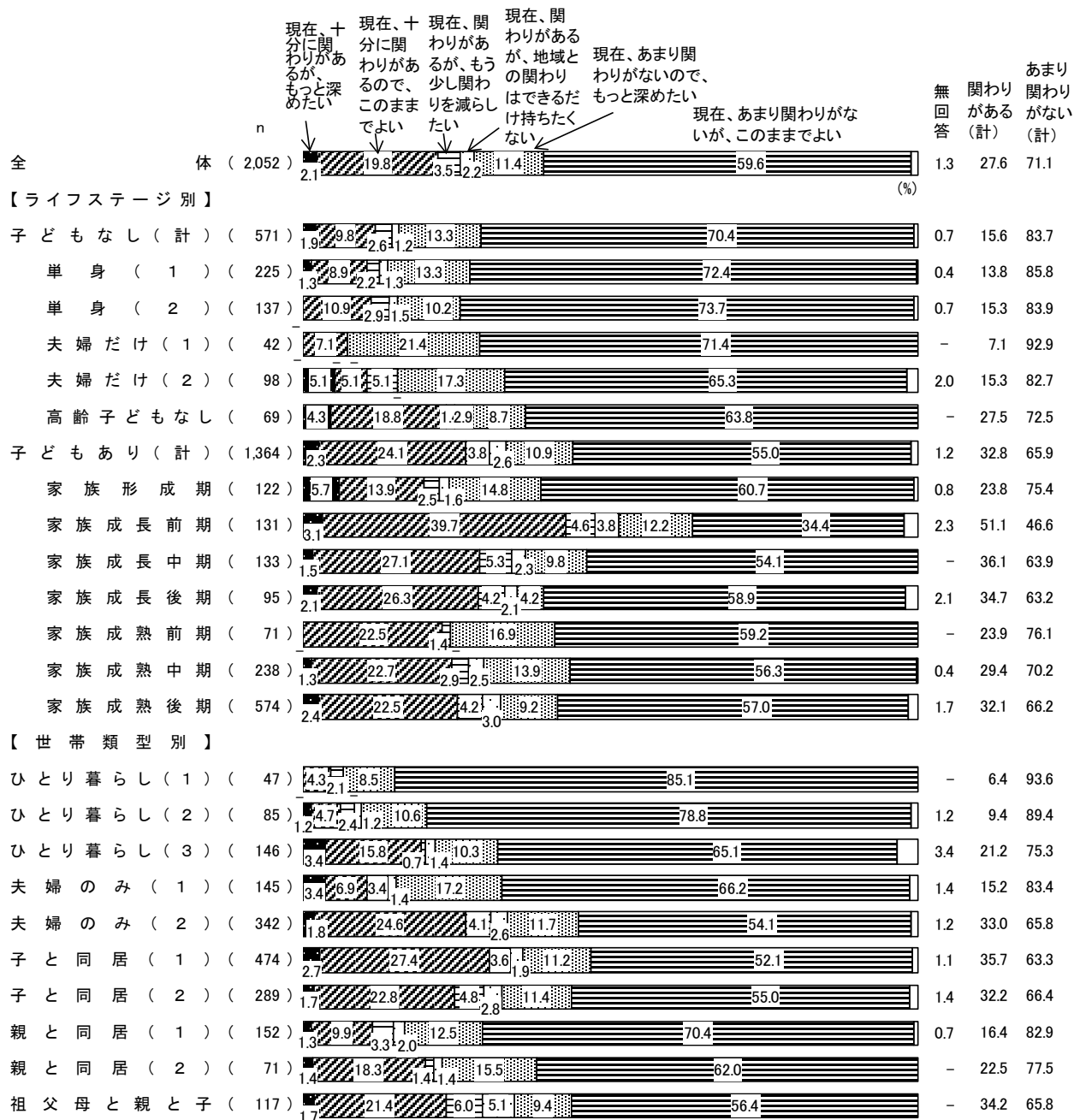
ライフステージ別にみると、「現在、十分に関わりがあるので、このままでよい」は、家族成長前期 (39.7%) で4割近くと最も多くなっている。『関わりがある (計)』は家族成長前期 (51.1%) で5割を超えて多く、『あまり関わりがない (計)』は夫婦だけ (1) (92.9%) で9割を超えて多い。

⑤ 地域との関わり [世帯類型別]

「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」はひとり暮らし (1) で8割半ば

世帯類型別にみると、「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」はひとり暮らし (1) (85.1%) で8割半ばと多くなっている。『あまり関わりがない (計)』もひとり暮らし (1) (93.6%) で9割半ばと多い。

図6-4-4 地域との関わり [ライフステージ別、世帯類型別]

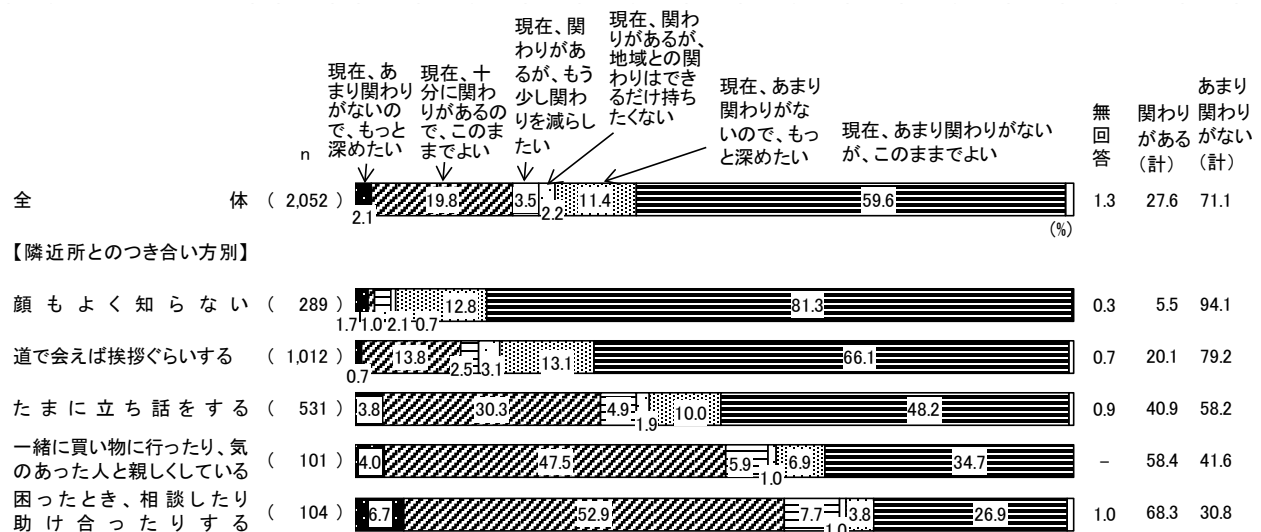


⑥地域との関わり [隣近所とのつき合い方別]

顔もよく知らないと答えた人で「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」は8割を超える

隣近所とのつき合い方別にみると、顔もよく知らないと答えた人で「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」(81.3%)は8割を超えて最も多い。『関わりがある(計)』は困ったとき、相談したり助け合ったりする(68.3%)で7割近く、『あまり関わりがない(計)』は顔もよく知らない(94.1%)で9割半ばと多い。

図6-4-5 地域との関わり [隣近所とのつき合い方別]



令和元年度 横浜市民意識調査
令和2年3月発行

横浜市 政策局 政策部 政策課
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
TEL 045 (671) 2028
FAX 045 (663) 1225
mail ss-ishiki@city.yokohama.jp

この報告書を引用する場合、出典を明記してください。